ドコモ スマートフォン
BlackBerry® Bold™ 9700
操作ガイド

このたびは、「BlackBerry® Bold™ 9700スマートフォン」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本操作ガイドでは、基本操作をはじめさまざまな情報を案内しています。その他、商品に同梱の資料もあわせてよくお読みいただき、BlackBerryの「オールインワンモバイルソリューション」がもつさまざまな機能をマスターし、業務の効率化にお役立てください。

操作ガイドにご不明な点がございました場合には、下記の「ドコモ・スマートフォン・ケア」までお問い合わせください。

「ドコモ・スマートフォン・ケア」
受付時間　午前9:30～午後9:00
電話番号　0120-045-360
http://smartphone.nttdocomo.co.jp/

ご利用のネットワーク環境下における個別の設定や、BlackBerryデバイスへの個別の設定に関しては、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

本書について

本書は基本操作のマスターを目的としていますが、その使用環境の特徴などからパーソナルコンピュータやWindows® などのOS、およびネットワーク環境の知識を有するユーザーを前提に構成されています。よって、パーソナルコンピュータへのソフトやデバイスドライバのインストールに用いる、デバイス名、用語などに関しては特別な場合を除き説明を省略しています。
また、ご利用のネットワーク環境下でのBlackBerryデバイスの使用における個別の設定に関しても、それぞれの環境下で異なるため、説明を省略しています。

- お使いの環境やご利用のサービス、設定などによっては、メニュー表示が異なる場合があります。
- BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合、お使いの環境（BlackBerry Enterprise SolutionのバージョンやITポリシー設定）によっては、本書で説明する機能がご利用になれない場合があります。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ご利用中のサービスについて、企業のお客様は管理者にお問い合わせください。個人のお客様はドコモ・スマートフォン・ケアにお問い合わせください。

はじめて端末をご利用になるとき

1. FOMAカードを装着します(装着済みの場合は必要ありません)。→P.11
2. バッテリーを端末に装着し充電します。→P.12
   バッテリーの充電を行う前に必ず同梱の「安全および製品に関する情報」（日本向け）の注意をよくお読みいただき、正しくお取り扱いください。
3. 本体のキーなどについて確認します。→P.10
4. 画面に表示されるアイコンについて確認します。→P.15
5. メニュー操作などの基本操作をマスターします。→P.21

■ 本書はBlackBerry® Bold™ 9700スマートフォン（ソフトウェアバージョン5.0.0）をもとに作成しております。
■ 本書は日本国内向けです。
■ 本書、および付属の各取扱説明書は大切に保管してください。
本書についての最新の情報は、下記のURLよりPDFファイルにてダウンロードできます。
http://smartphone.nttdocomo.co.jp/
※ URL、本書の掲載内容は予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の見かた

本製品を正しくお使いいただくために、本書では端末の操作方法をイラストや画面のイメージを使って表記しています。

電子メールを作成して送信する

1 ホームスクリーンで［メニューキー］→「メッセージ」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 ［メニューキー］→「メールを作成」

新規メール画面が表示されます。

メッセージリスト画面で日付を選択→「メールを作成」でも新規メール画面を表示できます。

3 「次を使用して送信」フィールドで、送信に使用するメールアカウントを選択

BlackBerry Enterprise SolutionとBlackBerry Internet Serviceの両方のサービスのご利用や、2つ以上のアカウントを登録されている場合は、送信に使用するアカウントを選択します。

メールアカウントを複数登録していない場合は選択できません。

4 To:を入力

宛先は、アドレス帳を参照して入力するか直接入力します。

宛先の入力を開始すると次の表にある宛先候補がリストとなって宛先フィールドに順次表示されます。

宛先候補タイトル	候補タイトルの意味
<アドレス登録名>	端末のアドレス帳に登録されているアドレスと宛先フィールドに入力している文字が一部もしくは全文一致するアドレス候補を表示します。

宛先候補タイトル	候補タイトルの意味
メール:	直接入力の際に、入力している文字をそのまま表示します。
サーバー参照:※	組織のアドレス帳がサーバーに登録されている場合、サーバー上のアドレス帳に登録されているアドレスと宛先フィールドに入力している文字が一部もしくは全文一致するアドレス候補を表示します。

※ BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合のみ利用できます。

■ 表示された宛先の候補から選択する場合

宛先のフィールドで入力を開始すると、入力された文字に対して電子メールアドレスやPIN番号の候補が表示されます。目的の候補を選択して宛先を入力します。

■ 直接入力する場合

宛先のフィールドで入力を開始し、「メール:」を反転して入力を進めます。入力が終了したら［キー］を押します。

■ CcやBccの宛先を追加する場合

「電子メール／PINメッセージ／SMS作成中に利用できる機能」→P.48

おしらせ

・はじめてメールをご利用になる場合は、直接入力をしても宛先フィールドが空欄のままとなり、宛先の入力ができない場合があります。その場合は一度メッセージリスト画面に戻り、もう一度操作1からやり直すか、Altキーを押しながらEnterキーを押して、入力言語を英語に変更してください。

5 件名、メッセージを入力

6 ［メニューキー］→「送信」

送信が終わったことを示すアイコンが表示され、メッセージリスト画面に送信済みメールが表示されます。

■ 後で送信する場合

→「下書き保存」

下書き保存した電子メールの送信方法→P.49

メール 45

次ページにつづく

※本文中のページとは内容が異なります。

● 本書では、トラックパッドや一部のキーをイラストで表現しています。詳細については、「各部の名称と機能」（P.10）をご覧ください。

● 本書は、主にお買い上げ時の設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によって、実際の画面と本書で記載が異なる場合があります。

● 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。

● 本書では操作手順を次のように表記しています。

表記	意味
「○○○」を選択	トラックパッドを使用して「○○○」を反転させ、トラックパッドを押す
「○○○」を反転	トラックパッドを使用して「○○○」を反転させる（トラックパッドは押さない）
→「○○○」	メニューキーを押してから、トラックパッドを使用して「○○○」を反転させ、トラックパッドを押す

● 本書では、画面に表示される項目名の説明についてまとめている場合は、以下の例のように「、」でつないで記載しています。

開封済みにする、未開封にする……未開封のメールを開封済みの状態に、開封済みのメールを未開封の状態にします。

目次

便利な機能 →P.149	・ボイスコマンドについて ・ファイルについて ・フィルタについて ・繰り返し詳細設定 ・電卓 ・パスワードキーパー ・ヘルプ機能 ・検索機能 ・ゲーム ・GPS ・ワイヤレス通信に関する設定（Bluetooth®、Wi-Fi） ・接続状況の管理 ・プロファイルの設定 ・初期化と再アクティベーション ・端末のオプション設定　など
ネットワークサービス／海外利用 →P.205	・留守番電話サービス ・キャッチホン ・転送でんわサービス ・迷惑電話ストップサービス ・公共モード（電源OFF） ・英語ガイダンス ・遠隔操作 ・通話中着信設定 ・国際ローミングサービスについて ・海外で利用する前の確認事項 ・滞在先での電話のかけかた／受けかた ・海外で利用するための設定 ・海外でのネットワークサービスの利用　など
コンピュータとの接続 →P.221	・BlackBerry Desktop Managerについて ・端末とコンピュータの接続方法 ・アプリケーションの管理 ・Media Managerについて ・デバイスの切り替えウィザード ・端末データのバックアップと復元 ・同期 ・モデムとしての利用 ・USBメモリとしての使用　など
付録 →P.245	・ショートカット一覧 ・困ったときは ・用語集 ・主な仕様 ・商標などに関する情報
索引 →P.265	・索引

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

メールやメッセンジャーを使いこなしたい

通話に便利な機能を知りたい

ブラウザを使いこなしたい

アドレス帳を使いこなしたい

音楽や画像、動画を楽しみたい

カメラを使いこなしたい

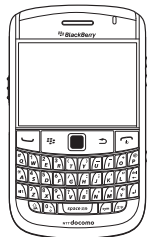
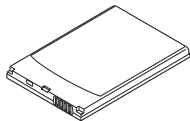
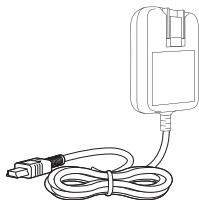
カレンダーを使いこなしたい

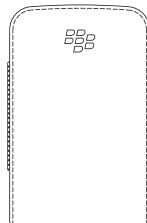
時計機能を使いこなしたい

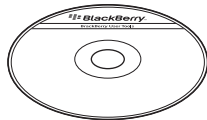
海外で使いたい

こんなこともできます

本体と付属品の確認

下図の本体と付属品がすべてそろっているか確認します。万が一、不足や破損、各種説明書などの乱丁、落丁などがありました場合はお手数ですが、販売元へご連絡ください。

BlackBerry Bold 9700
本体(保証書含む)

BlackBerry Bold M-S1 Battery
(バッテリー)

BlackBerry
Folding Blade Charger<Micro>
(AC アダプター)(保証書含む)

BlackBerry Bold Mono Headset
(イヤホン)(保証書含む)
通話やメディアプレーヤー機能をご利用時に使用します。→P.63、P.109

BlackBerry Bold 9700 Pocket
(ポケット)
端末用のケースです。

BlackBerry USB Cable<Micro>
(micro USB ケーブル)
コンピュータと本端末を接続する際に使用します。
→P.14、P.227

BlackBerry User Tools CD
- BlackBerry® Desktop Software
- 安全および製品に関する情報
- ユーザーガイド
- ソフトウェア使用許諾契約書／保証契約書

その他の同梱品

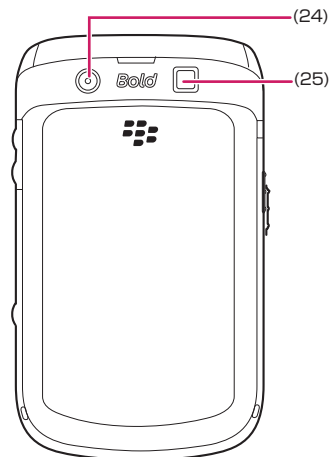
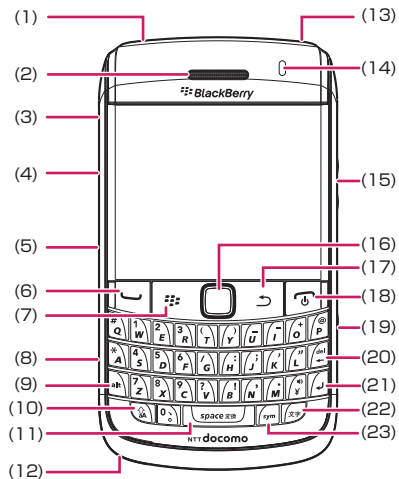
- BlackBerry Bold 9700 操作ガイド
- はじめにお読みください
- ユーザーガイド(簡易版)
- ユーザーガイド：BlackBerry アクセサリー
- 安全および製品に関する情報(日本向け)
- ドコモからのお知らせ
- Bluetooth 利用に関する注意
- IMEI バーコードステッカー
- BlackBerry Bold 9700 をお買い上げいただいたお客さまへ

※ 本書では、(　)内の日本語名称で説明しています。
※ 付属品のほかのモデルのBlackBerry端末との互換性についてはドコモスマートフォンサイト http://smartphone.nttdocomo.co.jp/ をご確認ください。

ご使用前の確認

サービスのご契約について

本端末の各種機能をお使いいただくためには、BlackBerry Internet Service、BlackBerry Enterprise Solution、または両方のサービスの、いずれかのご契約が必要です。

各部の名称と機能

(1) ロックキー　　　:キーのロック／解除をします。→ P.23

(2) 受話口

(3) イヤホンジャック　:イヤホンマイクの差し込み口です。→P.63

(4) micro USBポート　:micro USBのポートです。コンピュータやACアダプターとの接続に使用します。→P.13、P.227

(5) 左サイドキー　　　:左側のサイドキーです。任意のアプリケーションを割り当てて起動させます。→P.195

(6) 発呼キー　　　　:電話画面を表示します。本書では、と表記しています。→P.58

(7) メニューキー	:メインメニューや各画面で利用できるメニュー項目を表示します。本書では、[メニュー]と表記しています。
(8) ストラップ取付穴	:ストラップ取付用の穴です。ストラップを取り付けるには、バッテリーカバーを取り外し、ストラップを取付穴に通してから、中のフックに引っ掛けます。
(9) Altキー	:各キーの上部に印字されている記号や数字などを入力します。→P.24
(10) Shiftキー	:大文字を入力するときに押します。→P.24
(11) スペースキー	:スペースを入力します。また、入力したひらがなを漢字やカタカナに変換します。→P.24
(12) 送話口/マイク	
(13) ミュートボタン	:ミュート機能を使用します。→P.59、P.60、P.107
(14) LEDインジケータ	:本端末の状態を色で表示します。→P.20
(15) 音量アップキー/音量ダウンキー	:通話中の音量を調節します。→P.60 Media Player 再生中の音量を調整します。→P.106
(16) トラックパッド	:メニュー項目を選択するときなどに、指をスライドさせます。また、項目を決定するときに押します。本書では、[■]と表記しています。
(17) エスケープキー	:1つ前の画面に戻ります。本書では、[戻る]と表記しています。
(18) 終話/電源キー	:電話を切ります。また長押し(1秒以上)で、本端末の電源を切ります。本書では、[終話]と表記しています。
(19) 右サイドキー	:右側のサイドキーです。任意のアプリケーションを割り当てて起動させます。→P.195
(20) Deleteキー	:文字入力時に、カーソルの左側の文字を1文字削除します。→P.24
(21) Enterキー	:項目の決定や、文字入力時に改行を挿入します。
(22) 文字キー	:入力モードを切り替えます。→P.24
(23) 記号キー	:記号リストを表示します。→P.24
(24) カメラ	:静止画や動画を撮影します。→P.118、P.121
(25) フラッシュ/ライト	:カメラやビデオカメラで撮影時に点灯します。→P.118、P.121

FOMAカードの取り付け・取り外し

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。本端末を使用する際には、必ずFOMAカードを取り付けてご使用ください。

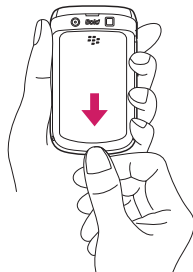
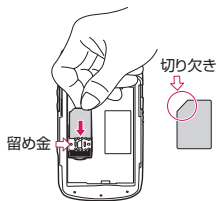
なお本端末では、FOMAカードにアドレス帳データ（名前・電話番号）のみ保存することができます。

おしらせ

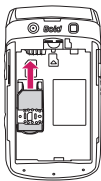
・本端末はSIMロック端末です。ドコモのFOMAカード以外はご使用になれません。

FOMAカードの取り付け

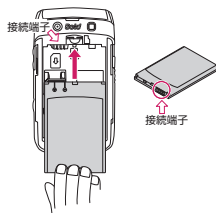
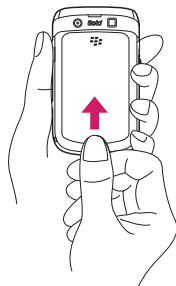
1 バッテリーカバーを下方にスライドさせてバッテリーカバーを取り外す

バッテリーが挿入されている場合は、バッテリーも取り外します。→P.12

2 FOMAカードの端子側を裏面に向け、FOMAカードの角の切り欠き部が左上を向くようにFOMAカードを持ち、金属の留め金の下へ平らになるように挿入し、そのままFOMAカードを止まるところまで差し込む

FOMAカードの取り外し

1 「FOMAカードの取り付け」（P.11）の操作1に従って、バッテリーカバー（バッテリーが挿入されているときはバッテリーも）を取り外す

2 FOMAカードを上にスライドさせながら、ゆっくり引き抜く

バッテリーの取り付け・取り外し

バッテリーの取り付け

1 FOMAカードが挿入されていることを確認し、バッテリーのBlackBerry®のロゴがある面を上向きにし、バッテリーと本体の接続端子が合うように差し込む

2 バッテリーカバー左右のツメを本体の両側の溝に合わせて取り付けてから、カバーの下部を押し込む

バッテリーの取り外し

1 バッテリーカバーを下方にスライドさせてバッテリーカバーを取り外す

2 本体下部の溝からバッテリーを持ち上げ、取り外す

バッテリーの充電

スクリーンのバッテリーインジケータがバッテリー残量の低下を示しているときは、バッテリーを充電してください。

バッテリーインジケータ

スクリーン左上のバッテリーインジケータで、現在のバッテリー残量を確認できます。

表示	バッテリーの状態
	バッテリー残量は十分です。
	バッテリー残量が低下しています。充電してください。
	バッテリーを充電中です。

電源を切っている場合のLEDインジケータ表示について

充電中はLEDインジケータが黄色で点滅します。充電が完了すると、緑色での点灯に変わります。

バッテリーを充電する

バッテリーの充電を行う前に必ず同梱の「安全および製品に関する情報」をよくお読みいただき、正しくお取り扱いください。

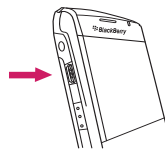
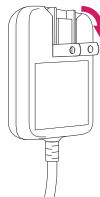
重要

・バッテリーの充電には、必ず同梱のACアダプターをご使用ください。
・長期間端末をご使用にならない場合は、バッテリーを外して保管してください。
・バッテリーが完全に放電している状態では、充電を開始してから端末が起動するまでに通常より長く時間がかかる場合があります。

おしらせ

・バッテリーの残量が少ないと、端末が起動していても通信が行えない場合があります。

ACアダプターを利用して充電する

1. ACアダプターのmicro USB端子を本端末の左側にあるmicro USBポートに接続する

2. ACアダプターの背面にあるプラグを倒す

3. ACアダプターのプラグをAC100ボルト（日本国内）のコンセントに差し込む

   バッテリーインジケータが充電中の表示になり、充電が開始されます。

4. バッテリーインジケータが になったら、ACアダプターをコンセントから抜き、本端末からケーブルを抜く

次ページにつづく

コンピュータと接続して充電する

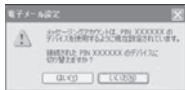
付属のmicro USBケーブルを使用して、お使いのコンピュータからバッテリーの充電をすることができます。

1 USBケーブルのmicro USB端子を本端末の左側にあるmicro USBポートへ接続し、USB端子をコンピュータに接続する

2 パスワードが設定されている場合は、「デバイスパスワードが必要です」と表示されるので、パスワードを入力して「OK」を選択

3 バッテリーインジケータが ▭ になったら、コンピュータからmicro USBケーブルを抜き、本端末からmicro USBケーブルを抜く

重要

BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合、お客様がご使用になられているコンピュータ以外(ご利用になるBlackBerry Enterprise Solutionのメールアカウントがセットアップされているコンピュータ以外)のコンピュータに接続して充電を行う場合、コンピュータに接続すると「電子メール設定画面」が表示されます。

「電子メール設定画面」では必ず「いいえ」を選択してください。

「はい」を選択すると、端末の切り替え作業が開始され、お使いの端末内にあるデータが失われますので、十分ご注意ください。

メディアカードの挿入

microSDカードを使用して、ビデオ、着信音、画像、曲などのメディアファイルの保存に使用可能なメモリを増やすことができます。

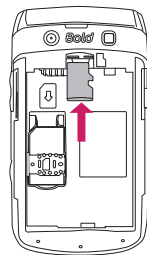
- 利用できるmicroSDカードは32GBまでとなります。

1 バッテリーカバー下方にスライドさせてバッテリーカバーを取り外す

2 microSDカードを、金属端子のある面が下になるように持つ

3 microSDカードをメディアカードスロットに挿入して、カチッと音がするまで押し込む

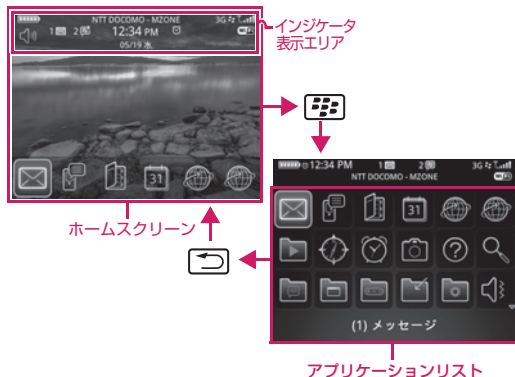
4 バッテリーカバー左右のツメを本体の両側の溝に合わせて取り付けてから、カバーの下部を押し込む

microSDカードを取り外すには、バッテリーカバーを取り外し、microSDカードをカチッと音がするまで押し込みます。microSDカードがスロットから出てきたら、まっすぐにゆっくりと引き抜きます。

重要

- ・microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管するようお願いします。
- ・データの保存中や削除中、使用状況確認中は、端末の電源を切ったり、microSDカードを取り外したりしないでください。

ディスプレイとアイコンの見かた

ディスプレイ

ホームスクリーンには、日時、端末の状態、操作や設定を行うためのアイコンなどが表示されます。

インジケータ表示エリア：ネットワークへの接続状態、各種設定状況など現在の端末の状態がアイコンで表示されます。

ホームスクリーン：アプリケーションのアイコンが配置され、で選択して起動することができます(P.21)。
で、アプリケーションリストを表示し、その他のアプリケーションを起動することができます(P.21)。
ホームスクリーンには、アプリケーションリストの左上から6つのアイコンが表示されます。アイコンを移動させて、任意のアイコンをホームスクリーンに表示することもできます(P.22)。

※ アイコンの配置は、テーマやユーザーの設定により異なります。

ネットワーク名表示

インジケータ表示エリアに表示されているネットワーク名は以下のとおりです。

接続	ネットワーク名表示
3G	ネットワーク名 +SIM (DOCOMO - NTT DOCOMO)
3G+Wi-Fi	ネットワーク名+SIM+Wi-Fiプロファイル名 (DOCOMO - NTT DOCOMO - Wi-Fiプロファイル名) <Wi-Fiプロファイル名が長い場合> SIM+Wi-Fiプロファイル名 (NTT DOCOMO - Wi-Fiプロファイル名)
Wi-Fi	Wi-Fiプロファイル名 (Wi-Fiプロファイル名)

※ ネットワーク名は画面の上段中央に表示されます。

アイコン

状態を示すアイコン

インジケータ表示エリアに表示される端末の状態を示すアイコンです。

名称	アイコン	説明
バッテリー残量インジケータ		バッテリー残量を表示(P.13)
サウンドプロファイルのインジケータ		現在設定されているサウンドプロファイルを表示(P.171)
メールのインジケータ	1	新着メールあり ・左側の数字は未読の件数
	1	未読メールあり ・左側の数字は未読の件数
	1	新着SMS(ショートメッセージサービス)あり ・左側の数字は未読の件数
	1	新着インスタントメッセージあり ・左側の数字は未読の件数

次ページにつづく

名称	アイコン	説明
メールのインジケータ		個人用カレンダーまたはBlackBerry Messengerのグループ共有カレンダーの予定時刻表示 ・左側の数字は未読の件数
		BlackBerry Messengerの新規グループ共有情報あり
アプリケーションのインジケータ		BlackBerry App Worldからダウンロードしたアプリケーションのアップデートあり ・左側の数字は未読の件数
留守番電話のインジケータ		留守番電話メッセージあり ・左側の数字は件数
不在着信のインジケータ		不在着信あり ・左側の数字は件数
アラーム設定インジケータ		アラーム設定中(P.134)
モバイルネットワーク種別のインジケータ	3G	通話、電子メール、PINメッセージ、SMSの送受信が可能 ※通話、電子メールの送受信またはブラウザを同時に使用できます。
	GPRS	通話、電子メール、PINメッセージ、SMSの送受信、およびブラウザの使用が可能
	3G	通話、およびSMSの送受信が可能
	3g	
	GSM	
	gprs	

名称	アイコン	説明
モバイルネットワークの接続状況インジケータ		電波受信状態を表示 (状況に応じてレベルが増減する)
	OFF	モバイルネットワーク接続がオフ
		モバイルネットワーク圏外
	SOS	緊急通話のみ可能 ※日本国内ではこの表示が出ても緊急通話はできません。
データ送信インジケータ		データ送信中
		データ受信中
ローミングインジケータ		ローミング中(P.211)
Bluetooth®インジケータ		Bluetooth®オン(P.164)
		Bluetooth®対応機器と通信中
Wi-Fiネットワークインジケータ	WiFi	Wi-Fiネットワーク接続オン (接続エリア外)
	WiFi+ Wi-Fiプロファイル名※	Wi-Fiネットワーク接続オン (BlackBerryサービスにアクセスしていない状態) ※Wi-Fiプロファイル名は画面の上段中央に表示されます。
	WiFi+ Wi-Fiプロファイル名※	Wi-Fiネットワーク接続オン (電子メール送受信、ブラウザをWi-Fi接続で利用可能) ※Wi-Fiプロファイル名は画面の上段中央に表示されます。

名称	アイコン	説明
文字入力インジケータ		漢字ひらがな入力モード（入力言語：日本語）
		全角カタカナ入力モード（入力言語：日本語）
		半角カタカナ入力モード（入力言語：日本語）
		全角英数入力モード（入力言語：日本語）
		半角英数入力モード（入力言語：日本語）
		半角英数入力モード（入力言語：English）
		Altモード
		Shiftモード
		ナンバーロックモード
暗号化インジケータ		ブラウザが通信中
		ブラウザがhttpsのサイトと通信中で、TLS／SSL通信が実行中

アプリケーションを示すアイコン

ホームスクリーンまたはアプリケーションリストに表示されるアプリケーションを示すアイコンです。

アイコンやフォルダの表示位置を変更したり、フォルダを作成したり編集したりできます。「アプリケーションリスト表示中に利用できる機能」→P.22

名称	アイコン	説明
エンタープライズアクティベーション		エンタープライズアクティベーション実行中に表示されます（P.34）。クリックしてエンタープライズアクティベーションの進行状況を確認することができます。エンタープライズアクティベーションが完了すると、アイコンは表示されなくなります。
メッセージ		メールを起動します。電子メールやSMS、PINメッセージの閲覧や送信ができます（P.38）。
メッセージ（追加メール）		メールを起動します。電子メールやSMS、PINメッセージの閲覧や送信ができます。BlackBerry Internet Serviceをご利用の端末で表示されるアイコンです（P.38）。
アドレス帳		アドレス帳を起動します（P.68）。
カレンダー		カレンダーを起動します（P.126）。

名称	アイコン	説明
ブラウザ／Internet Browser		ブラウザを起動します。ご利用のサービスによりアイコン名および起動するブラウザが異なります。詳しくは「利用できるブラウザについて」（P.88）をご覧ください。 BlackBerry Internet Browserを契約、もしくは、BlackBerry Enterprise SolutionおよびBlackBerry Internet Serviceを契約済みのFOMAカードを本端末に差し込みネットワーク接続をオンにすると、アイコンが2つ表示されます。
メディア		メディアを起動します（P.102）。
地図		地図を起動します（P.160）。
時計		時計を起動します（P.135）。
カメラ		カメラを起動します（P.118）。
SMS		SMSを起動して、SMSの閲覧や送信ができます（P.38）。
BlackBerry App World※		BlackBerry App Worldを起動します。各種アプリケーションのダウンロードができます。
Application Center※		Application Centerを起動します。RIM社おすすめアプリケーションとドコモおすすめアプリケーションのダウンロードができます。
ヘルプ		ヘルプを起動します（P.156）。
検索		検索を起動します（P.157）。

名称	アイコン	説明
インスタントメッセージ		インスタントメッセージを格納するフォルダです（P.76）。
アプリケーション		その他のアプリケーションを格納するフォルダです（P.19）。
ゲーム		ゲームを格納するフォルダです（P.20）。
ダウンロード		ダウンロードしたアプリケーションを格納するフォルダです（P.20）。
セットアップ		セットアップに関するアプリケーションを格納するフォルダです（P.20）。
サウンド		サウンドプロファイル設定を起動します（P.171）。
接続管理		接続状態を管理します（P.169）。
オプション		オプション設定をします（P.176）。
パスワードロック		端末をロックします（P.23）。※ご使用環境により表示される場合があります。
電源をオフ		電源をオフにします（P.21）。

※　BlackBerry Internet Serviceをご利用の場合のみ表示されます。ご利用時にはパケット通信が行われるため、パケット通信料金がかかります。

● インスタントメッセージ

名称	アイコン	説明
BlackBerry Messenger		BlackBerry Messengerを起動します(P.76)。
Google Talk		Google Talkのダウンロードサイトに接続します。
Windows Live Messenger		Windows Live^{TM} Messengerのダウンロードサイトに接続します。

● アプリケーション

アプリケーションフォルダの中のアイコンは、非表示になっている場合があります。非表示のアイコンを表示したり、表示されているアイコンを非表示に設定することができます(P.22)。

名称	アイコン	説明
メモ帳		メモ帳を起動します(P.140)。
タスク		タスクを起動します(P.144)。
電卓		電卓を起動します(P.153)。
Word To Go		Word To Goを起動します(P.148)。
Sheet To Go		Sheet To Goを起動します(P.148)。
Slideshow To Go		Slideshow To Goを起動します(P.148)。
ファイル		ファイルを管理します。

名称	アイコン	説明
ボイスコマンド		ボイスコマンドを起動します(P.150)。
パスワードキーパー		パスワードキーパーを起動します(P.154)。
保存済みメッセージ		保存済みメッセージを表示します(P.40)。
作成		メールを作成します(P.42)。
電話		電話を起動します(P.58)。

● メディア

名称	アイコン	説明
音楽		音楽リストやMedia Playerを起動します(P.102)。
ビデオ		ビデオリストやMedia Playerを起動します(P.102)。
画像		画像リストやカメラを起動します(P.102)。
着信音		着信音リストを表示し着信音に設定したり着信音をダウンロードします。
ボイスメモ		ボイスメモリストやボイスメモレコーダーを起動します(P.102)。
ビデオカメラ		ビデオカメラを起動します(P.121)。
ボイスメモレコーダー		ボイスメモレコーダーを起動します(P.110)。

次ページにつづく

● ゲーム

名称	アイコン	説明
BrickBreaker		BrickBreakerを起動します(P.159)。
Word Mole		Word Moleを起動します(P.159)。
Texas Hold'Em King 2		Texas Hold'Em King 2を起動します(P.159)。
Sudoku		Sudokuを起動します(P.159)。
Klondike		Klondikeを起動します(P.159)。

● ダウンロード(BlackBerry Internet Serviceをご利用の場合のみ表示)

名称	アイコン	説明
BlackBerry HELP!※		BlackBerryのサイトに接続し、情報を検索します。

※ 表示されるアイコンは、ご利用のサービスや、サービスご利用時期により異なります。

重要

アイコンによっては、選択するとアプリケーションをダウンロードするためのWebサイトに接続します。通信料がかかりますので、ご注意ください。

アプリケーションをダウンロード後はアプリケーションを起動するアイコンになり、Webサイトには接続されません。

● セットアップ

名称	アイコン	説明
セットアップウィザード		セットアップウィザードを表示します(P.32)。
Wi-Fiネットワーク設定		Wi-Fiネットワークを設定します(P.166)。
Email Settings		ドコモのサイトに接続し、BlackBerry Internet Serviceの電子メール設定をします(P.32)。
Bluetooth®を設定		Bluetooth®を設定します(P.164)。

LEDインジケータ

点滅色	説明
赤	新着のメール、メッセージ、SMSがあります。
黄	バッテリー残量が少なくなっています。電源を切っている場合は、充電時に点滅します。
緑	モバイルネットワーク圏内にいます。 ※「画面/キーボード」の「LED範囲インジケータ」(P.195)が「オフ」の場合は点滅しません。
青	Bluetooth® 通信中です。 ※Bluetooth®のオプション設定の「LED接続インジケータ」(P.178)が「オフ」の場合は点滅しません。

基本操作

電源の入れかたや文字入力など、端末を正しくお使いいただくための基本操作を説明します。

各機能の詳細な説明や手順は各機能の項目を参照してください。

端末の基本操作

電源を入れる

1 [電源キー]を押す

ホームスクリーンが表示され、起動が完了します。

FOMAカードを装着し、はじめて電源を入れた場合は起動に時間がかかる場合があります。

おしらせ

・装着するバッテリーに残量がある場合、バッテリーを装着すると自動的に電源がオンになります。電源がオンにならない場合はバッテリーの充電を行います。「バッテリーの取り付け・取り外し」→P.12

電源を切る

1 [電源キー]を押したままにする

「デバイスをオフにしています」が表示され、終了処理ののち電源が切れます。終了処理中でも任意のキーを押すと、処理を中断し、元の状態に戻ります。

● ホームスクリーンから電源をオフにする場合

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→「電源をオフ」

「デバイスをオフにしています」が表示され、終了処理ののち電源が切れます。終了処理中でも任意のキーを押すと、処理を中断し、元の状態に戻ります。

■ 自動オン/オフ(P.196)やアラーム(P.134)が設定されている場合

→「デバイスをオンにする日時:」画面で「オフにする」/「完全に電源オフ」を選択

・オフにする:指定した時刻、またはアラームやカレンダーアラームの時刻に端末の電源を入れる場合に選択します。自動で電源が入る時刻が表示されます。

・完全に電源オフ:自動オン/オフやアラームの設定にかかわらず、完全に電源を切る場合に選択します。

端末をリセットする

本端末をリセットする場合は、以下のどちらかの操作を行ってください。

■ バッテリーを一度外してから取り付ける

電源のON/OFFでは完全にハードリセットされません。電池を一度外してから取り付けると、赤いLEDインジケータが点灯して自動的に起動しますので、2、3分程度お待ちください。

バッテリーの取り付け、取り外しは「バッテリーの取り付け・取り外し」(P.12)を参照してください。

■ 「Altキー」+「文字キー」+「Deleteキー」を3秒以上長押しする

赤いLEDインジケータが点灯し再起動します。

※ 入力言語がEnglishに設定されている場合のみ有効です。

アプリケーションを起動する

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→起動するアプリケーションをフォーカス→[トラックパッド]を押す

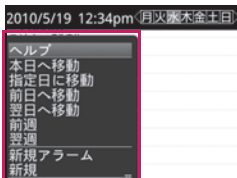
おしらせ

・ホームスクリーンに起動するアプリケーションのアイコンが表示されている場合は、ホームスクリーンで起動するアプリケーションをフォーカス→□を押して起動できます。

メニューの表示

1 アプリケーション起動中に[メニュー]

実行可能なメニューが表示されます。

表示されるメニューは、実行中のアプリケーションにより異なります。

2 実行する項目を選択

■ メニューを閉じる／前のメニューに戻る場合
→[戻る]

おしらせ

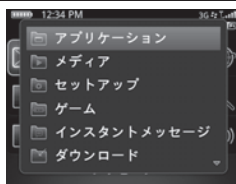
・ご利用のアプリケーションによっては、□を押すと、使用頻度の高いメニューのみが簡易メニューとして表示されます。すべてのメニューを表示する場合は、「フルメニュー」を選択するか、[メニュー]を押してください（本書では、[メニュー]を押す手順をもとに説明しています）。

● アプリケーションリスト表示中に利用できる機能

アプリケーションリストのアイコンやフォルダは、表示する位置を変更したり、非表示にすることができます。

アイコンやフォルダをフォーカス中→[メニュー]で以下の機能が利用できます。

移動……アイコンやフォルダの表示位置を移動します。

フォルダに移動……アイコンを選択したフォルダ内に移動します。

非表示……アイコンやフォルダを非表示にします。
チェックを付けるとアイコンがグレーに変わります（完全に非表示にするには、「すべてを表示」のチェックを外してください）。
チェックを外すと通常の表示に戻ります。

削除……フォルダを選択した場合：フォルダが削除され、フォルダ内のアイコンがアプリケーションリストに移動します。
アイコンを選択した場合：アプリケーションがアンインストールされます（削除できないアイコンもあります）。

すべてを表示……すべてのアイコンを表示します。
チェックを付けると非表示に設定したアイコンがグレーで表示されます。
チェックを外すと非表示に設定したアイコンは表示されません。

オプション……ホームスクリーンの背景やレイアウトの変更ができます。

フォルダ作成……フォルダを作成します。
名前を入力→アイコンを選択（アイコンフィールドを選択して、□を押すとフォルダのデザインを選択できるようになる）→「追加」

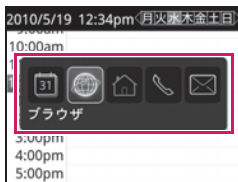
フォルダ編集……フォルダ名やアイコンの表示を変更します。

アプリケーション切り替え→P.23

アプリケーションを切り替える

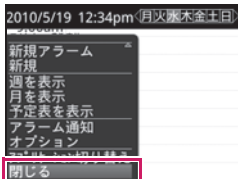
1 アプリケーション起動中に[BlackBerryキー]→「アプリケーション切り替え」

アプリケーションスイッチャーが表示されます。

2 アプリケーションを選択

> **おしらせ**
> ・次の手順でアプリケーションを切り替えることもできます。
> Alt キーを押しながら[戻るキー]→アプリケーションを反転→Alt キーを離す

アプリケーションを終了する

1 アプリケーション起動中に[BlackBerryキー]→「閉じる」

アプリケーションが終了し、ホームスクリーンまたはアプリケーションリスト表示に戻ります。

> **おしらせ**
> ・アプリケーションを終了させずに、他のアプリケーションへの切り替えやホームスクリーンの表示を行った場合は、次に起動したときに前回表示していた画面が表示されます。

ディスプレイの照度調整

1 ホームスクリーンで[BlackBerryキー]→「オプション」→「画面/キーボード」

画面/キーボード画面が表示されます。

2 「バックライトの明るさ」を設定

3 [BlackBerryキー]→「保存」

ロック

トラックパッドやキーの誤動作を防止したり、他の人が端末を使用できないようにするために、2種類の方法でロックすることができます。

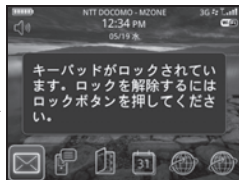
- キーパッドロック:トラックパッドやキーをロックして、キーボードの誤動作を防止します。キー操作でロックを解除できます。
- パスワードロック:端末をロックし、キーボードの誤動作や他の人に使用されることを防止します。パスワードを入力しないとロックを解除できません。デバイスロック中でも、電話の着信、メッセージの受信はご利用になれます。

●キーパッドロックの設定と解除

1 本体の左上部のロックキーを押す

キーパッドロックが有効になります。

■ キーパッドロックを解除する場合

本体の左上部のロックキーを押します。

● パスワードロックの設定と解除

1 パスワードを「有効」に設定している状態で、ホームスクリーンで →「パスワードロック」

パスワードロックが有効になります。また、一定時間操作しないと、パスワードロック状態になります。

■ パスワードロックを解除する場合

パスワードロック中に 、、、、、記号キーのどれかを押すと、画面にメニューが表示されます。

→「ロック解除」→パスワードを入力→ を押す

おしらせ

・パスワード(P.191)で設定した試行回数を超過して誤ったパスワードを入力すると、端末情報が初期化されます。初期化された場合は、もう一度セットアップウィザードから端末の設定を行う必要があります。定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

通信のオン／オフ

病院や公共の場所などで端末の電源を切る必要がある場合、電源を切らなくてもモバイルネットワーク、Wi-Fi、Bluetooth®の無線の送受信を停止することができます。

1 ホームスクリーンで →「接続管理」

2 「すべての接続をオフ」でオフにする接続のチェックを外す

ホームスクリーンに戻る

アプリケーションの使用中に他のアプリケーションを使用するなど、ホームスクリーンへ戻る場合に次の方法で戻ることができます。

1 アプリケーション起動中に

アプリケーションが終了し、ホームスクリーンまたはアプリケーションリスト表示に戻ります。

おしらせ

・アプリケーション起動中に →「アプリケーション切り替え」→アプリケーションスイッチャーの「ホームスクリーン」でホームスクリーンに戻ることもできます。

文字入力

文字入力を行うには、キーボードと、、 を使用します。各キーの配置は「各部の名称と機能」（P.10）を参照してください。

主なキーの基本的な役割を次に示します。

キー	役割
をスライド	カーソルの移動やスクロール、入力した文字の変換候補の選択
を押す	入力した文字の変換候補の決定
	入力した文字の変換候補の消去
Deleteキー	カーソルの前の文字を削除
Enterキー	入力した文字の変換候補の決定、入力文字の確定、改行
Altキー	Altモードに切り替え
Shiftキー	Shiftモードに切り替え
スペースキー	変換候補の表示、スペースの入力
記号キー	記号入力の候補を表示
文字キー	入力モードの切り替え

入力モードの変更

● 入力に使用するモードを設定する

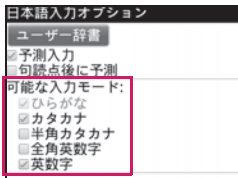
入力言語が日本語の場合に使用できる入力モードを、次の方法で変更できます。

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→「オプション」→「言語」

言語画面（P.195）が表示されます。

2 「入力言語」フィールドを「日本語（Japan）」に設定→「テキスト入力オプションを表示」

日本語入力オプション画面が表示されます。

日本語入力オプション
ユーザー辞書
☑予測入力
☐句読点後に予測
可能な入力モード:
☑ひらがな
☑カタカナ
☐半角カタカナ
☐全角英数字
☑英数字

3 「可能な入力モード：」フィールドの使用するモードにチェックを付ける

- ・ひらがな　：[あ]漢字ひらがな入力モードが使用可能になります。
- ・カタカナ　：[カ]全角カタカナ入力モードが使用可能になります。
- ・半角カタカナ：[ｶ]半角カタカナ入力モードが使用可能になります。
- ・全角英数字：[A]全角英数入力モードが使用可能になります。
- ・英数字　：[A]半角英数入力モードが使用可能になります。

4 [メニューキー]→「保存」

● 入力モードを切り替える

1 文字キーを押す

文字キーを押すごとに使用できる入力モードが切り替わります。

入力言語	モードの切り替わりかた
English	半角英数入力モード（[EN]）←→Shiftモード（[aA]）
日本語	漢字ひらがな入力モード（[あ]）→全角カタカナ入力モード（[カ]）→半角カタカナ入力モード（[ｶ]）→全角英数入力モード（[A]）→半角英数入力モード（[A]）→（漢字ひらがな入力モードへ戻る） ※「可能な入力モード：」フィールドにすべてチェックが付いている場合

選択したモードはディスプレイ右上にアイコンで表示されます。

「文字入力インジケータ」→P.17

文字を入力する

● 漢字ひらがな入力モードで入力する

ローマ字入力で日本語を入力できます。

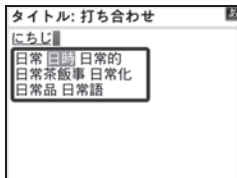
1 文字キーで[あ]にする

2 キーボードで文字を入力

3 [トラックパッド]またはEnterキーを押す

ひらがながそのまま確定されます。

■ 漢字やカタカナに変換する場合

・文字入力中に表示されている予測変換候補から◻で選択します（◻で反転してEnterキーで確定することもできます）。

・スペースキーを押して変換候補を表示して選択します。スペースキーを押し続けるか、または◻で候補を表示し、◻かEnterキーで確定します。

おしらせ

・変換候補は◻と◻で選択することもできます。

4 助詞や接続詞、句読点などの次候補を選択

■ 次候補を無視する場合は

→◻

おしらせ

・本端末には入力変換学習機能が備わっています。多用する文字を学習して優先的に変換候補の上位に表示します。

●数字、代替文字を入力する

■ 文字単位で数字／代替文字を入力する

代替文字とは、キーの上側に表示された記号のことです。

1 Altキーを押す

Altモード（alt）になります。

2 キーを押す

おしらせ

・漢字ひらがな入力モード（あ）、全角カタカナ入力モード（カ）、半角カタカナ入力モード（ｶ）の場合は、スペースキーで全角または半角を選択できます。

・全角英数入力モード（Ａ）の場合は半角に変換できません。また、半角英数入力モード（A）の場合は全角に変換できません。

・続けて数字を入力する場合はAltキーを押しながら入力します。

■ 数字／キーボードの記号のみを入力する

1 Altキー→Shiftキー

ナンバーロックモード（123）になります。

入力モードを切り替えるか、AltキーかShiftキーを押すと解除されます。

●英大文字を入力する

■ 文字単位で英大文字を入力する

1 Shiftキーを押す

Shiftモード（⇧aA）になります。

2 キーを押す

おしらせ

・半角英数入力モードでは、大文字にしたいキーを押したままにして大文字を表示することもできます。

・続けて英大文字を入力する場合はShiftキーを押しながら入力します。

記号を入力する

1 記号キーを押す

・次ページに移動：記号キーを押す

・前ページに移動：Altキーを押して記号キーを押す

2 入力する記号を▢で選択

対応するキーを押しても選択できます。

■ リストにない日本語の記号を入力する場合

文字コードフィールドに文字コードを入力します。

おしらせ

・文字コードフィールドで入力する文字コードのエンコーディングを切り替えるには、文字エンコーディングを選択して切り替えます。本端末は「Shift-JIS」と「区点」の日本語エンコーディングに対応しています。

・入力言語がEnglishに設定されている場合は、文字エンコーディング、文字コードフィールドは表示されません。

アクセント記号と特殊文字を入力する

1 任意のキーを押したまま▢をスライドする

アクセント記号や特殊文字の候補が表示されます（入力言語が日本語に設定されている場合は、予測変換候補が表示されます）。

アクセント記号付文字や特殊文字がない場合は、大文字と小文字が切り替わります。

おしらせ

・漢字ひらがな入力モード（あ）、全角カタカナ入力モード（カ）、半角カタカナ入力モード（ｶ）の場合は、使用できません。

・アクセント記号付文字などは入力モードが全角英数入力モード（A）の場合でも、1バイトとなる場合があります。

テキストを選択する

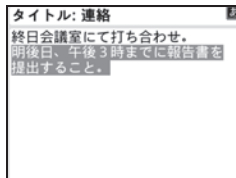
● 行単位で選択する

1 選択する行の先頭または行末にカーソルを合わせる→ ⊞

利用できる機能がメニューに表示されます。

2 「選択」を選択

3 ▢を上下にスライドして範囲を選択

選択された行は反転表示されます。

● 文字単位で選択する

1 選択する行の先頭または行末にカーソルを合わせる→ ⊞

利用できる機能がメニューに表示されます。

2 「選択」を選択

3 ▢を左右にスライドして文字を選択

選択された箇所は反転表示されます。

おしらせ

・選択した範囲をコピー／切り取って、貼り付ける場合は⊞→「コピー」／「切り取り」→貼り付け先で▢を押す→「貼り付け」

・テキストを選択し⊞→「選択をキャンセル」で選択箇所をキャンセルできます。

入力した文字を削除する

1 削除するフィールドで[BlackBerry]

2「フィールドをクリア」

「フィールドのコンテンツをクリアしますか？」と表示されます。

3「クリア」を選択

入力言語を切り替える

1 入力中に[BlackBerry]→「入力言語変更」→言語を選択

選択した入力言語が反映されます。

おしらせ

・入力言語は、アプリケーションリストで「オプション」→「言語」→「入力言語」(P.195)で切り替えることができます。
・「オプション」-「言語」-「入力言語のショートカットを使用:」フィールド(P.195)が「Alt - Enter」、または「Shift - Space」に設定されている場合は、入力中にAltキーを押しながらEnterキー、またはShift キーを押しながらスペースキーで切り替えることができます。

定型文

よく使う言葉があらかじめ定型文として登録されています。文字入力の際に呼び出して入力できます。

あらかじめ登録されている定型文以外に、自分で新しく登録することもできます。

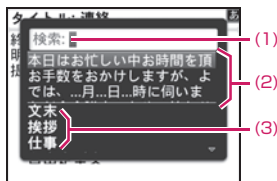
おしらせ

・定型文は日本語入力中のみ利用できます。

●定型文を入力する

1 入力フィールドで[BlackBerry]→「定型文リスト <Alt+Sym>」

定型文リストが表示されます。

入力フィールドでAltキーを押しながら記号キーを押しても表示できます。

	説明
(1)	定型文を検索できます。
(2)	最近入力した定型文が表示されます。
(3)	フィルタ別に定型文が表示されます。

2 入力する定型文を選択

選択した定型文が入力されます。

●定型文を登録する

1 定型文リストで[BlackBerry]→「新規」

2 登録するフレーズと読みを入力→カテゴリを選択→[□]を押す

●定型文を編集する

1 定型文リストで編集する定型文を反転→[BlackBerry]→「編集」

2 定型文を編集→[□]を押す

●定型文を削除する

1 定型文リストで削除する定型文を反転→[BlackBerry]→「削除」

AutoText

AutoTextは、あらかじめ登録してある文字を入力した場合、それに対して登録されている文字に置き換えるオプション機能です。また、ユーザーによる新規登録、編集、削除ができます。

新規登録、編集、削除については「AutoText」（P.176）を参照してください。

おしらせ

- AutoTextは英語モード（「オプション」→「言語」→「入力言語」→「English」選択時）のときのみ設定いただけます。ただし入力言語が日本語でも、半角英数入力モードの場合は、AutoTextの機能をご利用いただけます。

● AutoText機能を使う

1 入力フィールドで、AutoTextにあらかじめ登録した文字を入力

2 スペースキーを押す

登録されている文字が入力されます。

たとえば、置換する文字列：sp、置換後の文字列：Smartphoneと登録している場合、入力フィールドにspと入力してスペースキーを押すと、Smartphoneに自動的に変換されて入力されます。

■ 変更を元に戻す場合
→Deleteキーを2回押す

スペルチェック

入力言語がEnglishなどの英数字で入力する場合に、スペルチェック機能が利用できます。

スペルチェックの設定については「スペルチェック」（P.182）を参照してください。

おしらせ

- スペルチェックは日本語や、スペルチェックに対応していない言語の場合は利用できません。メニューも表示されません。

● スペルチェック機能を使う

端末が認識できない単語には入力中に下線が表示されます。次の手順でスペルチェックを行い、正しいつづりに修正することができます。

1 入力フィールドで［メニューキー］→「スペルチェック」

スペルミスがある場合は、該当する単語の修正候補が表示されます。

2 正しい単語を選択

選択した単語に置き換わります。

■ 候補に該当する単語がない場合
→［戻るキー］

■ スペルチェックで利用できる機能

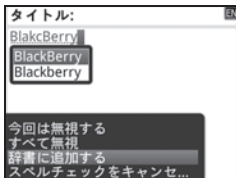
スペルチェック実行中→［メニューキー］で以下の機能が利用できます。

今回は無視する……今回のみ候補を無視します。

すべて無視……すべての候補を無視します。

辞書に追加する※……対象の単語を辞書に登録します。

スペルチェックをキャンセルする……実行中のスペルチェックを停止します。

※ 辞書機能は入力言語が「English」などの英数字入力の場合に使用できます。

セットアップ

はじめて電源をオンにしたときは、ソフトウェアの使用許諾に関する画面が表示されます。内容をよくお読みになり、同意する場合は「OK」を選択します。

その後、初期設定画面（セットアップウィザードの一部）が自動的に起動され、初期設定を行います。

初期設定を行う前の確認事項

初期設定を行う前に以下の事項を確認してください。

バッテリー残量

バッテリーインジケータを確認し、バッテリー残量が十分であることを確認します。バッテリー残量が不足している場合は、十分に充電してから初期設定を行ってください。

「バッテリーを充電する」→P.13

エンタープライズアクティベーションに必要な情報

BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、エンタープライズアクティベーション（P.34）を実施する必要があります。詳しい手順はシステム管理者に確認し、その指示に従ってください。

電波状況を確認する

BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様がワイヤレス接続でエンタープライズアクティベーションを行う場合、電波状況が悪いとエラーが発生する恐れがあります。電波状況の良い場所で、エンタープライズアクティベーションを行ってください。

デバイスの切り替えについて

BlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様で、ほかのモデルのBlackBerryスマートフォンからBlackBerry Bold 9700スマートフォンに機種変更された場合は、デバイスの切り替えが必要になります。デバイスの切り替えについては、『ブラックベリーインターネットサービス ご利用ガイド』をご覧ください。

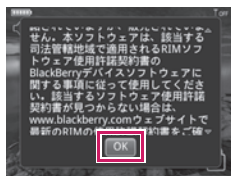
初期設定

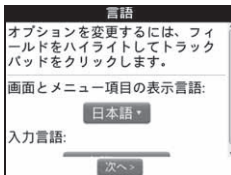
初期設定では、表示や入力に利用する言語、現在の日付や時刻などを設定します。また、本端末の基本的な操作や文字入力方法などを、チュートリアル方式で説明します。

初期設定が完了するとセットアップウィザード画面が表示され、メールやWi-Fiネットワークの設定などができるようになります。

セットアップウィザードは、初期設定後も起動することができます。「セットアップウィザードの起動」→P.32

1 ソフトウェア使用承諾に関する画面で、「OK」を選択

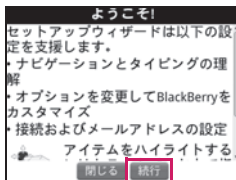
言語画面が表示されます。

2 言語画面で、以下の項目を設定し、設定が完了したら「次へ」を選択

ようこそ！画面が表示されます。

画面とメニュー項目の表示言語……画面とメニュー項目の表示に使用する言語を選択します。
入力言語……入力に使用する言語を選択します。

おしらせ

- 初期設定が完了した後にセットアップウィザードの「言語」を選択して言語の再設定を行う場合や、ソフトウェア更新後の初期設定では、操作3を行った後に「言語の削除」画面が表示されます。不要な言語があれば左側のチェックボックスをオフにして「完了」を選択してください。
- 言語の削除を行っても、一部の入力言語は端末に残ります。これらの言語を完全に削除するには、BlackBerry Desktop Managerが必要になります。詳しくは、「アプリケーションの追加と削除」(P.230)をご覧ください。

3 ようこそ！画面で「続行」を選択

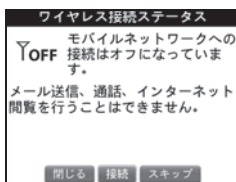
■ セットアップウィザードを終了する場合
→「閉じる」→「OK」

おしらせ

- セットアップウィザードの途中で初期設定をキャンセルし、セットアップウィザードを終了する場合は、画面下部の「閉じる」を選択します。途中でキャンセルしても、セットアップウィザードを再起動して(P.32)再設定することができます。

4 ワイヤレス接続ステータス画面で「接続」を選択

モバイルネットワークへの接続が開始されます。

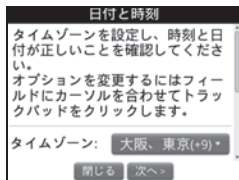
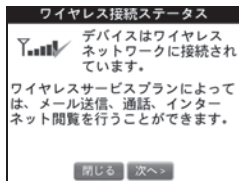
■ 1つ前の画面に戻る場合
→「戻る」

■ モバイルネットワークに接続せずにセットアップウィザードを続ける(操作6へ移行する)場合
→「スキップ」

おしらせ

- モバイルネットワークの接続がオンになっている場合は、ワイヤレス接続ステータス画面は表示されません。操作6に進んでください。
- セットアップウィザードの途中で1つ前の設定画面に戻りたい場合は、「戻る」を選択します。

5 画面に「デバイスはワイヤレスネットワークに接続されています。」と表示されたら、「次へ」を選択

日付と時刻画面が表示されます。

6 日付と時刻画面で、以下の項目を設定

タイムゾーン……時間と日付を設定する時間帯域(国、都市)を設定します。

タイムゾーンの自動更新……移動中にタイムゾーンを越えた場合、自動で新しいタイムゾーンの時刻に更新します。

時刻設定……自動または手動を選択します。自動を選択すると、ネットワークから日時を取得します。手動を選択した場合は、時刻／日付を手動で設定します。

時刻……時刻を設定します。

日付……日付を設定します。

時刻の形式……デジタル表示のときに表示する形式(12時間表示／24時間表示)を設定します。

ネットワーク時刻……ネットワークから取得した時刻が表示されます。

ネットワーク日付……ネットワークから取得した日付が表示されます。

次ページにつづく

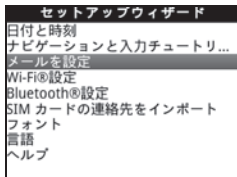
7「次へ」を選択

ナビゲーションが表示されます。ナビゲーションでは、本端末の基本的な操作方法や文字の入力方法などを、チュートリアル方式で説明します。ナビゲーション、チュートリアルは次の順で進みます。

トラックパッドとメニューキーの説明→エスケープキーの説明→DeleteキーやShiftキーなどの説明→記号や数字の入力方法の説明

8 ナビゲーションの各画面で「次へ」を選択

セットアップウィザード画面が表示されます。

- **■ もう一度、日付や時刻を設定する場合**
  →「日付と時刻」(P.31)
- **■ もう一度、本端末の基本操作や文字入力方法などのチュートリアルを見る場合**
  →「ナビゲーションと入力チュートリアル」(P.32)
- **■ メールの設定を行う場合**
  →「メールを設定」(P.32)
- **■ Wi-Fi、Bluetooth®の設定を行う場合**
  →「ネットワークの設定(接続管理)」(P.169)
- **■ FOMAカードに登録されている連絡先を本端末にコピーする場合**
  →「FOMAカードに登録されている連絡先をコピーする」(P.33)
- **■ フォントを設定する場合**
  →「フォントを設定する」(P.33)
- **■ もう一度、表示言語や入力言語の設定を行う場合**
  →「言語」(P.30)
- **■ ヘルプを利用する場合**
  →「ヘルプを利用する」(P.33)

セットアップウィザードの起動

セットアップウィザードは、いつでも起動することができます。設定を変更したい場合は、セットアップウィザードを起動させ、変更したい項目を選択します。

1 ホームスクリーンで[BlackBerryキー]→「セットアップ」→「セットアップウィザード」

セットアップウィザード画面(P.32)が表示されます。

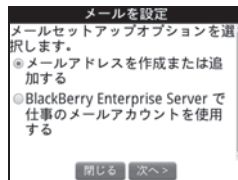
2 設定したい項目を選択

メールのセットアップ

本端末で、電子メールの送受信ができるように設定します。

BlackBerry Internet Serviceをご利用の場合

1 セットアップウィザード画面（P.32）で「メールを設定」を選択

メールのセットアップ画面が表示されます。

2「メールアドレスを作成または追加する」→「次へ」

以降の操作については、『ブラックベリーインターネットサービスご利用ガイド』をご覧ください。

BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合

BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合は、エンタープライズアクティベーションにてメールのセットアップを行います。詳しくは、「エンタープライズアクティベーション」(P.34)をご覧ください。

Wi-Fi設定、Bluetooth®設定

Wi-Fi設定、およびBluetooth®設定については、「ネットワークの設定（接続管理）」（P.169）をご覧ください。

FOMAカードに登録されている連絡先をコピーする

FOMAカードに登録されている連絡先を、本端末のアドレス帳にコピーすることができます。

1 セットアップウィザード画面（P.32）で「SIMカードの連絡先をインポート」を選択

2 SIMカードの連絡先をインポート画面で、「はい」を選択

FOMAカードに登録されている連絡先が、アドレス帳にコピーされます。

フォントを設定する

画面に表示するフォントを設定します。

1 セットアップウィザード画面(P.32)で「フォント」を選択

フォント画面が表示されます。

2 フォント画面で、以下の項目を設定

フォントファミリー[※1]……通常使用するフォントファミリーを設定します。

フォントサイズ……通常使用するフォントサイズを、5～14の間で設定します。

フォントスタイル……通常使用するフォントスタイルを、標準、太字、極太、イタリック太字、イタリックの中から設定します。

フォントスムージング処理[※2]……スムージング処理を行う(オン)か、行わない(オフ)か設定します。

プレビュー……設定した内容で文字を表示します。

※1 フォントファミリーをBBJapaneseまたはBBJapanese Gothic以外に設定した場合、日本語が正しく表示されないことがあります。
※2 選択したフォントによっては表示されません。

3 プレビューの内容を確認し、「完了」を選択

■ 設定内容を保存して終了する場合
→「保存」

■ 設定内容を破棄する場合
→「破棄」

■ 設定画面に戻る場合
→「キャンセル」

ヘルプを利用する

本端末の使用方法や便利なヒントについて知りたいときに、BlackBerryホームページ（mobile.blackberry.com）やオンラインヘルプで、情報を確認することができます。

1 セットアップウィザード画面（P.32）で「ヘルプ」を選択

ヘルプ画面が表示されます。

■ BlackBerryのホームページを表示する場合
→ 「mobile.blackberry.com」(BlackBerryホームページへのリンク)を選択

■ ヘルプを表示する場合
→ 「ヘルプ」(ヘルプへのリンク)を選択

オンラインヘルプについては、「ヘルプ機能」(P.156)をご覧ください。

次ページにつづく

エンタープライズアクティベーション

エンタープライズアクティベーションの方法は企業によって異なります。詳しい手順はシステム管理者に確認し、その指示に従ってください。

エンタープライズアクティベーションとは

お客様の端末をBlackBerry Enterprise Serverに接続して認証を行い、機能を有効化する（アクティブにする）作業を指します。BlackBerry Enterprise Solutionをご契約の場合は、必ずエンタープライズアクティベーションを行ってください。

ポケットの使いかた

ポケットに本端末を装着する場合、端末のキーボードが下に、スクリーンが上になるようポケットに入れます。

本端末を付属品のポケット※に装着すると、自動的にディスプレイのバックライトが消えて電力の消費を抑えることができます。そのほかにも、ポケットをご使用の場合は以下の機能をご利用になれます。

※ 各メニューには「ホルスター」と表示されています。

通話の自動終了、および自動応答

本端末を付属のポケットから外した（または戻した）ときに、自動で電話に応答する（または終了する）ことができます。自動で応答（または終了）するには、電話の「全般オプション」で設定をする必要があります。詳しくは「オプション設定」（P.65）をご覧ください。

プロファイル設定

ポケットに装着しているときのプロファイル（着信音やバイブレーションの設定）を、個別に設定することができます。詳しくは「サウンドプロファイルの設定項目」（P.175）をご覧ください。

端末のロック

キーパッドロックを有効にした状態で本端末をポケットに装着し、外した場合キーパッドロックは解除されます。キーパッドロックについては、「ロック」(P.23) をご覧ください。

パスワードを有効にしている場合、ポケットに装着したときに、自動的に本端末をロックすることができます。詳しくは「パスワード」（P.191）をご覧ください。

メモリクリーニング

本端末の一時メモリに保存されているデータを、ポケットに装着したときに自動的に消去することができます。本機能の詳細や設定手順など詳しくは、「メモリクリーニング」（P.188）をご覧ください。

重要

ポケットには磁石が組み込まれています。クレジットカードやホテルのカードキーなど、磁気帯のあるものは、近くに置かないよう十分にご注意ください。磁気帯に記録されたデータが損傷または消去される可能性があります。

BlackBerryのソフトウェアを更新する

本端末のソフトウェアを更新するには、2通りの方法があります。

1つは、ワイヤレスネットワーク経由での確認・更新する方法、もう1つはBlackBerry Desktop Managerを利用する方法です。

ワイヤレスネットワーク経由での方法については「ワイヤレス更新」（P.200）を、BlackBerry Desktop Managerを利用する方法については「デバイスソフトウェア」（P.223）をご覧ください。

自分の電話番号を確認する

自分の電話番号を確認するには、ホームスクリーンで[通話キー]を押します。

電話画面が表示され、画面上部に「自局番号」が表示されます。

※ 電話の「全般オプション」で設定をする必要があります。
詳しくは「オプション設定」(P.65)をご覧ください。

カスタマイズ

ホームスクリーンの壁紙および、表示レイアウトをカスタマイズすることができます。

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→[メニューキー]→「オプション」

ホームスクリーン設定画面が表示されます。

2 設定する項目を選択

以下の項目が設定できます。

壁紙……ホームスクリーンの壁紙を変更します。

レイアウト……ホームスクリーンのレイアウトを変更します。

ダウンロードフォルダ……ダウンロードフォルダを設定します。

テーマのデフォルト……「壁紙」、「レイアウト」、「ダウンロードフォルダ」の設定をデフォルトに戻します。

3 [メニューキー]→「保存」

おしらせ

・オプション画面→「テーマ」でもホームスクリーンをカスタマイズすることができます。「テーマ」→P.190

メール

BlackBerryのメール機能

本端末では、電子メール、PINメッセージ、SMS（ショートメッセージサービス）をご利用いただけます。

ホームスクリーンのアイコン表示

BlackBerry® Enterprise Solutionをご利用のお客様とBlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様ではホームスクリーンのアイコン表示が異なります。アイコン表示について→P.17

BlackBerry Enterprise Solution

ホームスクリーン上に表示されるメッセージアイコンは1つのみです。メールに関するすべての操作はここから始めます。

BlackBerry Internet Service

BlackBerry Internet Serviceをご利用の場合は、最大10個のインターネットサービスプロバイダのメールアカウントと1個のBlackBerry専用アカウント（XXXXX@docomo.blackberry.com）を登録することができます。登録したアカウントのアイコン以外に、すべてのアカウントのメールが表示されるアイコンが表示されます。BlackBerry Enterprise SolutionとBlackBerry Internet Serviceの両方をご利用の場合も、複数のアイコンが表示されます。

※1 オプションの「受信ボックス設定」によって表示するメールを設定することができます。「受信ボックス設定」→P.51

※2 オプション設定によってアイコンの表示／非表示を設定することができます。

メール（電子メール／PINメッセージ／SMS）の基本操作

メッセージリスト画面について

1 ホームスクリーンで[BlackBerryキー]→「メッセージ」もしくは「SMS」

メッセージリスト画面が表示されます。

メッセージリスト画面のアイコン表示

アイコン	説明
（黄色）	未開封の電子メール／PINメッセージ

アイコン	説明
(黄色)	添付ファイル付の未開封電子メール／PINメッセージ
(白色)	開封済みの電子メール／PINメッセージ
(白色)	添付ファイル付の開封済み電子メール／PINメッセージ
(黄色)	未開封のSMS
(白色)	開封済みのSMS
	メッセンジャーグループからの連絡
(黄色)	未開封の会議出席依頼メール※1
(白色)	開封済みの会議出席依頼メール※1
	送信したメール
(緑色)	下書き保存された電子メール／PINメッセージ
(緑色)	下書き保存されたSMS
(赤色)	重要度“高”のメール
(青色)	重要度“低”のメール
(黄色)	ブラウザで保存したWebページ(未開封)※2
(白色)	ブラウザで保存したWebページ(開封済み)※2

※1 カレンダー機能で会議出席依頼メールを送信／受信したときに表示されます。「会議の予定をたてる」→P.129

※2 受信メールではありません。「Webページをメッセージリストに保存する」→P.94

おしらせ

・SMSメッセージをメッセージリストに表示するには、受信ボックスの設定を行います。「受信ボックス設定」→P.51

メッセージリスト画面で利用できる機能

メッセージリスト画面→[メニュー]で以下の機能が利用できます。

電子メール／PINメッセージ／SMSや反転しているフィールドによって、利用できる機能が異なります。

ヘルプ→P.156

この日の分まで開封……反転した日付以前のメールをすべて開封済みの状態にします。

この日の分まで削除……反転した日付以前のメールをすべて削除します。本機能でメールを削除しても、同期しているコンピュータのメールソフト上のメールは削除されません。

開く、チャットを開く……選択しているアイテムを開封します。

フォルダへ移動※……メールをフォルダに移動します。

開封済みにする、未開封にする……未開封のメールを開封済みの状態に、開封済みのメールを未開封の状態にします。

保存……メールを保存します。メールを保存すると、データが移動したりメッセージリストから消えることはありません。

返信……「電子メール／PINメッセージ／SMSに返信する」→P.46

転送……「電子メール／PINメッセージ／SMSを転送する」→P.46

形式を変更して転送……「電子メール／PINメッセージ／SMSを転送する」→P.46

全員に返信……「電子メール／PINメッセージ／SMSに返信する」→P.46

再送信……送信に失敗したメールや送信済みのメールを再送信します。

削除……選択しているアイテムを削除します。複数のメッセージを選択する場合はShiftキーを押しながら[トラックパッド]で選択します。同期しているコンピュータのメールソフト上のメールを削除するかどうかは、メッセージリスト画面→[メニュー]→「オプション」→「メールの更新」→「削除対象」で設定できます。→P.55

フラグを追加……メールにフラグを追加します。

フラグのプロパティ……メールのフラグを変更します。

フラグを削除……メールのフラグを削除します。

メールを作成……「電子メールを作成して送信する」→P.42

PINメッセージの作成……「PINメッセージを作成して送信する」→P.44

SMSを作成……「SMSを作成して送信する」→P.45

インスタントメッセージ→P.75

検索→P.157

この宛先で検索、この送信者で検索、この件名で検索……反転したメールの宛先、送信者、件名に合致するメールを検索します。[戻る]でメッセージリスト画面に戻ります。

フォルダを表示……SMSの送受信、ブラウザ、電話の通話記録などのフォルダを表示します。フォルダの中身を見る場合はフォルダを選択します。[戻る]でメッセージリスト画面に戻ります。

保存済みメッセージを表示……保存したメールの一覧を表示します。[戻る]でメッセージリスト画面に戻ります。

メッセージ通知……着信時のサウンドプロファイルの設定ができます。

オプション……「オプション設定」→P.50

送信者をフィルタ※、件名をフィルタ※……送信者、件名に基づくメールフィルタを作成します。「メールフィルタの設定」→P.53

最新の情報に更新……ワイヤレスネットワークの更新設定により、端末とお使いのコンピュータを同期して電子メールの送受信や削除などの状態を最新の情報に更新します。「メールの更新」→P.55

アプリケーション切り替え→P.23

閉じる……メールを終了します。

※ BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合のみ利用できます。

フォルダ管理

本端末で新しいフォルダを作成し、メールを移動して整理することができます。

作成したフォルダは、移動したり、名前を変更することができます。また、コンピュータと同期設定をすることもできます。「フォルダのリダイレクト」→P.52

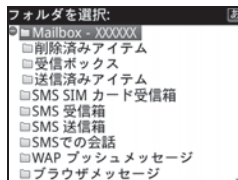
※ BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合のみ利用できます。

新しいフォルダを作成する

1 ホームスクリーンで[メニュー]→「メッセージ」もしくは「SMS」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 [メニュー]→「フォルダを表示」

フォルダを選択画面が表示されます。

3 [メニュー]→「フォルダ作成」→フォルダ名を入力する→「OK」

フォルダが作成されます。

おしらせ

・お使いのサーバーのバージョンにより利用できない場合があります。また、階層によりフォルダを作成できない場合があります。

メールの移動

新しく作成したフォルダに受信済みまたは、送信済みメールを移動します。

1 ホームスクリーンで[メニュー]→「メッセージ」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 移動するメッセージを反転

3 [BB]→「フォルダへ移動」

フォルダを選択画面が表示されます。

4 移動先フォルダを選択

電子メール／PINメッセージ／SMSを読む

1 ホームスクリーンで[BB]→「メッセージ」もしくは「SMS」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 読みたいメールを選択

メッセージ画面が表示されます。

[戻る]でメッセージリスト画面に戻ります。

おしらせ

- メールは最初の2KBだけを受信します。読みたいメールのみ、続きもしくは全文を受信して内容を確認できます。続きもしくは全文の取得方法はオプション設定により異なります。
  「本文自動取得」→P.50
  お買い上げ時は、「本文自動取得」は「はい」に設定されています。
- 日本語の文字化けなど、メールが正しく表示されない場合があります。また、BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合、HTMLメールを表示するにはBlackBerry Enterprise Server 4.1.5以降が必要です。

メッセージ画面の操作

メッセージ画面で利用できる機能

メッセージ画面→[BB]で以下の機能が利用できます。

電子メール／PINメッセージ／SMSや反転しているフィールドによって、利用できる機能が異なります。

ヘルプ→P.156

検索……メッセージ内のテキストを検索します。検索実行後は[BB]→「次を検索」で次の候補を検索できます。

貼り付け……コピーまたは切り取りしたテキストを貼り付けます。

選択……メッセージ内のテキストの部分を選択します。

コピー……メッセージ内の選択したテキストをコピーします。

選択をキャンセル……メッセージ内のテキスト選択をキャンセルします。

編集……送信に失敗したメールや送信済みのメールを編集します。

続きを取得、全文取得……前半部分のみ受信したメールの続きを受信します。

画像を取得……HTML形式のメールに含まれる画像を表示します。

カレンダーを表示※1……カレンダーを表示して予定を確認することができます。受信した予定も登録されています。

承諾※1……会議への出席を承諾します。

仮承諾※1……会議への出席を仮承諾します。

辞退※1……会議への出席を辞退します。

テキスト形式を取得……HTMLメールをテキスト形式で表示します。

未開封にする……開封済みのメールを未開封の状態にします。

フォルダへ移動※2……メールをフォルダに移動します。

保存……メールを保存します。メールを保存すると、データが移動したりメッセージリストから消えることはありません。

返信、全員に返信……「電子メール／PINメッセージ／SMSに返信する」→P.46

転送……「電子メール／PINメッセージ／SMSを転送する」→P.46

形式を変更して転送……「電子メール／PINメッセージ／SMSを転送する」→P.46

再送信……送信に失敗したメールや送信済みのメールを再送信します。

添付ファイルを開く……「添付ファイルを開く」→P.47

添付ファイルのダウンロード……「添付ファイルをダウンロード（保存）する」→P.47

削除……メールを削除します。同期しているコンピュータのメールソフト上のメールを削除するかどうかは、メッセージリスト画面→[BB]→「オプション」→「メールの更新」→「削除対象」で設定できます。
「メールの更新」→P.55

フラグを追加……メールにフラグを追加します。

フラグのプロパティ……メールのフラグを変更します。

フラグを削除……メールのフラグを削除します。

“アドレス帳の登録名”にメール……連絡先に登録されている相手にメールを作成します。

“アドレス帳の登録名”にPIN……連絡先に登録されている相手にPINを作成します。

“アドレス帳の登録名”に発信……連絡先に登録されている相手に電話をかけます。

“アドレス帳の登録名”にSMS……連絡先に登録されている相手にSMSを作成します。

インスタントメッセージ……連絡先に登録されている相手にインスタントメッセージを作成します。

アドレスを表示、名前を表示……「送信者」にメールアドレスを表示するかアドレス帳の登録名を表示するか設定します。

フォルダを表示……SMSの送受信、ブラウザ、電話の通話記録などのフォルダを表示します。フォルダの中身を見る場合はフォルダを選択します。⮌でメッセージリスト画面に戻ります。

すべての出席者にメールを送信※1……ミーティング出席者全員にメールを送信します。

前のアイテム、次のアイテム……前後のメールを表示します。

次の未読アイテム……次の未読メールを表示します。

連絡先を表示……アドレス帳に登録されている連絡先を表示します。

メッセージ通知……サウンドプロファイルの編集画面が表示されます。

アドレス帳に追加……送信者や宛先をアドレス帳に追加します。

アプリケーション切り替え→P.23

閉じる……メールを終了します。

※1 ミーティング出席依頼メールのときに表示されます。

※2 BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合のみ利用できます。

おしらせ

・端末内のデバイスメモリが少なくなった場合、古いメールが自動的に削除される場合があります。また、BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合は、システム管理者の設定によって古いメールが自動的に削除される場合があります。「メモリの空き容量を確認する」→P.114

電子メールを作成して送信する

1 ホームスクリーンで ⊞→「メッセージ」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 ⊞→「メールを作成」

新規メール画面が表示されます。

メッセージリスト画面で日付を選択→「メールを作成」でも新規メール画面を表示できます。

3 「次を使用して送信」フィールドで、送信に使用するメールアカウントを選択

BlackBerry Enterprise SolutionとBlackBerry Internet Serviceの両方のサービスのご利用や、2つ以上のアカウントを登録されている場合は、送信に使用するアカウントを選択します。

メールアカウントを複数登録していない場合は選択できません。

4 To:を入力

宛先は、アドレス帳を参照して入力するか直接入力します。

宛先の入力を開始すると次の表にある宛先候補がリストとなって宛先フィールドに順次表示されます。

宛先候補タイトル	候補タイトルの意味
<アドレス登録名>	端末のアドレス帳に登録されているアドレスと宛先フィールドに入力している文字が一部もしくは全文一致するアドレス候補を表示します。

宛先候補タイトル	候補タイトルの意味
メール:	直接入力の際に、入力している文字をそのまま表示します。
サーバー参照:※	組織のアドレス帳がサーバーに登録されている場合、サーバー上のアドレス帳に登録されているアドレスと宛先フィールドに入力している文字が一部もしくは全文一致するアドレス候補を表示します。

※ BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合のみ利用できます。

■ 表示された宛先の候補から選択する場合

宛先のフィールドで入力を開始すると、入力された文字に対して電子メールアドレスやPIN番号の候補が表示されます。目的の候補を選択して宛先を入力します。

■ 直接入力する場合

宛先のフィールドで入力を開始し、「メール:」を反転して入力を進めます。入力が終了したら▢を押します。

■ CcやBccの宛先を追加する場合

「電子メール／PINメッセージ／SMS作成中に利用できる機能」→P.45

おしらせ

・はじめてメールをご利用になる場合は、直接入力をしても宛先フィールドが空欄のままとなり、宛先の入力ができない場合があります。その場合は一度メッセージリスト画面に戻り、もう一度操作1からやり直すか、Altキーを押しながらEnterキーを押して、入力言語を英語に変更してください。

5 件名、メッセージを入力

6 [BBキー]→「送信」

送信が終わったことを示すアイコンが表示され、メッセージリスト画面に送信済みメールが表示されます。

■ 後で送信する場合

→「下書き保存」

下書き保存した電子メールの送信方法→P.46

おしらせ

・「送信済みメッセージを非表示」(P.50)を「はい」(非表示)に設定している場合、送信済みメールはメッセージリストに表示されません。ただし、送信に失敗したメールはメッセージリストに表示されます。

記号や絵文字を入力する

1 メッセージの入力中→[BBキー]→「絵文字を表示」

分類分けされたリストが表示されます。

2 分類を選択

分類分けされたそれぞれの絵文字が表示されます。

3 ▢で入力したい記号や絵文字のページを表示→記号や絵文字を選択

画面に記載されている対応するアルファベットキーを押しても入力できます。

電子メール送信時のアイコン表示

アイコン	説明
〉〉〉	送信中
✓	送信済み (BlackBerry Internet Service をご利用のお客様で、「配信を確認」(P.51)を「はい」に設定している場合、配信確認済みの送信メールには「D」が表示されます。また、「開封を確認」(P.51)を「はい」に設定している場合、開封確認済みの送信メールには「R」が表示されます。)
🕒	ワイヤレス通信可能範囲外などで送信保留中 ワイヤレス通信可能範囲になると自動的に送信を開始します。送信を中止するときはメッセージリスト画面で[BBキー]→「削除」を行ってください。

アイコン	説明
×	送信失敗

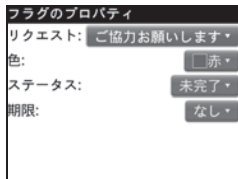
フラグの設定

送信するメールや、送受信したメールにフラグを追加できます。フラグの内容や色、期日の設定を行うことにより、メールをより効率的に管理することができます。

※ BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合のみ利用できます。

● 作成中のメールにフラグを設定する

1 メッセージ作成中→→「フラグを追加」

フラグのプロパティ画面が表示されます。

2 項目を設定→→「保存」

送信メールにフラグが設定されます。

● 保存されているメールにフラグを追加する

1 ホームスクリーンで→「メッセージ」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 フラグを追加するメッセージを反転→「フラグを追加」

選択したメッセージにフラグが追加されます。

■ フラグを編集する場合

メッセージリストからフラグが付いているメッセージを反転→→「フラグのプロパティ」

編集する項目を設定します。

→「保存」

■ フラグを削除する場合

メッセージリストからフラグが付いているメッセージを反転→→「フラグを削除」

おしらせ

・受信者の環境によっては、フラグが設定どおりに表示されない場合があります。

PINメッセージを作成して送信する

BlackBerry端末またはBlackBerry対応端末が個別に持つPIN番号を使って、電子メールと同じようにメッセージを送受信できます。

1 ホームスクリーンで→「メッセージ」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 →「PINメッセージを作成」

新規メール画面が表示されます。

これ以降の操作手順については「電子メールを作成して送信する」(P.42)の操作4以降を参照してください。

PINメッセージ送信時のアイコン表示

アイコン	説明
	送信中
✓	端末から送信済みだが、送信先では未受信
	端末から送信済み、送信先で受信済み
×	送信失敗

SMSを作成して送信する

端末の電話番号を使用してメッセージを送信します。最大10人までに送信できます。

1 ホームスクリーンで[menu]→「SMS」

SMSメッセージリスト画面が表示されます。

2 [menu]→「SMSの作成」

SMS連絡先を選択画面が表示されます。

3 To:を入力→「OK」

電話番号を直接入力するか、[menu]→「アドレスを選択」で電話帳から選択します。

4 メッセージを入力

5 [menu]→「送信」

SMS送信時のアイコン表示

アイコン	説明
)))	送信中
✓	端末から送信済みだが、送信先では未受信
D✓	端末から送信済み、送信先で受信済み（「配信レポート」（P.179）を「オン」に設定している場合）
×	送信失敗※

※ 送信可能な文字数は70文字以内です。70文字を超えると送信に失敗します。

電子メール／PINメッセージ／SMS作成中に利用できる機能

電子メール／PINメッセージ／SMS作成中→[menu]で以下の機能が利用できます。
電子メール／PINメッセージ／SMSによって、利用できる機能が異なります。

ヘルプ→P.156

スペルチェック……入力言語が英語の場合にスペルチェックをします。「スペルチェック」→P.29

貼り付け……コピーまたは切り取りしたテキストを貼り付けます。

選択……メッセージ内のテキストの部分を選択します。

コピー……メッセージ内の選択したテキストをコピーします。

切り取り……メッセージ内の選択したテキストを切り取ります。

選択をキャンセル……メッセージ内のテキスト選択をキャンセルします。

フィールドをクリア……入力した文字や添付したアドレスやファイルなどを削除します。削除したいフィールドにカーソルを合わせDeleteキーでも削除できます。

送信……作成したメールを送信します。

下書き保存……メールを一時保存し、後で送信します。

顔文字を追加……顔文字の一覧が表示されます。

メッセンジャーの連絡先に転送……連絡先の情報をメッセンジャーの連絡先に送付します。

フラグを追加……メールにフラグを追加します。

フラグのプロパティ……メールのフラグを変更します。

フラグを削除……メールのフラグを削除します。

追加Bcc:……Bccを追加します。

アドレスを添付……メールにアドレス帳のアドレスを添付します。「アドレスを添付」を選択するとアドレス帳が表示されるので、添付したいアドレスを選択します。

ファイルを添付……メールに端末内のファイルを添付します。「ファイルを添付」を選択するとエクスプローラが表示されるので、添付したいファイルを選択します。

AutoText編集……「AutoText」→P.176

オプション……メールの重要度レベルとエンコーディングを設定します。設定後は[menu]→「保存」で設定を保存します。

記号入力→P.27

入力言語変更→P.28

絵文字を表示→絵文字がカテゴリ別に表示されます。

定型文リスト<Alt+Sym>→P.28

アプリケーション切り替え→P.23

閉じる……メールを終了します。

次ページにつづく

下書きで保存したメールを送信する

1 メッセージリスト画面で下書き保存したメッセージを選択

2 →「送信」

送信が終わったことを示すアイコンが表示され、メッセージリスト画面に送信済みメールが表示されます。

メールを再送信する

送信済みのメールを再送信します。

送信済みメールの表示設定を非表示にしている場合、送信済みフォルダを表示して再送信する必要があります。

「フォルダを表示」→P.42、「送信済みメッセージを非表示」→P.50

1 メッセージリスト画面で再送信するメッセージを選択

2 →「編集」

必要に応じて宛先、件名、メッセージを編集します。

■ 宛先を変更する場合

宛先にカーソルを合わせて →「アドレスを変更」

3 →「送信」または「再送信」

送信が終わったことを示すアイコンが表示されます。

メッセージリスト画面に送信済みメールが表示されます。

おしらせ

- SMSは宛先やメッセージを編集して送信することはできません。送信済みのSMSと同じ宛先とメッセージで再送信します。
- 「送信済みメッセージを非表示」(P.50)を「はい」(非表示)に設定している場合、送信済みメールはメッセージリストに表示されません。ただし、送信に失敗したメールはメッセージリストに表示されます。

電子メール／PINメッセージ／SMSに返信する

1 メッセージリスト画面で返信するメッセージを反転

2 →「返信」または「全員に返信」

3 返信するメッセージを入力

元のメッセージを修正することはできません。

■ 元のメッセージをすべて削除する場合

→「元のテキストを削除」

■ SMSの返信の場合

返信先の電話番号の下のフィールドにメッセージを入力します。元のメッセージ(SMSの履歴)をすべて削除する場合は →「チャットをクリア」を選択します。

これ以降の操作手順については「電子メールを作成して送信する」(P.42)の操作6を参照してください。

電子メール／PINメッセージ／SMSを転送する

1 メッセージリスト画面で転送するメッセージを反転

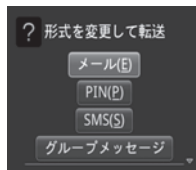
2 →「転送」

■ 別の形式で転送する場合

→「形式を変更して転送」→変更したいメールの形式を選択

3 宛先とメッセージを入力、件名を編集

元のメッセージを修正することはできません。追加のメッセージを入力することは可能です。

これ以降の操作手順については「電子メールを作成して送信する」(P.42)の操作6以降を参照してください。

添付ファイル

メールの添付ファイルを表示したり再生します。

重要

BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様で添付ファイルの各機能がご利用になれない場合は、システム管理者へお問い合わせください。

● 添付ファイルの利用はパケット通信料が高額になる場合があります。パケ・ホーダイ ダブルを契約すると定額制サービスを利用できます。

添付ファイルを開く

1 メッセージ画面で[⊞]→「添付ファイルを開く」

■ 複数の添付ファイルがある場合

→目的のファイルを選択

■ パスワードで保護されたPDFファイルを開く場合

→「パスワードで保護されたドキュメントです」という確認画面で[↩]→[⊞]→パスワードを入力→[□]を押す→[⊞]→「取得」→「はい」

■ Wordファイル、Excelファイル、PowerPointファイルを開く場合

→「表示」または「Documents To Goで編集」を選択すると、ファイルをダウンロードし、ドキュメント編集アプリ(P.148)でファイルを開きます。

■ vCard®を開く場合

vCard®を反転→[⊞]→「添付ファイルを表示」

※ BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合のみ利用できます。

添付ファイルを開くと、以下に示すアイコンが表示されます。

アイコン	説明
(ダウンロード中アイコン)	ダウンロード中
(表示中アイコン)	表示中
✓	完了

おしらせ

・Excelデータを開く場合、ファイル名やシート名に2バイト文字が使用されていると、正しく表示されない場合があります。

・パスワードはPDFにのみ対応しています。

・日本語のPDFファイルは正しく表示されない場合があります。

添付ファイルをダウンロード（保存）する

1 メッセージ画面で[⊞]→「添付ファイルのダウンロード」

2 保存するフォルダを選択→[⊞]→「ここを選択」

「ここを選択」を実行しないと保存できません。Wordファイル、Excelファイル、PowerPointファイルの場合は、ダウンロード後に対応したドキュメント編集アプリ(P.148)で開くことができます。

次ページにつづく

添付ファイルを閲覧・利用する

添付ファイル表示中に利用できる機能

添付ファイル表示中→[メニューキー]で以下の機能が利用できます。

Word、Excel、PowerPointなどの添付ファイルを開いているときは個別の機能が表示されます。

おしらせ

・ファイルの種類や言語、お使いのサービスにより、利用できる機能が異なります。またファイルが正しく表示できない場合があります。

ヘルプ→P.156

取得情報……添付ファイルのプロパティを表示します。[戻るキー]で添付ファイルの表示に戻ります。

検索……ファイル内のテキストを検索します。検索実行後は[メニューキー]→「次を検索」で次の候補を検索できます。プレゼンテーションファイルの場合はあらかじめプレゼンテーションをテキスト表示またはテキストおよびスライド表示にしてください。→P.48

オプション……表示に使用するフォントを設定します。Excelデータの場合はグリッド線の表示、列幅、ラベルの表示、フォントファミリー、フォントサイズも設定できます。設定後は[メニューキー]→「保存」で設定を保存します。

入力言語変更→P.28

アプリケーション切り替え→P.23

ズームイン、ズームアウト……画像をズームイン／ズームアウト表示します。

回転……画像を回転して表示します。

画面に合わせる……表示中の画像を画面のサイズで表示します。

画像を保存……表示中の画像を保存します。

添付ファイルのダウンロード……添付ファイルをダウンロードします。

メールで送信……表示中の画像をメールで送信します。

メッセンジャーの連絡先に送信する……表示中の画像をメッセンジャーの連絡先に送信します。

連絡先の写真として設定……表示中の画像を連絡先の写真に設定しアドレス帳に表示します。

閉じる……メールを終了します。

ドキュメントファイル(Wordなど)表示中に利用できる機能

ドキュメントファイル表示中→[メニューキー]で以下の機能が利用できます。

ファイルの種類やアプリケーションによって、利用できる機能が異なります。

目次……目次を含むファイルの場合、目次を表示します。項目を選択すると選択先に移動できます。

選択……ファイル内のテキストを選択します。

選択をキャンセル……テキスト選択をキャンセルします。

コピー……ファイル内のテキストをコピーします。

変更を表示、変更を非表示……変更履歴やコメントを含むファイルの場合、それらの情報を表示するか設定します。

Excelデータ表示中に利用できる機能

Excelデータ表示中→[メニューキー]で以下の機能が利用できます。

ファイルの種類によって、利用できる機能が異なります。

目次……ワークシートのリストを表示します。項目を選択すると選択先に移動できます。

次のシート、前のシート……前後のワークシートに移動します。

セルに移動……セル番号を入力し、特定のセルに移動します。

プレゼンテーションファイル(PowerPointなど)やPDFファイル表示中に利用できる機能

プレゼンテーションファイルやPDFファイル表示中→[メニューキー]で以下の機能が利用できます。

ファイルの種類やアプリケーションによって、利用できる機能が異なります。

目次※1……目次を含むファイルの場合、目次を表示します。項目を選択すると選択先に移動できます。

テキストを表示、スライドを表示※1……テキストのみを表示するか、スライドを表示するか設定します。

テキストを表示、ページを表示※2……テキストのみを表示するか、ページを表示するか設定します。

両方を表示……テキストとスライド、またはテキストとページの両方を表示します。

ジャンプ……次のページに移動します。

コピー……ファイル内のテキストをコピーします。

選択……ファイル内のテキストを選択します。

選択をキャンセル……テキスト選択をキャンセルします。

ノートを表示……ファイルにノートが含まれていれば表示されます。

回転……スライドやページを回転させます。

ズームイン、ズームアウト……スライドやページを拡大縮小します。

画面に合わせる……スライドやページを画面のサイズに合わせて全体表示します。

スライドを保存※1、ページを保存※2……スライドやページを画像として保存します。

次へ、前へ……前後のスライドやページに移動します。

次のスライド※1、前のスライド※1、次のページ※2、前のページ※2……前後のスライドやページに移動します。

スライドへ移動※1、ページへ移動※2……ページ番号を入力し、特定のページに移動します。

メールで送信……ファイルを添付したメールを作成します。

連絡先の写真として設定……連絡先の写真として設定します。

※1 プレゼンテーションファイルでのみ利用できます。
※2 PDFファイルでのみ利用できます。

vCard®表示中に使用できる機能

vCard®アドレス情報ファイル（.vcf）はアドレス情報を盛り込んだファイルです。
アドレス情報を表示したり、端末のアドレス帳に追加することができます。
ファイルを開くと、添付されたアドレス名のブックアイコンがメッセージの最後に表示されます。

vCard®表示中→[メニューキー]で以下の機能が利用できます。

※ BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合のみ利用できます。

コピー……ファイル内のテキストをコピーします。

アドレス帳に追加、アドレスを更新……vCard®をアドレス帳に追加します。

ネットワーク内のファイルをメールに添付する

会社などのサーバーに保存されている文書をメールに添付して送付することができます。

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→「メッセージ」もしくは「SMS」
 メッセージリスト画面が表示されます。

2 [メニューキー]→「メールを作成」
 「宛先」、「件名」を入力します。

3 [メニューキー]→「ファイルを添付」
 選択画面が表示されます。

4 [メニューキー]→「URL入力」
 URL入力画面が表示されます。

5 URLを入力→[トラックパッド]を押す
 指定したサーバーと接続されたら、添付するファイルを選択します。

6 必要な場合、ユーザー名、ドメイン、パスワード、を入力

7 [メニューキー]→「送信」

※ BlackBerry Internet Service をご利用のお客様は本操作はご利用できません。

オプション設定

メールの全般的な設定

1 ホームスクリーンで →「メッセージ」もしくは「SMS」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 →「オプション」→「全般オプション」

3 設定する項目を選択→設定値を選択

■ 表示

時刻を表示……メッセージリストで各メールの送受信時刻を表示するか設定します。

名前を表示……メッセージリストで各メールの送信先名、受信者名を表示するか設定します。

表示順……メッセージリストで名前と件名のどちらを先に表示するか設定します。

メッセージヘッダーを表示……メッセージリストで1件のメールを何行で表示するか設定します。「1行」に設定すると1件を1行で、「2行」に設定すると1件を2行で表示します。

メッセージ数を表示……画面上部に新着メールや未開封メールの件数を表示するか設定します。

新規メッセージインジケータを表示……新規メッセージインジケータを表示するか設定します。「メッセージ数を表示」を「なし」に設定した場合は設定できません。

フォルダへ移動した開封済みメッセージを非表示……フォルダへ移動したメールをメッセージリストに表示するか設定します。

送信済みメッセージを非表示……送信済みのメールをメッセージリストに表示するか設定します。

セパレーター……メッセージを区切る方法を設定します。

メール作成時に最近の連絡先を表示……最近作成したメールの連絡先を表示するか設定します。

■ アクション

PINメッセージを赤色で表示……受信したPINメッセージ重要度を“高”に設定します。

本文自動取得……電子メールの容量が2KBを超える場合に、続きデータを自動で受信するか、手動で受信するかを設定します。

削除を確認……メールやメッセージを削除する際に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

一括開封時の確認……メールを開封済みにするときの確認画面を表示するか設定します。

デバイスをホルスターから取り出したときに最新のメッセージを自動的に開く……ポケットから取り出したときにメールを開封するか設定します。

メッセージの保持日数……メッセージの保管期間を設定します。

4 →「保存」

スペルチェックの設定

入力言語が英語の場合は、メッセージリスト画面で →「オプション」→「スペルチェック」と選択して、スペルチェックに関する設定を行うことができます。詳細は、「スペルチェック」（P.182）をご覧ください。

SMSの設定

「SMS」（P.179）を参照してください。

受信ボックス設定

メッセージリストに表示するメールのアイテムを選択します。

1 ホームスクリーンで→「メッセージ」もしくは「SMS」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 →「オプション」→「受信ボックス設定」

受信ボックス設定画面が表示されます。

受信ボックス設定
メインメッセージリストに含めるアイテムを選択します
メールアカウント
Desktop
docomo.taro.△△@docomo.blackberry.com
その他のメッセージの種類
SMS

3 メッセージリストに表示するアイテムを選択

電子メール設定

BlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様で2つ以上のメールアカウントを登録されている場合、また、BlackBerry Enterprise SolutionとBlackBerry Internet Serviceをご利用の場合、メール設定画面最上部に「メッセージサービス」の設定項目が表示されます（使用しているサービスやアカウントが1つの場合は表示されません）。設定するサービスを選択して「メール設定」を行います。

BlackBerry Enterprise SolutionとBlackBerry Internet Serviceでは設定できる項目が異なります。以降の設定手順では各設定項目に設定できるサービス対象をそれぞれに表記しています。

1 ホームスクリーンで→「メッセージ」もしくは「SMS」

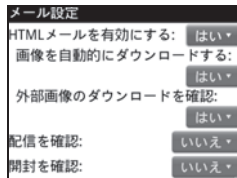
メッセージリスト画面が表示されます。

2 →「オプション」→「メール設定」

3 設定する項目を選択→設定値を選択

必要に応じて、「BlackBerry Internet Serviceの設定項目」（P.51）、「BlackBerry Enterprise Solutionの設定項目」（P.52）、「フォルダのリダイレクト」（P.52）を設定します。

4 →「保存」

BlackBerry Internet Serviceの設定項目

次の項目を設定できます。

メッセージサービス……BlackBerry Enterprise SolutionとBlackBerry Internet Serviceの両方のサービスのご利用や、2つ以上のアカウントを登録されている場合に「メール設定」をするサービスを選択します。

HTMLメールを有効にする……HTML形式のメールを有効にするか設定します。「いいえ」を選択すると、メールはテキスト形式で表示されます。

画像を自動的にダウンロードする……HTML形式のメールに含まれる画像を自動的に表示するか設定します。

外部画像のダウンロードを確認する……HTML形式のメールに含まれる外部画像をダウンロードするか確認する設定をします。

配信を確認※……配信の確認をするか設定します。

開封を確認※……開封の確認をするか設定します。

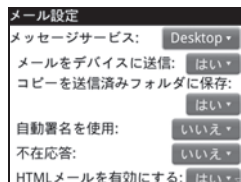
配信確認を送信……配信確認を送信するか設定します。

開封確認を送信……開封確認を送信するか設定します。

※ ご契約のインターネットサービスプロバイダや送信先の環境によっては、ご利用になれない場合があります。

おしらせ

・日本語の文字化けなど、メールが正しく表示されない場合があります。

BlackBerry Enterprise Solutionの設定項目

以下の項目を設定できます。

メッセージサービス……BlackBerry Enterprise SolutionとBlackBerry Internet Serviceの両方のサービスのご利用や、2つ以上のアカウントを登録されている場合に「メール設定」をするサービスを選択します。

メールをデバイスに送信……コンピュータから本端末に電子メールを転送するかしないかを設定します。

コピーを送信済みフォルダに保存……本端末からコンピュータに送信した電子メールをコンピュータに保存するかしないかを設定します。

自動署名を使用……電子メールに署名を追加するか設定します。「はい」を選択した場合は続けてテキストボックスに署名を入力します。BlackBerry Internet Serviceのアカウントの場合は、「署名を設定する」(P.52)をご覧ください。

不在応答……不在時に電子メールで応答するかしないかを設定します。「はい」を選択した場合は、テキストボックスに返信メッセージを入力します。IBM® Lotus Notes® を使用する場合は、「期限」の設定に不在時の応答をオフにする日付を設定します。

HTMLメールを有効にする……HTML形式のメールを有効にするか設定します。「いいえ」を選択すると、メールはテキスト形式で表示されます。

　画像を自動的にダウンロードする……HTML形式のメールに含まれる画像を自動的に表示するか設定します。

　外部画像のダウンロードを確認……HTML形式のメールに含まれる外部画像をダウンロードするか確認するように設定します。

開封確認を送信……開封確認を送信するか設定します。
(「はい」:無条件で開封確認を送信／「いいえ」:開封確認を送信しない／「確認」:確認画面を表示する)

署名を設定する

送信するメールに署名を追加します。

本機能はBlackBerry Internet Serviceをご利用の場合に設定できます。

1 ホームスクリーンで→「セットアップ」→「Email Settings」

BlackBerry Internet Serviceのサービス画面が表示されます。

2 アカウントごとに設定

メールアカウントの編集画面が表示されます。

表示されている項目を指示に従って入力してください。

フォルダのリダイレクト

コンピュータと本端末で同期したいメールフォルダを設定します。

お使いのコンピュータのメールソフトで受信ボックス内にフォルダを新しく作成し、自動仕訳ルールを作った場合は、本項目の手順で端末側のフォルダのリダイレクトにもチェックを入れる必要があります。

フォルダのリダイレクトでチェックを入れていない場合、新しく作成されたフォルダに受信されたメールを端末側で受信することができないのでご注意ください。

1 ホームスクリーンで→「メッセージ」もしくは「SMS」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 →「オプション」→「メール設定」

メール設定画面が表示されます。

3 →「フォルダのリダイレクト」

フォルダのリダイレクト画面が表示されます。

BlackBerry Enterprise SolutionとBlackBerry Internet Serviceで画面が異なります。

BlackBerry Enterprise Solutionの「フォルダのリダイレクト画面」(例)

BlackBerry Internet Serviceの「フォルダのリダイレクト画面」(例)

※ BlackBerry Internet Serviceをご利用の場合、対象の電子メールアドレスのフォルダが1つだけ表示されます。受信プロトコルにIMAPを使用していても、フォルダは1つしか表示されません。

4 設定したい項目を反転

設定項目の前に「+」が表示されている場合は、その行を選択→ [メニュー]→「展開」で、詳細設定項目が展開されます。

設定項目の前に「−」が表示されている場合は、その行を選択→ [メニュー]→「折り畳む」で、詳細設定項目を閉じることができます。

[トラックパッド]を押しても展開したり折り畳んだりすることができます。

5 設定値を選択

同期したいフォルダにチェックを入れる(チェックボックスを青い状態にする)と同期します。

受信ボックス……受信した電子メールの同期設定です。チェックを入れる(チェックボックスを青い状態にする)と同期します。
送信済みアイテム……送信済み電子メールの同期設定です。チェックを入れる(チェックボックスを青い状態にする)と同期します。
削除済みアイテム……削除済み電子メールの同期設定です。チェックを入れる(チェックボックスを青い状態にする)と同期します。

おしらせ

・フォルダのリダイレクト画面で[メニュー]→「すべて選択」を選択した場合、お使いのコンピュータのメールソフトの送信済みフォルダに表示される電子メールを含め、すべての電子メールが本端末に表示されます。

メールフィルタの設定

電子メールのフィルタを作成して、端末に転送する電子メールと、お使いのコンピュータのメールソフトに残す電子メールを指定することができます。

メールフィルタは、メールフィルタのリストに表示されている順で優先的に適用されます。同じ電子メールに適用される可能性のあるフィルタを複数作成する場合は、最初に適用されるフィルタをリストの上位に配置します。

● BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様のみ端末での設定が可能です。BlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様は、コンピュータのブラウザで専用サイトにアクセスしてメールフィルタを設定してください。

メールフィルタを作成する

1 ホームスクリーンで[メニュー]→「メッセージ」もしくは「SMS」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 [メニュー]→「オプション」→「メールフィルタ」

メールフィルタ画面が表示されます。

次ページにつづく

3 [menu]→「新規」

4 メールフィルタの名前を入力

5 メールフィルタのオプションを設定

送信者、送信先……送信者と送信先のメールアドレスを入力します。複数のメールアドレスを設定する場合は、アドレスの間をセミコロン(;)で区切ります。共通のテキストを含むフィルタの条件を設定する場合は、フィルタするテキストに続けてワイルドカード(*)を入力します。アドレス帳から指定した場合に日本語や2バイトの文字が含まれているとフィルタが適用されません。必ず電子メールアドレスで指定します。
件名、メッセージ……送信時の件名、送信時のメッセージを設定します。
自分に直接送信……送信先に自分のメールアドレスを含む電子メールにフィルタを適用するか設定します。
Cc:自分、Bcc:自分……CcやBccに自分のメールアドレスを含む電子メールにフィルタを適用するか設定します。
重要度……フィルタを適用する電子メールの重要度レベルを設定します。
秘密度……フィルタを適用する電子メールの機密度レベルを設定します。
アクション……フィルタを適用する電子メールを端末に転送するか設定します。転送するように設定する場合は、続けて「レベル1通知で転送」(重要度高で転送するか)、「ヘッダーのみを転送」(メールヘッダーのみを転送するか)を設定します。

6 [menu]→「保存」

メールフィルタをオンにする

1 メールフィルタ画面で「フィルタを適用しない場合、メールをデバイスに送信する」を「はい」にする

2 メールフィルタを反転→チェックボックスにチェックを入れる

「フィルタを適用しない場合、メールをデバイスに送信する」の設定によりメールフィルタの適用が異なります。メールフィルタを適用する際はご注意ください。

■「フィルタを適用しない場合、メールをデバイスに送信する」を「はい」に設定している場合

メールフィルタを適用するフィルタ名のチェックボックスをオンにします。
チェックしたフィルタのみ適用されます。

■「フィルタを適用しない場合、メールをデバイスに送信する」を「いいえ」に設定している場合

メールフィルタを適用しないフィルタ名のチェックボックスをオンにします。
チェックボックスがオフの場合、すべての電子メールにフィルタが適用されてしまいます。よってすべてのメールが受信されません。

3 [menu]→「保存」

メールフィルタ画面表示中に利用できる機能

メールフィルタ画面でメールフィルタを反転→[menu]で以下の機能が利用できます。

編集……メールフィルタを編集します。設定後は[menu]→「保存」で設定を保存します。
移動……メールフィルタを適用する順番を変更します。[trackpad]でメールフィルタを並べ替えます。設定後は[menu]→「保存」で設定を保存します。
削除……メールフィルタを削除します。設定後は[menu]→「保存」で設定を保存します。

メールフィルタを利用して着信音を変える

メールフィルタとサウンドプロファイルを利用して個別の着信音を設定することができます。

1 メールフィルタ画面→メールフィルタを反転→[menu]→「編集」

2 「アクション：」を選択→「転送」

3 「レベル1通知で転送」を選択

4 [BlackBerry]→「保存」

5 ホームスクリーンで[BlackBerry]→「サウンド」

6 「着信音/通知を設定」を選択

7 「メッセージ」項目の「レベル1」を選択

画面の指示に従って設定します。

8 [BlackBerry]→「保存」

メールの更新

電子メールの同期や削除について設定します。

- ご契約のインターネットサービスプロバイダによっては、ご利用になれない場合があります。

1 ホームスクリーンで[BlackBerry]→「メッセージ」もしくは「SMS」

メッセージリスト画面が表示されます。

2 [BlackBerry]→「オプション」→「メールの更新」

3 設定する項目を選択→設定値を選択

メッセージサービス……BlackBerry Enterprise SolutionとBlackBerry Internet Serviceの両方のサービスのご利用や、2つ以上のアカウントを登録されている場合に「メール更新」をするアカウントを選択します。

削除対象……端末で電子メールを削除した場合の削除対象を設定します。「デバイス上」を選択すると端末側のみ削除、「メールボックスとデバイス上」を選択するとコンピュータと端末の両方を削除、「確認」を選択すると削除のたびに削除対象を確認することができます。

ワイヤレス更新……ワイヤレスネットワーク経由で電子メールを更新するか設定します。

競合時の処理……端末からワイヤレスネットワーク経由で電子メールを同期して更新するときに、本端末とコンピュータのメールソフト間で発生する競合の管理方法を設定します。「デバイス優先」を選択すると端末側の更新を優先、「メールボックス優先」を選択するとコンピュータ側の更新を優先します。

4 [BlackBerry]→「保存」

削除済みアイテムフォルダを空にする

本端末から削除した電子メールを削除済みアイテムフォルダ内から完全に削除します。

1 「メールの更新」画面で[BlackBerry]→「削除したアイテムを消去」

電話のかけかた／受けかた

- テレビ電話には対応していません。

電話をかける

1 ホームスクリーンで相手先の電話番号をダイヤル

ダイヤルした番号が電話画面に表示されます。

■ 番号を間違えた場合
→Deleteキーで間違えた番号を削除

■ アルファベットを入力する場合
→Altキーを押しながら各キー

■ 一時停止を追加する場合
→追加したい位置で[メニュー]→「一時停止を追加」

■ 待機を追加する場合
→追加したい位置で[メニュー]→「待機を追加」

おしらせ

・一時停止を追加した場合は画面に「P」が、待機の場合は「W」が表示されます。一時停止とは、発信時に「P」のところでダイヤルを一時中断する機能です。「XXXをダイヤル」(XXXは「P」以降の番号)を選択すると、ダイヤルが再開されます。待機とは、「W」のところでダイヤルを2〜3秒間保留する機能です。

2 [発信]

電話がかかります。

3 電話が終了したら[終話]

おしらせ

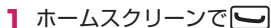
・ホームスクリーンではダイヤルができないように設定できます。「オプション設定」→P.65
・「ホームスクリーンからダイヤル」を「いいえ」に設定しているときに電話をかける場合は、ホームスクリーンで[発信]を押してから相手先の電話番号をダイヤルしてください。

アドレス帳を利用して電話をかける

「アドレスを登録する」→P.68

1 ホームスクリーンで[発信]

2 [メニュー]→「アドレス帳から通話」

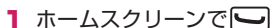
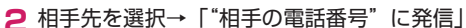
3 相手先を選択

おしらせ

・スマートダイヤル(P.64)を設定していると、発信時に国番号が表示される場合があります。お買い上げ時の設定では、電話発信時に国番号「+81」に続けて相手先の電話番号が表示されますが、国際電話にはなりません。通常の国内電話として電話がかかります。

通話記録を利用して電話をかける

1 ホームスクリーンで[発信]

通話記録(P.62)が表示されます。

2 相手先を選択→「"相手の電話番号" に発信」

おしらせ

・相手先の番号がアドレス帳に登録されている場合は、「"アドレス帳の登録名"に発信」と表示されます。

デバイスロック中に電話をかける

● キーボードロック中は、電話をかけることができません。

1 ホームスクリーンで▢を押す

2 「通話」を選択

3 相手先を指定→[通話キー]

おしらせ

・デバイスロック中に「通話」を選択するには、「パスワード」の「ロック時に発信通話を許可する」(P.191)を「はい」に設定します。

● デバイスロック中に緊急通話をかける

1 ホームスクリーンで▢を押す

2 「緊急」を選択

「緊急通報しますか？」と表示されます。

3 「警察」／「救急車」／「消防署」／「海上保安署」から選択し▢を押す

おしらせ

・日本では、FOMAカードが挿入されていない場合は緊急通話はできません。
・通常の電話をかける手順(P.58)で、110番、118番、119番などにかけることもできます。

相手に自分の電話番号を通知する

相手に自分の電話番号を通知するかしないかを設定することができます。

● 通知／非通知を一括して設定する

「番号非通知」(P.65)で設定します。

● 発信するたびに通知／非通知を設定する

1 「186」(通知する場合)または「184」(通知しない場合)をダイヤル→相手先の電話番号をダイヤル→[通話キー]

電話を受ける

1 電話の着信があったら[通話キー]

■ 電話に出ない場合
→[終話キー]

■ 着信音を消す場合
→ミュートボタン
ミュートボタンを再度押しても着信音は鳴りません。

国際電話をかける　WORLD CALL

1 ホームスクリーンで［0］（アルファベット）キー

画面に「＋」が表示されます。

2 続けて、国番号→市外局番→相手先の電話番号の順にダイヤル→[通話キー]

国際電話がかかります。

おしらせ

・[0]キーの代わりに「010」と入力し、続けて国番号、市外局番、相手先の電話番号の順に入力しても国際電話をかけることができます。
・日本から海外へ国際電話をご利用いただくには、WORLD CALL(ワールドコール)のご契約が必要となります。事前に、ご契約状況をご確認ください。
・相手側の携帯電話番号または地域番号(市外局番)が0から始まる場合は、0などを除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになるときは0が必要になる場合があります。
・WORLD CALL(ワールドコール)に関する詳細はドコモのホームページをご覧ください。

通話中の操作

電話を保留にする

重要

電話を保留にするには、「キャッチホン」(P.207)のご契約が必要です。

1 通話中に[メニューキー]→「保留」

電話が保留になり、相手側には保留音が流れます。

■ 保留を解除する場合

保留中に[メニューキー]→「再開」

● ミュート機能について

通話中にミュートボタンを押すと、こちらの音声が相手側に聞こえなくなります。キャッチホンをご契約されていない場合は、保留の代用としてミュート機能をご利用になれます。ただしミュートの場合は、相手側に保留音が流れません。
ミュートを解除するには、もう一度ミュートボタンを押します。

受話音量を調節する

1 通話中に音量アップキーまたは音量ダウンキー

画面に現在の音量が表示されます。

通話音質を調節する

1 通話中に[メニューキー]→「拡張通話オーディオ」

2 以下の項目から選択

標準……標準の設定です。	
低音ブースト……低音域が強調されます。	
高音ブースト……高音域が強調されます。	

おしらせ

・Bluetooth®対応ヘッドセットを使用している場合は、通話音質の調整はできません。

スピーカーフォンをオンにする

スピーカーフォンをオンにして、ハンズフリー通話ができます。

1 通話中に［¥］キー

スピーカーから相手の声が聞こえるようになり、ハンズフリー通話ができます。

■ スピーカーフォンをオフにする場合

ハンズフリー通話中に[¥]キー

重要

スピーカーフォンがオンになっているときは、本端末を耳に近づけないでください。

通話中に他のアプリケーションを利用する

通話中に他のアプリケーション（アドレス帳やブラウザなど）を利用することができます。

1 通話中に[メニューキー]→「アプリケーション切り替え」

2 切り替えたいアプリケーションを選択

音量、音質の調整

デフォルトの通話音量を設定する

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 [メニューキー]→「オプション」→「全般オプション」→「デフォルトの通話音量」

3 以下の項目から選択

前回終了時……前回通話時の設定をそのまま引き継ぎます。
25%……最大音量の25%の音量です。
50%……最大音量の50%の音量です。
75%……最大音量の75%の音量です。
100%……最大音量です。

4 [メニューキー]→「保存」

デフォルトの通話音質を設定する

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 [メニューキー]→「オプション」→「拡張オーディオ」→「通話のオーディオ」もしくは「ヘッドセット通話オーディオ」

3 以下の項目から選択

前回終了時……前回通話時の設定をそのまま引き継ぎます。
標準……標準の設定です。
低音ブースト……低音域が強調されます。
高音ブースト……高音域が強調されます。

4 [メニューキー]→「保存」

おしらせ

・Bluetooth®対応ヘッドセットを使用している場合は、通話音質の調整はできません。

短縮ダイヤル

よく電話をかける相手先を短縮ダイヤルとして登録して任意のキーに割り当てておくと、割り当てたキーを長押しすることで簡単に電話がかけられます。

短縮ダイヤルに登録する

1 ホームスクリーンで登録したい番号を入力する

■ 通話記録から指定する場合

ホームスクリーンで[発信キー]→登録したい番号または相手先を反転

■ アドレス帳から指定する場合

[メニューキー]→「アドレス帳」→登録したい相手を選択→登録したい番号を反転

2 [メニューキー]→「短縮ダイヤルを追加」→「OK」

3 短縮ダイヤルに割り当てるキーを選択

おしらせ

・短縮ダイヤルに割り当てていないキーを長押しして短縮ダイヤルを登録することもできます。

短縮ダイヤルを利用して電話をかける

1 登録した短縮ダイヤルに割り当てたキーを押す（1秒以上）

次ページにつづく

登録した短縮ダイヤルを確認する

1 ホームスクリーンで

2 →「短縮ダイヤルリストを表示」

短縮ダイヤルリストが表示され、登録状況を確認できます。

登録した短縮ダイヤルを変更／削除する

1 短縮ダイヤルリストで登録内容を変更／削除したい番号を選択→「編集」

選択したキーに登録された短縮ダイヤルの内容を変更できます。

■ 割り当てを他のキーに変更する場合
→「移動」→新しく割り当てたいキーを選択

■ 登録を削除したい場合
→「削除」→「はい」

通話記録

電話の発着信の履歴を、通話記録として表示することができます。

通話履歴を確認する

1 ホームスクリーンで

通話履歴が表示されます。同じ番号の履歴については、最新の履歴のみ表示されます。

アドレス帳に登録されている名前または番号の前に、発着信種別を示すアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	発信
	着信
	不在着信

おしらせ

・通話履歴の表示方法は、オプション設定により異なります。「その他のオプション設定」→P.65

通話記録を表示する

すべての通話に対して通話記録を確認することができます。

1 ホームスクリーンで

通話履歴が表示されます。同じ番号の履歴については、最新の履歴のみ表示されます。

2 通話記録を表示する履歴を反転→→「履歴を表示」

同じ番号への発着信履歴が表示されます。

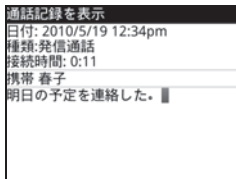
3 表示する履歴を反転→→「開く」

通話記録を表示画面が表示されます。

●通話記録にメモを追加する

1 メモを追加したい通話記録を表示→▦→「メモを追加」

2 メモの内容を入力→▦→「保存」

通話記録を表示
日付: 2010/5/19 12:34pm
種類:発信通話
接続時間: 0:11
携帯 春子
明日の予定を連絡した。

通話記録に、メモが追加されたことを示すアイコンが表示されます。

携帯 春子 12:34pm
携帯電話: +8180XXXXXXXX

●通話記録のメモを編集／削除する

1 通話履歴表示から、メモを編集したい履歴を反転→▦→「通話メモを表示」

2 編集する通話メモを反転→▦→「開く」

3 ▦→「メモを編集」

4 メモの内容を編集→▦→「保存」

■ メモを削除する場合
→メモの編集画面で▦→「フィールドをクリア」→「クリア」→▦→「保存」

通話履歴を削除する

1 通話履歴から削除したい番号を反転→▦→「削除」→「削除」

反転した番号に関するすべての通話記録が削除されます。

通話時間

前回の通話時間の記録、およびこれまでの総通話時間の記録を確認できます。

通話時間を確認する

1 ホームスクリーンで▭

2 ▦→「ステータス」

前回の通話時間、およびこれまでの総通話時間が表示されます。

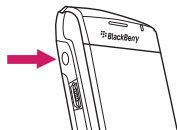
■ 通話時間をクリアする場合
→「前回通話時間」または「総通話時間」を反転→▦→「通話時間クリア」または「全通話時間クリア」

イヤホンマイク

本製品にはスイッチ付きのイヤホンマイク（BlackBerryイヤホンマイク（3.5mm））が同梱されています。マイク部のボタン操作で、通話への応答操作や、ミュート機能を利用することができます。

イヤホンマイクを接続する

1 イヤホンマイクのプラグを、本体左側面のイヤホンジャックに差し込む

次ページにつづく

イヤホンマイクを利用する

マイク部のボタンを押して、以下の機能を利用することができます。

状態	機能
電話を着信中	電話を受ける
通話中	ミュートにする
通話中	(長押しで)電話を切る

補聴器モードの設定

補聴器モード（テレコイルモード）では、本端末の磁気信号は、テレコイルが組み込まれている補聴器によってピックアップされる適切なレベルと周波数に変更されます。

1 [発信キー]→[メニューキー]→「オプション」

電話のオプション画面が表示されます。

2 「補聴器モード」を選択

補聴器モード画面が表示されます。

3 次の項目を設定

モード有効……補聴器モードを設定します。

4 [メニューキー]→「保存」

補聴器モードが設定されると、ホームスクリーンのインジケータ表示エリアに"H-T"と表示されます。

スマートダイヤル

国際通話時におけるデフォルトの国番号と地域コードを選択できます。デフォルトの国番号と地域コードを設定したコード以外の発信は、国番号と地域コードの入力が必要になります。

また、頻繁に電話する相手先の代表番号を指定することもできます。代表番号を設定すると、発信先の内線番号をダイヤルして組織の連絡先に電話がつながります。同様に、組織の連絡先をアドレス帳に追加しておくと、連絡先の内線番号を入力するだけで連絡先につなぐことができます。

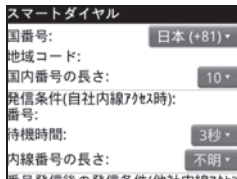
- スマートダイヤルの国番号は、以下の条件の電話番号に電話をかけるときに自動的に付加されます。
  - ･電話番号がアドレス帳に登録されている
  - ･その電話番号が「0」で始まる

  お買い上げ時の設定では、電話発信時に国番号「+81」に続けて相手先の電話番号が表示されますが、国際電話にはなりません。通常の国内電話として電話がかかります。

デフォルトの国番号と地域コードを設定する

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 [メニューキー]→「オプション」→「スマートダイヤル」

スマートダイヤルのオプション画面が表示されます。

3 次の項目を設定

国番号（お買い上げ時：日本（+81））……国番号を設定します。

地域コード……地域コード（市外局番など）を設定します。

国内番号の長さ（お買い上げ時：10）……電話番号の長さ（桁数）を設定します。

4 [メニューキー]→「保存」

おしらせ

・電話番号の長さ（桁数）を計算する場合は、地域コードと電話番号を含めますが、国番号や国際直通ダイヤル識別番号は含めないでください。

内線番号をダイヤルするための設定をする

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 [メニューキー]→「オプション」→「スマートダイヤル」→「発信条件（自社内線アクセス時）」または「番号発信後の発信条件（他社内線アクセス時）」

3 以下の項目を設定

番号……内線にダイヤルするための代表番号を設定します。

待機時間……内線のダイヤルを開始するまでの待機時間を設定します。

内線番号の長さ……内線番号の長さ（桁数）を設定します。

4 [メニューキー]→「保存」

オプション設定

電話の全般的な設定

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 [メニューキー]→「オプション」→「全般オプション」

3 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

自動終了……通話中に本製品を付属のポケットに戻したときに、自動で電話を切るかどうかを設定します。

自動応答……電話の着信中に本製品を付属のポケットから外したときに、自動で電話に応答するかどうかを設定します。

削除を確認……通話記録などを削除する際に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

番号非通知……発信時に自分の電話番号を相手に通知するか設定します。「なし」に設定すると通知、「常時」に設定すると通知しません。「ネットワーク経由」に設定すると「発信者番号通知サービス」の設定を使用します。

電話リスト表示……通話履歴の表示方法を設定します。

ホームスクリーンからダイヤル……ホームスクリーンからのダイヤルを許可するかどうかを設定します。

"自局番号"を表示……電話画面に自局番号を表示するかどうかを設定します。

デフォルトの通話音量……デフォルトの通話音量を設定します。

4 [メニューキー]→「保存」

おしらせ

<番号非通知>

・発信するたびに通知／非通知を設定することもできます。自分の電話番号を相手先に通知する場合は「186」に続けて相手先の電話番号をダイヤルします。通知しない（非通知にする）場合は「184」に続けて相手先の電話番号をダイヤルします。

・国際電話など経由する電話会社などにより、自分の電話番号が相手に正しく通知されない場合があります。

その他のオプション設定

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 [メニューキー]→「オプション」

3 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

留守番電話……「留守番電話サービスセンターの番号を登録する」→P.206

通話履歴……通話記録（通話履歴）をメールのメッセージリストに表示するかどうかを設定します。

次ページにつづく

通話制限……このメニューからはご利用になれません。機能やご利用方法については「迷惑電話ストップサービス」(P.208)をご覧ください。
着信転送……このメニューからはご利用になれません。機能やご利用方法については「通話中着信設定」(P.211)をご覧ください。
割込通話……割込通話の有効／無効を設定します。詳しくは、「キャッチホン」(P.207)をご覧ください。
スマートダイヤル→P.64
短縮ダイヤル番号……短縮ダイヤルリストを表示します。「登録した短縮ダイヤルを確認する」→P.62
拡張オーディオ……本端末を利用時の通話品質を設定します。
補聴器モード……補聴器モードを設定します。

4 [メニューキー]→「保存」

アドレス帳

アドレス帳の基本操作

本端末ではアドレス帳機能を使用して、さまざまな情報を登録、管理することができます。また、アドレス帳の情報を他のアプリケーションと相互利用することができます。

アドレスを登録、表示する

アドレスを登録する

アドレス帳には、多くの情報が登録できます。また、フィルタを設定することにより、タスクやメモ帳とも情報を共有することができます。

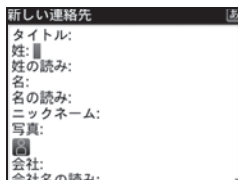
1 ホームスクリーンで［メニュー］→「アドレス帳」

検索画面が表示されます。

2 「連絡先を追加」

新しい連絡先画面が表示されます。

3 登録する項目を選択→値を入力

以下の項目を設定できます。

- タイトル……肩書きやタイトルを登録できます。
- 姓……姓を登録できます。
- 姓の読み……姓の読みかたを登録できます。
- 名……名前を登録できます。
- 名の読み……名前の読みかたを登録できます。
- ニックネーム……ニックネームを登録できます。
- 写真……写真を登録できます。
- 会社……会社名を登録できます。
- 会社名の読み……会社名の読みかたを登録できます。
- 役職……役職を登録できます。
- カスタム着信音／通知……登録するアドレスに個別の着信音を登録できます。
  - 電話……電話が着信したときの着信音を登録します。
  - メッセージ……メールを受信したときの着信音を登録します。
- メール……メールアドレスを登録できます。
- 勤務先電話、勤務先電話2……勤務先の電話番号を登録できます。
- 自宅電話、自宅電話2……自宅の電話番号を登録できます。
- 携帯電話、携帯電話2……携帯電話番号を登録できます。
- ポケベル……ポケベル番号を登録できます。
- FAX番号（勤務地）……勤務地のFAX番号を登録できます。
- FAX番号（自宅）……自宅のFAX番号を登録できます。
- その他……その他の情報を登録できます。
- PIN……PIN番号を登録できます。
- 勤務先住所（国、郵便番号、都道府県、市町村、住所1、住所2）……勤務先の住所を登録できます。
- 自宅住所（国、郵便番号、都道府県、市町村、住所1、住所2）……自宅の住所を登録できます。
- 誕生日……誕生日を登録できます。登録する場合は［トラックパッド］を押す→「日付」で日付を設定します。
- 記念日……記念日を登録できます。登録する場合は［トラックパッド］を押す→「日付」で日付を設定します。
- カテゴリ……フィルタ（P.151）を選択して設定します。
- Webページ……Webページのアドレスを登録できます。
- ユーザー1、ユーザー2、ユーザー3、ユーザー4……ユーザー情報を登録できます。
- メモ……メモを登録できます。

おしらせ

・待機や一時停止を含めて番号を登録することができます。「電話をかける」→P.58

4 [メニューキー]→「保存」

おしらせ

・サードパーティのメッセンジャーサービスなどをインストールしている場合、サービスのアドレスを登録するフィールドが表示される場合があります。

メール、通話記録、Webページからアドレスを追加する

1 メッセージ画面、通話記録画面、またはWebページで、追加する連絡先を反転

2 [メニューキー]→「アドレス帳に追加」

新しい連絡先画面が表示されます。

3 登録する項目を選択→値を入力

4 [メニューキー]→「保存」

アドレスを表示する

1 検索画面で表示するアドレスを選択

アドレス作成時に入力した情報や画像が表示されます。

アドレスを検索する

1 検索画面で上部の検索フィールドに文字を入力

入力した文字と検索対象フィールドが前方一致するアドレスが表示されます。

検索対象フィールドは姓、姓の読み、名、名の読み、会社名、会社名の読みです。

検索画面で利用できる機能

検索画面→[メニューキー]で以下の機能が利用できます。

反転している項目によって利用できる機能が異なります。

ヘルプ→P.156

メッセンジャーの連絡先に転送……連絡先の情報をメッセンジャーの連絡先に送付します。

メッセンジャーに招待……登録されているPIN番号にメッセンジャーの招待を送信します。

サーバー参照※……「組織のアドレス帳からアドレスを検索する」→P.70

フィルタ……フィルタ（P.151）別にアドレスを表示します。

フォルダを表示※……アドレス帳が保存されているフォルダを表示します。

新しい連絡先……新しいアドレス帳を登録します。「アドレスを登録する」→P.68

新しいグループ……新しいグループを登録します。「グループを登録、表示する」→P.70

表示……アドレス帳の詳細を表示します。

編集……アドレス帳を編集します。編集後は[メニューキー]→「保存」で設定を保存します。

削除……アドレス帳を削除します。

個別発着信履歴……反転したアドレス帳の発着信履歴を表示します。

グループを表示……グループの詳細を表示します。

グループを編集……グループ名やメンバーを編集します。[トラックパッド]でアドレスのフィールドに移動し[メニューキー]でメンバーの表示、変更、削除、追加などが行えます。編集後は[メニューキー]→「グループを保存」で設定を保存します。

グループを削除……グループを削除します。

“グループ名”にSMS……反転したグループ内の登録されている電話番号にSMSを作成します。

“グループ名”にPIN……反転したグループ内の登録されているPIN番号にメッセージを作成します。

勤務先を地図上で表示……勤務先住所を地図上で表示します。

自宅を地図上で表示……自宅住所を地図上で表示します。

“アドレス帳の登録名”にメール……反転したアドレスを宛先として電子メールを作成します。

次ページにつづく

“アドレス帳の登録名”にPIN……反転したアドレスを宛先としてPINを作成します。

“アドレス帳の登録名”に発信……反転したアドレスに電話をかけます。

“アドレス帳の登録名”にSMS……反転したアドレスを宛先としてSMSを作成します。

インスタントメッセージ……反転したアドレスとリンクされているインスタントメッセージの宛先に、インスタントメッセージを作成します。

“グループ名”にメール……反転したグループを宛先として電子メールを作成します。

SIM電話帳……「FOMAカードの電話帳」→P.71

添付ファイルとして送信……反転したアドレス帳をvCard®形式の添付ファイルとして電子メールを作成します。

写真を追加……アドレス帳に写真を追加します。保存されている写真を選択したり、カメラを起動して写真を撮影することができます。画像サイズが大きい場合はメニューから編集方法を選択して編集します。設定後は→「保存」で設定を保存します。追加した写真を後から変更／削除する場合は、アドレス帳を反転→→「編集」→写真を選択→で変更／削除します。

オプション……「オプション設定」→P.73

入力言語変更→P.28

絵文字を表示……絵文字がカテゴリ別に表示されます。

定型文リスト<Alt+Sym>→P.28

アプリケーション切り替え→P.23

閉じる……アドレス帳を終了します。

※ BlackBerry® Enterprise Solutionをご利用の場合のみ利用できます。

組織のアドレス帳からアドレスを検索する

BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、BlackBerry Enterprise Serverに登録されている組織のアドレス帳から任意のアドレスを検索することができます。

1 検索画面で→「サーバー参照」

入力画面が表示されます。

2 検索するアドレスまたはアドレスの一部を入力

入力した文字に該当する前方一致のアドレスが表示されます。

アドレスの検索結果を管理する

1 アドレスの検索結果から、管理するアドレスを反転→

2 管理する方法を選択

追加……アドレス帳に追加します。

すべて追加……アドレス帳に全アドレスを追加します。

表示……情報を表示します。

削除……検索結果情報を削除します。

参照を削除……検索結果を削除します。

3 を押す

グループを登録、表示する

電子メール、PINメッセージ、SMSを送信するときに、メーリングリストを使用できます。本端末で作成したメーリングリストは、コンピュータのメールアプリケーションには表示されません。

アドレス帳のグループを登録する

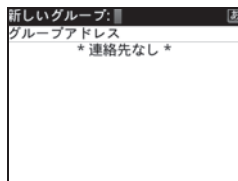
グループを作成し電子メール、PINメッセージ、SMSでメッセージを送信するときのメーリングリストとして使用できます。

1 検索画面で→「新しいグループ」

新規グループ画面が表示されます。

2 グループ名を入力

3 →「メンバーを追加」

送信先を選択する画面が表示されます（追加できるメンバーは、アドレス帳に登録されているメンバーのみです）。

4 登録するアドレスを選択

■ 別の連絡先を追加する場合

操作3と操作4を繰り返します。

5 →「グループを保存」

グループが表示されます。

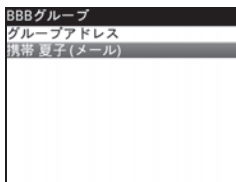
グループのメンバーを表示する

1 検索画面で表示するグループを選択

グループ画面が表示されます。

2 メンバーを選択→→「メンバーを表示」

アドレスの詳細が表示されます。

でグループ画面に戻ります。

FOMAカードの電話帳

FOMAカードに登録されている電話帳の管理を端末から行うことができます。

おしらせ

- 端末のメニューやヘルプでは「FOMAカード」を「SIMカード」と表記しています。
- あらかじめ他の端末や携帯電話でFOMAカードにアドレス帳を登録し、そのFOMAカードを本端末に挿入して使用する場合、本端末では登録済みのメールアドレスを表示することができません。名前と電話番号のみ表示できます。
- 他のFOMA端末で登録したFOMAカード内データ（電話帳等）を本端末で削除した場合、一部情報が残る場合があります。データを完全に削除したい場合は、データを登録したFOMA端末から削除を行ってください。

アドレスを登録、表示する

FOMAカードにアドレスを登録する

● FOMAカードの電話帳を表示する

1 ホームスクリーンで→「アドレス帳」

検索画面が表示されます。

2 →「SIM電話帳」

FOMAカードの電話番号表示画面が表示されます。

FOMAカードに登録されている電話番号がすべて表示されます。

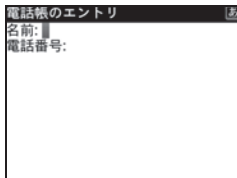
● FOMAカードにアドレスを登録する

1 検索画面で[メニュー]→「SIM電話帳」

FOMAカードの電話番号表示画面が表示されます。

2 [メニュー]→「新規」

電話帳のエントリ画面が表示されます。

3 名前、電話番号を入力

4 [メニュー]→「保存」

FOMAカードの電話番号表示画面に戻ります。

[戻る]で検索画面に戻ります。

※ FOMAカード(青色)をご利用の場合は、入力できる名前は全角10文字までの場合があります。11文字以上入力した場合、登録時に「SIMに十分なスペースがありません」と表示され登録できません。

FOMAカードのアドレスを管理する

FOMAカードの電話番号表示画面で利用できる機能

FOMAカードの電話番号表示画面→[メニュー]で以下の機能が利用できます。

反転している項目によって利用できる機能が異なります。

新規……新しいアドレス帳を登録します。「アドレスを登録、表示する」→P.71

表示……アドレス帳の詳細を表示します。

編集……アドレス帳を編集します。編集後は[メニュー]→「保存」で設定を保存します。

削除……アドレス帳を削除します。

すべてをアドレス帳にコピー……FOMAカードのすべてのアドレス帳を端末にコピーします。コピー後は[メニュー]→「保存」で設定を保存します。

"アドレス帳の登録名"に発信……反転したアドレスに電話をかけます。

"アドレス帳の登録名"にSMS……反転したアドレスを宛先としてSMSを作成します。

アドレス帳に追加……反転したアドレスを端末にコピーします。

"アドレス帳の登録電話番号"をコピー……反転した電話番号をコピーします。

アプリケーション切り替え→P.23

閉じる……アドレス帳を終了します。

おしらせ

・FOMAカードには、ドコモ故障問い合わせなど最初から登録されているアドレス(太字)があります。これらが選択された状態では「すべてをアドレス帳にコピー」のメニューは表示されません。また、上記の登録以外にアドレスの登録がない場合も同様です。
・FOMA端末本体のアドレス帳に登録済みの電話番号のアドレスは、コピーできません。
・FOMAカードに既存で登録されている緊急連絡先等は、削除および編集することはできません。

端末のアドレス帳をFOMAカードにコピーする

1 検索画面でコピーするアドレスを反転

2 [メニュー]→「表示」

3 電話番号にカーソルを合わせる

4 [メニュー]→「SIM電話帳にコピー」

5 [メニュー]→「保存」

登録されている名前とカーソルを合わせた電話番号のみがFOMAカードの電話帳にコピーされ、端末の電話番号表示画面に戻ります。

[戻る]で検索画面に戻ります。

おしらせ

・FOMAカードを交換すると、FOMAカードに登録した電話番号は使用できなくなります。FOMAカードを交換するときは、電話帳の電話番号をすべてアドレス帳にコピーすることをおすすめします。

オプション設定

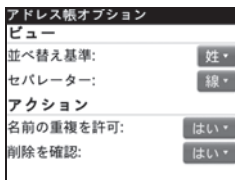
1 ホームスクリーンで[BlackBerryキー]→「アドレス帳」

検索画面が表示されます。

2 [BlackBerryキー]→「オプション」

アドレス帳オプション画面が表示されます。

全般オプションを設定する

1 アドレス帳オプション画面で「全般オプション」を選択

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

並べ替え基準……アドレスの並び順を設定します。アルファベット、五十音の順番で表示されます。

セパレーター……セパレーターの線の種類を設定します。

名前の重複を許可……アドレス帳内で名前を重複して登録できるか設定します。

削除を確認……連絡先を削除する際に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

3 [BlackBerryキー]→「保存」

アドレス帳のワイヤレス同期を設定する

1 アドレス帳オプション画面で設定したいアドレス帳を選択

アドレス帳を1つしか設定していない場合は選択できません。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

ワイヤレス同期※1……本端末とお使いのコンピュータのオーガナイザデータ(アドレス帳のデータ)を、ワイヤレスネットワーク経由で同期させるかどうかを設定します。

エントリ数※2……登録されているアドレスの件数が表示されます。

※1 BlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様は、この機能はご利用になれません。

※2 設定項目ではありません。

3 [BlackBerryキー]→「保存」

表示される姓と名の順序を入れ替える

アドレスに表示される名前の姓名の表示順序を「名、姓」または「姓、名」から選択することができます。

ホームスクリーンで[BlackBerryキー]→「オプション」→「言語」－「名前の表示」で設定します。詳しくは「言語」(P.195)を参照してください。

データのバックアップと復元

BlackBerry Desktop Managerのバックアップ、復元ツールを使用してメッセージやオーガナイザデータ(アドレス帳、カレンダー、メモ帳、タスク)をバックアップおよび復元することができます。「バックアップと復元」→P.238

アドレス帳の移行について

アドレス帳データ移行ツールを使用して、FOMA端末と本端末（BlackBerry）の間でアドレス帳データを移行することができます。

アドレス帳データ移行ツールの詳細およびダウンロードは下記ホームページをご覧ください。

http://smartphone.nttdocomo.co.jp/

※ アドレス帳データ移行ツールを参照してください。

コンピュータからのアドレス帳データ移行については、BlackBerry Desktop Manager（P.222）をご覧ください。

フィルタ

アドレスにフィルタを設定し、各アドレスをフィルタ別で管理することができます。フィルタはアドレス帳、タスク、メモ帳で共有しています。「フィルタ」→P.151

フィルタに設定されているアドレスを表示する

1 検索画面で[BlackBerryキー]→「フィルタ」→任意のフィルタを選択

選択したフィルタに設定されているアドレスだけが表示されます。

おしらせ

・表示するフィルタを指定している場合、検索対象が指定フィルタ内のデータに限定されます。

インスタントメッセージ

インスタントメッセージの基本操作

BlackBerry® Messengerを使って、友達やグループとチャットを楽しむことができます。

インスタントメッセージ（メッセンジャー）画面

1 ホームスクリーンで［BB］→「インスタントメッセージ」→「BlackBerry Messenger」

BlackBerry Messenger画面が表示されます。

BlackBerry Messenger画面では以下の操作ができます。

最近の更新(n)※…連絡先に登録されている相手が情報を更新したときに表示されます。

システムメッセージ(n)※……システムからのメッセージが表示されます。

リクエスト(n)※……チャットの招待を受けたときに表示されます。招待してきた送信者の登録名が表示されます。

チャット(n)※……チャット／会議を行っているときに表示されます。チャットの表示名でチャット／会議を行っている相手を表示します。

連絡先(n)……連絡先の管理を行います。

連絡先を招待……チャットを行う相手を招待します。登録済みの連絡先があれば登録名が表示されます。

BlackBerryグループ(n)……BlackBerry Messengerのグループ管理を行います。

新規グループを作成……グループを作成します。グループ内のメンバーでチャットや情報を共有することができます。「BlackBerryグループを作成する」→P.83

グループのバーコードをスキャン……作成したグループのQRコードをスキャンすることでメンバー登録することができます。「グループのQRコードをスキャンしてグループに登録する」→P.84

保留中(n)※……チャットへの招待を送信したときに表示されます。招待した相手からの返事を待っている状態です。招待した相手の登録名が表示されます。

※ それぞれのアクションが起きたときに表示されます。
項目名の後ろの(n)は件数を表します。

表示されるアイコン

アイコン	説明
⊖	展開中の項目
⊕	展開されていない項目
？（黄色）	招待の承諾待ち、または未回答の招待
（青色）	新着の招待、未読メッセージ
（白色）	チャット可能
⛔	通話中（カスタマイズによって相手の連絡先に状態を表示することができます。） 「自分のプロファイルを編集」(P.85)
▷	受信メッセージ
)))	送信中
✓	送信済み
R✓	相手がメッセージを受信し、メッセージを読んだ
D✓	相手がメッセージを受信し、メッセージを読んでいない

チャットを始める

BlackBerry Messengerでチャットをするには、相手を招待するか、招待してもらう必要があります。招待するには、相手に電子メールまたはPINメッセージで招待メッセージを送り、承諾を得ます。また、QRコードを使って相手を追加することもできます。親しい友達をグループ化してグループでチャットや情報を共有することができます。

連絡先を登録する

連絡先を登録するには、相手を招待して承諾を得て登録する方法と、チャットする相手の端末のQRコードをスキャンして登録する方法があります。

■ 相手を招待して承諾を得る場合

「チャットへ招待する」→P.77

■ QRコードをスキャンする場合

「QRコードをスキャンして連絡先を登録する」→P.79

チャットへ招待する

● 招待メッセージを送る

1 ホームスクリーンで →「インスタントメッセージ」→「BlackBerry Messenger」

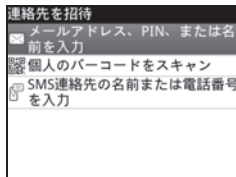
BlackBerry Messenger画面が表示されます。

2 →「連絡先を招待」

連絡先を招待画面が表示されます。

連絡先を招待
メールアドレス、PIN、または名前を入力
個人のバーコードをスキャン
SMS連絡先の名前または電話番号を入力

3 チャットする相手を入力

「メールアドレス、PIN、または名前を入力」を選択します。

■ アドレス帳に登録されている場合

「宛先:」に連絡先名の一部または全体を入力→連絡先を反転→Enterキー

登録されているPIN、またはメールアドレスが表示されるので選択します。

■ アドレス帳に登録されていない場合、または直接入力する場合

「宛先:」にPIN/メールアドレスを入力→「メール:」/「PIN:」を反転→Enterキー

4 招待メッセージを編集する→「送信」

チャットに招待するメールに招待メッセージが一緒に送信されます。

連絡先を招待
宛先: docomo.△△@docomo.blackberry.com
携帯一郎はあなたをBlackBerry Messenger連絡先リストに追加することを希望しています。
次を使用して送信:
docomo.xx@docomo.blackberry.com

編集しない場合はそのまま「送信」を選択します。

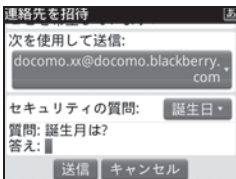
送信すると応答が来るまで、BlackBerry Messenger画面の「保留中」項目に登録されます。承諾の応答が来ると「連絡先」項目に登録されます。

●招待メッセージに相手を確認する質問を送信する

招待メッセージにセキュリティに関する質問を付けて送信する設定ができます。これにより相手を確認することができます。

「出席依頼にセキュリティに関する質問を表示」→P.86

→送信する質問を選択→答えを入力→「送信」

入力した答えと同じ内容で返信があった場合に連絡先に登録されます。

●招待メッセージへの応答を確認する

チャットへの招待に対して応答があった場合、BlackBerry Messenger画面の「連絡先」項目にアイコンで表示されます。

「チャットの招待に応答する」→P.78

■ 招待を承諾された場合

BlackBerry Messenger画面の「連絡先」項目に招待相手のBlackBerry Messenger登録名が表示されます。
チャットを始めることができます。「チャットを開始する」→P.79

■ 招待を辞退された場合

BlackBerry Messenger画面の「リクエスト」項目にメッセージが届くので選択します。

「"送信したメールアドレス"は追加リクエストを辞退しました。」と表示されます。→「OK」を押す。

■ 招待を無視された場合

招待した側には何も返信されません。

チャットの招待に応答する

BlackBerry Messengerへの招待状に対して、招待者へ応答します。

1 ホームスクリーンで[BlackBerryキー]→「インスタントメッセージ」→「BlackBerry Messenger」

BlackBerry Messenger画面が表示されます。

2 リクエスト項目で招待メッセージ（連絡先名）を選択

連絡先を招待画面が表示されます。

3 メニューから選択

連絡先を招待画面にメニューが表示されるので、選択してください。選択すると返信されます。

承諾……チャットの招待に対して承諾します。招待者へ招待を承諾したメッセージを送信します。招待メッセージに質問が付いている場合は答えを入力する必要があります。

辞退……チャットの招待を辞退します。招待者へ招待を辞退したメッセージを送信し、招待メッセージは削除されます。

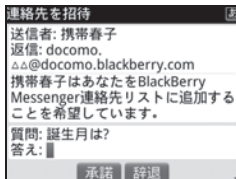
無視……チャットの招待を無視します。招待者へ確認のメッセージは返信せず削除します。

おしらせ

・保留中グループが作成され一旦保留になりますが、認証が終わると連絡先グループに登録されます。保留中グループは消去されます。

● 連絡先を招待画面に質問が付いていた場合

招待者が招待先を確認するために質問を提示してきています。正しい解答をしないと招待者とチャットを開始することはできません。

→「答え：」を入力→「承諾」

おしらせ

・招待を承諾するときだけ「答え：」の入力が必要です。「辞退」／「無視」を選択するときは入力する必要はありません。

QRコードをスキャンして連絡先を登録する

本端末には個別の端末情報を持ったQRコードが作成されています。QRコードをスキャンすることで端末情報を相手に提供したり、相手から受け取ることができます。

1 連絡先を招待画面→「個人のバーコードをスキャン」

バーコードをスキャン画面が表示されます。

2 「続行...」を選択

スキャン画面が表示されるので、スキャンするQRコードを画面に収まるように映し出します。

フォーカスされて自動的にスキャンします。

■ QRコードをスキャンしてもらう場合

BlackBerry Messenger画面→⊞→「自分のプロファイル」→「自分のバーコードを表示」を選択

QRコードが画面に表示されるのでスキャンしてもらう。

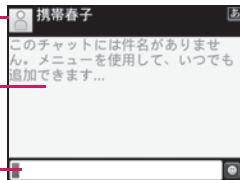
チャットを開始する

1 ホームスクリーンで⊞→「インスタントメッセージ」→「BlackBerry Messenger」

BlackBerry Messenger画面が表示されます。

2 連絡先項目からチャットする相手の連絡先を反転

3 ⊞→「チャットを開始」

チャットの画面が表示されます。

4 メッセージを入力→⊞→「送信」

メッセージが送信されます。

おしらせ

・BlackBerryグループでチャットするグループを選択してチャットを開始することもできます。

・複数の人とチャットする場合は、チャット中に⊞→「会議に招待する」で連絡先を呼び出します。

● メッセージの発信・受信時間を見る

メッセージにカーソルを合わせると送信／受信してからの時間が表示されます。

チャットを終了する

BlackBerry Messengerでのチャットを終了します。

1 チャット中に→「チャットを終了」

おしらせ

- ・「メッセージアプリケーションでチャットを表示」(P.85)を設定している場合、チャット中は「メッセージ」のメッセージリスト画面(P.38)にもチャットが表示されます。チャットを終了すると表示は消えます。
- ・チャットした履歴をメモ帳に貼り付けて保存または、メールに添付して送付することができます。
「チャット中に利用できる機能」→(P.81)

チャットの応用操作

記号や絵文字を入力する

1 メッセージの入力中→→「絵文字を表示」

分類分けされたリストが表示されます。

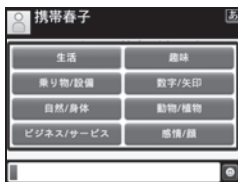
2 分類を選択

分類分けされたそれぞれの絵文字が表示されます。

3 ▢で入力したい記号や絵文字のページを表示→記号や絵文字を選択

画面に記載されている対応するアルファベットキーを押しても入力できます。

→「顔文字を追加」で顔文字が表示できます。

メッセージ入力欄の右側の「顔マーク」を選択しても顔文字を入力することができます。

チャットを再開する

チャット中に通話などで一時退席をした場合に、チャットを再開する手順です。

1 連絡先リスト画面で 、現在のチャットグループから再開するチャットを選択

2 「チャットを開く」を選択

チャットの画面が表示され、チャットを再開できます。

ブロードキャストメッセージを送信する

ブロードキャストメッセージを送信すると、BlackBerry Messengerのすべての連絡先に送信されます。送信するときに、送信する相手を選択することもできます。

1 BlackBerry Messengerのチャットグループで連絡先を反転

2 →「メッセージの一括送信」

3 メッセージを入力→「OK」

複数の連絡先とチャットする

チャットを行っているときに、相手を追加することができます。

1 メッセージの入力画面→→「会議に招待する」

連絡先を選択画面が表示されます。

2 追加する連絡先を選択→「OK」

連絡先を削除する

連絡先を削除します。

1 BlackBerry Messenger画面の「連絡先」項目から削除する連絡先を反転

2 →「連絡先を削除」

削除の確認画面が表示されます。

> **おしらせ**
> ・連絡先を削除するときの確認画面に「今後の招待を無視しますか？」と表示されます。選択して「削除」すると、今後同じ相手からの招待を無視することができます。

チャット中に利用できる機能

チャット中→ で以下の機能が利用できます。
反転している項目によって利用できる機能が異なります。

ヘルプ→P.156
選択……テキストを選択します。
選択をキャンセル……選択したテキストをキャンセルします。
コピー……選択したテキストをコピーします。
貼り付け……コピーしたテキストを貼り付けます。
フィールドをクリア……メッセージを削除します。
送信……メッセージを送信します。
顔文字を追加……顔文字選択画面が表示されます。
チャットをクリア……チャットの履歴をクリアします。
チャットをコピー……チャットの履歴をコピーします。コピーした履歴はメールやメモ帳に貼り付けて保存できます。
チャットをメールで送信……チャットの履歴をメールで送信します。
チャットを切り替え……複数のチャットを開いているときにチャットを切り替えます。
会議に招待する……別の相手を招待し、複数名でチャットをします。
件名を設定……チャットのタイトルを設定します。
画像を送信……チャットの相手に画像を送信します。
参加者を表示……複数名のチャットの場合、参加者を表示します。
ボイスメモを送信……ボイスメモを送信します。録音画面でボイスメモを録音し、「送信」で送信します。ボイスメモは10秒間まで録音できます。受信したボイスメモの保存や送信はできません。
ファイルを送信……ファイルを選択して送信します。複数名でチャットしているときは送信できません。
場所を送信……GPSロケーション（位置情報）（P.160）を送信します。
連絡先の情報を送信……アドレス帳を選択し、vCard®形式のファイルとして送信します。
連絡先のプロファイル……相手の連絡先の情報を表示します。
連絡先にPingを送信……振動メッセージ（Ping）を送信します。Pingを送信すると、受信した相手の端末が振動します。送信後はチャットの画面に「PING!!!」というメッセージが残ります。振動メッセージ（Ping）を受信した際の振動をオフにする場合→「Pingの受信時にバイブ」（P.86）
"チャットの連絡先名／アドレス帳の登録名"にメール……連絡先に登録されている相手にメールを作成します。
"チャットの連絡先名／アドレス帳の登録名"にPIN……連絡先に登録されている相手にPINを作成します。
"チャットの連絡先名／アドレス帳の登録名"に発信……連絡先に登録されている相手に電話をかけます。
"チャットの連絡先名／アドレス帳の登録名"にSMS……連絡先に登録されている相手にSMSを作成します。
BlackBerryのアドレス帳を表示……アドレス帳を表示します。
連絡先リンクを削除……アドレス帳との連絡先リンクを削除します。
AutoText編集……「AutoText」→P.176
記号入力→P.27
定型文リスト<Alt+Sym>→P.28
入力言語変更→P.28
絵文字を表示……絵文字選択画面が表示されます。
アプリケーション切り替え→P.23
チャットを終了……チャットを終了します。
アドレス帳を表示……BlackBerry Messenger画面を表示します。

次ページにつづく

メッセンジャーを管理する

メッセンジャー画面で連絡先を変更したり、グループを作成できます。自分のステータスを設定することもできます。

メッセンジャー画面で利用できる機能

メッセンジャー画面→ で以下の機能が利用できます。
反転している項目によって利用できる機能が異なります。

ヘルプ→P.156

検索……チャットの連絡先を登録している相手を検索します。

すべて折り畳む……展開中の項目を折り畳みます。

メッセージの一括送信……登録している連絡先すべて、または選択した連絡先に一斉にメッセージを送信することができます。

システムメッセージを削除……選択しているシステムメッセージを削除します。

チャットを開く……チャット中の画面を開きます。

チャットを開始、チャットを終了……「チャットを開始する」→P.79

会議に招待する、会議を退出……「チャットを開始する」→P.79

画像を送信……チャットの相手に画像を送信します。

ボイスメモを送信……ボイスメモを送信します。録音画面でボイスメモを録音し、「送信」で送信します。ボイスメモは10秒間まで録音できます。受信したボイスメモの保存や送信はできません。

ファイルを送信……ファイルを選択して送信します。複数名でチャットしているときは送信できません。

連絡先を招待……「チャットへ招待する」→P.77

カテゴリの名前を変更……カテゴリの名前を変更します。

カテゴリの追加……カテゴリを追加します。

メッセンジャーの連絡先に転送……登録されているメッセンジャーの連絡先を別の連絡先に転送します。

グループを開く……グループ情報を表示します。

グループを脱退……グループから脱退します。

グループの詳細……グループの詳細情報を表示します。

新規グループを作成……新しいグループを登録します。

グループのバーコードをスキャン……連絡先に登録する相手のバーコードをスキャンして相手の情報を登録します。

連絡先のプロファイル……連絡先の情報を表示します。

連絡先を移動……連絡先を別のグループに移動します。

連絡先を削除……連絡先を削除します。削除すると、相手の連絡先リストからも自分の連絡先が削除されます。

通知を設定、通知をクリア……連絡先が利用不可の設定をしていて、利用可能になったとき通知を受けるかどうか設定します。

自分のプロファイル→P.85

"チャットの連絡先名／アドレス帳の登録名"にメール……連絡先に登録されている相手にメールを作成します。

"チャットの連絡先名／アドレス帳の登録名"にPIN……連絡先に登録されている相手にPINを作成します。

"チャットの連絡先名／アドレス帳の登録名"に発信……連絡先に登録されている相手に電話をかけます。

"チャットの連絡先名／アドレス帳の登録名"にSMS……連絡先に登録されている相手にSMSを作成します。

BlackBerry連絡先にリンク……アドレス帳にメッセンジャーの連絡先の情報が追加されます。

ホームスクリーンに表示、ホームスクリーンから削除……インスタントメッセージフォルダに選択している連絡先のアイコンが作成されます。

BlackBerryのアドレス帳を表示……アドレス帳を表示します。

連絡先リンクを削除……アドレス帳との連絡先リンクを削除します。

オプション……「オプション設定」→P.85

アプリケーション切り替え→P.23

閉じる……BlackBerry Messengerを終了します。

BlackBerryグループ管理

グループを作成してメンバー／チャット／画像／リスト／カレンダーをグループ管理することができます。

BlackBerryグループを作成する

1 BlackBerry Messenger画面で「新規グループを作成」を選択

新規グループを作成画面が表示されます。

2 グループ名を入力→画面の指示に従って入力

3 「グループを作成」を反転→▢を押す

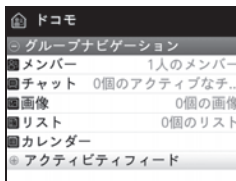
グループが作成されます。

グループナビゲーション

BlackBerryグループの管理を行います。

1 BlackBerry Messenger画面で管理するグループを選択

グループナビゲーション画面が表示されます。

以下の項目を管理できます。

グループナビゲーション……グループの以下の項目を管理します。

メンバー……グループに登録するメンバーを招待することができます。登録されているメンバーが表示されます。

チャット……グループでのチャットを始めることができます。開始されているチャットが表示されます。

画像……グループでファイル画像を共有することができます。グループ内の誰かが画像を登録すると、グループ内全員に通知され全員が見ることができます。

リスト……グループでリストを共有することができます。グループ内の誰かがリストを登録／更新すると、グループ内全員に通知され全員が見ることができます。

カレンダー……グループでカレンダーを共有することができます。グループ内の誰かが予定を登録／更新すると、グループ内全員に通知され全員が見ることができます。

アクティビティフィード……グループナビゲーションで起きた事項が表示されます。

グループにメンバーを登録する

作成したグループにメンバーを登録します。1つのグループに最大30人登録することができます。

1 BlackBerry Messenger画面で管理するグループを選択→「メンバー」

2 [メニュー]→「新しいメンバーを招待」

メンバーを追加画面が表示されます。

■「メールアドレス、PIN、または名前を入力」の場合

招待先に招待メールを送信します。

→入力が終わったら「送信」を選択

■ アドレス帳に登録されている場合

「宛先:」に連絡先名の一部または全体を入力→連絡先を反転→Enterキー

登録されているPIN、またはメールアドレスが表示されるので選択します。

■ アドレス帳に登録されていない場合

「宛先:」にPINまたはメールアドレスを入力→「メール:」または「PIN:」を反転→Enterキー

■「個人バーコードをスキャン」の場合

登録する相手のQRコードをスキャンして相手の情報を登録します。

「QRコードをスキャンして連絡先を登録する」→P.79

→スキャンが終わったらグループにメンバー登録されます。

■「BlackBerry Messengerから連絡先を選択」の場合

BlackBerry Messengerに登録されている連絡先をグループに登録します。

連絡先を選択画面に、BlackBerry Messengerに登録している連絡先すべてが表示されるので、グループに登録する連絡先を選択します。

→選択が終わったら「送信」を選択

● グループのQRコードをスキャンしてグループに登録する

グループを作成するとグループ情報を持ったQRコードが作成されます。グループに登録する相手がQRコードをスキャンしてグループに登録することができます。

■ QRコードを表示する

1 BlackBerry Messenger画面でグループを反転→「グループの詳細」

2「グループのバーコードを表示」を選択

グループのQRコードが表示されます。

■ QRコードをスキャンする

1 BlackBerry Messenger画面で「グループのバーコードをスキャン」を選択

バーコードをスキャン画面が表示されます。

→「次回からこのメッセージを表示しない」にチェックを付けると次回からはスキャン画面が表示されます。

2「続行」を選択

スキャン画面が表示されるので、スキャンするQRコードを画面に収まるように映し出す。

フォーカスされて自動的にスキャンします。

グループナビゲーションで利用できる機能

グループナビゲーション画面→[メニュー]で以下の機能が利用できます。

反転している項目によって利用できる機能が異なります。

ヘルプ→P.156
自分のプロファイル→P.85
管理……グループの管理を行います。
管理者パスワードを設定……グループ管理者のパスワードを設定します。このパスワードを知っていれば管理者以外のメンバーでも管理者の権限を持つことができます。
グループを削除……グループを削除します。
"グループナビゲーションの項目名"……メンバー／チャット／画像／リスト／カレンダーの各画面を表示します。
グループを脱退……グループから脱退します。
グループの詳細……グループの詳細情報を表示します。
新しいメンバーを招待……新しくメンバー登録することができます。
アプリケーション切り替え→P.23
閉じる……グループナビゲーションを閉じます。

自分のプロファイルを編集

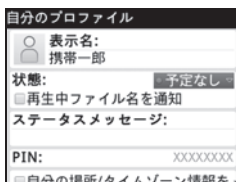
BlackBerry Messengerで公開するプロファイルを変更する

BlackBerry Messengerで公開する自分のプロファイルを変更します。

1 BlackBerry Messenger画面で→「自分のプロファイル」

自分のプロファイル画面が表示されます。

2 公開する表示項目を選択→表示項目を編集

以下の項目を設定できます。

表示名……BlackBerry Messengerで公開する自分の表示名を編集できます。

状態……BlackBerry Messengerで公開する自分の状態を設定します。予定なし／通話中／状態をカスタマイズして表示することができます。また、再生中のファイル名を通知する設定ができます。

ステータスメッセージ……BlackBerry Messengerで公開する自分の状態をメッセージで伝えることができます。

PIN……本端末のPIN番号が表示されます。

自分の場所／タイムゾーン情報を表示……BlackBerry Messengerで自分の場所／タイムゾーン情報を公開することができます。

自分のバーコード……ご自身のBlackBerryの情報のバーコードです。他のBlackBerry Messengerのユーザーがスキャンすることによって連絡先に登録することができます。

3 →「保存」

変更した情報は登録している連絡先に送信されます。

通話中など利用不可に設定されるとチャットの画面上部のアイコンがに変化します。

オプション設定

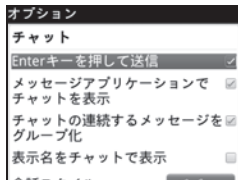
1 ホームスクリーンで→「インスタントメッセージ」→「BlackBerry Messenger」

連絡先リスト画面が表示されます。

2 →「オプション」

オプション画面が表示されます。

3 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

■ チャット

Enterキーを押して送信……Enterキーを押すとすぐ送信するかどうかを設定します。

メッセージアプリケーションでチャットを表示……メールのメッセージリストにチャットを表示するか設定します。

チャットの連続するメッセージをグループ化……チャットの表示画面で、連続して送信または、受信したメッセージをグループ表示します。

表示名をチャットで表示……チャットの表示画面で送信または、受信したメッセージにBlackBerry Messengerで公開している表示名を表示します。

会話のスタイル……チャットの表示画面のスタイルを変更します。

チャットの並べ替え……チャットを複数実行している場合に、表示する順番を設定します。

■ 画像を表示

発信者の写真を表示画像で置換……発信者の写真を表示画像で置き換えます。

■ アドレス帳

連絡先リストのコピーを保存……連絡先リストのバックアップを作成することができます。BlackBerry Desktop Managerを使用してBlackBerry Messengerをバックアップすることもできます。

以前に保存した連絡先リストのコピーを復元……バックアップした連絡先リストを復元します。

バックアップファイルを削除……バックアップした連絡先リストを削除します。

■ 最近の更新

最近の更新を表示……連絡先に登録している相手の状態などが変更された場合の更新情報を表示する件数を設定します。

同じ連絡先／グループから最近の更新をグループ化……同じ相手または同じグループからの更新情報をグループ化して表示する設定を行います。

連絡先から音楽の更新を表示……連絡先に登録している相手が音楽の更新を行ったときに更新を表示します。

■ その他

Pingの受信時にバイブ……振動メッセージ(Ping)を受信したときのバイブレーターを使用するか設定します。

出席依頼にセキュリティに関する質問を表示……招待メッセージにセキュリティに関する質問を付けるか設定します。招待を受けたユーザーが招待に承諾する際、セキュリティの質問を要求されます。

メッセージ履歴を保存……チャットの履歴を保存する場合に設定します。

ボイスメモを自動承諾……ボイスメモの受信を自動で承諾する場合に設定します。

4 [メニュー]→「保存」

ブラウザ

ブラウザの基本操作

本端末のブラウザは、さまざまな機能や複数のブラウザ設定のサポートにより、最適なインターネット環境をお楽しみいただけます。

- ブラウザの利用はパケット通信料が高額になる場合があります。パケ･ホーダイ ダブルを契約すると定額制サービスを利用できます。

利用できるブラウザについて

本端末には3種類のブラウザ（BlackBerry® Browser/Internet Browser/Hotspot Browser※1）が搭載されており、ご利用のサービスによりお使いになれるブラウザが異なります。

ご利用のサービス	アイコン名称※2	利用可能なブラウザ
BlackBerry Enterprise Solution	ブラウザ	BlackBerry Browser Hotspot Browser※1
BlackBerry Internet Service	ブラウザ Internet Browser	Internet Browser Hotspot Browser※1

※1 Wi-Fiネットワーク接続時に利用できます。デフォルトで利用するブラウザは任意に設定できます。→P.98

※2 BlackBerry Enterprise SolutionおよびBlackBerry Internet Serviceをご利用の場合、または、BlackBerry Internet Serviceをご利用の場合、アイコンが2つ（ブラウザ）表示されます。→P.18

おしらせ

- Flashの表示／再生には対応していません。
- 動画のストリーミング再生はHotspot Browserで可能です。
- Hotspot Browserをご利用いただくには、別途公衆無線LANサービスなどのご契約が必要な場合があります。

基本操作

ブラウジング中の基本操作は、表示されたWebページ上でを押して表示されたメニューから選択します。

おしらせ

- リンクや画像の上などでを押すと、状況に応じたメニューが表示されます。

基本ブラウジング操作

● ブラウザを起動する

1 ホームスクリーンで→「ブラウザ」

ブラウザが起動し開始ページが表示されます。

※ 開始ページはユーザーが設定することができます。開始ページは任意のWebページやブックマークなどを設定することができます。「開始ページ」→P.98

おしらせ

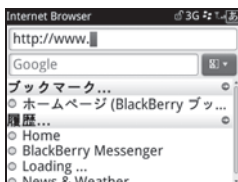
- BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様でエンタープライズアクティベーション（P.34）をされていない場合、ホームスクリーンやアプリケーションリストにブラウザのアイコンは表示されますが、有効にはなりません。インターネット接続によるブラウザ機能もご利用になれません。
- Webサイトは特定の条件下で文字化けする場合があります。
- Webページによっては正しく表示されない場合があります。

● 任意のWebページを表示する

任意のURLを入力してWebページを表示できます。
BlackBerry Internet Serviceをご利用の場合は、キーワードで検索してWebページを表示することもできます。

1 Webページで[BBキー]→「URL入力」

2 URL入力欄にURLを入力→[トラックパッド]を押す

Webページが表示されます。

■ BlackBerry Internet Serviceをご利用の場合

検索ワード入力欄に検索したいキーワードを入力して[トラックパッド]を押すと、キーワード検索結果のWebページを表示できます。
また、検索ワード入力欄の右の欄で、検索エンジンを選択することもできます。選択できる検索エンジンは、「Google」、「Wikipedia」、「Dictionary.com」です。

おしらせ

・BlackBerry Enterprise Solutionのみをご利用の場合は、検索ワード入力欄は表示されません。

● Webページ内を上下にスクロールする

キー	説明
[トラックパッド]	[トラックパッド]で上下にスクロール
スペースキー	1ページずつ下に移動
Shiftキー+スペースキー	1ページずつ上に移動

● Webページ内のリンク先を開く

1 ページ内のリンク（文字、ボタンなど）にポインタを合わせる

2 [BBキー]→「リンクを開く」

リンク先のページが表示されます。
リンク上で[トラックパッド]を押して開くこともできます。

● 前後のページに移動する（進む・戻る）

1 [BBキー]→「戻る」または「次へ」

[戻るキー]で前のページに戻ることもできます。

● ズームイン、ズームアウト

1 [BBキー]→「ズームイン」または「ズームアウト」

[戻るキー]で元のサイズに戻ります。

● Webページの読み込みを中止する

1 Webページの読み込み中に[BBキー]→「停止」

● 表示を切り替える

列ビューまたはページビューでWebページを表示できます。

・列ビュー：モバイルビュー形式でWebページを表示

・ページビュー：コンピュータのブラウザでWebページを表示する際に使用するものと同じような、ワイド画面形式でWebページを表示

1 Webページ上で▦→「列ビュー」または「ページビュー」

● インジケータエリアの表示／非表示

ブラウジング中の画面最上部にあるインジケータエリアの表示／非表示を切り替えることができます。
[U]キーで、インジケータの表示・非表示を切り替えます。
インジケータエリアの表示・非表示の状態は、次回の起動時にも反映されます。

● ブラウザを終了する

1 Webページで▦→「閉じる」

おしらせ

・▭でブラウザを終了した場合、次に起動したときも終了時に表示していたページが表示されます。

Webページ表示中に利用できる機能

Webページ表示中→▦で以下の機能が利用できます。
反転している項目によって利用できる機能が異なります。

ヘルプ→P.156

列ビュー、ページビュー……「表示を切り替える」→P.89

ズームイン、ズームアウト……「ズームイン、ズームアウト」→P.89

検索……テキストを検索します。検索実行後は▦→「次を検索」で次の候補を検索できます。

選択……テキストを選択します。

選択をキャンセル……選択したテキストをキャンセルします。

コピー……選択したテキストをコピーします。

貼り付け……コピーしたテキストを貼り付けます。

リンクを開く……「Webページ内のリンク先を開く」→P.89

全画面表示……「画像を表示する」→P.94

回転……表示中の画像を時計回りに90度回転して見ることができます。

画面に合わせる……ディスプレイのサイズに合わせた大きさで表示します。

ズーム1:1……オリジナルの画像サイズで表示します。

画像を保存……「ページを保存する」→P.94

ホーム……ブラウザ設定（P.98）で設定されているホームページに戻ります。

URL入力……URLを入力してWebページを表示します。

戻る、次へ……前後のページに移動します。

最近のページ……最近閲覧したページのリストを表示します。選択するとそのページを表示します。最後にアクセスしたときから更新されたWebページはイタリックで表示されます。

履歴……「閲覧履歴を表示する」→P.91

更新……現在閲覧中のWebページを更新します。

エンコーディングを設定……「エンコーディングを設定する」→P.91

ブックマークを追加……「ブックマーク」→P.91

ブックマーク……「ブックマーク」→P.91

画像アドレス、リンクアドレス、ページアドレス……「ページアドレス」→P.93

アドレスを送信……「ページアドレス」→P.93

オプション……「オプション設定」→P.98

ページを保存……「ページを保存する」→P.94

アプリケーション切り替え→P.23

閉じる……「ブラウザを終了する」→P.90

閲覧履歴を表示する

1 Webページ上で →「履歴」

履歴画面が表示されます。

■ 履歴のWebページを表示する場合

→表示する項目を選択

> **おしらせ**
> ・参照する履歴に「+」が表示されている場合は、その行を選択→ →「展開」で、履歴が展開されWebページ名が表示されます。
> ・参照する履歴に「－」が表示されている場合は、その行を選択→ →「折り畳む」で、一覧を閉じることができます。

エンコーディングを設定する

1 Webページ上で →「エンコーディングを設定」

エンコーディングを選択画面が表示されます。

2 「自動モード」を選択

エンコードを自動で指定する場合はチェックを付けます。

3 「デフォルトの文字セット」を選択→ を押す

リストが表示されるので を上下にスライドして選択します。
「デフォルトの文字セット」→Altキーでもリストを表示できます。
スペースキーでエンコードを順に選択することもできます。
また、設定するエンコードの頭文字をアルファベットで入力してエンコードを表示することもできます。

4 「OK」を選択

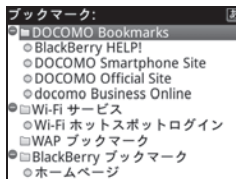
ブックマーク

頻繁にアクセスするWebページはブックマークとして追加できます。ブックマークを追加する場合、ブラウザが定期的に更新状況を確認するかどうかを設定できます。

● ブックマークを表示する

1 Webページ上で →「ブックマーク」

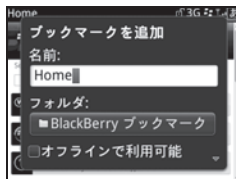
■ ブックマークに登録されたWebページを表示する場合

→表示する項目を選択

> **おしらせ**
> ・表示するブックマークフォルダに「+」が表示されている場合は、その行を選択→ →「展開」で、ブックマークが展開されWebページ名が表示されます。
> ・表示するブックマークフォルダに「－」が表示されている場合は、その行を選択→ →「折り畳む」で、一覧を閉じることができます。
> ・ブックマークに対して、ブラウザが設定された間隔で更新チェックをするか設定することができます。最後のアクセスから変更があったWebページのブックマークはイタリックで表示されます。「ブックマークを追加する」→P.91

● ブックマークを追加する

1 Webページ上で →「ブックマークを追加」

ブックマークを追加画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

名前……ブックマークとして登録する名前を設定します。
フォルダ……ブックマークを登録するフォルダを設定します。
オフラインで利用可能……オフライン時、最後にオンラインで表示したときの状態を表示するか設定します。
自動同期……設定した時間ごとに自動同期するように設定します。
開始時間……自動同期で時間を指定した場合に表示されます。同期の開始時刻を設定します。
ブラウザ……ブラウザを指定します。
ブラウザID……「ブラウザ設定」(P.98)の「ブラウザID」を参照してください。
表示……列ビューで表示するかページビュー表示するか設定します。
JavaScript……JavaScriptの有効／無効を設定します。

3「追加」を選択

おしらせ

・オフラインでWebページにアクセスすると、最後にオンラインでWebページを表示したときのコンテンツが表示されます。

● ブックマークを編集する

1 Webページ上で[メニュー]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 編集するブックマークを反転

3 [メニュー]→「ブックマークを編集」

ブックマーク編集画面が表示されます。

4 編集したら、「保存」を選択

● ブックマークを送信する

1 Webページ上で[メニュー]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 送信するブックマークを反転

3 [メニュー]→「ブックマークを送信」

メールの種類を選択し、メールを作成してください。送信後は[戻る]でブックマーク画面に戻ります。

メールの作成、送信について→P.42

● ブックマークを削除する

1 Webページ上で[メニュー]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 削除するブックマークを反転

3 [メニュー]→「ブックマークを削除」→「削除」

● ブックマークを移動する

1 Webページ上で[メニュー]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 移動するブックマークを反転

3 [メニュー]→「ブックマークを移動」

[トラックパッド]を上下にスライドして移動させます。

4 移動したい場所で[トラックパッド]を押す

● ブックマークフォルダにサブフォルダを作成する

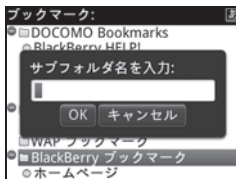
既存のブックマークフォルダの下に新たにサブフォルダを作成します。

1 Webページ上で[メニュー]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 サブフォルダを作成するブックマークフォルダを反転

3 [メニューキー]→「サブフォルダを追加」

サブフォルダ名を入力画面が表示されます。

4 サブフォルダ名を入力→「OK」

おしらせ

・ブックマークフォルダに「+」が表示されている場合は、その行を選択→[メニューキー]→「展開」で、ブックマークが展開され登録されているブックマーク名が表示されます。
・ブックマークフォルダに「－」が表示されている場合は、その行を選択→[メニューキー]→「折り畳む」で、一覧を閉じることができます。

● ブックマークフォルダの名前を変更する

1 Webページ上で[メニューキー]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 変更するブックマークフォルダを反転

3 [メニューキー]→「フォルダの名前を変更」

サブフォルダ名を入力画面が表示されます。

4 サブフォルダ名を入力→「OK」

おしらせ

・名前が変更できるのは、新たに作成したサブフォルダのみとなります。
デフォルトのブックマークフォルダの名前は変更できません。

● ブックマークフォルダを削除する

1 Webページ上で[メニューキー]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 削除するフォルダを反転

3 [メニューキー]→「フォルダを削除」→「削除」

おしらせ

・削除できるのは、新たに作成したサブフォルダのみとなります。
デフォルトのブックマークフォルダは削除できません。

ページアドレス

● Webページのアドレスを表示する

1 Webページ上で[メニューキー]→「ページアドレス」

Webページのアドレスが表示されます。「OK」で閉じます。

■ Webページのアドレスをコピーする場合
→「アドレスをコピー」

■ Webページのアドレスをメールで送信する場合
→「アドレスを送信」
メールの種類を選択し、メールを作成してください。送信後は[戻るキー]でブラウザに戻ります。
メールの作成、送信について→P.42

● リンクのアドレスを表示する

1 Webページ上でリンクを反転、またはポインタで指す

2 [メニューキー]→「リンクアドレス」

リンク先のアドレスが表示されます。「OK」で閉じます。

■ リンクのアドレスをコピーする場合
→「アドレスをコピー」

■ リンクのアドレスをメールで送信する場合
→「アドレスを送信」

メールの種類を選択し、メールを作成してください。送信後は でブラウザに戻ります。
メールの作成、送信について→P.42

● 画像のアドレスを表示する

1 Webページ上で画像を反転、またはポインタで指す

2 →「画像アドレス」

画像のアドレスが表示されます。「OK」で閉じます。

- ■ 画像のアドレスをコピーする場合
  →→「アドレスをコピー」
- ■ 画像のアドレスをメールで送信する場合
  →「アドレスを送信」
  メールの種類を選択し、メールを作成してください。送信後は でブラウザに戻ります。
  メールの作成、送信について→P.42

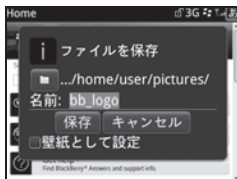
ページを保存する

● Webページの画像を保存する

1 Webページ上で画像にポインタを合わせる

2 →「画像を保存」

ファイルを保存画面が表示されます。

- ■ 画像の保存先を変更する場合
  →を選択して→「エクスプローラ」→保存先フォルダに移動→→「ここを選択」
- ■ ファイル名を変更する場合
  →名前フィールドにファイル名を入力
- ■ ホームスクリーンの壁紙に設定する場合
  →「壁紙として設定」にチェックを付ける

3 「保存」を選択

● Webページ要求をメッセージリストに保存する

Webページのロード中にWebページ要求をメッセージリストに保存できます。

1 Webページのロード中に、→「要求を保存」

2 「はい」を選択

● Webページをメッセージリストに保存する

保存したWebページには、Webページを保存したときの内容が表示されます。

1 Webページのロード終了後、→「ページを保存」

2 「OK」を選択

おしらせ

・ロード中に保存した場合は、ロード中の状態で保存され、Webページのすべてを保存することはできません。

画像を表示する

● Webページの画像を全画面表示する

1 Webページ上で全画面表示する画像をポインタで指す

2 →「全画面表示」

でブラウザに戻ります。

● Webページの画像を拡大縮小表示する

1 Webページ上で拡大縮小表示する画像にポインタを合わせる

2 →「全画面表示」

3 [メニューキー]→「ズームイン」

さらに拡大する場合は、この操作を繰り返してください。

縮小する場合は、[メニューキー]→「ズームアウト」。

[トラックパッド]を押しても画像が拡大されます。

[戻るキー]を押すと、元のサイズに戻ります。

■ オリジナルの画像サイズで表示する場合
→[メニューキー]→「ズーム1:1」

拡大表示した状態で[トラックパッド]をスライドして画像をスクロールすることができます。

[戻るキー]でブラウザに戻ります。

● Webページの画像を回転させる

1 Webページ上で回転させる画像にポインタを合わせる

2 [メニューキー]→「全画面表示」

3 [メニューキー]→「回転」

画面が時計まわりに90度回転します。同じ操作で回転を繰り返します。

[戻るキー]でブラウザに戻ります。

ストリーミング

● Webページで曲やビデオを再生する

1 ブラウザで曲またはビデオのリンクを選択→「開く」

曲またはビデオがMedia Playerで再生されます。

「Media Playerを利用する」→P.106

● Webページで曲やビデオを保存する

1 ブラウザで曲またはビデオのリンクを選択→「保存」

2 曲またはビデオの名前を入力→「保存」

ファイルダウンロード

1 Webページ上でダウンロードするファイル名、リンク先などにポインタを合わせる

2 [メニューキー]→「リンクを開く」

ファイルの内容が表示されます。

3 [メニューキー]→「ファイルをダウンロード」

ファイルを保存画面が表示されます。

■ データの保存先を変更する場合
→[フォルダアイコン]を選択して[メニューキー]→「エクスプローラ」→保存先フォルダに移動→[メニューキー]→「ここを選択」

■ ファイル名を変更する場合
→ファイルを保存画面で、ファイル名を入力

4 「保存」を選択

Webフィード

Webフィードは、Webサイトのコンテンツの更新に関する情報を提供します。Webフィードを開いて、更新されたWebサイトのコンテンツのタイトルと説明のリストを表示することができます。

● Webフィードを追加する

Webフィードが Webページで利用できる場合、「Webフィードを追加」がメニューに表示され、対象のWebフィードをブックマークに追加することができます。

1 Webページ上で[メニューキー]→「Webフィードを追加」

使用可能なフィード画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

使用可能なフィード……使用できるフィードを設定します。

RSS……RSSの配信を許可するか設定します。

Atom……Atomの配信を許可するか設定します。

フォルダ……ブックマークを登録するフォルダを設定します。

自動同期……オフライン時にブックマークしたWebページの更新チェックを自動で行う間隔を設定します。

開始時間……自動同期で時間を指定した場合に表示されます。同期の開始時刻を設定します。

ブラウザ……ブラウザを指定します。

3 「追加」を選択

おしらせ

- ブックマークに保存されたWebフィードは、他のWebページと同じ表示形式で保存されます。また、自動同期で更新チェックの間隔が設定されている場合、最後のアクセスから変更があったWebフィードのブックマークはイタリックで表示されます。

● Webフィードを表示する

対象のWebフィードを表示して、「ストーリーの概要」や「すべてのストーリー」を閲覧することができます。

1 Webフィードを反転

■ すべてのストーリーを表示する場合
→[メニュー]→「ストーリーを読む」

■ ストーリーの概要を表示する場合
→[メニュー]→「説明を表示」

- 説明を非表示にする場合は「説明を非表示」を選択します。

● Webフィードのコンテンツを開く

対象のWebフィードに、オーディオや画像のファイルが含まれる場合、それらのファイルをダウンロードして取得することができます。

1 Webページ上で[メニュー]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 Webフィードを選択

Webフィードの画面が表示されます。

3 オーディオや画像のあるトピックやニュースを反転

4 [メニュー]→「オーディオを取得」または「画像を取得」

おしらせ

- BlackBerry Internet Serviceの場合は5MB以下のWebフィードのコンテンツを開くことができます。
- BlackBerry Enterprise Serverをご利用の場合は128KB以下のWebフィードのコンテンツを開くことができます。

● Webフィードのタイトルを開封済み／未開封にする

1 Webページ上で[メニュー]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 Webフィードを選択

Webフィードの画面が表示されます。

3 開封済みまたは未開封にする項目を反転

■ 開封済みにする場合
タイトルを反転→[メニュー]→「開封済みにする」

■ 未開封にする場合
タイトルを反転→[メニュー]→「未開封にする」

■ 日付を指定して開封済みにする場合
日付を反転→[メニュー]→「この日の分まで開封済みにする」

● Webフィードを編集する

1 Webページ上で[menu]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 編集するWebフィードを反転

3 [menu]→「ブックマークを編集」

ブックマーク編集画面が表示されます。

4 編集したら、「保存」

● Webフィードを削除する

1 Webページ上で[menu]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 削除するWebフィードを反転

3 [menu]→「ブックマークを削除」

● Webフィードを移動する

1 Webページ上で[menu]→「ブックマーク」

ブックマーク画面が表示されます。

2 移動するWebフィードを反転

3 [menu]→「ブックマークを移動」

4 移動したい場所で[□]を押す

ブラウザプッシュ

ブラウザプッシュは、情報が利用可能になったときに、Webアプリケーションから最新情報を本端末にプッシュする機能です。

端末が最新情報を受信すると、新しいブラウザプッシュメッセージがメッセージリストに表示されたり、ホームスクリーンのアイコンやアプリケーションリストが変更されて新着情報があることを示す場合があります（Webアプリケーションからブラウザキャッシュに、通知なしで最新情報がプッシュされる場合もあります）。

ホームスクリーンで[menu]→「オプション」→「詳細オプション」－「ブラウザプッシュ」で設定します。詳しくは「ブラウザプッシュ」（P.199）を参照してください。

ブラウザセキュリティ

端末がインターネット上でBlackBerry Enterprise Server経由で送受信するデータは、TLSまたはSSLを使用して暗号化します。
また、WAPゲートウェイ経由で送受信するデータは、WTLSを使用して暗号化します。

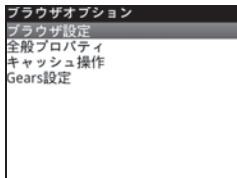
ホームスクリーンで[menu]→「オプション」→「セキュリティのオプション」→「高度なセキュリティオプション」－「TLS」および「WTLS」で設定します。詳しくは「TLS」（P.185）、「WTLS」（P.187）を参照してください。

オプション設定

1 ホームスクリーンで →「ブラウザ」

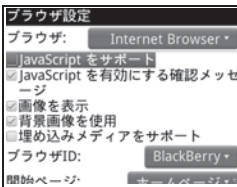
ブラウザが起動し開始ページが表示されます。

2 →「オプション」

ブラウザオプション画面が表示されます。

ブラウザ設定

1 ブラウザオプション画面で「ブラウザ設定」を選択

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

ブラウザ……設定するブラウザを選択します。

JavaScriptをサポート……JavaScriptサポートの設定をします。

JavaScriptポップアップを許可、JavaScriptを有効にする確認メッセージ※2……JavaScriptのポップアップを許可するか設定します。または、JavaScriptのサポートを「オフ」にしているときにJavaScriptを有効にする必要があった場合、確認画面を表示するか設定します。

低速の実行スクリプトを終了※1……低速の実行スクリプトを終了します。

画像を表示……ブラウザで画像を表示するか設定します。

背景画像を使用……背景画像を使用するか設定します。

埋め込みメディアをサポート……埋め込みメディアをサポートするか設定します。

ブラウザID……要求時に接続先(コンテンツサーバー)に伝えるブラウザのIDを設定します。お客様が自分で選択できます。たとえば、BlackBerry Browserを利用していても、ブラウザIDをInternet Explorerにすれば、接続先(コンテンツサーバー)からはInternet Explorerからの接続に見えます。

開始ページ……ブラウザの起動時に最初に表示される画面のホームを設定します。

デフォルトの検索プロバイダ※1……デフォルトの検索プロバイダを選択します。ここで設定した検索プロバイダが「検索ワードを入力」欄(P.89)の右側に表示されます。

ホームページアドレス……ホームページアドレスを指定します。

現在のページを使用……現在表示しているページのURLを、ホームページアドレスへ割り当てます。

※1 BlackBerry Internet Serviceを利用していて、「ブラウザ」でInternet Browserを選択した場合に表示されます。

※2 ご利用のブラウザによって、表示される項目名が変わります。

3 →「オプションを保存」

● **デフォルトで使用するブラウザを設定する**

デフォルトで使用するブラウザを、下記のいずれかの方法で選択します。どちらかを変更するともう一方にも変更が反映されます。

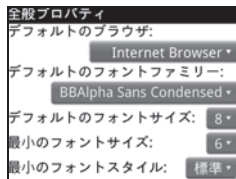
・ブラウザで →「オプション」→「全般プロパティ」→「デフォルトのブラウザ」→任意のブラウザを選択

・ホームスクリーンで →「オプション」→「詳細オプション」→「ブラウザ」(P.199)

全般プロパティ

1 ブラウザオプション画面で「全般プロパティ」を選択

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

デフォルトのブラウザ……デフォルトで使用するブラウザを選択します。BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合は「BlackBerry Browser」か「Hotspot Browser」を、BlackBerry Internet Serviceをご利用の場合は「Internet Browser」か「Hotspot Browser」を選択できます。

デフォルトのフォントファミリー※……デフォルトで使用するフォントを設定します。

デフォルトのフォントサイズ……デフォルトで使用するフォントサイズを設定します。

最小のフォントサイズ……デフォルトで使用するフォントサイズの最小サイズを設定します。ブラウザ上の表示は変更されません。

最小のフォントスタイル……デフォルトで使用するフォントの最小スタイルを設定します。ブラウザ上の表示は変更されません。

デフォルトビュー……表示方法を設定します。

画質……画像の表示画質の設定をします。

アニメーションを繰り返す……ブラウザに表示されるアニメーションの再生回数を設定します。

フル画面表示……インジケータエリアを非表示にしてフル画面で表示します。

JavaScript位置サポートを有効にする……JavaScript位置サポートの設定をします。

エスケープキーでブラウザを閉じる……ブラウザを[戻る]で終了する前に、確認画面を表示するか設定します。

変更されたページを閉じる……変更(更新)されたWebページを閉じる前に、確認画面を表示するか設定します。

ストリーミングメディア時WAPに切り替え……ストリーミングメディア時、WAPに切り替える前に、確認画面を表示するか設定します。

WMLスクリプトを実行……スクリプト実行前に確認画面を表示するか設定します。

※ 日本語環境では、「BBJapanese」または「BBJapanese Gothic」以外のフォントを設定した場合、文字化けを起こす可能性があります。

3 [メニュー]→「オプションを保存」

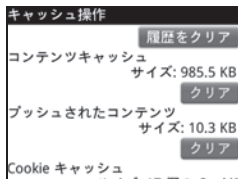
キャッシュ操作

1 ブラウザオプション画面で「キャッシュ操作」を選択

■ 履歴をクリアする場合

「履歴をクリア」を選択

■ キャッシュをクリアする場合

キャッシュの種類の横の「クリア」を選択

おしらせ

- 「履歴をクリア」でキャッシュをクリアしたり、「コンテンツキャッシュ」や「Cookieキャッシュ」をクリアする場合、確認画面などは表示されません。ボタンを選択した時点ですべて削除されます。
- 「プッシュされたコンテンツ」をクリアする場合、クリア前に確認画面が表示されます。

Gears設定

Webアプリケーションをオフライン状態でも使うことができる環境をブラウザに拡張機能として付与する設定をします。

● Webサイトに対するGearsの権限の変更

1 ホームスクリーンで[メニュー]→「ブラウザ」

ブラウザが起動し開始ページが表示されます。

2 [メニュー]→「オプション」→「Gears設定」

Gears設定画面が表示されます。

3 表示されたWebサイトを選択

次の操作のいずれかを行います。

- Webサイトが本端末に情報を保存しないようにするには、「ローカルストレージ」チェックボックスをオフにします。

次ページにつづく

- Webサイトが本端末の位置情報にアクセスできないようにするには、「位置」チェックボックスをオフにします。
- Webサイトに対するGears® の権限を削除するには、[BBキー]→「サイトを削除」を選択します。

4 [BBキー]→「保存」

メディアファイルの利用

転送とダウンロード

本端末ではメディアファイルを、音楽、ビデオ、着信音、ボイスメモ、画像、に分類して管理しています。これらのメディアファイルは、本端末とコンピュータ、または本端末とBluetooth®対応機器との間で送受信することができます。

メディアタイプを選択する

本端末で音楽ファイル、音声ファイル、動画、または画像などのメディアファイルを再生したり管理したりする場合は、メディアアプリケーションを使用します。メディアアプリケーションで該当するメディアタイプを選択して操作します。

1 ホームスクリーンで[BlackBerryキー]→「メディア」

メディアタイプ(音楽、ビデオ、着信音、画像、ボイスメモ)選択画面が表示されます。

メディアタイプアイコン		説明
(1)	(音楽)	音楽を再生します。
(2)	(ビデオ)	ビデオカメラで撮影した動画ファイルや、ダウンロードした動画ファイルを再生します。「ビデオカメラ」→P.121
(3)	(画像)	カメラで撮影した画像や、ダウンロードした画像ファイルを表示します。「カメラ」→P.118
(4)	(着信音)	着信音をダウンロードしたり、再生したりします。
(5)	(ボイスメモ)	ボイスメモを再生します。
(6)	(ビデオカメラ)	ビデオの撮影をします。「ビデオカメラ」→P.121
(7)	(ボイスメモレコーダー)	ボイスメモの録音をします。

2 「音楽」、「ビデオ」、「画像」、「着信音」、「ボイスメモ」を選択

ファイルを再生する画面が表示されます。

「音楽、着信音、ビデオ、ボイスメモ」→P.105

「画像」→P.111

Roxio Media Managerを使用して転送する

BlackBerry® Desktop ManagerのMedia Managerでは、お使いのコンピュータから本端末内の各ファイルを管理することができます。また、BlackBerry Media Syncを使うとオーディオファイルやビデオファイルを、iTunes®から本端末にコピーできます。

詳しい操作方法は、「メディア (Media Manager)」(P.232)をご覧ください。

おしらせ

・著作権で保護されているファイルはコピーできません。

マスストレージモードを使用して転送する

マスストレージモードを使用して、本端末のmicroSDカードとお使いのコンピュータの間ですばやくファイルを転送することができます。

おしらせ

・ホームスクリーン→[BlackBerryキー]→「オプション」→「メモリ」→「マスストレージのサポート」をオンに設定しておく必要があります。
「マスストレージモードのオン/オフを切り替える」→P.103

1 端末とコンピュータを接続 (P.227)

2 本端末の画面に「マスストレージモードをオンにしますか？」と確認メッセージが表示されるので、「はい」を選択

おしらせ
- 「メモリ」(P.192)の「接続したときにマスストレージモードを自動的に有効にする」で、確認メッセージを表示するかどうか設定することができます。
- 端末にパスワードを設定している場合は、お使いのコンピュータにアクセス権を付与するためにパスワードを入力する画面が表示されます。

3 コンピュータのエクスプローラで「マイ コンピュータ」→「リムーバブル記憶域があるデバイス」セクションの「BLACKBERRYxx」(xxは数字)

microSDカード内のフォルダが表示されます。

4 フォルダを選択し、必要なデータをコピー、または移動

マスストレージモードのオン／オフを切り替える

microSDカードとコンピュータの間ですばやくファイルを転送する場合は、マスストレージモードをオンに設定しておきます。

1 ホームスクリーンで[BBキー]→「オプション」→「メモリ」

2 「マスストレージモードのサポート」フィールドを「オン」／「オフ」

3 [BBキー]→「保存」

Webページの曲や動画を保存する

Webページの曲や動画を保存することができます。

「Webページで曲やビデオを保存する」→P.95

Bluetooth®を使用して受信する

Bluetooth®を利用してメディアファイルを受信できます。

おしらせ
- ホームスクリーン→[BBキー]→「オプション」→「Bluetooth」→[BBキー]→「Bluetoothを有効にする」に設定しておく必要があります。
「Bluetooth®」→P.177
- Bluetooth®対応機器とペアリングしておく必要があります。
「ペアリングする」→P.164

1 端末で受信するメディアタイプを選択

「メディアタイプを選択する」→P.102

2 [BBキー]→「Bluetoothを使用して受信」

3 「はい」→「保存」

メディアファイルを送信する

メディアファイルを電子メール、またはBluetooth®を使用して送信できます。

おしらせ
- Bluetooth®を使用して送信する場合は、ホームスクリーン→[BBキー]→「オプション」→「Bluetooth」→[BBキー]→「Bluetoothを有効にする」に設定しておく必要があります。
「Bluetooth®」→P.177
- Bluetooth®を使用して送信する場合は、Bluetooth®対応機器とペアリングしておく必要があります。
「ペアリングする」→P.164

1 端末で送信するメディアタイプを選択

「メディアタイプを選択する」→P.102

選択したメディアタイプのホーム画面が表示されます。

2 (必要に応じてホーム画面からカテゴリを選択→)フォルダを選択→送信するメディアファイルを反転

次ページにつづく

3 →「メールとして送信」／「Bluetoothを使用して送信」

着信音をダウンロードする

着信音をWebサイトからダウンロードしてご利用になることができます。

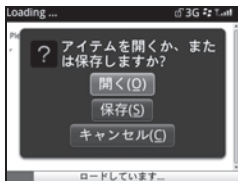
1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「着信音」を選択

「メディアタイプを選択する」→P.102

2 →「着信音をダウンロード」

BlackBerryのダウンロードサイトに接続されます。

3 使用許諾契約（英語）を確認し、同意する場合は「I ACCEPT」→着信音を選択

「アイテムを開くか、または保存しますか？」と確認画面が表示されます。

■ 着信音を聞く場合

「開く」を選択すると、Media Playerが起動しダウンロードした着信音が再生されます。

「Media Playerを利用する」→P.106

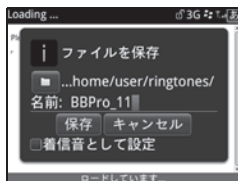
4「保存」を選択

ファイルを保存画面が表示されます。

■ 保存先を変更する場合

→ で保存するフォルダを選択

■ ファイル名を変更する場合

→名前フィールドにファイル名を入力

■ 着信音に設定する場合

→「着信音として設定」にチェックを付ける

5「保存」を選択

壁紙をダウンロードする

画像をダウンロードしてホームスクリーンの背景（壁紙）に使用することができます。

1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「画像」を選択

「メディアタイプを選択する」→P.102

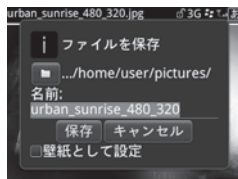
2 →「画像をダウンロード」

BlackBerryのダウンロードサイトに接続されます。

3 使用許諾契約（英語）を確認し、同意する場合は「I ACCEPT」→画像を選んで「Download」

画像が表示されます。

4 →「画像を保存」

ファイルを保存画面が表示されます。

■ 保存先を変更する場合

→ で保存するフォルダを選択

■ ファイル名を変更する場合

→名前フィールドにファイル名を入力

■ ホームスクリーンの壁紙に設定する場合

→「壁紙として設定」にチェックを付ける

5「保存」を選択

エクスプローラでファイルを管理する

エクスプローラからメディアファイルの移動、削除、名前の変更、再生、送信などができます。

おしらせ

・マスストレージモードでお使いのコンピュータと接続中のときやBlackBerry Media Syncをご利用中のときは、本端末のエクスプローラではメディアカードやデバイスメモリのフォルダは表示されません。

1 メディアタイプ選択画面（P.102）で[BB]→「エクスプローラ」

ファイルフォルダ画面が表示されます。

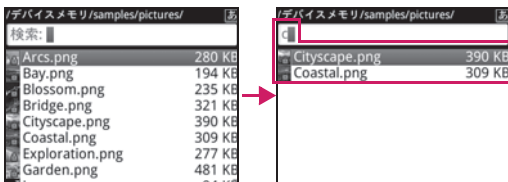
「ホームスクリーン」→[BB]→「アプリケーション」→「ファイル」→「ファイルフォルダ」でファイルフォルダ画面を表示することもできます。

2 検索フィールドにカーソルを合わせる→[□]を押す

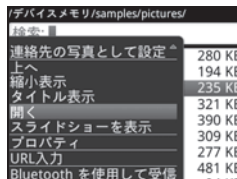
下の階層が表示されます。

[BB]→「開く」で下の階層を表示することもできます。

■ フォルダやファイルを検索する場合

検索フィールドに名前の一部またはすべてを入力すると、該当するフォルダやファイルが表示されます。

3 管理したいフォルダやファイルを表示→[BB]

利用できる機能が表示されます。

表示される機能は、選択しているフォルダ／ファイルの種類により異なります。

4 利用する機能を選択→画面の指示に従って実行

音楽、着信音、ビデオ、ボイスメモ

再生できるファイル

音楽、着信音、ビデオ、およびボイスメモのメディアファイルは、Media Playerで再生されます。再生できるファイル形式は「主な仕様」（P.261）をご覧ください。楽曲／動画によっては再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

オーディオファイルとビデオファイルを再生する

音楽、着信音、およびボイスメモはオーディオファイルとして保存され、動画はビデオファイルとして保存されています。オーディオファイルとビデオファイルは、Media Playerで再生されます。

1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「音楽」／「ビデオ」／「着信音」／「ボイスメモ」

「メディアタイプを選択する」→P.102

選択したメディアタイプのホーム画面が表示されます。

2 （必要に応じてホーム画面からカテゴリを選択→）フォルダを選択→再生するメディアファイルを選択

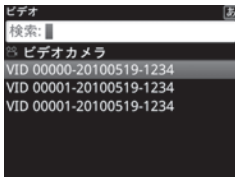
Media Playerが起動し、メディアファイルが自動的に再生されます。

「Media Playerを利用する」→P.106

■ メディアファイルを検索する場合

検索フィールドにメディアファイルの名前の一部またはすべてを入力すると、該当するファイルが表示されます。

おしらせ

- 再生するファイルを反転→⊞→「再生」で再生することもできます。
- Webページで音楽やビデオを再生する場合は、リンクをクリックします。「Webページで曲やビデオを再生する」→P.95
- メディアファイルのデータを表示する際、デバイスメモリ内のデータとmicroSDカード内のデータは、すべて表示されます（表示切替はできません）。⊞→「オプション」→「メモリ」で外部メモリを無効に設定している場合や、カードを入れていない場合はデバイスメモリのみ表示されます。
- 映像ファイルによっては、映像と音声がずれて再生される場合があります。

Media Playerを利用する

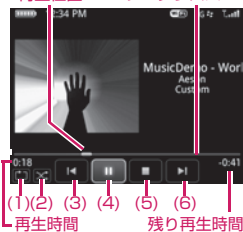
オーディオファイルとビデオファイルはMedia Playerで再生されます。メディアタイプで「音楽」を選択した場合は、プレイリストの利用や、曲のランダム再生やリピート再生などができます。

おしらせ

- 曲などを再生中に他のアプリケーションに切り替えると音声は鳴り続けます。音を消すにはMedia Playerに戻って停止してください。再生中の場合は⊞→「Media Playerに移動」でMedia Player画面に戻ることができます。
また、サイドキーに「音楽」を割り当てておくと、Media Playerをすばやく起動することができます。→P.195

再生画面の操作

1 （1）～（6）のアイコンを選択

選択したボタンに応じて再生したり停止したりします。

■ 音量を調節する場合

音量の調節は、音量アップキーと音量ダウンキーで行います。

■ 再生中に早送り、巻き戻しする場合

プログレスバーを選択→□を右または左にスライドする→□を押す。

■ 曲の途中でアプリケーションを切り替える場合

- 再生中に⊞→「アプリケーション切り替え」→切り替えるアプリケーションを選択
- Media Playerに戻るには⊞→「Media Playerへ移動」

■ 曲を繰り返し再生する場合

□で（1）のリピートアイコンを選択して□を押すと、「オフ」／「現在の曲」／「すべての曲」を切り替えることができます。

また、⊞→「リピート」でもリピート再生の「オフ」／「現在の曲」／「すべての曲」を切り替えることができます。メニューの「リピート」の左側にチェックマークが表示されます。

■ オーディオファイルをシャッフル再生する場合

□で（2）のシャッフルアイコンを選択して□を押すと、シャッフル再生のオン／オフを切り替えることができます。

すべてのオーディオファイルのシャッフル再生を行う場合は、「曲をシャッフルする」（P.109）を参照してください。

再生中のカテゴリ内すべての曲のシャッフル再生を行う場合は、⊞→「シャッフル」でシャッフル再生のオン／オフを切り替えます。

またメニューの「シャッフル」の左側にチェックマークが表示されます。

※ ビデオファイルのリピートおよびシャッフル再生はできません。

2 [メニュー]→「閉じる」

アイコン		説明
(1)		リピート再生がオフになっています。
		現在の曲をリピート再生します。
		すべての曲をリピート再生します。
(2)		シャッフル再生を行いません。
		シャッフル再生を行います。
(3)		再生中のファイルの先頭に戻る、または前のファイルを再生します。
(4)		再生します。
		一時停止します。
(5)		再生を停止します。
(6)		次のファイルを再生します。
ミュートボタン		再生を停止します。もう一度押すと再生を再開します。
音量アップキー、音量ダウンキー		音量を調整します。音量キーを押すと画面中央に音量レベルが表示されます。 長押しで次の曲もしくは前の曲に飛ばすことができます。

■ 音量の表示

音量の調整は本体右横の音量アップ／ダウンキーで行います。「各部の名称と機能」→P.10

	スピーカーフォンがオンになっています。 [¥]キーでオン／オフの切り替えができます。 [メニュー]→「スピーカーフォンON」／「スピーカーフォンOFF」でも切り替えられます。
	スピーカーフォンがオフになっています。 [¥]キーでオン／オフの切り替えができます。 [メニュー]→「スピーカーフォンON」／「スピーカーフォンOFF」でも切り替えられます。
	イヤホンを使用中です。 イヤホン使用中でも、[¥]キーでスピーカーフォンとイヤホンを切り替えることができます。

おしらせ

- ビデオファイルを再生中に(1)～(6)のアイコンを表示するには、[□]を押します。
- 再生中に[メニュー]で利用できる機能を表示して操作することもできます。

プレイリストを利用する

メディアタイプで「音楽」を選択した場合、お気に入りの楽曲をグループ別に登録してプレイリストを作成することができます。

本端末ではスタンダードプレイリスト、およびスマートプレイリストを作成できます。

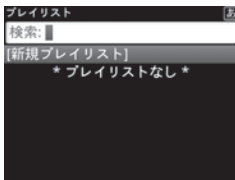
・スタンダードプレイリスト：手動でリストを作成します。

・スマートプレイリスト：曲のアーティスト、アルバム、またはジャンルの条件を指定すると、条件に合う曲を端末に追加した時点で、プレイリストに自動的に追加されます。プレイリスト一覧の自動プレイリストの横には が表示されます。

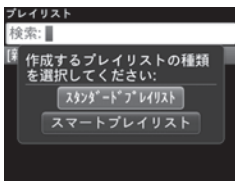
おしらせ

・次の方法でプレイリストを作成することもできます。
アーティストやアルバムフォルダで曲を反転→[Menu]→「プレイリストに追加」

● スタンダードプレイリストを作成する

1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「音楽」→「プレイリスト」

プレイリスト画面が表示されます。

2 「新規プレイリスト」を選択

プレイリストの種類を選択する画面が表示されます。

3 「スタンダードプレイリスト」→「名前」を入力→[Menu]→「曲を追加」

4 プレイリストに追加する曲を選択

■ 続けて他の曲を追加する場合
→[Menu]→「曲を追加」→曲の選択を繰り返します。

5 [Menu]→「保存」

● スタンダードプレイリストを編集する

1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「音楽」→「プレイリスト」

プレイリスト画面が表示されます。

2 編集するプレイリストを反転

3 [Menu]→「表示」

4 移動／削除する曲を反転→[Menu]→「移動」／「削除」

■ 曲を追加する場合
→[Menu]→「曲を追加」→曲の選択

5 [Menu]→「保存」

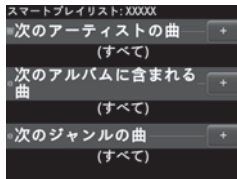
● スマートプレイリストを作成する

1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「音楽」→「プレイリスト」

プレイリスト画面が表示されます。

2 「新規プレイリスト」を選択

プレイリストの種類を選択する画面が表示されます。

3 「スマートプレイリスト」→「名前」を入力

4 「次のアーティスト」、「次のアルバムに含まれる曲」、「次のジャンルの曲」の横の「+」をクリックして必要な項目を選択

5 →「保存」

●プレイリストの名前を変更する

1 プレイリスト画面で、対象のプレイリストを反転

2 →「名前を変更」

名前を変更画面が表示されます。

3 名前フィールドのプレイリスト名を変更

■ 保存先を変更する場合
→ で保存するフォルダを選択

4 →「保存」

●プレイリストを削除する

1 プレイリスト画面で、対象のプレイリストを反転

2 →「削除」

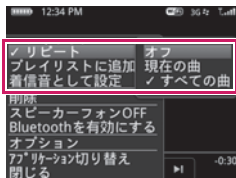
曲を繰り返し再生する

曲を繰り返し再生することができます。

1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「音楽」

音楽ホーム画面が表示されます。

2 カテゴリを選択→曲を選択→→「リピート」

現在再生中の曲か、選択しているカテゴリすべてを繰り返し再生するか選択します。

曲をシャッフルする

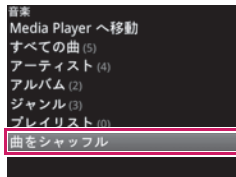
曲をランダムに再生することができます。

1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「音楽」

音楽ホーム画面が表示されます。

2 「曲をシャッフル」を選択

■ カテゴリ内のすべての曲をシャッフルする場合
→カテゴリを選択→曲を選択→→「シャッフル」

■ シャッフルを停止する場合
→→「シャッフル」

イヤホンマイク

本製品に同梱されているイヤホンマイク（BlackBerryイヤホンマイク（3.5mm））を使って、曲やビデオ再生の一時停止や再開、音量調節などができます。

ボイスメモを聞く

登録しているボイスメモを表示します。

1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「ボイスメモ」

登録されているボイスメモが表示されます。

2 再生するボイスメモを反転→→「再生」

■ 名前を変更する場合
→→「名前を変更」

ボイスメモを録音する

1 **メディアタイプ選択画面(P.102)で「ボイスメモレコーダー」**

ボイスメモの録音画面が表示されます。

アイコン		説明
(1)	(メモリ容量アイコン)	本体メモリまたはmicroSDカードのメモリ容量の目安を表示します。
(2)	●	ボイスメモレコーダーが起動していることを示します。
	II	ボイスメモが録音中であることを示します。
(3)	0:00	録音時間を分:秒で表示します。

2 **□を押す**

録音が開始され、●がIIに変わります。

3 **□を押す**

録音が一時停止され、画面下部にアイコンが表示されます。

4 **アイコンを選択**

ボイスメモを保存する場合は、「名前を変更」を選択して「保存」を選択してください。

アイコン		説明
(1)	●（再開）	録音が再開されます。
(2)	■（停止）	録音した音声を保存し、ボイスメモの録音画面に戻ります。
(3)	▶（再生）	録音した音声を再生します。音声が保存され、Media Playerが起動されます。 「Media Playerを利用する」→P.106
(4)	（名前を変更）	音声ファイルの名前を変更できます。 （フォルダアイコン）を選択して保存先の変更もできます。 また、（フォルダアイコン）→（メニューキー）→「エクスプローラ」／「新しいフォルダ」で保存先を設定することもできます。
(5)	×（削除）	録音した音声を削除します。
(6)	✉（送信）	録音した音声をメールやインスタントメッセージで送信できます。

おしらせ

- （メニューキー）→「閉じる」、または（戻るキー）でボイスメモを終了できます。
- ボイスメモの録音は、ホームスクリーン→（メニューキー）→「アプリケーション」→「ボイスメモレコーダー」から行うこともできます。

メディアファイルを削除する

追加した曲、着信音、ビデオ、ボイスメモのみ削除することができます。

1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「音楽」／「ビデオ」／「着信音」／「ボイスメモ」

選択したメディアタイプのホーム画面が表示されます。

2 （必要に応じてホーム画面からカテゴリを選択→）フォルダを選択→削除するメディアファイルを反転

3 →「削除」

> **おしらせ**
> ・通知プロファイルで使用する着信音を削除した場合、デフォルトの着信音が使用されます。

再生中に利用できる機能

ファイル再生中→で以下の機能が利用できます。

- ヘルプ→P.156
- メディアホーム……メディアのホーム画面を表示します。
- 音楽ホーム、ビデオホーム、着信音ホーム、ボイスメモホーム……各メディアタイプのホーム画面を表示します。
- 曲を表示※2……プレイリスト内の曲を表示します。
- リピート※1……繰り返し再生します。
- シャッフル※1……ランダムに曲を再生します。
- プレイリストに追加……再生中の曲をプレイリストに追加します。
- Bluetoothを有効にする……「Bluetooth®」→P.177
- 着信音として設定※3……再生中のメディアファイルを着信音に設定します。
- 削除……再生中のメディアファイルを削除します。
- スピーカーフォンON、スピーカーフォンOFF……スピーカーフォンのON／OFFを切り替えます。
- オプション→P.115
- アプリケーション切り替え→P.23
- 閉じる……Media Playerを閉じます。

※1 メディアタイプで「音楽」選択時のみ表示されます。
※2 メディアタイプが「音楽」「ビデオ」「着信音」のときに表示されます。
※3 メディアタイプが「音楽」「着信音」「ボイスメモ」のときに表示されます。

画像

表示できるファイル

表示できる画像形式は、「主な仕様」（P.261）をご覧ください。

画像ファイルを表示する

本端末内に保存した画像ファイルを表示します。

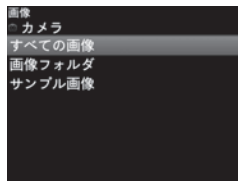
1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「画像」

画像画面が表示されます。

2 「すべての画像」／「画像フォルダ」を選択→フォルダを選択

画像がプレビュー表示されます。

3 表示するファイルを選択

画像が表示されます。

おしらせ

- プレビュー表示では→「一覧表示」でプレビューとファイル名を名前順に一覧で表示することもできます。
- 画像画面の「カメラ」を選択するとカメラを起動できます。
「カメラを起動する」→P.118
- メディアファイルのデータを表示する際、デバイスメモリ内のデータとmicroSDカード内のデータは、すべて表示されます（表示切替はできません）。→「オプション」→「メモリ」で外部メモリを無効に設定している場合や、カードを入れていない場合はデバイスメモリのみ表示されます。

画像のズームイン、ズームアウト

1 画像を表示→→「ズームイン」

さらに拡大する場合は、この操作を繰り返してください。

縮小する場合は、→「ズームアウト」。

を押しても画像が拡大されます。

を押すと、元のサイズに戻ります。

■ オリジナルの画像サイズで表示する場合
→→「ズーム1：1」

拡大表示した状態でをスライドして画像をスクロールすることができます。

おしらせ

- で画像を閉じます。

スライドショーで表示する

1 画像画面で表示する画像を反転→→「スライドショーを表示」

スライドショーの表示が始まります。

■ スライドショーを閉じる場合
→

● スライドショーの表示間隔を変更する

1 画像画面で→「オプション」→画像の「スライドショー表示間隔（秒）：」を設定

2 →「保存」

画像ファイル、フォルダを削除する

転送した画像ファイル、および画像フォルダ内の画像ファイルのみ削除できます。

1 メディアタイプ選択画面（P.102）で「画像」

2 カテゴリを選択→削除する画像または画像フォルダを反転

3 →「削除」

画像表示中に利用できる機能

画像ファイルはズームやスライドショー表示のほかに、メールで送信したりホームスクリーンの画像として表示できます。

画像のプレビュー表示中→、および画像表示中→では、以下の機能が利用できます。

ヘルプ→P.156
メディアホーム……メディアのホーム画面を表示します。
一覧表示※1……写真の保存先のフォルダのプレビューとファイル名を名前順に一覧表示します。

ズームイン、ズームアウト※2……表示中の画像をズームイン、ズームアウトします。「ズームイン、ズームアウト」→P.89

回転※2……表示中の画像を時計回りに90度回転して見ることができます。

ズーム 1:1※2……オリジナルの画像サイズで表示します。

画面に合わせる※2……ディスプレイのサイズに合わせた大きさで表示します。

送信または共有...※2、※4……表示中の画像をメールに添付して送信することができます。

壁紙として設定……表示中の画像をホームスクリーンの壁紙として設定します。

連絡先の写真として設定……画像を連絡先の写真として表示します。

地図で表示※3……写真に追加されているGPSの座標に合わせて、写真を地図上に表示します。

開く※1……反転しているフォルダやサムネイル画像を開きます。

スライドショーを表示※1……フォルダ内の画像をスライドショーで表示します。

次へ※2……フォルダ内の次の画像を表示します。

前へ※2……フォルダ内の前の画像を表示します。

削除※4……画像を削除します。

コピー※4……画像をコピーします。

移動※4……画像を別のフォルダへ移動します。

名前を変更※4……画像のファイル名を変更します。保存先の変更もできます。

プロパティ……画像のプロパティを表示します。

画像をダウンロード……BlackBerryのダウンロードサイトに移動します。→P.104

URL入力……URLを入力します。

Bluetoothを使用して送信※2、※4……画像をBluetooth®で送信します。「メディアファイルを送信する」→P.103

Bluetoothを使用して受信……画像をBluetooth®で受信します。「Bluetooth®を使用して受信する」→P.103

オプション※1……メディアのオプション画面の「画像」で、並べ替え基準やスライドショーの表示間隔などを設定します。「オプション設定」→P.115

アプリケーション切り替え→P.23

閉じる……開いている画像を閉じます。

※1 画像のプレビュー表示の場合にのみ表示されます。
※2 画像表示中のみ表示されます。
※3 画像ファイルにGPSの座標情報が含まれている場合にのみ表示されます。
※4 読み取り専用でロックされている画像では表示されません。

メディアカード

microSDカードを端末に挿入して、曲、着信音、ビデオ、画像などのメディアファイルの保存に使用できるメモリを増やすことができます。端末にmicroSDカードを挿入する方法→P.14

microSDカードをフォーマットする

microSDカードをフォーマットします。

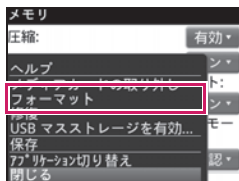
重要

microSDカードをフォーマットすると、microSDカードのすべてのファイルが削除されます。

1 ホームスクリーンで［メニューキー］→「オプション」→「メモリ」

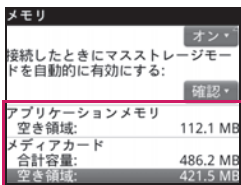
メモリ画面が表示されます。

2 ［メニューキー］→「フォーマット」

3 警告メッセージを確認→「はい」

メモリの空き容量を確認する

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→「オプション」→「メモリ」

メモリ画面で空き容量を確認できます。

メディアタイプ選択画面→[メニューキー]→「メモリ使用量」でメディアカードの使用量を確認することができます。

端末のメモリ、microSDカードのファイルを暗号化する

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→「オプション」→「セキュリティのオプション」→「暗号化」

暗号化画面が表示されます。

2 「暗号化」フィールドを「有効」

デバイスメモリ／メディアカードともに暗号化されます。

「デバイスメモリ」フィールドまたは「メディアカード」フィールドを「無効」に設定すると暗号化は無効になります。

3 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

暗号化……デバイスメモリ／メディアカードの暗号化を有効にします。

デバイスメモリ……デバイスメモリの暗号化を有効にします。

強度……暗号化の強度を設定します。

アドレス帳を含む……アドレス帳の暗号化を設定します。

メディアファイルを含む……メディアファイルの暗号化を設定します。

メディアカード……メディアカードの暗号化を有効にします。

モード……モードを設定します。
- 「デバイス」：端末が生成した暗号化キーを使用してファイルを暗号化する
- 「セキュリティパスワード」：端末のパスワードを使用してファイルを暗号化する
- 「セキュリティパスワードとデバイス」：暗号化キーとデバイスのパスワードを使用してファイルを暗号化する

メディアファイルを含む……メディアカードに保存されているメディアファイルの暗号化を設定します。

---

4 [メニューキー]→「保存」

メディアカードサポートのオン／オフを切り替える

microSDカードを使用する場合は、メディアカードサポートをオンに、利用しない場合はオフに設定します。

1 メモリ画面で「メディアカードサポート」フィールドを「オン」または「オフ」

2 [メニューキー]→「保存」

オプション設定

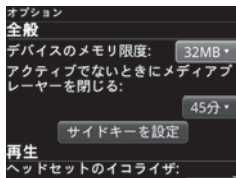
1 ホームスクリーンで→「メディア」

メディアタイプ(音楽、ビデオ、着信音、画像、ボイスメモ、ビデオカメラ、ボイスメモレコーダー)選択画面が表示されます。

2 →「オプション」

メディアのオプション画面が表示されます。

3 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

■ 全般

デバイスのメモリ限度……メディアファイルで使用できるメモリ量を設定します。

アクティブでないときにメディアプレーヤーを閉じる……起動していても使用していない場合に、メディアプレーヤーを閉じるまでの時間を設定します。

サイドキーを設定……左右のサイドキーを押したときに開くアプリケーションを設定します。→P.195

■ 再生

ヘッドセットのイコライザ……ステレオヘッドホンを使用する場合に、音質を選択して向上させることができます。

音声ブースト……曲、着信音、ビデオの音量を上げる場合はオンにします。

オートバックライトをオフにする……画面とキーボードのバックライトをオフにするかどうかを設定します。

字幕表示※……字幕表示するかどうかを設定します。「はい」を設定すると下にプレビュー画面が表示されます。

外観……字幕のスタイルを設定します。プレビュー画面で確認できます。

位置……字幕表示の位置を設定します。プレビュー画面で確認できます。

フォントサイズ……字幕のフォントサイズを設定します。プレビュー画面で確認できます。

■ 画像

並べ替え基準……ファイルを日付/時刻順に表示するか、名前順に表示するかを設定します。

スライドショー表示間隔(秒)……スライドショーの表示間隔を設定します。

予約されている画像メモリ……画像用に空けておきたいメモリ量を設定します。

除外指定……画像フォルダのアルバムアートを非表示にするものにチェックを付けます。

※ クローズドキャプションを使用しているコンテンツにのみ有効です。

4 →「保存」

おしらせ

・メディアのオプション画面は、各メディアタイプのホーム画面やプレイリスト表示中→→「オプション」でも表示できます。

カメラ／ビデオカメラ

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

ご利用になる前に

本端末では静止画と動画を撮影することができます。

撮影するときのご注意

- 本端末で撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色あいが異なる場合があります。
- レンズが指紋や油脂などで汚れると、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時に端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり撮影画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり撮影画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- シャッター音は、プロファイルを「バイブ」や「サイレント」に設定中でも一定の音量で鳴ります。オフにすることはできませんので、あらかじめご了承ください。
- マクロ撮影、バーコードリーダー機能は搭載しておりません。
- ビデオカメラ撮影時は、メディアカードを端末に挿入してください。

カメラ

写真を撮影する

カメラを起動する

1 ホームスクリーンで → 「カメラ」

写真撮影画面が表示されます。

	アイコン	説明
(1)	1000+	本体メモリまたはmicroSDカードに保存できる画像数の目安を表示します。
(2)		カメラが起動していることを示します。 ・「+」：ズームが可能です。 ・「−」：ズームアウトが可能です。
(3)	1.0x	現在のズーム倍率を示します。ズームは最大2.0倍まで調節できます。
(4)	、、	フラッシュの設定を表示します（自動発光、常時発光、常時オフ）。
(5)		照明が弱い状態で、カメラがシャッタースピードを自動的に遅くして露出を補っている場合に表示されます。シャッターを押す前にカメラを動かすと画像がぼやけることがあります。
(6)		撮影した写真に位置情報を含めることを示します。

おしらせ

- 右サイドキーでもカメラを起動できます(「オプション」-「画面／キーボード」-「右側／左側のサイドキーで開く」(P.195)または、カメラ起動中に→[メニュー]→「オプション」→「サイドキー設定」(P.120)でカメラ以外のアプリケーションを起動するように変更できます)。
- ビデオカメラ起動中に[メニュー]→「カメラ」でカメラに切り替えることができます。
- [メニュー]→「閉じる」、または[戻る]でカメラを終了できます。

撮影する

1 カメラを起動し、端末を被写体に向ける

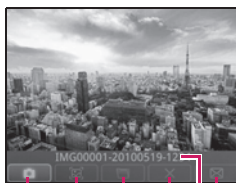
写真撮影画面が表示されます。

2 [□]を上下にスライドしてズームイン／ズームアウトを調節

3 [□]を押す

オートフォーカスの枠が表示され、写真が撮影されます。撮影した画像はディスプレイに表示されます。

画像は、「オプション」-「写真の保存先」で設定されたフォルダに保存されます。

[戻る]で写真撮影画面に戻ります。

4 アイコンを選択

アイコンはしばらくすると見えなくなりますが、[□]を押すと再度表示されます。

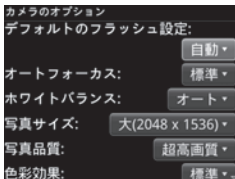
アイコン		説明
(1)	(別の写真を撮影)	別の写真を撮影します。撮影画面が表示され、撮影が可能になります。
(2)	(写真の設定先)	撮影した画像を「連絡先の写真として設定」、または「ホームスクリーン画像として設定」できます。
(3)	(写真の名前を変更)	写真の名前を変更して保存できます。 [フォルダ]を選択して保存先の変更もできます。 また、[フォルダ]→[メニュー]→「エクスプローラ」／「新しいフォルダ」で保存先を設定することもできます。
(4)	(写真を削除)	撮影した画像を削除します。
(5)	(写真を送信)	撮影した画像をメールやインスタントメッセージで送信できます。

おしらせ

- 右サイドキーでカメラを起動し、右サイドキーでシャッターを切ることもできます(「オプション」-「画面／キーボード」-「右側／左側のサイドキーで開く」(P.195)または、カメラ起動中に→[メニュー]→「オプション」→「サイドキー設定」(P.120)でカメラ以外のアプリケーションを起動するように変更できます)。
- フラッシュライトは、バッテリー残量が20パーセント以下になると暗くなります。また、低温状態でバッテリー残量が20パーセント以下になるとオフになる場合があります。
- メールに添付して送信するときに、画像サイズを「オリジナル」、「大」、「中」、「小」から選択できます。
  撮影した写真表示中に→[メニュー]→「送信／共有」で画像サイズを選択画面が表示されます。
  ※ 選択できる画像のサイズは、撮影したときの画像サイズによって異なります。

カメラを設定する

カメラ撮影時のフラッシュのオン／オフ、ホワイトバランスなどをカメラのオプションで設定することができます。

1 カメラを起動し →「オプション」

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

デフォルトのフラッシュ設定……撮影時のフラッシュライトの自動オン／常時オン／常時オフを設定します。
オートフォーカス……撮影時のオートフォーカスを標準／クローズアップ／オフから選択します。
ホワイトバランス……ホワイトバランスをオート／太陽光／曇り／夜／白熱灯／蛍光灯から選択します。
写真サイズ……写真のサイズを大(2048×1536)、中(1024×768)、小(480×360)から選択します。サイズが大きいほど多くのメモリが必要です。
写真品質……画質を超高画質／高画質／標準から選択します。高画質にするほど多くのメモリが必要になります。
色彩効果……写真をモノクロやセピア色で撮影することができます。標準(カラー)／白黒／セピアから色彩効果を選択します。
位置情報追加……GPSの座標情報を写真に追加するかどうかを設定します。
写真の保存先……写真の保存先を設定します。
フォルダ……写真の保存先のフォルダを設定します。
サイドキーを設定……本端末の両サイドにあるサイドキーを押したときの動作を設定します。

3 →「保存」

撮影した写真を見る

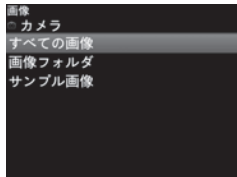
撮影した写真を表示してズーム表示や回転表示をしたり、送信したりできます。

画像を見る

1 ホームスクリーンで →「メディア」

メディア画面が表示されます。

2「画像」を選択

画像が保存されているフォルダが表示されます。

3 フォルダを選択

フォルダ内の画像のプレビューが表示されます。

他のフォルダを選択すると、そのフォルダ内の画像のプレビューが表示されます。

でフォルダ選択画面に戻ります。

4 表示する画像を選択

選択した画像がディスプレイに表示されます。

でプレビュー画面に戻ります。

おしらせ

・カメラを起動して →「写真を表示」→画像を選択して画像を表示することもできます。

画像のズームイン、ズームアウト

表示された画像をズームすることができます。

「画像のズームイン、ズームアウト」→P.112

スライドショーで表示する

撮影した画像をスライドショーで表示することができます。

「スライドショーで表示する」→P.112

画像表示中に利用できる機能

撮影した画像はズームのほかに、メールで送信したりホームスクリーンの画像として表示できます。

メールで送信するときは、メールに最適なサイズに自動で変換されて送信されます。

画像のプレビュー表示中→、および画像表示中→で利用できる機能はホームスクリーン→→「メディア」－「画像」選択時と同じです。

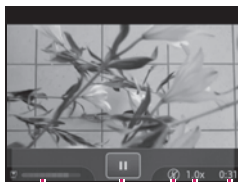
「画像表示中に利用できる機能」→P.112

ビデオカメラ

ビデオを撮影する

ビデオカメラを起動する

1 ホームスクリーンで→「メディア」→「ビデオカメラ」

ビデオ撮影画面が表示されます。

アイコン		説明
(1)		microSDカードのメモリ容量の目安を表示します。
(2)		ビデオカメラが起動していることを示します。
		ビデオカメラが撮影中であることを示します。
(3)	、	動画撮影中のライトのオン／オフを表示します。
(4)	MMS	MMSモードで撮影中であることを示します。
	1.0x	現在のズーム倍率を示します。ズームは最大2.0倍まで調節できます。 ※ 撮影中にズーム倍率の調節はできません。
(5)	0:00	撮影時間を分：秒で表示します。

おしらせ

・カメラ起動中に→「ビデオカメラ」でビデオカメラに切り替えることができます。

・→「閉じる」、またはでビデオカメラを終了できます。

撮影する

1 ビデオカメラを起動し、端末を被写体に向ける

2 を上下にスライドしてズームを調節する

3 を押す

撮影が開始され、が に変わります。

4 を押す

撮影が一時停止され、画面下部にアイコンが表示されます。

5 アイコンを選択

アイコン		説明
(1)	再開	撮影が再開されます。
(2)	停止	撮影した動画を保存し、撮影画面に戻ります。
(3)	再生	撮影した動画を再生します。動画が保存され、Media Playerが起動されます。「撮影した動画を見る」→P.122
(4)	名前を変更	動画の名前を変更して保存します。を選択して保存先の変更もできます。また、→→「エクスプローラ」／「新しいフォルダ」で保存先を設定することもできます。
(5)	削除	撮影した動画を削除します。
(6)	送信	撮影した動画をメールで送信できます。

おしらせ

・でアプリケーションフォルダに戻ります。

ビデオカメラの設定

動画撮影時のライトのオン／オフ、ビデオ形式などをビデオカメラのオプションで設定することができます。

1 ビデオカメラを起動し→「オプション」

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

ビデオライト……撮影時のライトのオン／オフを設定します。

色彩効果……動画をモノクロやセピア色で撮影することができます。標準（カラー）／白黒／セピアから色彩効果を選択します。

ビデオ形式……動画の撮影形式を通常（480×360）またはMMSモード（176×144）から選択します。サイズが大きいほど多くのメモリが必要です。

フォルダ……動画の保存先のフォルダを設定します。

サイドキーを設定……本端末の両サイドにあるサイドキーを押したときの動作を設定します。

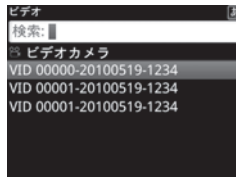
3 →「保存」

撮影した動画を見る

1 ホームスクリーンで→「メディア」

メディア画面が表示されます。

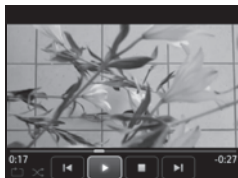
2 「ビデオ」を選択

ビデオライブラリに動画のファイル一覧が表示されます。

3 表示するビデオファイルを選択

Media Playerが起動し、選択した画像が再生されます。

Media Playerの使いかたは、「Media Playerを利用する」→P.106

「Media Playerを利用する」→P.106

[戻る]でファイル名表示画面に戻ります。

おしらせ

- ビデオカメラを起動して[メニュー]→「ビデオを表示」→表示するビデオファイルを選択して画像を表示することもできます。
- 操作アイコンはしばらくすると見えなくなりますが、[□]を押すと再度表示されます。

ファイル一覧表示中に利用できる機能

撮影した動画は、名前を変更したりメールで送信したりできます。

カメラを起動し、[メニュー]→「ビデオカメラ」を選択→「ビデオを表示」でビデオライブラリ表示中には、以下の機能が利用できます。

ヘルプ→P.156
メディアホーム……メディアフォルダに移動します。
再生……動画を再生します。Media Playerが起動され、動画が再生されます。
記録……ビデオ撮影画面に移動します。
削除……動画ファイルを削除します。
名前を変更……動画ファイル名を変更します。保存先の変更もできます。
プロパティ……動画ファイルのプロパティを表示します。
メールで送信……動画ファイルをメールで送信します。
Bluetoothを使用して送信……動画ファイルをBluetooth®で送信します。「メディアファイルを送信する」→P.103
Bluetoothを使用して受信……動画ファイルをBluetooth®で受信します。「Bluetooth®を使用して受信する」→P.103
オプション……メディアのオプション画面で音量や音質、バックライトの設定をします。「メディアファイルの利用」−「オプション設定」→P.115
アプリケーション切り替え→P.23
閉じる……ビデオカメラを閉じます。

ビデオファイルの再生中に利用できる機能については、「再生中に利用できる機能」（P.111）を参照してください。

カレンダー

カレンダー

本端末のカレンダー機能では、予定や会議を日、週、月、予定表の4種類のカレンダーから管理することができます。また、会議の出席依頼の送信などメール機能と連動して操作することができます。

● カレンダーは日本の祝日には対応しておりません。

基本操作

カレンダーを表示する

1 ホームスクリーンで［BlackBerryキー］→「カレンダー」

カレンダービュー画面が表示されます。

カレンダービューを切り替える

カレンダー機能では「日」、「週」、「月」、「予定表」の4種類のカレンダービューがあります。それぞれを用途に応じて切り替えて予定を確認してください。

1 カレンダービュー画面で［BlackBerryキー］→任意の表示方法を選択

日を表示	……1日の予定を1時間ごとに区切って表示します。
週を表示	……週の予定を日ごとに時間表示します。
月を表示	……月の予定を表示します。
予定表を表示	……1日ごとの予定をリストにして表示します。

カレンダービュー[日]

カレンダービュー[週]

カレンダービュー[月]

カレンダービュー[予定表]

おしらせ

・カレンダーの「オプション」で表示するカレンダービューのデフォルトを設定することができます。「カレンダーのオプション設定」→P.131

カレンダー内を移動する

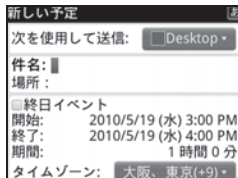
それぞれのカレンダービュー画面内で指定するか、あるいは任意の日付（日の表示内、予定表の表示内）、週（週の表示内）、月（月の表示内）へ移動することができます。

1 カレンダービュー画面→［BlackBerryキー］

2 表示されたメニューから移動したい項目を選択

開いているカレンダービューによって選択できる項目は変わります。

ヘルプ→P.156
本日へ移動……すべてのカレンダービュー表示のときに本日へ移動します。
指定日に移動……すべてのカレンダービュー表示のときに指定する日付に移動します。
前日へ移動……日または予定表のカレンダービューを表示しているときに前日へ移動します。
翌日へ移動……日または予定表のカレンダービューを表示しているときに翌日へ移動します。
前週……日表示のカレンダービューのときに1週間前の同じ曜日に移動します。 週表示のカレンダービューのときは1週間前の週表示に移動します。
翌週……日表示のカレンダービューのときに1週間後の同じ曜日に移動します。 週表示のカレンダービューのときは1週間後の週表示に移動します。
先月へ移動……月表示のカレンダービューを表示しているときに先月のカレンダー表示に移動します。
来月へ移動……月表示のカレンダービューを表示しているときに翌月のカレンダー表示に移動します。
前年へ移動……月表示のカレンダービューを表示しているときに前年同月のカレンダー表示に移動します。
来年へ移動……月表示のカレンダービューを表示しているときに翌年同月のカレンダー表示に移動します。

おしらせ

・本端末にはショートカットキーが設定されています。割り当てられたキーを押してカレンダー内を移動することができます。
「ショートカット一覧」→P.246
ただし日ビューでショートカットキーを有効にするには、「カレンダーのオプション設定」(P.131)で「クイック入力を有効にする」を「いいえ」に設定してください。

予定を登録する

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→「カレンダー」

2 [メニューキー]→「新規」

新しい予定画面が表示されるので、必要な項目を入力します。

次を使用して送信……登録カレンダーメールの送信に使用するアカウントを選択します。メールアカウントを複数登録していない場合は選択できません。
件名……予定の件名を入力します。
場所……予定の場所を入力します。
終日イベント……チェックボックスでチェックすると終日のイベントとして設定されます(時間指定はできません)。
開始……予定の開始日時を設定します。
終了……予定の終了日時を設定します。
期間……予定の時間を設定します。
タイムゾーン……タイムゾーンを設定します。
予定の公開方法……予定の公開方法を設定します。
アラーム……アラームを鳴らす時間を設定します。
空き時間を表示……予定が入っていない時間を表示します。
次に参加可能な時間……次に予定を入れられる時間を表示します。
会議通話……会議通話を行う場合にチェックを付けます。チェックを付けると進行役、参加者の電話番号／アクセスコードの入力欄が表示されます。 会議に招待するメンバーの電話番号を入力します。[メニューキー]→「今すぐ参加」を選択すると入力した番号に発信します。 会議通話オプションを設定している場合は、チェックを付けると自動的にその情報が反映されます。→P.132

繰り返し……予定を定期的に繰り返す場合に設定します。詳しい設定方法は「繰り返し詳細設定」(P.152)を参照してください。

プライベートとしてマークを付ける……プライベートな予定の場合にチェックします。

メモ……予定に関するメモを入力します。

3 →「保存」

おしらせ

・「終日イベント」を有効にした場合は、期間項目に1日と表示されるので、開始および、終了項目の時間設定はできません。

予定のクイック入力

カレンダーのオプション設定で「クイック入力が有効」になっていれば、日ビューから予定の「件名」と「場所」を直接入力することができます。詳しくは「クイック入力を有効にする」→P.131

1 日ビュー表示中に予定を入れる時間帯にカーソルを合わせ、直接入力する

入力は“件名(場所)”の順に行います。場所は必ず“()”(半角カッコ)で囲んで入力します。

終了時間を変更するときは、を上下にスライドして変更します。

2 を押す

登録されます。

おしらせ

・場所を入力する際に、半角カッコで囲んでいないと予定の詳細を表示したときに場所が表示されません。
・日ビューに入力したい時間が表示されていない場合は、カレンダーの全般オプションの「フォーマット」(P.131)で任意の時刻を設定します。

予定を確認する

カレンダーに登録した予定の内容を確認します。

1 カレンダービュー画面に表示されている予定を選択

予定の詳細画面が表示されるので内容を確認します。

■ 繰り返しが設定されている予定の場合

→「シリーズを開く」(繰り返し情報を含めた予定を開く)または「このアイテムを開く」(選択した日の予定のみを開く)を選択

を押すとカレンダービューの表示に戻ります。

予定を変更する

1 カレンダービュー画面で変更する予定を選択

予定の詳細画面が表示されます。

2 変更する項目を選択して修正する

3 →「保存」

予定を削除する

1 カレンダービュー画面で削除する予定を選択

予定の詳細画面が表示されます。

2 →「削除」

■ 繰り返しが設定されている予定の場合

→「シリーズを削除」(繰り返しで設定している同じ予定をすべて削除)または「このアイテムを削除」(選択した日の予定のみ削除)を選択

会議の予定をたてる

会議の予定を登録し、出席依頼をメールで送信することができます。

1 ホームスクリーンで →「カレンダー」

2 →「新規」

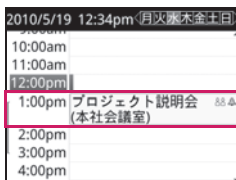
新しい予定画面が表示されるので、必要な項目を入力します。
「予定を登録する」→P.127

3 →「出席者を招待」

アドレス帳が表示されるので、参加するメンバーを選択するか直接メールアドレスを入力します。

4 →「保存」

自動的に出席者へ会議出席依頼メールが送信されます。

送信者／受信者ともカレンダーに予定が書き込まれます。

■ カレンダーに表示されるアイコン

アイコン	説明
	会議の予定を示します。
	アラーム設定されていることを示します。
	定期的に繰り返す予定を示します。
	会議出席依頼通知が転送されたことを示します。

おしらせ

・「出席者を招待」を設定後は →「全ての出席者にメールを送信」を選択して、通常のメールを招待者全員に送信することもできます。同時に会議出席依頼メールも送信されます。

・会議の時間、場所、参加者等を変更する場合は、予定の詳細を表示して内容を変更→ →「保存」を選択すると、「ミーティングの更新を出席者に送信しますか？」と表示されるので、「はい」を選択します。出席者のカレンダーの予定も更新され項目の前に「更新内容:」と表示されます。

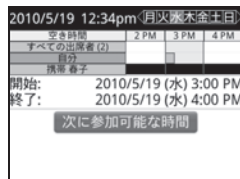
会議参加者の空き時間を検索する

会議参加者の空き時間を表示し、全参加者が参加できる時間を検索して会議の時間を設定できます。

※ BlackBerry® Enterprise Solution（バージョン4.1.5以降）をご利用の場合のみ利用できます。

1 新しい予定画面またはミーティング出席依頼画面で、出席者リストの下に表示されている「空き時間を表示」を選択

出席者の空き時間リストが表示されます。

カレンダーが表示されるまでに、少し時間がかかります。

■ 全出席者が参加できる別の時間を検索する場合
→「次に参加可能な時間」
「次に参加可能な時間」を選択するたびに、別の時間候補が検索されます。

■ ステータス(外出中、予定ありなど)の色の意味を確認する場合
→[メニューキー]→「凡例を表示」

■ 別のメンバーを招待する場合
→[メニューキー]→「出席者を招待」

2 時間が決定したら[メニューキー]→「閉じる」

3 「変更されました！」画面で「保存」

新しい予定画面またはミーティング出席依頼画面に戻ります。

会議参加者リストを変更する

1 カレンダービュー画面で、出席者を変更する会議の予定を選択

予定の詳細画面が表示されます。

2 変更する出席者の「招待済み」フィールドにカーソルを合わせる→[メニューキー]

以下の項目から選択して会議参加者を変更します。

出席者を招待……新たに出席者を追加します。

出席者を変更……選択している招待者を取り消して新たな出席者を招待します。

出席者を削除……選択した招待者を出席者から削除します。

3 [メニューキー]→「保存」

「ミーティングの更新を出席者に送信しますか？」と確認画面が表示されます。必要に応じて「はい」または「いいえ」を選択します。

おしらせ
・この操作を行うことができるのは、会議の開催者のみです。

会議の参加者へ連絡する

1 カレンダービュー画面で会議の予定を選択

2 連絡する招待者にカーソルを合わせる→[メニューキー]

以下の項目から連絡手段を選択します。

"アドレス帳の登録名"にメール……連絡する招待者にメールを作成します。

"アドレス帳の登録名"にPIN……連絡する招待者にPINを作成します。

"アドレス帳の登録名"に発信……連絡する招待者に電話をかけます。

"アドレス帳の登録名"にSMS……連絡する招待者にSMSを作成します。

インスタントメッセージ……連絡する招待者にインスタントメッセージを作成します。

会議出席依頼メールに応答する

受信した会議出席依頼メールに返事を送ります。

1 受信したメールを開く

ミーティング出席依頼画面が表示されます。

2 [メニューキー]→表示されたメニューから選択

カレンダーを表示……カレンダーを表示して予定を確認することができます。受信した予定も登録されています。

承諾……会議への出席を承諾します。

仮承諾……会議への出席を仮承諾します。

辞退……会議への出席を辞退します。

「承諾」／「仮承諾」／「辞退」を選択すると、選択した内容が発信元に返信されます。

「承諾」／「仮承諾」／「辞退」を選択した場合は、コメントを追加して返信することができます。「コメントを追加」を選択するとコメント入力画面が表示されるので、コメントを入力します。

3 「返信」を選択

会議出席依頼を転送する

会議に招待されたときに、他の人を会議に招待することができます。

1 カレンダービュー画面で招待された会議の予定を選択

予定の詳細画面が表示されます。

2 →「転送」

招待する人のメールアドレスを入力します。

3 →「送信」

送信先のカレンダーに予定が書き込まれます。転送されて書き込まれた予定には、項目の前に「Fw:」と表示されます。

添付ファイルが付いている場合は、添付ファイルも転送されます。

■ 会議出席依頼から転送する場合

受信した出席依頼メールを開く→→「転送」→転送先を設定→→「送信」

■ 受信した会議出席依頼に添付されているファイルを開く

受信した出席依頼メールを開く→→「添付ファイルを開く」

おしらせ

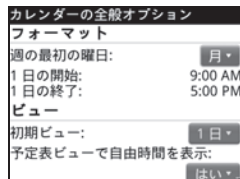
・サーバーのバージョンによって、会議出席依頼の転送、添付ファイルを開く操作ができない場合があります。

カレンダーのオプション設定

カレンダーの全般オプション設定

1 ホームスクリーンで→「カレンダー」

2 →「オプション」→「全般オプション」

カレンダーの全般オプションが表示されます。

3 設定する項目を選択→設定値を選択

■ フォーマット

週の最初の曜日……カレンダー表示するときの最初の曜日を設定します。

1日の開始……日ビュー設定時の1日の始まる時間を設定します。

1日の終了……日ビュー設定時の1日の終わり時間を設定します。

おしらせ

・1日の開始／1日の終了で設定した時間外でも予定や会議を登録することができます。また、登録されている予定は時間外でも表示されます。

■ ビュー

初期ビュー……ホームスクリーンからカレンダー機能を選択したときに表示されるカレンダービュー画面のデフォルト設定をします。

予定表ビューで自由時間を表示……予定表ビュー表示のときに自由時間を表示するかしないかを設定します。

予定表ビューで終了時間を表示……予定表ビュー表示のときに1日の終了時間を表示するかしないかを設定します。

■ アクション

スヌーズ……アラームを繰り返し鳴動させる間隔を設定します。

デフォルトのアラーム……設定した予定時刻に対し、選択した時間前にアラームが鳴ります。

クイック入力を有効にする……日ビュー上での予定のクイック入力の有効／無効を設定します。

次ページにつづく

削除を確認……登録した予定を削除するときに、確認メッセージを表示するかどうかを設定します。
予定を維持……予定の保存期間を設定します。
タスクを表示……タスク（P.144）をカレンダービューに表示するかしないかを設定します。
アラームを表示……アラーム（P.134）をカレンダービューに表示するかしないかを設定します。

おしらせ

・カレンダーのオプション設定では、アラーム音の設定はできません。アラーム音を設定するときは「時計のオプション設定」（P.136）をご覧ください。

4 →「保存」

会議通話オプション

1 ホームスクリーンで→「カレンダー」

2 →「オプション」→「会議通話オプション」

カレンダーの会議通話オプションが表示されます。

会議通話オプション
進行役
電話番号:
アクセスコード:
参加者
電話番号:
アクセスコード:

3 設定する項目を入力

■ 進行役

電話番号……進行役の電話番号を設定します。
アクセスコード……進行役のアクセスコードを設定します。

■ 参加者

電話番号……参加者の電話番号を設定します。
アクセスコード……参加者のアクセスコードを設定します。

おしらせ

・会議通話オプションを設定しておくと、予定を作成するときに「会議通話」項目にチェックを付けることで、この設定値が反映されます。

カレンダーのプロパティ設定

1 ホームスクリーンで→「カレンダー」

2 →「オプション」→設定するカレンダーを選択

3 設定する項目を選択→設定値を選択

予定の色……予定の表示色を設定します。
ワイヤレス同期※1……本端末とお使いのコンピュータのオーガナイザデータ（カレンダーのデータ）を、ワイヤレスネットワーク経由で同期させるかどうかを設定します。
アラームを表示……アラーム（P.134）をカレンダービューに表示するかしないかを設定します。
エントリ数※2……登録されている予定の件数が表示されます。

※1 BlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様は、この機能はご利用になれません。

※2 設定項目ではありません。

4 →「保存」

繰り返し詳細設定

新しい予定を登録するときに繰り返し設定をすると、定期的に繰り返す予定を登録することができます。「繰り返し詳細設定」→P.152

アラーム／時計

アラームの使いかた

アラーム機能は、毎日または平日のみ同じ時間にアラームを鳴らしたり、スヌーズ（繰り返しアラームが鳴る機能）の時間や音量の調整などの設定ができます。

● アラームは「タイムゾーン」の時刻に設定されます。「ホームタイムゾーン」の時刻には設定できません。
タイムゾーンについて→P.135

アラームを設定する

1 ホームスクリーンで→「時計」

時計が表示されます（表示される時計は「オプション」→P.136で選択した表示形式になります）。

2 →「アラームの設定」

アラーム設定画面が表示されます。

▢を左右にスライドして設定する箇所を反転します。

▢を上下にスライドして設定します。

■ 毎日同じ時刻のアラームを設定する場合
「毎日」を設定します。

■ 月曜日～金曜日までの平日に同じ時刻のアラームを設定する場合
「平日」を設定します。

■ アラームを解除する場合
「オフ」を設定します。

3 設定が終わったら▢を押す

「アラームの変更を保存しました」と表示され、時計表示画面に戻ります。画面下部にアラーム時刻が表示されます。

アラーム設定が終わると、ホームスクリーン上部にが表示されます。

おしらせ

・端末の電源が入っていないときでも、設定した時刻になるとアラームは鳴ります。

・設定したアラームは、カレンダー（P.126）にも表示できます。また、カレンダーから時刻の変更もできます。

アラームを消す

1 ▢を押す

アラームが止まります。スヌーズが設定されている場合は、設定している時間後に再度鳴り始めます。「スヌーズ時間」→P.136

スヌーズが設定されていても、「破棄」を選択すると以後はアラームは鳴りません。

ベッドサイドモードを設定する

ベッドサイドモードに設定すると、周りが暗くなると画面表示の明るさも暗くなります。

1 時計表示画面で→「ベッドサイドモードオン」

「ベッドサイドモードに入っています」と表示され、ベッドサイドモードへ変わって時計表示画面に戻ります。

■ ベッドサイドモードを解除する場合
→「ベッドサイドモードオフ」

時計

日時を設定する

日付や時刻の修正が必要な場合は、「時計」で日付／時刻を設定します。

1 ホームスクリーンで →「時計」

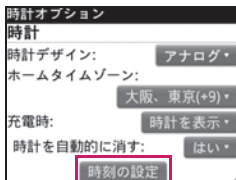
時計が表示されます(表示される時計は「オプション」→P.136で選択した表示形式になります)。

2 →「オプション」

時計オプションが表示されます。

時計オプション
時計
時計デザイン: アナログ
ホームタイムゾーン:
大阪、東京(+9)
充電時: 時計を表示
時計を自動的に消す: はい
時刻の設定

3「時刻の設定」→「手動」を選択

日付/時刻画面(P.202)が表示されるので、日時を設定します。

4 →「保存」

ネットワークから日時を自動取得する

1 時計表示画面で →「オプション」

時計オプションが表示されます。

2「時刻の設定」→「自動」を選択

3 →「時刻更新」

ネットワークから時刻を取得します。

4 →「保存」

2つめのタイムゾーンを表示する

本端末では、2つのタイムゾーンの時刻を同時に表示することができます。時計オプション画面（P.135）の「ホームタイムゾーン」と、日付/時刻画面（P.202）の「タイムゾーン」に別々のタイムゾーンを設定すると、画面の左上にホームタイムゾーンの時刻が、右側にタイムゾーンの時刻が表示されます。

1 時計表示画面で →「オプション」

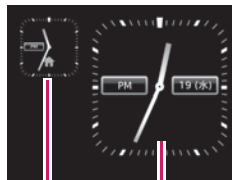
時計オプション画面(P.135)が表示されます。

2「ホームタイムゾーン」を選択→任意のタイムゾーンを選択

3「時刻の設定」を選択

日付/時刻画面(P.202)が表示されます。

4「タイムゾーン」を選択→ホームタイムゾーンとは異なる任意のタイムゾーンを選択

5 →「保存」

ホームタイムゾーンの時刻　タイムゾーンの時刻

次ページにつづく

時計のオプション設定

1 時計表示画面で→「オプション」

以下の項目が設定できます。

■ 時計

時計デザイン……時計を表示するときの表示形式を設定します。

ホームタイムゾーン→P.135

充電時……充電しているときに表示する画面を設定します。

時計を自動的に消す……充電時に時計を表示している場合に時計画面を自動的に消すことができます。

時刻の設定……「日付／時刻」→P.202

■ アラーム

アラーム音……アラームを設定したときに鳴らす音を選択します。

音量……アラーム音の音量を設定します。

スヌーズ時間……繰り返しアラームを鳴らすときに鳴らす間隔を設定します。

バイブレーション……アラームと同時にバイブレーションさせることができます。「カスタム」を選択したときは、バイブレーションの長さ、回数を指定することができます。

確認……設定したアラーム音のオプション設定を確認します。

■ ベッドサイド

LEDを無効にする……LEDを無効にします。

無線を無効にする……モバイルネットワーク接続とWi-Fiネットワーク接続をオフにするか設定します。「はい」に設定すると、ベッドサイドモード に設定中はメールの送受信や電話の発着信ができなくなります。

画面を暗くする……画面を暗くするか設定します。

サウンドプロファイル……ベッドサイドモード時に許可する機能を設定します。

■ ストップウォッチ

ストップウォッチデザイン……ストップウォッチの表示を設定します。

■ カウントダウンタイマー

タイマーデザイン……タイマーの表示を設定します。

タイマー音……タイマー設定した時間が経過したときに鳴らす音を設定します。

音量……タイマー音の音量を設定します。

バイブレーション……タイマー音と同時にバイブレーションさせることができます。「カスタム」を選択したときは、バイブレーションの長さ、回数を指定することができます。

確認……設定したカウントダウンタイマー音のオプション設定を確認します。

2 →「保存」

クロックアプリ

ストップウォッチを使う

1 時計表示画面で→「ストップウォッチ」

ストップウォッチ画面が表示されます（表示される盤面は「オプション」で選択した表示形式になります）。「時計のオプション設定」→P.136

2 を押すと開始、もう一度押すと停止

おしらせ

- ラップタイムを測定する場合は、測定中に→「ラップ」を選択します。
- ストップウォッチをクリアする場合は、測定終了後（停止している状態）でを押します。
- 測定終了後、→「結果を送信」で測定結果をメールで送信することができます。

タイマーを使う

1 時計表示画面で[BB]→「タイマー」

タイマー画面が表示されます（表示される盤面は「オプション」で選択した表示形式になります）。「時計のオプション設定」→P.136

2 [BB]→「タイマーを設定」

時間を設定します。

3 [□]を押す

設定した時間がカウントダウン方式で表示されます。

もう一度[□]を押すと一時停止します。

設定した時間が経過するとアラームが鳴ります。[□]を押すとアラームが止まります。

おしらせ

・時計アプリケーションを終了しても、タイマーは動いているので時間が経過するとアラームが鳴ります。

メモ帳

メモ帳

本端末では「メモ」を作成し管理することができます。

また、フィルタ（P.151）へ登録することにより、アドレスやタスクと一緒にグループ化して管理し、情報を共有することもできます。

基本操作

メモを作成する

1 ホームスクリーンで[メニュー]→「アプリケーション」→「メモ帳」

検索画面が表示されます。

2 [メニュー]→「新規」

メモ帳が表示されるので、タイトルとメモを入力します。

■ フィルタを設定する場合

→[メニュー]→「フィルタ」→カテゴリを選択→[メニュー]→「保存」

3 [メニュー]→「保存」

メモの内容を変更する

1 検索画面で変更するメモを反転

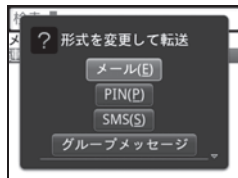
2 [メニュー]→「編集」

内容を修正します。

3 [メニュー]→「保存」

メモを送信する

1 検索画面で送信するメモを反転

2 [メニュー]→「形式を変更して転送」

送信する形式を選択する画面が表示されます。

メール……電子メールで送信します。
PIN……PINメッセージで送信します。
SMS……SMSで送信します。
グループメッセージ……インスタントメッセージのグループに送信します。
メッセンジャーの連絡先……インスタントメッセージで送信します。

3 送信する形式を選択

選択した形式でメールやメッセージを作成し、送信します。

メールの作成、送信について→P.42
グループメッセージの送信について→P.83
インスタントメッセージの送信について→P.76

メモを削除する

1 検索画面で削除するメモを反転

2 [メニュー]→「削除」

メモを検索する

1 検索画面で上部の検索フィールドにキーワードを入力

入力したキーワードに該当する前方一致のデータが表示されます。

フィルタ

メモにフィルタを設定し、各メモをフィルタ別で管理することができます。フィルタはアドレス帳、タスク、メモ帳で共有しています。「フィルタ」→P.151

フィルタに設定されているメモ帳を表示する

1 検索画面で[BlackBerry]→「フィルタ」→任意のフィルタを選択

選択したフィルタに設定されているメモ帳だけが表示されます。

おしらせ

・表示するフィルタを指定している場合、検索対象が指定フィルタ内のデータに限定されます。

オプション設定

1 メモ帳の検索画面で[BlackBerry]→「オプション」

削除を確認……メモを削除する際に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。	
ワイヤレス同期※1……本端末とお使いのコンピュータのオーガナイザデータ(メモ帳のデータ)を、ワイヤレスネットワーク経由で同期させるかどうかを設定します。	
エントリ数※2……登録されているメモの件数が表示されます。	

※1 BlackBerry® Internet Serviceをご利用のお客様は、この機能はご利用になれません。

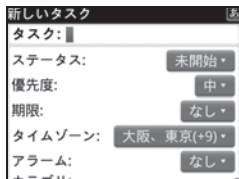
※2 設定項目ではありません。

2 [BlackBerry]→「保存」

タスク

タスク機能

本端末では、定型的に行う業務などを「タスク」として作成し管理することができます。また、フィルタ（P.151）へ登録することにより、アドレス帳やメモと一緒にグループ化して管理し、情報を共有することもできます。

基本操作

タスクを作成する

1 ホームスクリーンで[⁂]→「アプリケーション」→「タスク」

検索画面が表示されます。

2 [⁂]→「新規」

新しいタスク作成画面が表示されるので、項目を設定します。

タスク……タスク名を入力します。

ステータス……タスクの状態を設定します。

優先度……タスクの優先度を設定します。

期限……タスクの期限を設定します。

タイムゾーン……タスクのタイムゾーンを設定します。端末に登録されている世界の主要都市から選択できます。

アラーム……タスクのアラームを設定します。

繰り返し※……作成するタスクを年、月、週、日単位など定期的に繰り返す場合に設定します。詳しくは「繰り返し詳細設定」(P.152)を参照してください。

カテゴリ……フィルタ（P.151）を選択して設定します。

メモ……タスクに関するメモを入力します。

※ 期限で日時を指定すると表示されます。

3 [⁂]→「保存」

タスクの設定を変更する

1 検索画面で変更するタスクを選択

タスクを編集画面が表示されるので、変更する項目を選択して修正します。

2 [⁂]→「保存」

タスクを削除する

1 検索画面で削除するタスクを反転

2 [⁂]→「削除」

タスクの状態（ステータス）を変更する

1 検索画面でタスクを選択

タスクを編集画面が表示されます。

2 「ステータス」を選択→ステータスを変更

未開始……タスクがまだ開始されていない状態。

進行中……タスクが現在進行中状態。

完了……タスクが完了した状態。

待機中……タスクが待機中状態。

延期……タスクが延期状態。

3 [⁂]→「保存」

おしらせ

・検索画面→[BlackBerryキー]を選択して状態(ステータス)を変更することができます。
ただし、現在の状態(ステータス)により変更後の状態(ステータス)が限定されます。
「未開始」→「完了済み」または「未完了」、「進行中」→「完了済み」、「完了」→「未完了」、「待機中」→「完了済み」、「延期」→「完了済み」

検索画面で表示されるタスクリストには状態表示アイコンが表示されます。

状態表示アイコン	
□	未開始
	進行中(未完了)
☑	完了(完了済み)
	待機中
	延期

完了したタスクを非表示にする

1 検索画面で[BlackBerryキー]→「完了を非表示」

ステータスが完了になっているタスクを表示しなくなります。

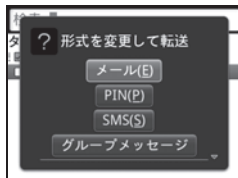
完了したタスクを削除する

1 検索画面で[BlackBerryキー]→「完了を削除」

ステータスが完了になっているタスクをすべて削除します。

タスクを送信する

1 検索画面で送信するタスクを反転

2 [BlackBerryキー]→「形式を変更して転送」

送信する形式を選択する画面が表示されます。

メール……電子メールで送信します。
PIN……PINメッセージで送信します。
SMS……SMSで送信します。
グループメッセージ……インスタントメッセージのグループに送信します。
メッセンジャーの連絡先……インスタントメッセージで送信します。

3 送信する形式を選択

選択した形式でメールやメッセージを作成し、送信します。

メールの作成、送信について→P.42
グループメッセージについて→P.83
インスタントメッセージの送信について→P.76

タスクを検索する

1 検索画面で上部の検索フィールドにキーワードを入力

入力したキーワードに該当する前方一致のデータが表示されます。

フィルタ

タスクにフィルタを設定し、各タスクをフィルタ別で管理することができます。フィルタはアドレス帳、タスク、メモ帳で共有しています。「フィルタ」→P.151

フィルタに設定されているタスクを表示する

1 検索画面で[BlackBerryキー]→「フィルタ」→任意のフィルタを選択

選択したフィルタに設定されているタスクだけが表示されます。

おしらせ

・表示するフィルタを指定している場合、検索対象が指定フィルタ内のデータに限定されます。

オプション設定

1 タスク検索画面で[BlackBerryキー]→「オプション」を選択

■ ビュー

並べ替え基準……検索画面でタスクを並べ替えます。

■ アクション

スヌーズ……タスクをアラームで通知するときのスヌーズを設定します。

削除を確認……タスクを削除する際に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

ワイヤレス同期※1……本端末とお使いのコンピュータのオーガナイザデータ(タスクのデータ)を、ワイヤレスネットワーク経由で同期させるかどうかを設定します。

エントリ数※2……登録されているタスクの件数が表示されます。

※1 BlackBerry® Internet Serviceをご利用のお客様は、この機能はご利用になれません。

※2 設定項目ではありません。

2 [BlackBerryキー]→「保存」

繰り返し詳細設定

新しいタスクを登録するときに繰り返し設定と期限を指定すると、定期的に繰り返すタスクを登録することができます。
「繰り返し詳細設定」→P.152

ドキュメント編集アプリ

ドキュメント編集アプリ

コンピュータで作成したWordファイル、Excelファイル、PowerPointファイルを閲覧したり編集することができます。

- ドキュメント編集アプリ(Word To Go、Sheet To Go、Slideshow To Go)はサードパーティ製のため、すべての動作を保証しておりません。

ご利用にあたって

あらかじめインストールされているバージョンでは、ドキュメント編集アプリで、新規ファイルを作成することはできません。メールで受信した添付ファイルまたは、コンピュータからBlackBerry® Desktop Managerを使って本端末にデータを同期させたファイルの閲覧および編集ができます。

おしらせ

・はじめてドキュメント編集アプリ(Word To Go、Sheet To Go、Slideshow To Go)を使用する際は、使用許諾契約書が表示されます。内容を確認し、同意する場合は「承諾」を選択してください。

使用上の注意

ドキュメント編集アプリは、コンピュータ用ソフトの機能を一部サポートしていないため、一部のデータや書式が失われる場合があります。

Word To Go

コンピュータで作成したWordファイルを閲覧および編集することができます。

■ 閲覧／編集可能なファイル形式

閲覧	編集	保存
doc	doc	doc

Sheet To Go

コンピュータで作成したExcelファイルを閲覧および編集することができます。

■ 閲覧／編集可能なファイル形式

閲覧	編集	保存
xls	xls	xls

Slideshow To Go

コンピュータで作成したPowerPointファイルを閲覧および編集することができます。

■ 閲覧／編集可能なファイル形式

閲覧	編集	保存
ppt	ppt	ppt

便利な機能

■便利な機能

■GPS

■ワイヤレス通信

■端末の設定

ボイスコマンド

ボイスコマンドを利用して電話をかける

1 ホームスクリーンで左サイドキー

2 「ボイスコマンドをどうぞ」と聞こえたら「電話」と言い、続けてアドレス帳の登録名か電話番号を言う

110や119の緊急番号に電話をかけることはできません。
※ 音の組み合わせにより正確に認識されない場合があります。

ボイスコマンドで端末の状態を確認する

1 ホームスクリーンで左サイドキー

2 「ボイスコマンドをどうぞ」と聞こえたら続けて以下の音声コマンドを言う

■ アクティブな電話番号を確認する場合
→「確認　自局電話番号」

■ ワイヤレス通信可能範囲レベルを確認する場合
→「確認　電波」

■ バッテリー残量を確認する場合
→「確認　バッテリー」

ボイスコマンドの言語を変更する

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→「オプション」→「言語」

言語画面が表示されます。

2 「ボイスコマンドの言語」を選択

設定する言語を選択します。

3 [メニューキー]→「保存」

ボイスコマンドの詳細設定

「ボイスコマンド」（P.191）を参照してください。

ファイル

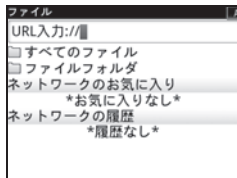
本端末や会社のネットワーク上に保存されているファイルの移動、削除、名前の変更などの、ファイル管理をすることができます。

おしらせ

・ネットワーク上のファイルへのアクセスは、BlackBerry® Enterprise Serverご利用の場合のみ可能です。ただし、ご使用のBlackBerry Enterprise Serverのバージョンによってはできない場合があります。

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→「アプリケーション」→「ファイル」

ファイル画面が表示されます。

BlackBerry Internet Serviceだけをご契約の場合、およびご使用のBlackBerry Enterprise Serverのバージョンによっては、「URL入力」およびネットワーク関連の項目は表示されません。

●「すべてのファイル」を選択した場合

本端末に保存されている、すべてのファイルが表示されます。

1 ファイルを反転→[メニューキー]

表示される機能は、選択したファイルによって異なります。

● 「ファイルフォルダ」を選択した場合

本端末のデバイスメモリに保存されているファイル、フォルダの操作ができます。

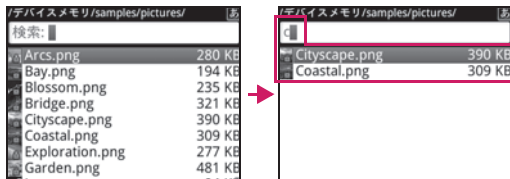
1 □→「開く」

下の階層が表示されます。

操作したいファイルまたは、フォルダが見つかるまでこの操作を繰り返します。

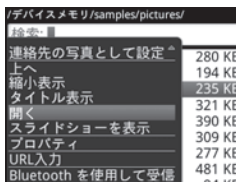
フォルダを反転→□で下の階層を表示することもできます。

■ フォルダやファイルを検索する場合

検索フィールドに名前の一部またはすべてを入力すると、該当するフォルダやファイルが表示されます。

2 操作したいフォルダやファイルを反転→□

利用できる機能が表示されます。

表示される機能は、選択しているフォルダ／ファイルの種類により異なります。

3 利用する機能を選択→画面の指示に従って実行

● ネットワーク内のサーバーのファイルを管理する場合

本端末で会社のネットワーク上にあるファイルを管理することができます。

1 URL入力欄に接続先サーバーのURLを入力→□を押す

指定したサーバーと接続されます。

おしらせ

・サーバーにログインするための、ユーザー名、ドメイン名、パスワードが必要です。

サーバーにログインした後の操作は、「ファイルフォルダ」を選択した場合と同じですので参照してください。

※ BlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様は本操作はご利用できません。

フィルタ

フィルタを作成すると、アドレス帳、タスク、メモ帳をグループ化（フィルタ化）して管理することができます。また、アドレス帳、タスク、メモ帳をフィルタに基づいて絞り込むこともできます。

フィルタはアドレス帳、タスク、メモ帳で共有し、1つのアプリケーションで加えた変更はすべてのアプリケーションに反映されます。

フィルタについて

● フィルタは、アドレス帳、タスク、メモ帳で共有しており、設定および設定画面はすべて共通です。また、作成、変更されたフィルタはすべてで共有されます。

● BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様で、IBM® Lotus Notes®をご利用の場合、本端末では1つのタスクに複数のフィルタを適用できますが、Lotus Notes®のタスクと同期できるのは、1つのフィルタのみです。

次ページにつづく

フィルタを作成する

アドレス帳、タスク、メモ帳の検索画面を開きます。

・アドレス帳→P.68
・タスク→P.144
・メモ帳→P.140

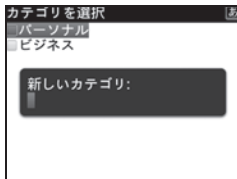
1 [メニュー]→「フィルタ」

フィルタの選択画面が表示されます。

あらかじめ「パーソナル」と「ビジネス」が登録されています。

2 [メニュー]→「新規」

新しいフィルタ入力画面が表示されます。

3 入力が終わったら[□]を押す

おしらせ

・フィルタ名は大文字／小文字は区別されずに扱われます。

フィルタを削除する

アドレス帳、タスク、メモ帳の検索画面を開きます。

1 [メニュー]→「フィルタ」

フィルタの選択画面が表示されます。

2 削除するフィルタを反転→[メニュー]→「削除」

おしらせ

・フィルタを削除しても、フィルタ内のアドレス帳、タスク、メモ帳のデータは削除されません。

フィルタ別にデータを表示する

アドレス帳、タスク、メモ帳の検索画面を開きます。

1 [メニュー]→「フィルタ」

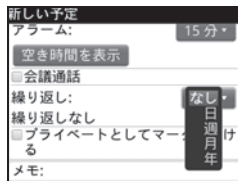
2 データを表示したいフィルタを選択

選択したフィルタのデータが表示されます。

繰り返し詳細設定

カレンダー機能での新しい予定やタスクを登録するときに繰り返し設定をすると、毎週の会議や定期的に繰り返したい予定をまとめて登録することができます。

1 予定やタスクの新規作成画面で「繰り返し」フィールドを選択

表示されたメニューから選択します。

なし……繰り返し設定を行いません。

日……日単位で繰り返しを設定します（周期：1-999）。

週……週単位で繰り返しを設定します（周期：1-99）。また、「曜日」を選択して曜日を指定することができます（曜日は複数選択可）。

月……月単位で繰り返しを設定します（周期：1-99）。また、「曜日で指定」を選択して曜日も指定することができます。

年……年単位で繰り返しを設定します。また、「曜日で指定」を選択して曜日を指定することができます。

2 予定やタスクを繰り返す頻度を設定

表示された項目を設定します。

選択した「繰り返し」のフィールド値により設定できる詳細項目「周期(毎)」、「曜日」と「曜日で指定」が異なります。

周期(毎)……「日」、「週」、「月」を選択したときに繰り返す頻度を設定します。

曜日……「週」を選択したときに、選択した「周期(毎)」の頻度で曜日を指定することができます。

曜日で指定……「月」、「年」を選択したときに、曜日が指定されます。※

終了……繰り返しを終了する日付を設定します。

※ 新しいタスクや予定の「開始」に設定した曜日が設定されます。

おしらせ

・繰り返しが設定されている予定を開く場合は「シリーズを開く」か「このアイテムを開く」を選択します。
繰り返し設定の修正をする場合は「シリーズを開く」を選択します。「このアイテムを開く」を選択して開いても、繰り返し設定の修正はできません。

電卓

本端末の電卓機能は通常の計算機能のほか、メートル法、ヤードポンド法の単位を換算することもできます。

電卓を使う

1 ホームスクリーンで[メニュー]→「アプリケーション」→「電卓」

電卓機能では、キーボードは画面に表示されている配列に対応しています。

■ 電卓を終了する場合

[メニュー]→「閉じる」

おしらせ

・一度に入力できる桁数は8桁までです。
・電卓を立ち上げると、前回最後に行った計算結果が表示されます。
・数値をクリアするにはDeleteキーを押します。

単位を換算する

1 換算する元の数字を入力

2 [メニュー]→項目を選択

メートル単位へ……入力した数値をメートル法※1へ換算します。

メートル単位から……入力した数値をヤードポンド法※2へ換算します。

● 換算できる単位

メートル法		ヤードポンド法	
cm	センチメートル	in	インチ
m	メートル	ft	フィート
		yd	ヤード
km	キロメートル	mi	マイル
kg	キログラム	lb	ポンド
摂氏(C)		華氏(F)	
L	リットル	米ガロン	ガロン(アメリカ)
		英ガロン	ガロン(イギリス)
L/100km	リットル／100キロメートル	米mpg	マイル／ガロン(アメリカ)

※1 [メートル法]
長さをメートル、重量をグラムで表す単位です。SI単位(国際単位)の基礎となる、距離や重さなどの単位を表します。

※2 [ヤードポンド法]
長さをヤード、重量をポンドで表す単位です。国際単位ではありません。

パスワードキーパー

パスワードキーパーを使用することにより、会員制サイトやネットショッピングなど、よくお使いになるIDやパスワードを1ヵ所に保存して管理することができます。用途に応じた複数のIDとパスワードを管理できるため、パスワードを効率的に管理することができます。

基本操作

パスワードキーパーを起動する

はじめてパスワードキーパーを使用する場合、自動的にパスワードキーパーのパスワードの設定画面が表示されます。

パスワードキーパーを使用するには、パスワードキーパーのパスワードを設定する必要があります。

1 ホームスクリーンで⊞→「アプリケーション」→「パスワードキーパー」

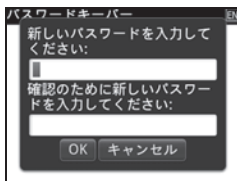
パスワードキーパーを起動するためのパスワードを登録する画面が表示されます。

確認のために2回同じパスワードを入力します。

2 入力が終わったら「OK」を選択

パスワードの設定が終わったので、次回からは設定したパスワードを入力してパスワードキーパーを起動します。

おしらせ

・「パスワードの試行回数」(P.155)で設定した試行回数を超過して誤ったパスワードを入力すると、パスワードキーパーがリセットされます。登録済みのパスワードはすべて削除されますのでご注意ください。

パスワードキーパーのパスワードを変更する

1 ホームスクリーンで⊞→「アプリケーション」→「パスワードキーパー」

パスワード入力画面が表示されます。

2 パスワードを入力して「OK」を選択

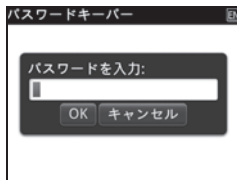
パスワードキーパー画面が表示されます。

3 ⊞→「パスワードを変更」

パスワード登録画面が表示されます。
新しく登録するパスワードを入力します。

確認のために2回同じパスワードを入力します。

4 入力が終わったら「OK」を選択

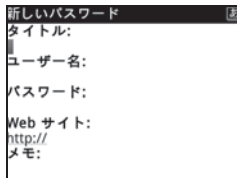
次回からは新しく登録したパスワードが有効になります。

パスワードを登録する

パスワードキーパーで管理するパスワードを登録します。

1 パスワードキーパー画面で⊞→「新規」

新しいパスワード登録画面が表示されます。

パスワード等、必要な項目を入力します。

2 ⊞→「保存」

ランダムパスワード機能を使っての登録

パスワードキーパーではランダムにパスワードを作成することができます。自動的にパスワードを生成するため、ユーザー自身がパスワードを考えたりするような手間がかかりません。新しくパスワードが必要になったときに利用できます。

1 パスワードキーパー画面で[MENU]→「新規」

2 [MENU]→「ランダムパスワード」

パスワードフィールドに生成されたパスワードが入ります。その他の項目を入力します。

3 [MENU]→「保存」

おしらせ

・パスワードを生成する際にパスワードの桁数や英字、数字、記号それぞれを含ませるか含ませないかを設定することができます。「オプション設定」→P.155

オプション設定

1 パスワードキーパー画面で[MENU]→「オプション」

パスワードキーパーオプション画面が表示されます。

ランダムパスワードの長さ……ランダムパスワードを生成するときの桁数を設定します。

ランダムパスワードに英字を含む……ランダムパスワードを生成するときに英字を含ませるか設定します。

ランダムパスワードに数字を含む……ランダムパスワードを生成するときに数字を含ませるか設定します。

ランダムパスワードに記号を含む……ランダムパスワードを生成するときに記号を含ませるか設定します。

削除を確認……登録したパスワード情報を削除する際に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

パスワードの試行回数……パスワードキーパーのパスワード入力時の最大試行回数を設定します。

クリップボードコピーを許可……パスワードのクリップボードへのコピー許可を設定します。「はい」に設定すると、パスワードをコピーしてメール本文やメモなどに貼り付けることができます。文字の選択、コピー、貼り付け方法→P.27

パスワードを表示……パスワード情報の表示画面で、パスワードを表示するか設定します。「いいえ」を設定すると、パスワードフィールドは＊で表示されます。

ワイヤレス同期※1……ワイヤレス同期をすると、パスワードキーパーで保存したデータがバックアップとしてコンピュータに保存されます。ただし、コンピュータからデータを確認することはできません。

エントリ数※2……登録されているパスワードの件数が表示されます。

※1 BlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様は、この機能はご利用になれません。

※2 設定項目ではありません。

おしらせ

・ランダムパスワードの生成基準を設定する際は、「ランダムパスワードに英字を含む」、「ランダムパスワードに数字を含む」、「ランダムパスワードに記号を含む」のすべてを「いいえ」に設定することはできません。必ずどれかに「はい」を設定してください（2つ以上「はい」を設定することをおすすめします）。

2 [MENU]→「保存」

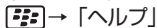
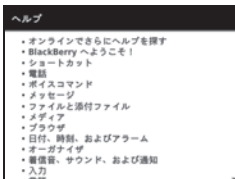
ヘルプ機能

本端末には充実したヘルプ機能が備わっています。
ホームスクリーンの「ヘルプ」を選択してヘルプ画面を表示します。
また、アプリケーションの操作中でも各メニューのヘルプを選択することで、操作中のアプリケーションに関連したヘルプを表示します。

ヘルプを表示する

1 ホームスクリーンで→「ヘルプ」

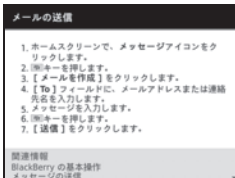
ヘルプ一覧画面が表示されます。

ヘルプ
・オンラインでさらにヘルプを探す
・BlackBerry へようこそ！
・ショートカット
・電話
・ボイスコマンド
・メッセージ
・ファイルと添付ファイル
・メディア
・ブラウザ
・日付、時刻、およびアラーム
・オーガナイザ
・着信音、サウンド、および通知
・入力

2 参照したい項目を選択

選択した項目のヘルプが表示されます。

項目によっては、内容をグループ分けしているので複数回選択する操作が必要になります。

を押すと、前の画面に戻ります。

メールの送信
1. ホームスクリーンで、メッセージアイコンをクリックします。
2. キーを押します。
3. [メールを作成] をクリックします。
4. [To] フィールドに、メールアドレスまたは連絡先名を入力します。
5. メッセージを入力します。
6. キーを押します。
7. [送信] をクリックします。
関連情報
BlackBerry の基本操作
メッセージの送信

アプリケーション操作中のヘルプ表示

アプリケーションの操作中にヘルプを表示することができます。

1 アプリケーションを操作中に→「ヘルプ」

操作中のアプリケーションに関連したヘルプ項目が表示されます。また、関連する他のヘルプ項目がある場合は、関連先が青字で表示されます。選択するとジャンプします。

参照中の画面内で検索する

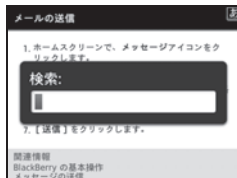
参照中の画面内でキーワードを検索します。

1 ヘルプ参照画面で→「検索」

検索画面が表示されます。

2 キーワードを入力→を押す

入力したキーワードにカーソルが移動します。

次の候補を続けて検索するときは、→「次を検索」を選択します。

おしらせ

・本書はBlackBerryの機能をよりご理解いただくために、ヘルプに表示される用語とは異なる用語を使用しています。ヘルプに表示される用語と本書で表記されている用語が異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

検索機能

本端末に保存されているメッセージやオーガナイザデータ（アドレス帳、カレンダー、メモ帳、タスク）を対象にキーワード検索します。

おしらせ

・検索キーワードに記号を含む場合、検索できないことがあります。

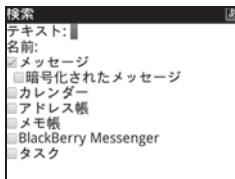
メッセージやオーガナイザデータ内の検索

1 ホームスクリーンで →「検索」

検索画面が表示されます。

2 「テキスト」または「名前」を入力する

検索するキーワードまたは、名前を入力します。

- テキスト：検索するキーワードを入力します。
- 名前：アドレス帳などに登録している名前を入力します。

3 検索対象を選択

検索する対象にチェックを付けます。

メッセージ……メールを検索します。
暗号化されたメッセージ……暗号化されたメールを検索します。
カレンダー……カレンダー内を検索します。
アドレス帳……アドレス帳内を検索します。
メモ帳……メモ帳内を検索します。
BlackBerry Messenger……BlackBerry Messenger内を検索します。
タスク……タスク内を検索します。

すべてを検索対象とする場合は →「すべて選択」を選択します。

4 →「検索」

検索結果が表示されます。

メッセージの検索

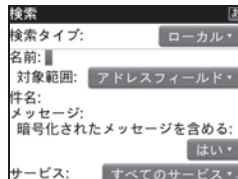
メッセージリストのメニューから直接検索します。

設定した検索条件を保存または変更することもできます。「検索条件の保存」→P.158

1 ホームスクリーンで →「メッセージ」

メッセージリストが表示されます。

2 →「検索」

検索画面が表示されるので、検索条件を設定します。

検索タイプ……デバイス内のメッセージを検索するか、コンピュータのメールアプリケーション内または別の統合メールアカウント内のメッセージを検索するか設定します。
名前……アドレスの一覧から名前を選択して指定するか、アドレスの名前やアドレスの一部を直接入力します。
対象範囲……検索するアドレスの対象範囲を指定します。
件名……検索対象のキーワードとなる件名を入力します。

メッセージ……検索対象のキーワードとなるメッセージを入力します。

暗号化されたメッセージを含める……検索対象に暗号化されたメッセージを含めるか指定します。

サービス……端末に複数のメールアドレスを関連付けている場合は、検索対象となるメールアカウントを選択します。

フォルダ……検索対象に指定するフォルダを選択します。

表示……検索結果で表示するメールを選択します。

種類※……検索するメールの種類を選択します。

※ フラグ付きのメールを検索すると、ワイヤレスネットワーク登録完了メールが検出される場合があります。

3 [メニューキー]→「検索」

検索結果画面が表示されます。

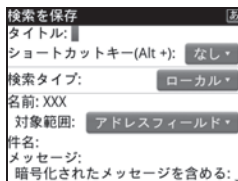
検索条件の保存

設定した検索条件を保存します。

1 検索条件を設定した検索画面で[メニューキー]→「保存」

検索を保存画面が表示されます。

2 検索条件のタイトルを入力

ショートカットキーを設定することができます。

タイトル……保存する検索条件のタイトルを入力します。

ショートカットキー(Alt +)……保存する検索条件に割り当てるショートカットキーを選択します。

3 [メニューキー]→「保存」

保存した検索条件で検索する

1 検索画面で[メニューキー]→「ショートカット参照」

保存されている検索条件のリストが表示されます。

2 検索する内容を含む検索条件名を選択

選択した検索条件が表示されます。

3 [メニューキー]→「検索」

検索結果画面が表示されます。

おしらせ

・表示された検索条件を変更して、検索することもできます。変更した条件を新たにタイトルを付けて、保存登録することもできます。

検索条件の編集

1 検索画面で[メニューキー]→「ショートカット参照」

保存されている検索条件のリストが表示されます。

2 編集する検索条件名を反転

3 [メニューキー]→「検索を編集」

4 検索条件を編集→[メニューキー]→「保存」

検索条件の削除

1 検索画面で[メニューキー]→「ショートカット参照」

保存されている検索条件のリストが表示されます。

2 削除する検索条件名を反転

3 [メニューキー]→「検索を削除」

ゲーム機能

- ゲーム（Word Mole、Texas Hold'Em King 2、Sudoku、Klondike）は日本語に対応しておりません。
  また、サードパーティ製のため、ドコモではすべての動作を保証しておりません。

BrickBreaker

● ゲームの概要

BrickBreakerはパドルを操作してボールを打ち返し、ブロックを壊すゲームです。すべてのブロックを壊すと、次のレベルに進みます。ボールを画面の下に落とすとライフが1つ減ります。ライフがすべてなくなるとゲームオーバーになります。

□を押してボールを発射します。□を左右にスライドしてパドルを操作し、ボールを打ち返してください。ブロックを壊したときに出現するカプセルをキャッチすると、ボールの数が増えたり、パドルが長くなるなど、さまざまな効果があらわれます。

Word Mole

● ゲームの概要

Word Moleは庭にある文字を使って単語を作るゲームです。□を上下左右にスライドして文字を選択し、□を押して決定します。画面下のフィールドに単語が完成したらEnterキーを押すと、単語に応じたスコアを獲得できます。制限時間内にスコアゲージをいっぱいにすると次のレベルに進みます。

Word Moleには、1人で楽しむSingle Player、制限時間のないPractice、最大4人で同時プレイを楽しめるMulti Playerの3つのモードがあります。

Texas Hold'Em King 2

● ゲームの概要

TEXAS HOLD'EM King 2はポーカーゲームです。ゲームはテキサス・ホールデム形式で行われます。

コンピュータと対戦するSINGLE PLAYER、インターネット経由で他のプレイヤーと対戦するMULTIPLAYER※の2つのモードがあります。MULTI PLAYERモードのスコアはオンラインで保存されます。

※ MULTIPLAYERモードで遊ぶには、magmic社のWebサイトにアカウントを登録する必要があります。

Sudoku

● ゲームの概要

Sudokuは、マスに1から9までの数字を入れるゲームです。縦の列と横の列のどちらにも、1から9までの数字が1つずつ入ります。また、太線で囲まれた3×3の枠内にも1から9までの数字が1つずつ入ります。すべてのマスに数字が入ると、次のレベルに進みます。

カーソルは□で操作します。空いているマスを選択し、数字キーで数字を入力します。

Klondike

● ゲームの概要

Klondikeは、カードを動かして、すべてのマークをA、2、3…J、Q、Kの順番に積み上げるゲームです。

7列に並べられたカードは、赤と黒のマークを交互に重ねることができます。このとき、元のカードよりも1つ小さい数字のカードだけを重ねることができます。カードがなくなった列には、Kだけを置くことが可能です。

また、必要に応じて左上の山札からカードを引けます。山札から引いたカードは、一番上のカードを使用できます。

これらを繰り返して、右上のエリアにすべてのマークをA、2、3…J、Q、Kの順番に積み上げるとクリアになります。

GPS

本端末に内蔵されているGPS機能を利用して、位置情報を取得し、地図アプリケーションやナビゲーションサービスを利用することができます。

地図アプリを使い位置情報を取得するなど、GPS機能を利用するには、パケット通信料金がかかります。

受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- ･建物の中や直下
- ･かばんや箱の中
- ･密集した樹木の中や下
- ･自動車、電車などの室内
- ･本端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
- ･地下やトンネル、地中、水中
- ･ビル街や住宅密集地
- ･高圧線の近く
- ･大雨、雪などの悪天候
- ･本端末の画面、操作ボタン、キー、マイクやスピーカー周辺を手で覆い隠すように持っている場合

地図

BlackBerry Mapは、本端末にプリインストールされている地図アプリケーションです。

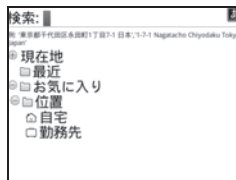
● 地図に位置を表示する

1 ホームスクリーンで[メニュー]→「地図」

BlackBerry Mapが表示されます。

2 [メニュー]→「位置を検索」

表示したい場所の検索や指定を行います。場所を指定すると、その場所が地図上に表示されます。

オプション設定で「住所認識」をオンにしておくと、地図上に住所が表示されます。
→P.163

● 現在地や、登録済みの位置情報から指定する場合

→「現在地」、「最近」、または「お気に入り」

● 住所を入力して指定する場合

→検索フィールドに住所を入力する→[メニュー]→「検索」

● 地図の拡大/縮小(ズームモード)

表示された地図の縮尺を変更します。

1 地図を表示する→[メニュー]→「ズーム」

画面左側にズームレベルが表示され、画面下に「ズームモード」と表示されます。

2 □を上下にスライドさせる

上にスライドすると拡大表示されます。

下にスライドすると縮小表示されます。

ズームモードを終了するには、□を押します。画面下に「PANモード」と表示されます。

● 地図の表示位置を移動する（PANモード）

表示しているエリアを移動させます。

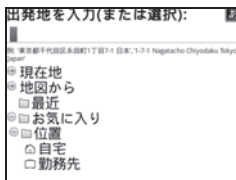
地図を表示した画面で□を上下左右にスライドします。

● 道順を取得する

1 ホームスクリーンで▣→「地図」

地図（最後に終了したときの地図）が表示されます（デフォルトは世界地図）。

2 ▣→「道順を取得」

道順を取得画面が表示されるので、出発地を指定します。

■ 現在地や検索履歴や登録済みの位置情報から指定する場合

→「現在地」、「最近」、「お気に入り」

■ 住所を入力して指定する場合

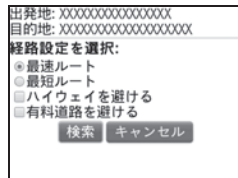
→「出発地を入力（または選択）」→住所を入力→▣→「検索」

■ 地図上で位置を指定する場合

→「地図から」→指定場所を画面の中心に移動→□を押す

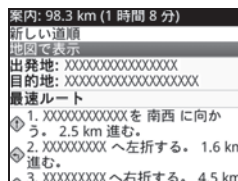
3 目的地を指定する

操作2と同じ方法で指定します。

目的地までの経路設定画面が表示されるので希望ルートを選択します（複数選択可）。

4 「検索」を選択

検索結果画面が表示されます。

5 検索結果画面で「地図で表示」を選択

地図上に出発地から目的地までの道順が表示されます。

■ 検索結果画面に戻る場合

→▣→「道順を表示」

■ 各道順を詳細に表示する場合

→検索結果画面で各道順を反転→▣→「地図で表示」

● 経路を送信する

取得した道順をメールで送信します。

1 道順を地図上に表示する

「道順を取得する」を参照してください。

2 ▣→「道順を送信」

3 送信するメールまたはメッセージの形式を選択

これ以降の操作手順については「電子メールを作成して送信する」（P.42）の操作3以降を参照してください。

● 周辺施設を検索して表示する

表示している地図の中心の周辺にある会社、ランドマーク、空港、学校、公園などを検索して表示します。

1 検索したい場所を地図で表示する

2 →「周辺施設を検索」

検索画面が表示されます。

3 種別を設定して□を押す

検索されたリストが表示されます。

4 「地図で表示」を選択

リストに表示されている施設が地図上に位置表示されます。

→「施設を表示」で検索されたリストに戻ります。

● 指定した位置にズームインする

「地図に位置を表示する」／「道順を取得する」／「周辺施設を検索して表示する」で取得した地図情報を拡大表示します。

1 →「ポイントに合わせてズーム」

ポイントを中心に表示が拡大されます。

おしらせ

- →「ズーム」を選択して拡大表示することもできます。
「地図の拡大／縮小（ズームモード）」→P.160

● 自宅または勤務先住所を登録する

1 地図上で→「レイヤ」

レイヤ画面が表示されます。

2 「お気に入り」フォルダを展開→「位置」フォルダから「自宅」または「勤務先」を選択→→「編集」

編集画面が表示されるので、アドレス情報を入力します。

3 →「アドレス参照」

「場所のジオコード化に成功しました」と表示されたら登録終了です。

ブックマーク（お気に入り）を使う

お気に入りに登録する

取得した場所や経路をお気に入りに登録します。

1 取得した地図で→「お気に入りに追加」

お気に入りを編集する

1 地図上で→「位置を検索」

位置を検索画面が表示されます。

2 「お気に入り」フォルダを選択→編集するお気に入り項目を選択

3 →「編集」

アドレス情報を修正します。

4 →「保存」

お気に入りを削除する

1 地図上で→「位置を検索」

位置を検索画面が表示されます。

2 「お気に入り」フォルダを選択→削除するお気に入り項目を選択

3 →「削除」

ナビゲーション

本端末の移動を追跡します。地図情報とあわせて利用し、カーナビゲーション機能などとして使用することができます。

1 ホームスクリーンで[Menu]→「地図」

地図が表示されます。

2 [Menu]→「GPSナビゲーションの開始」

現在地情報を取得します（現在地の取得には時間がかかります）。

位置情報の取得が終了すると現在地が地図上に赤丸で表示され、移動すると赤丸も地図上を移動します。

移動の追跡を終了するには、[Menu]→「GPSナビゲーションの停止」を選択します。

ナビゲーションのオプション

● 北を上にして地図を表示する

1 GPSナビゲーション時に地図上で[Menu]→「北を上に」

■ 進路を上にして表示する場合
→「進路を上に」

● ダッシュボードを非表示にする

1 GPSナビゲーション時に地図上で[Menu]→「ダッシュボードを非表示」

■ ダッシュボードを表示する場合
→「ダッシュボードを表示」

おしらせ

・ダッシュボードの表示／非表示は、GPSナビゲーション時に地図上でスペースキーを押して切り替えることもできます。

オプション

地図オプション

● キャッシュをクリアする

1 地図上で[Menu]→「オプション」

2 [Menu]→「キャッシュをクリア」

● データカウンタをリセット

1 地図上で[Menu]→「オプション」

2 [Menu]→「データカウンタのリセット」

● Bluetooth®のセットアップ

本端末をBluetooth®対応GPS受信機とペアリングする設定をします。

「Bluetooth®の設定」→P.164

オプションを設定する

1 地図上で[Menu]→「オプション」

GPS設定……移動の追跡関連の設定をします。
GPSソース……移動の追跡に使用するGPS受信機を設定します。
次の場合にバックライトタイムアウトを有効にする……移動の追跡中は常にバックライトを点灯したままですが、バッテリーの状況によってバックライトを消灯するように設定します。

単位……地図上に表示する距離の単位を設定します。

タイトルバーを非表示にする……タイトルバーの表示／非表示を設定します。

地図表示言語……地図に表示する言語を選択します。

ワイヤレス同期……ワイヤレス同期を設定します。

デフォルトのサービス……デフォルトのサービスを選択します。

住所認識……住所認識のオン／オフの設定をします。
※ 日本国内では使用できません。

デフォルトのフォントファミリー……表示する文字のフォントを設定します。
最小のフォントサイズ……表示する文字の最小フォントサイズを設定します。
KMLキャッシュ制限……キャッシュの制限値を選択します。
ダウンロードされたデータ……ダウンロードした地図情報のファイルサイズを表示します。

2 [戻る]→「保存」

Bluetooth®の設定

Bluetooth®通信を使用して、端末とBluetooth®対応機器との間でワイヤレス接続を確立し、データの送受信をすることができます。

本端末と接続を行うBluetooth®対応機器の詳細については、各Bluetooth®対応機器の取扱説明書を参照してください。

- すべてのBluetooth®機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

対応プロファイル

本端末が対応しているプロファイルについては、「主な仕様」(P.261)をご覧ください。

基本操作

Bluetooth®機能のオン･オフを設定する

1 ホームスクリーンで[メニュー]→「接続管理」

接続管理画面が表示されます。

2 「Bluetooth」を選択

選択によってチェックが付けばオンになります。チェックが外れればオフになります。

おしらせ

・Bluetooth®機能がオンの状態ではホームスクリーン上部にBluetooth®のアイコンが表示されます。「状態を示すアイコン」→P.15
また、Bluetooth®機能がオフの場合でも、お使いの端末からはペアリングを行うことができます。

ペアリングする

Bluetooth®対応機器と接続するにはペアリングが必要です。

本端末はアプリケーションを起動すると自動的にBluetooth®対応機器を検索してペアリングを行います。

1 ホームスクリーンで[メニュー]→「接続管理」

接続管理画面が表示されます。

2 Bluetooth®の接続設定をオンにした状態で「Bluetooth®を設定」を選択

ペアリングする機器名を設定する画面が表示されます。

3 「検索」を選択

Bluetooth®対応機器の検索を行います。

Bluetooth®対応機器を検知すると、デバイスを選択画面が表示されます。

4 ペアリングする機器を選択

一部のBluetooth®対応機器との接続にはパスキーが必要です。

「接続デバイス名を待機しています...」と画面が表示され、次に接続デバイス名の数値パスキーを入力する画面が表示されパスキーを要求されるのでパスキーを入力します。

5 「ペアリングが完了しました」が表示される

おしらせ

- パスキーは「数字のみ」または「英数字」の2種類があります。BlackBerry端末同士の接続の場合などパスキーが設定されていないBluetooth®対応機器との接続の場合、接続する側と接続される側で、任意の同じパスキーを入力して接続します。また、市販のBluetooth®対応機器で、あらかじめパスキーが設定されている場合は、設定されたパスキーを端末側で入力する必要があります。
- 一定時間パスキーの入力がない場合、ペアリングを自動的にキャンセルし、「デバイス名への接続に失敗しました。」と表示されます。

機器と接続する

1 ホームスクリーンで→「オプション」→「Bluetooth」

Bluetooth:有効画面が表示されます。

2 接続する機器を反転→→「接続」

■ 接続されている機器を切断する場合
→切断する機器を反転→→切断

ペアリングされた機器の名前を変更する

1 ホームスクリーンで→「オプション」→「Bluetooth」

Bluetooth:有効画面が表示されます。

2 →「デバイスのプロパティ」

デバイスのプロパティ画面が表示されます。

3 「デバイス名」を変更する

4 →「保存」

ペアリングされた機器を削除する

1 ホームスクリーンで→「オプション」→「Bluetooth」

Bluetooth:有効画面が表示されます。

2 →「デバイスを削除」

削除確認画面に「「デバイス名」を削除しますか？」と表示されます。

3 「削除」を選択

本端末のペアリング名を変更する

1 ホームスクリーンで→「オプション」→「Bluetooth」

Bluetooth:有効画面が表示されます。

2 →「オプション」

Bluetooth®のオプション画面が表示されます。

3 「デバイス名」を変更する

4 →「保存」

次ページにつづく

メディアファイルの送信

1 メディアファイルを表示する

2 →「Bluetoothを使用して送信」

3 送信する機器を選択

ファイルの転送が始まります。

Bluetooth®のオプション設定

「Bluetooth®」（P.177）を参照してください。

Wi-Fiネットワーク設定

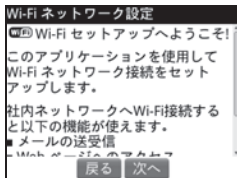
本端末で、Wi-Fiネットワークに接続するための設定をします。Wi-Fiネットワークの設定には、Wi-Fiネットワーク設定ウィザードを利用して、自動で設定する方法（→P.166）と手動で設定する方法（→P.168）があります。

おしらせ

・接続設定を行うには、Wi-Fiの接続設定をオンにしておく必要があります。「ネットワークの設定（接続管理）」→P.169

Wi-Fiネットワーク設定ウィザードを起動する

1 ホームスクリーンで→「セットアップ」→「Wi-Fiネットワーク設定」

Wi-Fiネットワーク設定ウィザードが起動されます。

おしらせ

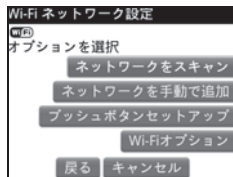
・セットアップウィザードの途中で1つ前の設定画面に戻る場合は「戻る」を選択します。

・「詳細の表示」を選択すると、オンラインヘルプを参照表示できます。

・「次回からこのイントロダクションを表示しない」のチェックボックスをオンにすると、次回以降にWi-Fiネットワーク設定ウィザードを起動したときに、この画面は表示されません。

2 ウィザードを続ける場合は「次へ」

Wi-Fiネットワーク設定ウィザード画面が表示されます。

以降の手順について、自動で設定を行う場合は「Wi-Fiネットワーク接続を自動で設定する」（P.166）を、手動で設定を行う場合は「Wi-Fiネットワーク接続を手動で設定する」（P.168）をご覧ください。

Wi-Fiネットワーク接続を自動で設定する

利用可能なアクセスポイントを検索（スキャン）し、自動で設定します。また、Wi-Fi Protected Setupに対応したアクセスポイントが設置されている場合は、セキュリティ情報も含め自動で設定することができます。

おしらせ

・セットアップ手順の詳細や設定内容については、システム管理者へお問い合わせください。

Wi-Fi Protected Setupに対応していないアクセスポイントを設定する場合

1 Wi-Fiネットワーク設定ウィザード画面（P.166）で「ネットワークをスキャン」→「Wi-Fiをオンにする」

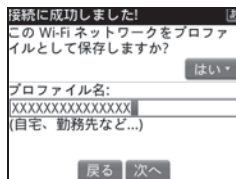
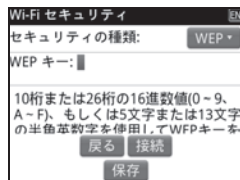
スキャンが開始され、利用可能なアクセスポイントが表示されます。

おしらせ
- Wi-Fiネットワーク接続がオンになっている場合は、「Wi-Fi接続をオンにする」を選択する画面は表示されません。

<スキャン結果の見かた>

電波の受信レベル
利用可能なアクセスポイント名
オープン　：接続が特に制限されていないアクセスポイント
WEP など　:Wired Equivalent Privacy（WEP）などのセキュリティにより接続が保護されているアクセスポイント
（保存済み）：プロファイルが保存済みのアクセスポイント
（接続済み）：接続済みのアクセスポイント

2 接続アクセスポイントを選択

接続に成功すると、「接続に成功しました！」と表示され、自動的にプロファイルが作成されます。

■ WEPキーなどのセキュリティ情報を入力して接続する場合
→各項目を入力→「接続」

■ WEPキーなどのセキュリティ情報を入力してプロファイルを保存する（接続は行わない）場合
→各項目を入力→「保存」→「次へ」
セットアップが完了します。操作4に進んでください。

3 「次へ」を選択

自動で設定されたプロファイルが保存されます。

■ 設定（プロファイル）名を変更する場合
→プロファイル名に任意の名称を設定

■ 設定（プロファイル）を保存しない場合
「このWi-Fiネットワークをプロファイルとして保存しますか」で「いいえ」

4 「完了」を選択

Wi-Fiネットワーク設定ウィザードを終了します。

■ 保存したプロファイルの確認や、設定内容を変更する場合
→「Wi-Fiプロファイルを優先」
詳しくは、「Wi-Fi」（P.179）をご覧ください。

■ Wi-Fiホットスポットにログインする場合
→「Wi-Fiホットスポットログイン」

次ページにつづく

Wi-Fi Protected Setupに対応しているアクセスポイントを設定する場合

1 Wi-Fiネットワーク設定ウィザード画面（P.166）で「プッシュボタンセットアップ」→「次へ」

Wi-Fi Protected Setupが開始されます。

Wi-Fi Protected Setup
Wi-Fi Protected Setup対応ワイヤレスルーターとセキュリティ保護された接続を確立するには、[次へ]をクリックします。Wi-Fi Protected Setup対応ワイヤレスルーターがない場合は、[戻る]をクリックしてください。
戻る 次へ

2 Wi-Fi Protected Setupに対応しているアクセスポイントのWi-Fi Protected Setupボタンを押し、「完了」を選択

自動的にWi-Fi Protected Setupに対応したアクセスポイントがスキャンされ、プロファイルが作成されます。

おしらせ
・Wi-Fiネットワーク接続がオフになっている場合は、Wi-Fi接続をオンにする旨のメッセージが表示されます。「Wi-Fi接続をオンにする」を選択してください。

3「次へ」を選択

自動で設定されたプロファイルが保存されます。

■ 設定(プロファイル)名を変更する場合
→プロファイル名に任意の名称を設定

■ 設定(プロファイル)を保存しない場合
「このWi-Fiネットワークをプロファイルとして保存しますか」で「いいえ」

4「完了」を選択

Wi-Fiネットワーク設定ウィザードを終了します。

■ 保存したプロファイルの確認や、設定内容を変更する場合
→「Wi-Fiプロファイルを優先」
詳しくは、「Wi-Fi」(P.179)をご覧ください。

■ Wi-Fiホットスポットにログインする場合
→「Wi-Fiホットスポットログイン」

おしらせ
・プロファイルが1つでも保存されている場合は、Wi-Fiネットワーク設定ウィザード画面(P.166)からWi-Fiホットスポットにログインすることができます。

Wi-Fiネットワーク接続を手動で設定する

利用するアクセスポイントを手動で設定します。

おしらせ
・各設定項目の詳細については、システム管理者へお問い合わせください。

1 Wi-Fiネットワーク設定ウィザード画面（P.166）で「ネットワークを手動で追加」

2 アクセスポイント名（SSID）を入力→「追加」

3 セキュリティの種類、および詳細を設定

4「接続」を選択

接続に成功すると、「接続に成功しました！」と表示され、自動的にプロファイルが作成されます。

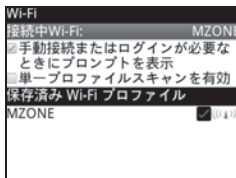
「Wi-Fi Protected Setupに対応していないアクセスポイントを設定する場合」(P.167)の操作2に進んでください。

Wi-Fiオプションを設定する

Wi-Fiのオプション設定を行います。

1 Wi-Fiネットワーク設定ウィザード画面（P.166）で「Wi-Fiオプション」

2 設定する項目にチェックを付ける

以下の項目を設定できます。

接続中Wi-Fi……接続中のWi-Fiが表示されます。

手動接続またはログインが必要なときにプロンプトを表示……手動接続またはログインが必要なときにプロンプトを表示するときにチェックを付けます。

単一プロファイルスキャンを有効……単一プロファイルスキャンを有効にするときにチェックを付けます。

保存済みWi-Fiプロファイル……保存されているWi-Fiプロファイルが表示されます。

3 [メニューキー]→「保存」

ネットワークの設定（接続管理）

本端末では、モバイルネットワーク接続、Wi-Fiネットワーク接続、Bluetooth®接続に関する設定を管理できます。

ネットワーク接続のオン／オフを切り替える

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→「接続管理」

接続管理画面が表示されます。

2 以下の項目から選択

すべての接続をオン、すべての接続をオフ、接続を復元……モバイルネットワーク接続、Wi-Fiネットワーク接続、およびBluetooth®接続のすべてのオン／オフを同時に切り替えます。
「接続を復元」は、「すべての接続をオフ」を選択した後、元の状態に戻す場合に選択します。

モバイルネットワーク……モバイルネットワーク接続のオン／オフを切り替えます。

Wi-Fi……Wi-Fiネットワーク接続のオン／オフを切り替えます。

Bluetooth……Bluetooth®接続のオン／オフを切り替えます。

接続管理画面の見かた

接続管理画面では、各ネットワークおよびBluetooth®対応機器の接続状態を以下のように表示しています。

モバイルネットワーク DOCO..

接続先名称　接続状態

● 接続先名称

接続済みのモバイルネットワーク名やWi-Fiネットワーク名、Bluetooth®接続されている場合は「接続済み」と表示されます。

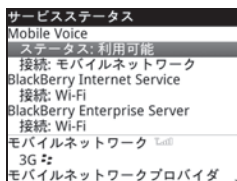
※ご利用のフォントサイズにより表示されない場合があります。

● 接続状態

✓	各ネットワークまたはBluetooth®対応機器に接続済みで、利用可能な状態です。
−	各ネットワークに接続されていますが、アクセス権などによりご利用になれません。またはBluetooth®設定はオンになっていますが、対応機器に接続されていません。
×	各ネットワークへの接続がオフの状態、またはBluetooth®設定がオフの状態です。

ネットワークの接続状況（詳細）を確認する

1 接続管理画面（P.169）で「サービスステータス」を選択

各ネットワークの状態や、Bluetooth®設定のオン／オフなどが表示されます。

Wi-Fiネットワーク接続、Bluetooth®接続を設定する

1 接続管理画面（P.169）で「Wi-Fiネットワーク設定」を選択

Wi-Fiネットワーク接続の設定を行います。詳しくは「Wi-Fiネットワーク設定」（P.166）をご覧ください。

■ Bluetooth®接続を設定する場合

→「Bluetoothを設定」

Bluetooth®接続の設定を行います。詳しくは「Bluetooth®の設定」（P.164）をご覧ください。

ネットワーク接続、Bluetooth®接続のオプション設定

各ネットワーク、およびBluetooth®接続のオプション設定を行います。

モバイルネットワークのオプション設定

1 接続管理画面（P.169）で「モバイルネットワークオプション」を選択

モバイルネットワーク接続の設定を行います。
詳しくは、「モバイルネットワーク」（P.192）をご覧ください。

Wi-Fiネットワークのオプション設定

1 接続管理画面（P.169）で「Wi-Fiオプション」を選択

Wi-Fiネットワーク接続の設定を行います。詳しくは、「Wi-Fi」（P.179）をご覧ください。

Bluetooth®接続のオプション設定

1 接続管理画面（P.169）で「Bluetoothのオプション」を選択

Bluetooth®対応機器との接続の設定を行います。詳しくは、「Bluetooth®の設定」（P.164）をご覧ください。

サウンドプロファイル設定

サウンドプロファイルは、着信音とバイブレーターおよびLEDの点滅で、メールの受信、カレンダーやタスクのアラーム、ブラウザや重要度の高い電子メール、着信などに対し、通知方法を個々に設定する機能です。端末には、デフォルトで標準的なプロファイルがあらかじめ登録されています。
これらのサウンドプロファイルを変更したり、オリジナルのサウンドプロファイルを新たに作成することができます。

基本操作

デフォルトのサウンドプロファイル

アイコン		説明
	標準	標準音量(音量7)の着信音の通知でお知らせします。バイブレーターは作動しない標準設定です。
	音量(大)	LEDの点滅と同時にバイブレーターが作動し、次に最大音量(音量10)の着信音でお知らせします。最も気が付きやすいお知らせをします。
	音量(中)	中音量(音量5)の着信音の通知でお知らせします。バイブレーターは作動しない設定です。
	バイブ	マナーモードです。バイブレーションとLEDの点滅のみで通知をお知らせします。
	サイレント	サイレントモードです。着信音もバイブレーターも作動しません。LEDの点滅のみでお知らせします。
	着信のみ	電話の着信のみ中音量の着信音でお知らせします。バイブレーターは作動せず、そのほかの通知はLEDの点滅でお知らせします。
	オフ	設定がすべてオフになり、端末にサウンドプロファイルを適用しません。
	新しく追加したサウンドプロファイル	ユーザーが設定した動作でお知らせします。

アイコン	説明
着信音／通知を設定	選択しているサウンドプロファイルでの着信音／メッセージの通知音を設定します。
連絡先の通知を設定	アドレス帳に登録している連絡先から個別に電話／メッセージの着信にサウンドプロファイルを設定します。
プロファイルを編集	プロファイル画面を表示し、サウンドプロファイルの作成や、変更ができます。

おしらせ

- デフォルトのサウンドプロファイルを変更して使用することができます。
「サウンドプロファイルを編集する」→P.173
- サウンドプロファイル設定がバイブ、サイレント、オフの場合でもカメラのシャッター音、メディアファイルの再生音、ゲームなどの音は鳴ります。

サウンドプロファイルを設定する

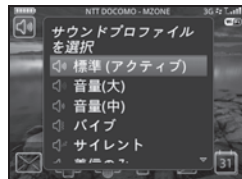
● ホームスクリーンから割り当てる場合

1 ホームスクリーンで「サウンド」アイコン（例：）を選択

サウンドプロファイルを選択画面が表示されます。

2 割り当てるサウンドプロファイルを選択

- マナーモードにするには、「バイブ」を選択します。
- サイレントモードにするには、「サイレント」を選択します。

次ページにつづく

● サウンドプロファイルの一覧画面から割り当てる場合

1 ホームスクリーンで [BlackBerryキー]→「サウンド」

サウンドプロファイルを選択画面が表示されます。

2 割り当てるサウンドプロファイルを選択

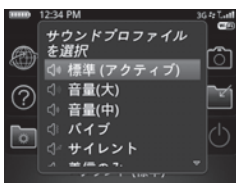
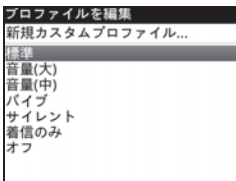
・マナーモードにするには、「バイブ」を選択します。
・サイレントモードにするには、「サイレント」を選択します。

新しいサウンドプロファイルを作成する

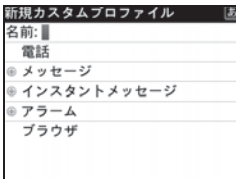
1 サウンドプロファイルを選択画面で「プロファイルを編集」

プロファイルを編集画面が表示されます。

プロファイルを編集
新規カスタムプロファイル...
標準
音量(大)
音量(中)
バイブ
サイレント
着信のみ
オフ

2 [BlackBerryキー]→「新規」

新規カスタムプロファイルの作成画面が表示されます。

3 「名前」を入力→アイテム（対象アプリケーション）を選択

アイテムのプロファイル詳細設定画面が表示されます。

電話……電話の着信があったときの動作を設定します。

メッセージ……新規メールを受信したときの動作を設定します。BlackBerry Enterprise SolutionとBlackBerry Internet Serviceの両方のサービスのご利用や、2つ以上のアカウントを登録されている場合は、アカウントごとに受信時の動作を設定できます。

PIN……新規PINを受信したときの動作を設定します。

SMS……新規SMSを受信したときの動作を設定します。

メール……新規メールを受信したときの動作を設定します。

レベル1……重要度“高”の新規メールを受信したときの動作を設定します。

インスタントメッセージ……インスタントメッセージを受信したときの動作を設定します。

BlackBerry Messenger新しいメッセージ……新規インスタントメッセージを受信したときの動作を設定します。

BlackBerry Messengerグループ……インスタントメッセージのグループ内からの新規インスタントメッセージを受信したときの動作を設定します。

BlackBerry Messenger通知……インスタントメッセージの連絡先が利用不可のときに「通知を設定」(P.82)を設定し、利用可能の通知を受けたときの動作を設定します。

アラーム……アラームの設定を行います。

カレンダー……カレンダーで設定したアラームの日時になったときの動作を設定します。

タスク……タスクで設定した期限になったときの動作を設定します。

追加フラグ……フラグが設定されているときの動作を設定します。

ブラウザ……ブラウザでの通信が可能になったときの動作を設定します。

4 項目を設定

「サウンドプロファイルの設定項目」→P.175

5 ⊞→「保存」

サウンドプロファイルを編集、削除する

● サウンドプロファイルを編集する

1 サウンドプロファイルを選択画面で「プロファイルを編集」

プロファイルを編集画面が表示されます。

2 修正するプロファイルを反転→⊞→「編集」

サウンドプロファイルを設定できるアイテム(アプリケーションや、その一部)の一覧が表示されます。

3 修正するアイテムを選択

アイテムのプロファイル詳細設定画面が表示されます。

4 必要な項目を修正

「サウンドプロファイルの設定項目」→P.175

■ 通話中に通知を受けないようにする場合

「通話中に通知を受ける」を「いいえ」に設定します。

5 ⊞→「保存」

おしらせ

・お買い上げ時に登録されているプロファイルは、設定内容の変更はできますが、名前を変更することはできません。

● サウンドプロファイルを削除する

1 プロファイルを編集画面で削除するプロファイルを反転

2 ⊞→「削除」

おしらせ

・お買い上げ時に登録されているプロファイルは、削除できません。

● 着信音を変更する

1 プロファイルを編集画面で変更するプロファイルを反転

2 ⊞→「編集」

着信音/通知画面が表示されます。

3 「電話」を反転→⊞→「編集」

通知音/通知の編集画面が表示されます。

「電話」を反転→▢でも通知音/通知の編集画面が表示されます。

4 「着信音：」を選択して着信音にする音を反転

5 ⊞→「保存」

おしらせ

・お客様がダウンロードした着信音に変更することもできます。
「着信音をダウンロードする」→P.104

・連絡先ごとに着信音を割り当てることもできます。
「連絡先の個別通知を設定する」→P.174

次ページにつづく

連絡先の個別通知を設定する

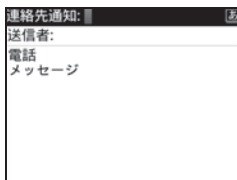
連絡先の個別通知を作成すると、アドレス帳に登録されている特定の電話番号からの電話の着信（音声着信）／メッセージに対して、サウンドプロファイルには関係なく設定した通知でお知らせします。

● 連絡先の個別通知を作成する

1 サウンドプロファイルを選択画面で「連絡先の通知を設定」

連絡先の通知画面が表示されます。

2「連絡先の通知を追加」を選択

連絡先通知画面が表示されます。

3「連絡先通知：」または「送信者」で▢を押す→「名前を追加」

アドレス帳が表示されるので、個別通知を設定する相手を選択します。

連絡先通知画面に戻ります。

4「電話／メッセージ」を選択

電話／メッセージ-“アドレス帳の登録名”画面が表示されます。

5 設定する項目を選択→設定値を選択

設定項目については「サウンドプロファイルの設定項目」→P.175

※ この設定を行うには「送信者」の連絡先がアドレス帳にあらかじめ登録されている必要があります。

6 [メニューキー]→「保存」

● 連絡先の個別通知を編集する

1 サウンドプロファイルを選択画面で「連絡先の通知を設定」→編集する連絡先を選択

2 編集する項目（電話／メッセージ）を選択

電話／メッセージ - ”アドレス帳の登録名”画面が表示されます。

3 必要な項目を修正

設定項目については「サウンドプロファイルの設定項目」→P.175

4 [メニューキー]→「保存」

● 連絡先の個別通知を削除する

1 サウンドプロファイルを選択画面で「連絡先の通知を設定」→削除する連絡先を反転

2 [メニューキー]→「削除」

サウンドプロファイルの設定項目

サウンドプロファイル設定画面では以下の項目を設定できます。

着信音……表示された一覧から選択して、プロファイルに使用する着信音を指定します。
音量……音量を設定します。
サウンドを再生……着信音をポケット内／ポケット外で再生するかどうか設定します。
LED……着信時にLEDを点滅させるかどうか設定します。
バイブレーション……着信時にバイブレーションさせるかどうか設定します。
長さ……バイブレーションの振動の長さを設定します。
回数……バイブレーションのリピート回数を設定します。
バイブ……着信時のバイブレーションをポケット内／ポケット外で振動させるかどうか設定します。
着信音と同時にバイブ……着信音が再生される同じタイミングでバイブレーションさせるときに設定します。
通話中に通知を受ける※……通話中に、メール受信などの通知を受けるかどうか設定します。
確認……設定した内容を試行します。

※ 「電話」以外の項目で表示されます。

初期化／再アクティベーション

本端末に登録されている設定や保存されているデータを消去することができます。初期化を行うと、電話帳やメール、写真などお客様の大切なデータがすべて消去されますので、ご注意ください。初期化を行う前には、データをバックアップすることをおすすめします。BlackBerry Desktop Managerを利用してバックアップを行う手順については、「バックアップと復元」（P.238）をご覧ください。

初期化を行う前の確認事項

初期化を行う前に以下の事項を確認してください。

バッテリー残量

バッテリーインジケータを確認し、バッテリー残量が十分であることを確認します。バッテリー残量が不足している場合は、十分に充電してから初期化を行ってください。「バッテリーを充電する」→P.13

エンタープライズアクティベーションに必要な情報

BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、初期化の後にエンタープライズアクティベーション（P.34）を行う必要があります。

詳しい手順はシステム管理者に確認し、その指示に従ってください。

必要なデータのバックアップ

初期化を行う前に、必要なデータのバックアップをおすすめします。BlackBerry Desktop Managerを利用してバックアップを行う手順については、「バックアップと復元」（P.238）をご覧ください。

初期化

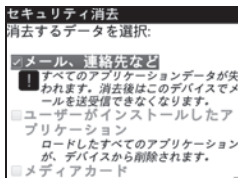
重要

- 処理を開始すると、停止できません。デバイスをリセットしても、再起動後に処理が続行されます。
- 操作2で「ユーザーがインストールしたアプリケーション」のチェックボックスをオンにしても、ユーザーがインストールしたアプリケーションが削除されない場合があります。

1 セキュリティのオプション画面で「セキュリティ消去」を選択

セキュリティ消去画面が表示されます。

2 消去するデータを選択

以下の項目を選択できます。

メール、連絡先など……メールや連絡先のデータを消去します。

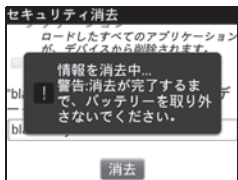
ユーザーがインストールしたアプリケーション……ユーザーがインストールしたアプリケーションを消去します。

メディアカード……メディアカードのデータを消去します。

3 「blackberry」と入力→「消去」

データ消去の確認のため「blackberry」と入力します。

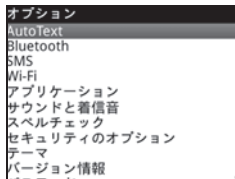
警告画面が表示され初期化が始まります。

初期化が完了すると、自動的に電源がオンになります。画面の指示に従って、初期設定を行ってください。初期設定については、「セットアップ」(P.30)をご覧ください。

オプション設定

端末の基本設定をはじめ、ネットワーク関連やセキュリティの設定など、お使いの端末の各種オプション設定を行います。ここでは各種設定に必要な設定の値とその動作を説明しています。

1 ホームスクリーンで →「オプション」

オプション画面が表示されます。

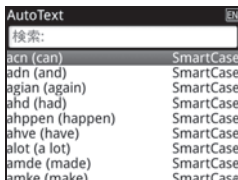
「AutoText」と「スペルチェック」は、入力言語(P.195)が日本語の場合には表示されません。

AutoText

AutoTextは、あらかじめ登録してある文字を入力すると、それに対して登録されている文字に置き換えるオプション機能です。AutoTextは新規登録、編集、削除によるカスタマイズが可能です。

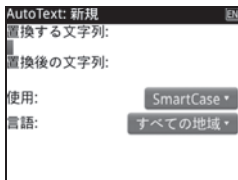
おしらせ

- AutoTextは入力言語が英語モード(「オプション」→「言語」→「入力言語」→「English」選択時)のときのみ設定いただけます。ただし入力言語が日本語でも、半角英数入力モードの場合は、AutoTextの機能はご利用いただけます。

1 オプション画面で「AutoText」を選択

AutoText画面が表示されます。

AutoTextを新規登録する

1 AutoText画面で⊞→「新規」

AutoText:新規画面が表示されます。

2 以下の項目を設定

置換する文字列……置換前の文字を入力します。
置換後の文字列……置換後の文字を入力します。 マクロ(入力時の日付や時刻、所有者情報などの文字列)を挿入する場合は、⊞→「マクロを挿入」で挿入します。
使用……置き換え後のコンテキストを設定します。 ・SmartCase:文脈に合わせて最初の文字を大文字に変換します。 ・大文字と小文字の指定:入力どおり変換します。
言語……使用する言語を選択します。

3 ⊞→「保存」

AutoTextを編集する

登録されているAutoTextを修正します。

1 AutoText画面で編集するAutoTextを反転

2 ⊞→「編集」

3 項目を変更し、⊞→「保存」

AutoTextを削除する

登録されているAutoTextを削除します。

1 AutoText画面で削除するAutoTextを反転

2 ⊞→「削除」

AutoTextの変更を元に戻す

AutoTextによって置き換えられた文字を、入力した文字に戻すことができます。

1 Deleteキーを2回押す

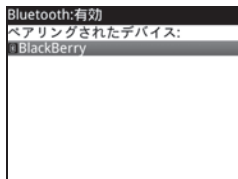
Bluetooth®

Bluetooth®に関する設定をします。

Bluetooth®の接続に関する設定は「Bluetooth®の設定」→ P.164

1 オプション画面で「Bluetooth」を選択

Bluetooth画面(Bluetooth:無効/Bluetooth:有効)が表示されます。

次ページにつづく

■ 有効／無効を切り替える

→「Bluetoothを無効にする」／「Bluetoothを有効にする」

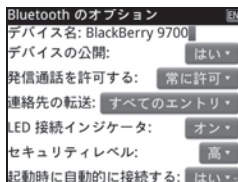
Bluetooth®のオプション設定

1 Bluetooth画面で →「オプション」

Bluetooth®のオプション画面が表示されます。

Bluetooth のオプション
デバイス名: BlackBerry 9700
デバイスの公開: はい
発信通話を許可する: 常に許可
連絡先の転送: すべてのエントリ
LED 接続インジケータ: オン
セキュリティレベル: 高
起動時に自動的に接続する: はい

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

デバイス名……接続する相手側の機器に表示される名前を設定します。

デバイスの公開……他のBluetooth®対応機器からの検索を可能にするか設定します。

発信通話を許可する……Bluetooth®での発信通話制限を設定します。

連絡先の転送……Bluetooth®通信によるアドレス帳の共有を設定します。「選択したフィルタのみ」を選択すると、フィルタの入力フィールドが表示されます。ここに入力したフィルタのみが許可されます。

LED接続インジケータ……Bluetooth®通信中インジケータの表示・非表示を設定します。

セキュリティレベル……送受信するデータを暗号化するかどうかを設定します。

起動時に自動的に接続する……端末の電源を入れると、自動的に前回接続したBluetooth®対応機器に接続するかどうかを設定します。

デバイスアドレス……本端末のアドレスが表示されます。

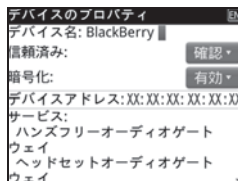
サービス……Bluetooth®プロファイルの有効／無効を設定します。プロファイルの左横のチェックボックスにチェックを入れるとプロファイルが有効になります。チェックを外すと無効になります。

3 →「保存」

Bluetooth®機器のプロパティ

1 Bluetooth画面（Bluetooth：有効）でプロパティを表示する機器を選択

2 →「デバイスのプロパティ」

デバイスのプロパティ画面に以下の項目が表示されます。

デバイス名……ペアリングされた機器の名前を変更する場合、このフィールドに名前を入力します。

信頼済み……接続の際に確認画面を表示するか設定します。「いいえ」を選択した場合は接続を確立しません。

暗号化……暗号化を有効にするか設定します。

デバイスアドレス……ペアリングされた機器のアドレスが表示されます。

サービス……Bluetooth®プロファイルの有効／無効を設定します。プロファイルの左横のチェックボックスにチェックを入れるとプロファイルが有効になります。チェックを外すと無効になります。

3 →「保存」

ペアリングされたBluetooth®対応機器を削除する

1 Bluetooth画面（Bluetooth：有効）で削除する機器を選択

2 →「デバイスを削除」

おしらせ

・端末が Bluetooth®対応機器に接続されている場合は削除できません。

SMS

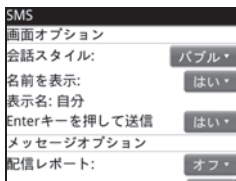
SMSのオプション設定ではSMSの使用における、さまざまなオプションの設定を行います。SMSのオプション設定は次の操作で表示し、設定を行います。

1 オプション画面で「SMS」を選択

SMS画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

※ FOMAカードが挿入されていない場合、設定は保存されません。

画面オプション……SMSの会話を行うときの表示画面設定を行います。

- 会話スタイル……SMSの会話表示画面のスタイルを設定します。
- 名前を表示……SMSの会話メッセージに送信者と受信者の名前を表示する設定をします。
- 表示名……名前を表示する場合の表示名を設定します。
- Enterキーを押して送信……SMSを送信するときに、Enterキーを押すと送信できるように設定します。

メッセージオプション……SMSのオプション設定を行います。

- 配信レポート……すべてのSMSに対して配信確認を要求するか設定します。
- 有効期間……SMSが配信できなかった場合にサービスセンターが送信を試行し続ける期間を設定します。
「1日」または「3日」を設定することができます。他の期限を選択しても設定結果は反映されません。また、「3日」より長い期限を設定するとSMSを送信できなくなります。
配信レポートがオンで有効期間内でも、端末のリセットを実行するとメッセージの送達通知は表示されません。
- 送信形式※1……SMSの送信方式を設定します。
- データコーディング……SMSのコーディング方式を設定します。7ビットに設定し、入力言語を英語に設定すると半角英数字160文字入力が可能となります。
- サービスセンター※2……サービスセンター番号が表示されます。
- AutoTextを無効にする……SMS本文入力時のAutoTextの有効／無効を設定します。
- SIMカードにメッセージを残す……FOMAカードに受信したSMSを保存するか設定します。「はい」に設定した場合、設定後に受信したSMSをFOMAカードに保存します。
- 送信するネットワーク……SMS送信用のワイヤレスネットワークタイプを設定します。
・CS／PS交換方式：SMSの送信に使用するネットワークの種類が1つのみの場合
・優先するCS／優先するPS：SMSの送信にどちらかのネットワークを使用する場合
- 再試行……再試行する回数を設定します。

※1 「テキスト」以外の設定値はサポートしていません。必ず「テキスト」に設定し、通常は変更しないでください。

※2 サービスセンター番号は絶対に変更しないでください。

3 [メニューキー]→「保存」

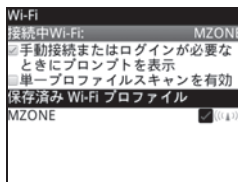
Wi-Fi

Wi-Fiの設定を行います。

Wi-Fiのネットワーク設定については「Wi-Fiネットワーク設定」→P.166

1 オプション画面で「Wi-Fi」を選択

Wi-Fi画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

接続中Wi-Fi……接続中のWi-Fiが表示されます。

手動接続またはログインが必要なときにプロンプトを表示……手動接続またはログインが必要なときにプロンプトを表示するときにチェックを付けます。

単一プロファイルスキャンを有効……単一プロファイルスキャンを有効にするときにチェックを付けます。

保存済みWi-Fiプロファイル……保存されているWi-Fiプロファイルが表示されます。

3 →「保存」

Wi-Fi接続のオプション設定

● プロファイルの詳細を確認する

1 Wi-Fi画面（P.179）で確認したいプロファイルを反転→→「ネットワークの詳細」

● プロファイルを編集する

1 Wi-Fi画面（P.179）で編集したいプロファイルを反転→→「編集」

2 →「保存」

● プロファイルを削除する

1 Wi-Fi画面（P.179）で削除したいプロファイルを反転→→「削除」

● プロファイルを有効にする

1 Wi-Fi画面（P.179）で有効にしたいプロファイルを反転→→「有効」

■ **無効にする場合**

→無効にしたいプロファイルを反転→→「無効」

● デフォルトで接続するWi-Fiネットワークに設定する

1 Wi-Fi画面（P.179）で、デフォルトで接続したいプロファイルを反転→→「規定の接続に設定」

● 変更した設定をデフォルトに戻す

1 Wi-Fi画面（P.179）で、設定をデフォルト状態に戻したいプロファイルを反転→→「デフォルトの設定を復元」

● Wi-Fiツールを利用する

1 Wi-Fi画面（P.179）で→「Wi-Fiツール」

2 以下の項目から選択

Wi-Fi診断……接続中のWi-Fiネットワークの診断を行います。診断結果の詳細を確認する場合は、診断結果画面で→「オプション」→表示モードに「詳細」を設定→→「保存」と選択します。

サイト調査……利用可能なアクセスポイントをスキャンし、結果が一覧で表示されます。アクセスポイントの詳細を確認するには、確認をしたいアクセスポイントを反転→→「アクセスポイント詳細」と選択します。また、スキャンを停止する場合は、→「スキャンの停止」と選択します。

DNS参照……DNS参照アプリケーションを起動し、DNSを確認します。

Ping……Pingテストを行います。Ping送信先などの条件を設定してから、→「Pingを送信」と選択し、テストを実行します。

アプリケーション

インストールされているアプリケーションの情報を参照できます。また、アプリケーションに対して詳細な権限を設定できます。

1 オプション画面で「アプリケーション」を選択

アプリケーション画面が表示されます。

2 アプリケーション画面の「アプリケーション」で、表示するアプリケーションの種類を表示

選択した種類のアプリケーションが表示されます。

サードパーティ……購入後インストールしたアプリケーション。

アドオン……既存でインストールされているアプリケーション。

コア……本端末の動作の基本となるアプリケーション。

3 設定するアプリケーションを反転

4 [menu]→表示されたメニューから選択

プロパティを表示……アプリケーションのプロパティを表示します。

削除……アプリケーションを削除します。

権限を編集※……各アプリケーションに対しての各種権限を設定します。「アプリケーションの権限」→P.181

モジュール……アプリケーションが使用するモジュールを表示します。

デフォルトの権限を編集……すべてのアプリケーションに対しての各種権限を設定します。「アプリケーションの権限」→P.181

アプリケーション切り替え→P.23

閉じる……アプリケーション画面を終了します。

※ サードパーティのアプリケーションのときに表示されます。

5 [menu]→「保存」

● アプリケーションの権限

アプリケーションの権限を設定します。

おしらせ

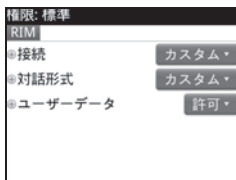
・権限を変更すると、アプリケーションの動作に影響を与える可能性があります。BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、システム管理者へお問い合わせください。変更する前にシステム管理者へ問い合わせることをおすすめします。

1 オプション画面で「アプリケーション」を選択

アプリケーション画面が表示されます。

2 アプリケーション画面で権限を設定する項目を反転

3 [menu]→「デフォルトの権限を編集」

選択したアプリケーションの権限を編集します。

■ モジュールの権限を設定する場合

アプリケーション内のモジュール単位で権限を編集します。

→「モジュール」→権限を設定するモジュールを反転→「権限を編集」

以下の項目を設定できます。

「+」が表示されている場合は、[menu]→「展開」で表示されていない項目を表示できます。

接続……以下の詳細設定項目に対して一括設定をします。「許可」を選択するとすべて許可します。「カスタム」を設定するとカスタム設定できます。「デフォルト」を選択するとデフォルト値に戻します。「拒否」を選択するとすべて拒否します。

USB……アプリケーションによるUSBの使用を許可するか設定します。

Bluetooth……アプリケーションによるBluetooth®の使用を許可するか設定します。

電話……アプリケーションによる電話の使用を許可するか設定します。

位置(GPS)……アプリケーションによる位置情報の使用を許可するか設定します。「確認」に設定すると、アプリケーションによる位置情報取得を許可するかの確認画面が表示されます。
「許可」以外に設定されている場合、アプリケーションが位置情報を取得する際に、設定の変更が必要な場合があります。

会社のネットワーク※……アプリケーションによる、会社のネットワークを使用してインターネットやイントラネットへのアクセスを許可するか設定します。

インターネット……アプリケーションによる通信事業者のインターネット経由のアクセスを許可するか設定します。

Wi-Fi……アプリケーションによるWi-Fi接続を許可するか設定します。

対話形式……以下の詳細設定項目に対して一括設定をします。「許可」を選択するとすべて許可します。「カスタム」を設定するとカスタム設定できます。「デフォルト」を選択するとデフォルト値に戻します。「拒否」を選択するとすべて拒否します。

アプリケーション間コミュニケーション……端末内のアプリケーション同士での通信を許可するか設定します。

デバイス設定……アプリケーションが端末の電源をオン／オフできるか設定します。

次ページにつづく

メディア……アプリケーションが端末のメディアファイルにアクセスできるかを設定します。

アプリケーション管理……アプリケーションがモジュールを追加や削除したり、アプリケーション情報にアクセスできるか設定します。

テーマ……アプリケーションを追加のテーマとして使用できるか設定します。

入力シミュレーション……アプリケーションがキー操作のアクションをシミュレートできるか設定します。

ブラウザフィルタ……アプリケーションがブラウザフィルタを登録し、コンテンツ表示を制御できるか設定します。

記録……アプリケーションの画面キャプチャを許可するか設定します。

セキュリティタイマーをリセット……アプリケーションがセキュリティタイマーをリセットできるか設定します。

ロック時に情報を表示する……ロック時に情報を表示します。

ユーザーデータ……以下の詳細設定項目に対して一括設定をします。「許可」を選択するとすべて許可します。「カスタム」を設定するとカスタム設定できます。「デフォルト」を選択するとデフォルト値に戻します。「拒否」を選択するとすべて拒否します。

メール……アプリケーションが、電子メール、SMS、PINメッセージにアクセスできるか設定します。

PIM……アプリケーションが、オーガナイザデータ(アドレス帳、カレンダー、メモ帳、タスク)にアクセスできるか設定します。

ファイル……アプリケーションが端末内のファイルにアクセスできるか設定します。

セキュリティデータ……アプリケーションがセキュリティデータにアクセスできるかを設定します。

※ BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合のみ利用できます。

4 [メニューキー]→「保存」

サウンドと着信音

着信音とバイブレーターおよびLEDの点滅を設定します。

現在設定しているサウンドプロファイルまたは、すべてのサウンドプロファイルに設定を適応することができます。

1 オプション画面で「サウンドと着信音」を選択

2 必要な項目を修正

「サウンドプロファイルの設定項目」→P.175

3 [メニューキー]→「保存」

変更を設定するプロファイル確認画面が表示されるので選択します。

スペルチェック

スペルチェックに関する設定を行います。

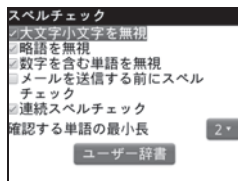
おしらせ

・スペルチェックは入力言語が英語モード(「オプション」→「言語」→「入力言語」→「English」選択時)でのみお使いいただけます。

1 オプション画面で「スペルチェック」を選択

スペルチェック画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

大文字小文字を無視……大文字または小文字を無視してチェックします。

略語を無視……大文字のみの単語をチェックしません。

数字を含む単語を無視……数字を含む単語をチェックしません。

メールを送信する前にスペルチェック……メールを送信する前にスペルチェックします。

連続スペルチェック……連続してスペルチェックします。

確認する単語の最小長……チェックする単語の最小文字数を設定します。

■ ユーザー辞書に単語追加する場合

→「ユーザー辞書」を選択→ユーザー辞書画面で⊞→「新規」→単語または文字を入力→□を押す

■ ユーザー辞書の単語を編集する場合

→「ユーザー辞書」を選択→ユーザー辞書画面で⊞→「編集」→単語または文字を修正→□を押す

■ ユーザー辞書の単語を削除する場合

→「ユーザー辞書」を選択→ユーザー辞書画面で削除する単語を反転→⊞→「削除」

おしらせ

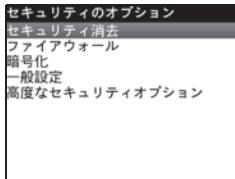
・ユーザー辞書の登録／編集はオプション画面で「ユーザー辞書」を選択しても行うことができます。「ユーザー辞書」→P.194

3 ⊞→「保存」

セキュリティのオプション

セキュリティのオプション設定では端末の使用における、さまざまなセキュリティの設定を行います。セキュリティのオプション設定は次の操作で表示し、設定を行います。

1 オプション画面で「セキュリティのオプション」を選択

セキュリティのオプション画面が表示されます。

セキュリティ消去

登録されている設定や保存されているデータを消去することができます。詳しい操作方法は、「初期化」（P.176）をご覧ください。

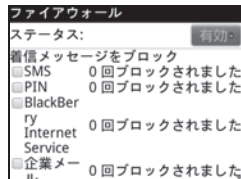
ファイアウォール

ファイアウォールの設定をします。

1 セキュリティのオプション画面で「ファイアウォール」を選択

ファイアウォール画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

ステータス……ファイアウォールの有効／無効を設定します。

着信メッセージをブロック……SMS、PINメッセージ、BlackBerry Internet Serviceのメール、企業内のメールに対してファイアウォールを適応するか設定します。

次の送信者からのメッセージを除く……連絡先、または特定のアドレスからのメッセージを許可するよう設定します。

おしらせ

・ブロックされたメッセージを受信しなくても、ブロックしたメールがワイヤレスサービスプランのデータ使用量として加算される場合があります。メール転送をオフにするか、メールフィルタを使用することによって、メッセージを端末に転送できないようにして、データ使用量に加算されないようにすることができます。

3 ⊞→「保存」

● ファイアウォールの設定をリセットする

1 ファイアウォール画面で[メニュー]→「設定をリセット」

● ファイアウォールでブロックしたカウンタをリセットする

1 ファイアウォール画面で[メニュー]→「カウントをリセット」または「すべてのカウントをリセット」

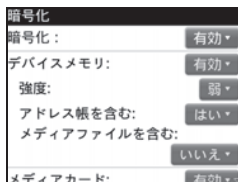
暗号化

メモリの暗号化を設定します。

1 セキュリティのオプション画面で「暗号化」を選択

暗号化画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

暗号化……デバイスメモリ／メディアカードの暗号化の有効／無効を切り替えます。

デバイスメモリ……デバイスメモリの暗号化を有効にします。

強度……暗号化の強度を設定します。

アドレス帳を含む……アドレス帳の暗号化を設定します。

メディアファイルを含む……メディアファイルの暗号化を設定します。

メディアカード……メディアカードの暗号化を有効にします。

モード……端末のメモリとmicroSDカードのファイルを、暗号化キーを使って暗号化するかどうかを設定します。
- 「デバイス」：端末が生成した暗号化キーを使用してファイルを暗号化する
- 「セキュリティパスワード」：端末のパスワードを使用してファイルを暗号化する
- 「セキュリティパスワードとデバイス」：暗号化キーとデバイスのパスワードを使用してファイルを暗号化する

メディアファイルを含む……メディアカードに保存されているメディアファイルの暗号化を設定します。

一般設定

※ BlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様は設定できません。

1 セキュリティのオプション画面で「一般設定」を選択

一般設定画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

メッセージの背景色：エンタープライズメッセージ……BlackBerry Enterprise Serverを経由するメールの背景色を設定します。

メッセージの背景色：その他のメッセージ……SMSやPINメッセージ、BlackBerry Internet Serviceを利用したメールなど、BlackBerry Enterprise Server経由で端末に送信されないメールの背景色を設定します。

ITポリシー名……設定されているITポリシーの「名前」、「最終更新日」、「タイムスタンプ」が表示されます。

前回更新日……前回設定を更新した日時が表示されます。

タイムスタンプ……タイムスタンプが表示されます。

サービス……設定しているサービスの「名前」が表示されます。

3 [メニュー]→「保存」

● セキュリティソフトウェアの確認

セキュリティソフトウェアが端末に正しく実装されているか確認します。

1 一般設定画面で[メニューキー]→「セキュリティソフトウェアの確認」

自動的に確認が行われます。

2 「OK」を選択

● 暗号化キーの再生成について

BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合、端末が送受信するデータは暗号化キーを使用して保護されています。
暗号化キーは30日ごとに自動的に更新されますが、任意に再生成することもできます。

1 一般設定画面で「サービス」を選択→「暗号化キーを再生成」

「サービス「サービス名」のキーを更新しました。」の確認画面が表示されます。

2 「OK」を選択

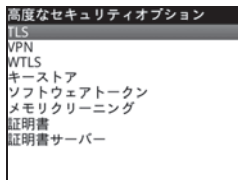
一般設定画面に戻ります。

おしらせ

・BlackBerry Desktop Managerのメール設定ツールでも、暗号化キーを再生成することができます。

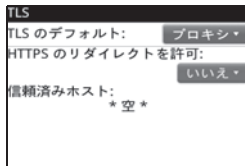
高度なセキュリティオプション

1 オプション画面で「セキュリティのオプション」→「高度なセキュリティオプション」を選択

高度なセキュリティのオプション画面が表示されます。

■ TLS

TLS暗号化通信の設定です。

1 高度なセキュリティオプション画面で「TLS」を選択

TLS画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

TLSのデフォルト……ブラウザが通信を行う際の暗号化の設定を行います。
・プロキシ：トリプルDESおよびTLSまたはSSLに設定します。
・デバイス：ダイレクトTLSまたはダイレクトSSLに設定します。設定画面で必要な設定を行います※。

HTTPS のリダイレクトを許可……セキュリティで保護されたWebページから別のWebページに移動するときの警告表示設定です。

信頼済みホスト……信頼できるWebページのURLを登録します。
[メニューキー]→「ホストを追加」→ホスト名を入力→「OK」

※ TLSのデフォルトで「デバイス」を選択した場合は以下の設定を行います。

全般：プロトコル……ブラウザとコンテンツサーバー間のTLS接続に使用するプロトコルを指定します。

次ページにつづく

全般:暗号強度……暗号化強度を設定します。弱を許可の場合は128ビットと56ビットの暗号を許可し、強のみの場合は128ビットの暗号を許可します。

全般:ダイジェストの強度……ダイジェストの強度を設定します。

全般:FIPS アルゴリズムのみを許可……FIPS規格の暗号化データのみ許可するかを設定します。

サーバー認証:サーバー信頼性を確認……ブラウザ接続時の認証で、信頼されないサーバーへ接続しようとした場合の警告表示設定です。

サーバー認証:ドメイン名を確認……ブラウザ接続時に証明書のドメインと、URLが異なる場合の警告表示設定です。

クライアント認証:証明書を確認……ブラウザ接続時、証明書が必要なサーバーへ接続しようとした場合の警告表示設定です。

クライアント認証:クライアント証明書が見つからない場合に確認……ブラウザ接続時、端末に証明書がない場合の警告表示設定です。

クライアント認証:デフォルトのクライアント証明書……証明書を指定する場合の設定です。

ホスト名/証明書マッピング……信頼できるWebページのURLを登録します。証明書の認証が必要なサイトにアクセスした際、ホスト名がリスト表示されます。

3 →「保存」

■ VPN

VPNへのログインの設定です。

VPNを使用して組織のネットワークへのアクセスを制御している場合、Wi-Fiネットワークを使用してのVPNへのログインおよび組織のネットワークへのアクセスが可能な場合があります。組織によっては、端末上で複数のVPNプロファイルを使用している場合もあります。

おしらせ

・この機能は、BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合のみ利用できます。

● VPNへログインするための前提条件

- 端末に、VPNをサポートするBlackBerry Enterprise Serverを使用するメールアカウントを設定
- 端末が接続されている Wi-Fiネットワークが VPNへの接続をサポートしている
- ソフトウェアトークンを使用してVPNにログインする場合、ソフトウェアトークンが端末上にあり、VPNプロファイルに表示されるソフトウェアトークン情報が正しい

● VPNへのログインを設定する

1 高度なセキュリティオプション画面で「VPN」を選択

VPN画面が表示されます

VPN
VPN の状態: プロファイルが見つからないか指定されていません
ログイン
保存済みVPNプロファイル
* 空 *

2 「ログイン」を反転→ →「新規」

3 ベンダーの種類を選択→必要な設定を行う

4 →「保存」

● VPNにログインする

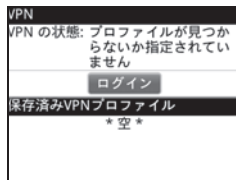
1 VPN画面で「VPNを有効にする」にチェック→「ログイン」

2 →「保存」

● VPNプロファイルのユーザー名とパスワード、トークンのシリアル番号を変更する

1 VPN画面で変更するプロファイルを反転

2 →「編集」

3 「ユーザー名」、「ユーザーパスワード」/「トークンのシリアル番号」を変更

4 →「保存」

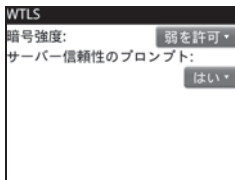
● VPN設定を元に戻す

1 VPN画面で→「デフォルトの設定を復元」

■ WTLS

WAPゲートウェイを通過するWTLS暗号化通信の設定です。

1 高度なセキュリティオプション画面で「WTLS」を選択

WTLS画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

暗号強度……暗号化強度を設定します。弱を許可の場合は128ビットと56ビットの暗号を許可し、強のみの場合は128ビットの暗号を許可します。

サーバー信頼性のプロンプト……ブラウザ接続時の認証で、信頼されないサーバーへ接続しようとした場合の警告表示設定です。

3 →「保存」

■ キーストア

キーストアの詳細設定です。

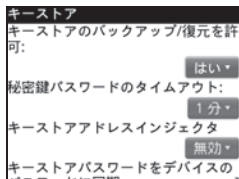
おしらせ

・はじめてキーストアを使用すると、自動的にパスワードの設定画面が表示されます。パスワードを設定しないと、キーストアは使用できません。
任意のパスワードを入力→「OK」でパスワード設定が終了するとキーストア画面が表示されます。パスワードが設定されると次回からは直接キーストア画面が表示されます。

1 高度なセキュリティオプション画面で「キーストア」を選択

キーストア画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

キーストアのバックアップ／復元を許可……バックアップと復元を許可するか設定します。

秘密鍵パスワードのタイムアウト……タイムアウトの時間を設定します。

キーストアアドレスインジェクタ……証明書付き（S/MIME）の電子メールを受信した際に送信者の電子メールアドレスをアドレス帳に自動で追加するか設定します。

キーストアパスワードをデバイスのパスワードに同期……デバイスのパスワードを変更した場合、キーストアのパスワードを自動的にそれに合わせて変更するか設定します。

証明書ステータスの期限切れ……証明書ステータスの期限を設定します。

未確認のCRLを承諾……未確認CRLを承諾して許可するかの設定です。

3 →「保存」

● キーストアのパスワードを変更する

1 キーストア画面で→「パスワードを変更」

2 パスワードを入力→新しいパスワードを入力→「OK」

■ ソフトウェアトークン

Wi-Fiネットワークを使用してVPNへログインする場合や組織のネットワークに接続する場合、ソフトウェアトークンが必要になる場合があります。ソフトウェアトークンには、端末が定期的に再生成するトークンコードとPINが含まれています（トークンがインストールされていない場合は使用できません）。

● ソフトウェアトークン用PINの変更

1 高度なセキュリティオプション画面で「ソフトウェアトークン」を選択

ソフトウェアトークン画面が表示されます。

2 ソフトウェアトークンを選択→「PINの指定」

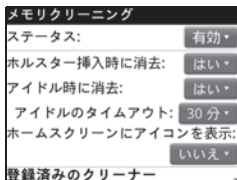
■ メモリクリーニング

一時メモリ内の機密データの消去に関する設定をします。

1 高度なセキュリティオプション画面で「メモリクリーニング」を選択

メモリクリーニング画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

ステータス……メモリ消去の有効／無効を設定します。

※ ステータスで「有効」を選択した場合は以下の設定を行います。

ホルスター挿入時に消去……ポケットに端末をしまったときに消去するか設定します。

アイドル時に消去……一定時間端末を使用しなかった場合に消去するか設定します。

アイドルのタイムアウト……端末の使用を中止してから機密データを一時メモリから削除するまでの待機時間を設定します。

ホームスクリーンにアイコンを表示……ホームスクリーンにメモリクリーナーのアイコンを表示するかを設定します。

登録済みのクリーナー……登録されているアプリケーションの機密データを削除します。データを削除したいアプリケーションをハイライト→→「消去」→「OK」（「今すぐ消去」を選択すると、すべてのアプリケーションの機密データが消去されます。）

3 →「保存」

おしらせ

・メモリクリーニング中は電話の着信が行えません。

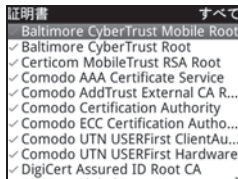
■ 証明書

証明書の管理をします。

1 高度なセキュリティオプション画面で「証明書」を選択

証明書画面が表示されます。

2 管理する証明書を反転

3 →表示されたメニューから選択

削除……証明書を削除します。確認画面が表示されたら、「はい」または「いいえ」を選択します。

信頼しない……証明書を信頼しない証明書に変更します。確認画面が表示されたら、「はい」または「いいえ」を選択します。

失効する……証明書を取り消します。確認画面が表示されたら、「はい」または「いいえ」を選択します。

ラベルを変更……証明書のラベルを入力して変更します。ラベルを入力→「OK」を選択します。

自分の証明書を表示……自分の証明書を表示します。

他人の証明書を表示……その他の証明書を表示します。

CA証明書を表示……CA証明書を表示します。

ルート証明書を表示……ルート証明書を表示します。

詳細……証明書の詳細を表示します。

ステータスを取得／チェーンステータスを取得……証明書のステータスを取得します。

スマートカード証明書をインポート……スマートカード証明書をインポートします。

メールで送信……電子メールで証明書を送信します。電子メールの送信画面で送信を完了すると、元の画面に戻ります。

PINで送信……PINメッセージで証明書を送信します。PINメッセージの送信画面で送信を完了すると、元の画面に戻ります。

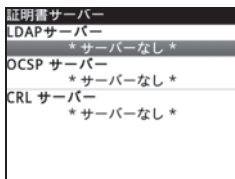
アプリケーション切り替え→P.23

4 [メニュー]→「保存」

■ 証明書サーバー

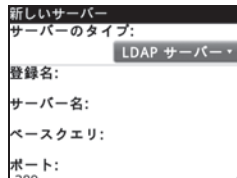
証明書サーバーの設定を行います。

1 高度なセキュリティオプション画面で「証明書サーバー」を選択

証明書サーバー画面が表示されます。

● 証明書サーバーを追加する

1 証明書サーバー画面で、管理する証明書サーバーを反転

2 [メニュー]→「新しいサーバー」

新しいサーバー画面が表示されます。

3 新しいサーバーの接続情報を設定

4 [メニュー]→「保存」

● 証明書サーバーの接続情報を変更する

1 証明書サーバー画面で、管理する証明書サーバーを反転

2 [メニュー]→「編集」

3 接続情報を変更

4 [メニュー]→「保存」

● 証明書サーバーを削除する

1 証明書サーバー画面で、削除する証明書サーバーを反転

2 [メニュー]→「削除」

● 証明書サーバーの接続情報を送信する

1 証明書サーバー画面で、送信する証明書サーバーを反転

2 →「メールサーバー」または「PINサーバー」

3 アドレス帳から送信先を選択

証明書サーバーの接続情報が入力された電子メール画面／PINメッセージ画面が表示されます。必要に応じて編集し、送信してください。

テーマ

ホームスクリーンのテーマを変更して、アプリケーション、インジケータ、単語、アイコンなどのアイテムの表示方法を変更することができます。また、テーマをダウンロードしてお使いの端末のテーマをカスタマイズすることもできます。

1 オプション画面で「テーマ」を選択

テーマ画面が表示されます。

テーマを変更する

1 テーマ画面で変更したいテーマを選択

テーマをダウンロードする

1 テーマ画面で→「テーマをダウンロード」

BlackBerryコンテンツ用サイトに接続され、テーマをダウンロードすることができます。

おしらせ
・ダウンロードしても、端末で利用できない場合があります。

テーマを削除する

1 テーマ画面で削除したいテーマを反転

2 →「削除」

おしらせ
・お買い上げ時に登録されているテーマは削除できません。

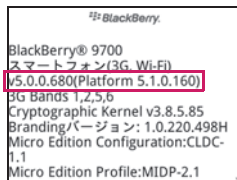
バージョン情報

デバイスソフトウェア（P.223）のバージョンを表示します。

1 オプション画面で「バージョン情報」を選択

バージョン情報が表示されます。

→「次の画面」で次のページを表示することができます。

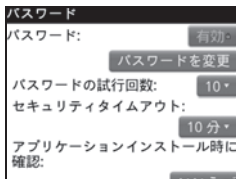
BlackBerry
BlackBerry® 9700
スマートフォン(3G, Wi-Fi)
v5.0.0.680(Platform 5.1.0.160)
3G Bands 1,2,5,6
Cryptographic Kernel v3.8.5.85
Brandingバージョン: 1.0.220.498H
Micro Edition Configuration:CLDC-1.1
Micro Edition Profile:MIDP-2.1

パスワード

端末のパスワードを設定します。

おしらせ

・BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様はシステム管理者のポリシー設定によりパスワードの有効／無効が変更できない場合があります。その場合、設定値の前に「赤い鍵マーク」が表示されます。

1 オプション画面で「パスワード」を選択

パスワード画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

パスワード……パスワードの有効／無効を設定します。「有効」に設定した場合、一般設定を保存する際にパスワードの要求があります。
パスワードを入力しないと設定は保存されず、端末に反映されません。

- パスワードを設定……パスワードを設定します。
- パスワードを変更……パスワードを変更します。
- パスワードの試行回数……パスワードの試行回数を設定します。
- セキュリティタイムアウト……パスワードの入力待ち時間を設定します。設定した時間の間、端末操作がない場合にロックがかかります。
- アプリケーションインストール時に確認……アプリケーションを追加するときにパスワードを要求するか設定します。
- ロック時に発信通話を許可する……端末がロック状態のときに、発信を許可するか設定します。

装着時にデバイスをロック……ポケットに端末を装着した際、端末をロック状態にするか設定します。

3 [メニューキー]→「保存」

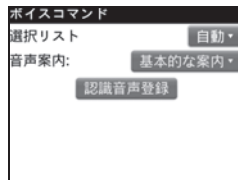
おしらせ

・設定した試行回数を超過して誤ったパスワードを入力すると、端末情報が初期化されます。初期化された場合は、もう一度セットアップウィザードから端末の設定を行う必要があります。定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
・パスワードをリセットすることはできません。

ボイスコマンド

ボイスコマンドに関する設定をします。

1 オプション画面で「ボイスコマンド」を選択

ボイスコマンド画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

選択リスト……音声コマンドに一致する可能性のある複数のコマンドが見つかった場合、コマンドのリスト、または選択リストを表示するかどうかを設定します。オフにすると、常に最も一致率の高いコマンドが選択され、その電話番号に自動的にダイヤルされます。

音声案内……音声案内の有無と、画面に表示される手順の読み上げの有無を設定します。

認識音声登録……音声コマンド認識のための音声を登録します。

3 [メニューキー]→「保存」

音声認識精度を上げる

自分の声を登録し、番号の音声認識精度を上げます。

1 ボイスコマンド画面で[メニューキー]→「認識音声登録」

2 画面および音声の指示に従って設定

3 [メニューキー]→「保存」

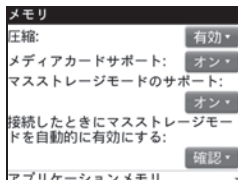
メモリ

メモリには、アプリケーションメモリとデバイスメモリがあります。
アプリケーションメモリが少なくなると、端末の動作が遅くなる場合があります。デバイスメモリがなくなると、アプリケーションやデータを追加することができなくなります。
ここでは、これらのメモリの設定を行うことができます。

1 オプション画面で「メモリ」を選択

メモリ画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

圧縮……メモリ圧縮の有効／無効を設定します。

メディアカードサポート……microSDカードを端末に挿入して、曲、着信音、ビデオ、画像などのメディアファイルの保存に使用できるようにするかどうかを設定します。

マスストレージモードのサポート……マスストレージモードを使用するかどうかを設定します。「マスストレージモードのオン／オフを切り替える」→P.103

接続したときにマスストレージモードを自動的に有効にする……コンピュータと端末を接続したときに、マスストレージモードを自動的に有効にするかどうかを設定します。「確認」に設定すると常に確認画面が表示されます。

アプリケーションメモリ:空き領域……アプリケーションメモリの空き容量が表示されます。

メディアカード:合計容量、空き領域……microSDカードが挿入されている場合、microSDカードの空き容量が表示されます。
microSDカードが挿入されていない場合は、「メディアカードがデバイスに挿入されていません。」と表示されます。メディアカードの取り外しを行うと「メディアカードを読み取れません。メモリカードがフォーマットされていることを確認してください。」と表示されます。

3 [メニューキー]→「閉じる」

メモリのフォーマット

端末のメモリやmicroSDカードをフォーマットできます。
「microSDカードをフォーマットする」→P.113

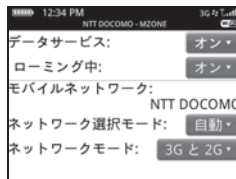
モバイルネットワーク

ネットワークに関する設定をします。

1 オプション画面で「モバイルネットワーク」を選択

モバイルネットワーク画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

データサービス……データサービス（メール、PINメッセージ、ブラウザサービス）を利用するかどうかを設定します。

ローミング中……ローミング中にデータサービスを利用するかどうかを設定します。

モバイルネットワーク……利用中のネットワークが表示されます。

ネットワーク選択モード……利用するネットワークを自動的に選択するか、手動で選択するかを設定します。「利用するネットワークの選択方法を設定する」→P.217

手動で選択したネットワークが利用できない場合に自動モードを選択する……「ネットワーク選択モード」を「手動」に選択し、選択したネットワークが利用できないときに、自動モードに切り替えるかどうか設定します。

ネットワークモード……利用するネットワークの種類を設定します。
「利用するネットワークの種類を設定する」→P.218

利用可能なネットワークをスキャン……「ネットワーク選択モード」を「手動」に選択したときに、利用可能なネットワークをスキャンして表示します。

3 →「閉じる」

おしらせ

- ネットワーク選択モードを「自動」に選択しておくと、国際ローミング時に特別な設定変更をせずにスムーズにお使いいただけます。「自動」に設定しておくことをおすすめします。なお、電波状況によっては手動での設定が必要な場合があります。
- ネットワークモードを「3Gと2G」に選択しておくと、国際ローミング時に特別な設定変更をせずにお使いいただけます。「3Gと2G」に選択しておくことをおすすめします。

ワイヤレスネットワークの診断

ワイヤレスネットワークの状態を診断することができます。診断結果は保存され、電子メールでも送信されます。

1 モバイルネットワーク画面で →「診断テスト」

デバイス診断アプリケーション画面が表示されます。

2 →「実行」

診断が実行され、完了すると「デバイス診断が完了しました！」が表示されます。診断結果がメールでも送信されます。

デバイス診断が完了しました!
無線データのアクティベーション: はい
信号レベル: -70 dBm
無線アクセス: UMTS
ネットワーク: NTT DOCOMO
IP アドレス: 10.32.54.120
ICMP パケットエコー: はい
BlackBerry 登録: はい
BlackBerry に接続済み: はい
BlackBerry PIN-PIN: はい

● ワイヤレスネットワークの診断のオプション

ワイヤレスネットワークの診断を行うと、その結果が本端末に保存されます。デバイス診断アプリケーション画面で、保存されている診断結果を反転させて を押すと、オプション機能を利用できます。

利用できるオプション機能	機能詳細
実行	デバイス診断を実行します。
レポートを表示	反転表示している診断結果を表示します。
削除	反転表示している診断結果を削除します。
すべて削除	すべての診断結果を削除します。
メールレポート	反転表示している診断結果をメールで送信します。
PINレポート	反転表示している診断結果をPINメッセージで送信します。
オプション	「メールレポート」および「PINレポート」の送信先を登録します。

おしらせ

- ワイヤレスネットワーク診断に失敗した場合は、オプション機能で「再診断」を選択します。
- 診断レポートをメールで送信できない場合は、PINメッセージで送信します。

優先ネットワーク

別のネットワークを使用する場合の順番を制御できます。

外出時には、優先ネットワークリストに設定されたネットワークをスキャンします。リスト上のネットワークがすべて利用できない場合、端末は別の利用可能なネットワークに自動的に接続されます。

優先ネットワークの設定については、「自動的に選択するネットワークの優先順位を確認／設定する」（P.217）をご覧ください。

次ページにつづく

ユーザー辞書

ユーザー辞書（英語）の登録／編集／削除を行います。

おしらせ
・入力言語が英語モード(「オプション」→「言語」→「入力言語」→「English」選択時)でのみお使いいただけます。

1 オプション画面で「ユーザー辞書」を選択

ユーザー辞書画面が表示されます。

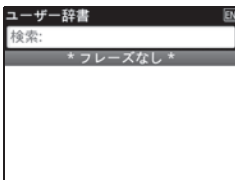
2 [メニュー]→「新規」

3 登録する単語を入力する→[□]を押す→[メニュー]→「辞書に追加する」を選択

単語を入力した後にEnterキーを押しても登録することができます。

■ ユーザー辞書の単語を編集する場合
→ユーザー辞書画面で編集する単語を反転→[メニュー]→「編集」→単語または文字を修正→[□]を押す

■ ユーザー辞書の単語を削除する場合
→ユーザー辞書画面で削除する単語を反転→[メニュー]→「削除」

4 [メニュー]→「閉じる」

日本語をユーザー辞書に登録する

ユーザー辞書（日本語）の登録／編集／削除を行います。

おしらせ
・入力言語が日本語モード(「オプション」→「言語」→「入力言語」→「日本語(Japan)」選択時)でのみお使いいただけます。

1 オプション画面で「言語」を選択

言語画面が表示されます。

2「テキスト入力オプションを表示」を選択

日本語入力オプション画面が表示されます。

3「ユーザー辞書」を選択

ユーザー辞書画面が表示されます。

4 [メニュー]→「新規」

5 登録する「単語」と「読み」を入力→[□]を押す→「保存」

「単語」と「読み」を入力した後にEnterキーを押しても登録することができます。

■ ユーザー辞書の単語を編集する場合
→ユーザー辞書画面で編集する単語を反転→[メニュー]→「編集」→単語または文字を修正→[□]を押す

■ ユーザー辞書の単語を削除する場合
→ユーザー辞書画面で削除する単語を反転→[メニュー]→「削除」

6 [メニュー]→「閉じる」

画面／キーボード

画面とキーボードに関する詳細設定をします。

1 オプション画面で「画面/キーボード」を選択

画面/キーボード画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

フォントファミリー……通常使用するフォントを設定します。
フォントサイズ……通常使用するフォントサイズを設定します。
フォントスタイル……通常使用するフォントスタイルを設定します。
バックライトの明るさ……デフォルトのバックライトの明るさを設定します。
バックライトのタイムアウト……操作をしていないとき自動的に消灯するまでのタイムアウト時間を設定します。
オートバックライト……バックライトの照度調整を自動的に行うか設定します。
LED範囲インジケータ……通信可能範囲を示すLED点滅の表示・非表示を設定します。
入力音……キーを押したときの音のオン・オフを設定します。電話をかけるときの入力音は消すことはできません。
入力速度……キーを押下し続けたときの連続入力速度を設定します。
通貨記号キー……通貨単位キーに割り当てる通貨単位を設定します。
右側のサイドキーで開く、左側のサイドキーで開く……右サイドキー／左サイドキーを押したときに開くアプリケーションを設定します。→P.195
トラックパッド:水平方向の感度、垂直方向の感度……トラックパッドの感度を設定します。感度レベルが高いほど触れる力が少なくてすみます。
トラックパッド:回転音……トラックパッドをスライドさせたときの音を設定します。
メニュー:メニューのスタイル……メニューの表示形式を設定します。

3 →「保存」

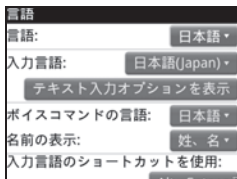
● サイドキーに割り当てられるアプリケーション

右サイドキー／左サイドキーに割り当てることが可能なアプリケーションは、画面リスト形式で表示されます。リストの中から、任意のアプリケーションを選択します。

言語

言語に関する設定をします。

1 オプション画面で「言語」を選択

言語画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

言語……端末の表示言語を設定します。
入力言語……入力に使用する言語を設定します。
テキスト入力オプションを表示……ユーザー辞書を作成したり、予測入力を使用するか、入力可能な入力モードなどを設定します。 「入力言語」の選択によって、設定できる項目が異なります。
ボイスコマンドの言語……ボイスコマンドの言語を設定します。
名前の表示……アドレスの名前表示の順序を設定します。名前表示のオプションを変更すると、電話機能、メール機能、カレンダーに表示される名前も変更されます。
入力言語のショートカットを使用※……入力する言語を切り替えるショートカットキーを設定します。

次ページにつづく

クイック選択を有効にする……入力言語のショートカットで設定した変更方法を有効にするか設定します。

入力言語変更を通知……入力する言語を変更する際に通知を行うか設定します。

言語ID……入力するときに入力モードを画面上に表示／非表示を設定します。

※ このショートカットによる入力言語の切り替えは、元の入力言語のエンコードを保持しながら一時的に言語を切り替える機能です。言語によっては文字化けする場合があります。

3 →「保存」

自動オン／オフ

自動的に端末の電源をオン／オフするよう設定します。

1 オプション画面で「自動オン/オフ」を選択

自動オン/オフ画面が表示されます。

自動オン/オフ
平日: 無効
電源オンにする時刻: 7:00 AM
電源オフにする時刻: 11:00 PM
週末: 無効
電源オンにする時刻: 7:00 AM
電源オフにする時刻: 11:00 PM

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。平日と週末それぞれを設定できます。操作手順は、どちらも同じです。

平日または週末……設定有効化の有効／無効を設定します。

電源オンにする時刻……電源をオンにする時刻を設定します。

電源オフにする時刻……電源をオフにする時刻を設定します。

3 →「保存」

所有者

端末の所有者情報が表示されます。名前や情報に表示される内容を編集することもできます。

1 オプション画面で「所有者」を選択

所有者画面が表示されます。

2 設定する項目を選択し設定

以下の項目を設定できます。

名前……所有者の名前を登録します。

情報……所有者に関する情報を登録します。

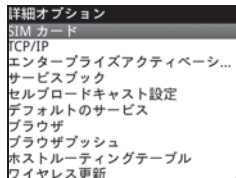
3 →「保存」

詳細オプション

端末の詳細なオプションを設定します。

1 オプション画面で「詳細オプション」を選択

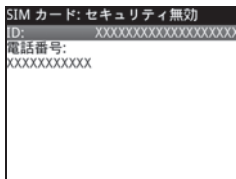
詳細オプション画面が表示されます。

詳細オプション
SIM カード
TCP/IP
エンタープライズアクティベーシ...
サービスブック
セルブロードキャスト設定
デフォルトのサービス
ブラウザ
ブラウザプッシュ
ホストルーティングテーブル
ワイヤレス更新

SIM カード

FOMAカードをPINコードで保護することができます。PINコードで保護することで別のセキュリティレベルを追加し、登録した本人以外はFOMAカードを使用できなくなります。また、別の端末でFOMAカードを使用するときも、PINコードの入力が必要になります。

1 詳細オプション画面で「SIMカード」を選択

SIM カード画面が表示されます。

SIM カード: セキュリティ無効
ID: XXXXXXXXXXXXXXXXXXX
電話番号:
XXXXXXXXXXX

2 →表示されたメニューから選択

SIM電話番号の編集……電話番号の表示名を設定できます。
PINコードを変更、PIN2コードを変更……FOMAカードのPINコードを変更します。
セキュリティを無効にする、セキュリティを有効にする……FOMAカードをPINコードで保護するかどうかを設定します。
アプリケーション切り替え→P.23
閉じる……SIMカード画面を終了します。

3 →「閉じる」

おしらせ

- 3回誤ったPINコードを入力した場合は、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、PUKコード(PINロック解除コード)でロックを解除してください。また、PUKコードの入力を10回連続して失敗するとFOMAカードがロックされます。詳細については、操作ガイド裏面の「ドコモ·スマートフォン·ケア」までお問い合わせください。
- 日本ではPINコードの入力画面、またはPINコードロック(PUKロック)中には緊急通報110番／119番／118番はできません。
- PINコードで保護している状態で電源をONにすると、「PINコードを入力」が表示されます。正しいPINコードが入力されると「コードは受け入れられました」と表示され保護は解除されます。
- PINコード保護を解除していない状態では、「デバイスはロックされています」画面で「緊急」を選択しても、緊急通話はできません。

TCP/IP

サードパーティアプリケーションのダイレクトインターネット接続を設定します。

おしらせ

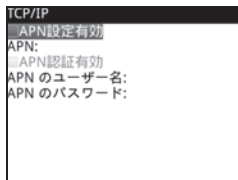
- 設定にはインターネットに接続するアクセスポイントの詳細が必要です。BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、システム管理者へお問い合わせください。

1 詳細オプション画面で「TCP/IP」を選択

TCP/IP画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

3 →「保存」

TCP/IP
APN設定有効
APN:
APN認証有効
APN のユーザー名:
APN のパスワード:

エンタープライズアクティベーション

エンタープライズアクティベーション(P.34)を行います。詳しい手順はシステム管理者に確認し、その指示に従ってください。

サービスブック

サービスブックに関する設定を行います。サービスブックには端末で各サービスを利用するために必要な情報が含まれています。サービスブックにより、端末で利用可能なサービスが決定します。BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は管理者から配信されます。

1 詳細オプション画面で「サービスブック」を選択

サービスブック画面が表示されます。

新たに配信されたサービスブックがある場合、リストに表示されます。受け入れが完了していないサービスブックは名称左側にチェックマークが表示されません。

サービスブック
Provisioning [PROVISIONING]
BlackBerry Maps [LbsConfig]
Blackberry Internet Browsing Ser...
WLM VPL [BrowserConfig]
WLM 2.1 [BBIMConfig]
AIM- BBIM [BBIM]
ICQ - BBIM [BBIM]
Provisioning [OTASL]
IPPP for BIS-B [IPPP]
IPPP for 5 Click [IPPP]

2 設定するサービスブックを反転

3 →表示されたメニューから選択

承諾……新たに配信されたサービスブックを受け入れます。

表示……サービスレコードを表示します。サービスレコード画面で→「HRTを表示」でホストルーティングテーブルを表示し、登録することができます。

削除……サービスブックを削除します。

削除の取り消し……サービスブックを復元します。

アプリケーション切り替え→P.23

閉じる……サービスブック画面を終了します。

4 →「閉じる」

おしらせ

・BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合、サービスブックの削除を行う場合は、システム管理者への確認をおすすめします。

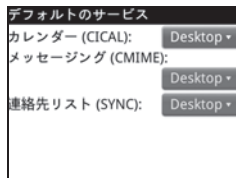
セルブロードキャスト設定

本端末はセルブロードキャストに対応していますが、日本国内ではネットワークが非対応のためご利用できません。本オプションでの設定はご利用になれませんのでご注意ください。

デフォルトのサービス

BlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様で、お使いの端末に複数の電子メールアドレスが関連付けられている場合、電子メールの統合アイコンからの送信時に使用される電子メールアドレスを指定します。また、使用するカレンダーや連絡先も設定できます。

1 詳細オプション画面で「デフォルトのサービス」を選択

デフォルトのサービス画面が表示されます。

2 使用するカレンダー、電子メールアドレス、連絡先リストを設定

3 →「保存」

ブラウザ

デフォルトで使用するブラウザを設定します。BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合は「BlackBerry Browser」か「Hotspot Browser」を、BlackBerry Internet Serviceをご利用の場合は「Internet Browser」か「Hotspot Browser」を選択できます。

1 詳細オプション画面で「ブラウザ」を選択

ブラウザ画面が表示されます。

2 使用するブラウザを設定

3 [メニュー]→「保存」

ブラウザ
デフォルトのブラウザ設定:
Internet Browser
デフォルトの MDS ブラウザ設定:
Internet Browser

おしらせ

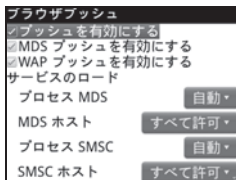
・ブラウザで[メニュー]→「オプション」→「全般プロパティ」→「デフォルトのブラウザ」で設定することもできます。→P.98

ブラウザプッシュ

ブラウザプッシュの詳細を設定します。

1 詳細オプション画面で「ブラウザプッシュ」を選択

ブラウザプッシュ画面が表示されます。

ブラウザプッシュ
プッシュを有効にする
MDS プッシュを有効にする
WAP プッシュを有効にする
サービスのロード
プロセス MDS 自動
MDS ホスト すべて許可
プロセス SMSC 自動
SMSC ホスト すべて許可

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

プッシュを有効にする……すべてのブラウザからのプッシュに対しての有効／無効を設定します。

MDSプッシュを有効にする……BlackBerry Enterprise ServerまたはBlackBerry Internet Service経由のブラウザプッシュに対しての有効／無効を設定します。

WAPプッシュを有効にする……WAPゲートウェイ経由のブラウザプッシュに対しての有効／無効を設定します。

サービスのロード、サービスの指示、その他のメッセージ※……ブラウザプッシュオプションを設定します。

WAPプッシュアプリケーションを許可……WAPゲートウェイ経由のアプリケーションを許可するか設定します。

※ 以下、サービスのロード、サービスの指示、およびその他のメッセージのブラウザプッシュの設定を行います。

プロセスMDS……BlackBerry Enterprise SolutionまたはBlackBerry Internet Serviceからブラウザプッシュを受け入れるかどうかを設定します。

MDSホスト……すべてのBlackBerry Enterprise SolutionやBlackBerry Internet Serviceからのブラウザプッシュを受け入れるかどうかを設定します。

プロセスSMSC……SMSベースのブラウザプッシュを受け入れるかどうかを設定します。

SMSCホスト……SMSCホストからのブラウザプッシュの受け入れ先を設定します。特定のSMSCホストからブラウザプッシュメッセージを受け入れるには、SMSCホストの電話番号を入力します。

プロセスIP……WebアプリケーションがWAPゲートウェイ経由で送信するブラウザプッシュを受け入れるかを設定します。

IPホスト……WAPゲートウェイからのブラウザプッシュの受け入れ先を設定します。特定のIPホストからブラウザプッシュメッセージを受け入れるには、WAPゲートウェイのIPアドレスを入力します。

3 [メニュー]→「保存」

次ページにつづく

ホストルーティングテーブル

メールの受信ができないなど、ワイヤレスネットワークからメッセージを受信していない場合に端末を登録します。

1 詳細オプション画面で「ホストルーティングテーブル」を選択

ホストルーティングテーブル画面が表示されます。

ホストルーティングテーブル
GPRS JP (440) [44001030]
Wi-Fi [60]

2 設定する対象を反転

3 [メニュー]→「今すぐ登録」

「登録メッセージは送信されました！」が表示されます。

4 「OK」

お使いの端末に登録が完了した旨の電子メールが届きます。

ワイヤレス更新

本端末のソフトウェアをワイヤレスネットワーク経由で更新することができます。

ワイヤレスネットワーク上でデバイスソフトウェアの更新が可能なときは、ホームスクリーンに「ワイヤレス更新」のアイコンが表示されます。

ワイヤレス更新では、端末内のデータはワイヤレスネットワーク上でバックアップおよび復元されます。

※ **ワイヤレス更新時は端末内のデータは保護されますが、更新前にバックアップを取ることをおすすめします。→P.238**

更新処理にかかる時間は15分から2時間です。これは、更新の種類やデータ量、アプリケーションの数によって異なります。

おしらせ

・BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、システム管理者からデバイスソフトウェアを入手してください。

● ワイヤレスネットワーク経由で更新する場合の前提条件

- 端末がワイヤレスネットワークに接続されている
- バッテリー残量が50%以上
- コンピュータに BlackBerry Desktop Managerがインストールされている場合は、端末がコンピュータに接続されていないことを確認する

● デバイスソフトウェアの更新

ソフトウェアのダウンロード中も端末を使用できますが、ソフトウェアのインストール中に端末を使用することはできません。

1 ホームスクリーンで「ワイヤレス更新」アイコンを選択

2 画面の指示に従って設定

おしらせ

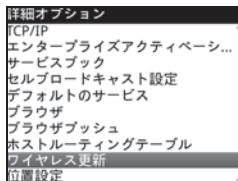
・インストール処理中に、端末が何度かリセットされる場合があります。

● 古いバージョンに戻す

ソフトウェアを更新してから30日以内の場合のみ（最短1日～最長31日まで指定される場合があります）、以前のバージョンのデバイスソフトウェアに戻すことができます。

1 ホームスクリーンで[メニュー]→「オプション」→「詳細オプション」

詳細オプション画面が表示されます。

詳細オプション
TCP/IP
エンタープライズアクティベーシ...
サービスブック
セルブロードキャスト設定
デフォルトのサービス
ブラウザ
ブラウザプッシュ
ホストルーティングテーブル
ワイヤレス更新
位置設定

2 「ワイヤレス更新」→「前回の更新は成功しました」

3 「ダウングレード」を選択

● 古いバージョンの削除

デバイスソフトウェアを更新すると、30日後に(最短1日～最長31日まで指定される場合があります)端末から以前のバージョンのソフトウェアが削除されます。端末のアプリケーションメモリの容量を増やすため、手動で以前のバージョンを削除することができます。

1 ホームスクリーンで[メニューキー]→「オプション」→「詳細オプション」

詳細オプション画面が表示されます。

2「ワイヤレス更新」→「前回の更新は成功しました」

3 [メニューキー]→「ダウングレードされたデータを削除」

位置設定

GPS機能について設定します。

1 詳細オプション画面で「位置設定」を選択

2 設定する項目を選択し設定

以下の項目を設定できます。

GPSデータソース……GPS情報の取得元を設定します。

位置情報サービス……位置情報のオン／オフを設定します。

GPSロケーション……現在の位置情報を表示します。位置情報を取得するには[メニューキー]→「GPSを最新の情報に更新」を選択します。

場所データ……場所データの有効／無効を設定します。

ロケーションエイド……ロケーションエイドの有効／無効を設定します。

3 [メニューキー]→「保存」

地図

本端末で使用する地図を設定します。

1 詳細オプション画面で「地図」を選択

地図画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

デフォルトのサービス……デフォルトで使用する地図を選択します。

住所認識……入力した住所を住所として認識するように設定できます。

3 [メニューキー]→「閉じる」→「保存」

表示設定

ホームスクリーンのアイコンの配列とカラーコントラストを変更できます。

1 詳細オプション画面で「表示設定」を選択

表示設定画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

アイコン配列設定……ホームスクリーンのアイコンの配列を設定します。

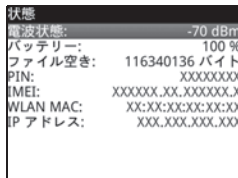
色のコントラスト……コントラストを設定します。すべての画面に設定が適用されます。

イベントサウンド……本端末をオン／オフにしたときなどに、警告音を鳴らすかどうか設定します。

3 [メニューキー]→「保存」

次ページにつづく

状態

電波状態、バッテリーの状態、アプリケーションメモリの空き容量※、PIN番号など、端末の状態を確認することができます。

※ 画面には「ファイル空き」と表示されます。

1 オプション画面で「状態」を選択

状態画面が表示されます。

■ データベースのサイズを確認する場合

[メニューキー]→「データベースのサイズ」

状態
電波状態: -70 dBm
バッテリー: 100 %
ファイル空き: 116340136 バイト
PIN: XXXXXXXX
IMEI: XXXXXX.XX.XXXXXX.X
WLAN MAC: XX:XX:XX:XX:XX:XX
IP アドレス: XXX.XXX.XXX.XXX

電話のオプション

電話機能のオプションを設定することができます。

1 オプション画面で「電話のオプション」→「全般オプション」

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定できます。

自動終了……通話中に本製品を付属のポケットに戻したときに、自動で電話を切るかどうかを設定します。

自動応答……電話の着信中に本製品を付属のポケットから外したときに、自動で電話に応答するかどうかを設定します。

削除を確認……通話記録などを削除する際に確認メッセージを表示するかどうかを設定します。

番号非通知……発信時に自分の電話番号を相手に通知するか設定します。「なし」に設定すると通知します。

電話リスト表示……通話履歴の表示方法を設定します。

ホームスクリーンからダイヤル……ホームスクリーンからのダイヤルを許可するかどうかを設定します。

“自局番号”を表示……電話画面に自局番号を表示するかどうかを設定します。

デフォルトの通話音量……デフォルトの通話音量を設定します。

3 [メニューキー]→「保存」

おしらせ

<番号非通知>

- 発信するたびに通知／非通知を設定することもできます。自分の電話番号を相手先に通知する場合は「186」に続けて相手先の電話番号をダイヤルします。通知しない（非通知にする）場合は「184」に続けて相手先の電話番号をダイヤルします。
- 国際電話など経由する電話会社などにより、自分の電話番号が相手に正しく通知されない場合があります。

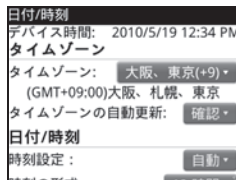
日付／時刻

端末の日付と時刻を設定します。

1 オプション画面で「日付/時刻」を選択

日付/時刻画面が表示されます。

2 設定する項目を選択→設定値を選択

以下の項目を設定します。

デバイス時間……本端末が認識している日付と時間が表示されます。

■ タイムゾーン

タイムゾーン……時間と日付を設定する時間帯域（国、都市）を設定します。

タイムゾーンの自動更新……移動中にタイムゾーンを越えた場合、自動で新しいタイムゾーンの時刻に更新します。

■ 日付／時刻

時刻設定……時刻の設定を自動で行うか手動で行うか設定します。自動を設定するとネットワークから日時取得します。手動を設定した場合は、時刻／日付を手動で設定します。

時刻……時刻を設定します。

日付……日付を設定します。

時刻の形式……デジタル表示のときに表示する形式（12時間表示／24時間表示）を設定します。

■ ネットワーク時刻

ネットワーク時刻……ネットワークから取得した時刻が表示されます。

ネットワーク日付……ネットワークから取得した日付が表示されます。

3 [メニューキー]→「保存」

ネットワークサービス／海外利用

■ネットワークサービス

■海外利用(国際ローミング)

利用できるネットワークサービス

● 本端末では、以下のネットワークサービスをご利用になれます。各サービスの概要やご利用方法については、以下の表の参照先、または『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	必要	有料	P.206
キャッチホン	必要	有料	P.207
転送でんわサービス	必要	無料	P.208
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	P.208

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照ページ
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.209
公共モード(電源OFF)	不要	無料	P.209
英語ガイダンス	不要	無料	P.210

● 圏外のときは操作できません。

● お申し込み、お問い合わせについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 各サービスの詳細は『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

ネットワーク暗証番号について

ネットワークサービスの設定にはネットワーク暗証番号が必要な場合があります。ネットワーク暗証番号は、ご契約時に任意の番号を設定していただきますが、パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」からお客様ご自身で番号を変更できます。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- かかってきた電話に応答しなかった場合には、留守番電話の設定にかかわらず、通話記録には不在着信として記憶され、「不在着信あり」のアイコンがホームスクリーンに表示されます。
- 伝言メッセージは、1件あたり最長3分、最大20件まで録音でき、最長72時間保存されます。
- 留守番電話サービスをご利用中に圏外で着信があった場合、留守番電話メッセージと着信をSMSでお知らせします。留守番電話メッセージがない場合は着信のSMSのみ届きます。

おしらせ

・端末でご利用になるテーマによっては、留守番電話をホームスクリーンでお知らせします。

留守番電話サービスを開始する

1 ホームスクリーンで[発信]→「1411」とダイヤル→[発信]

■ 留守番電話サービスを停止する場合
→「1410」とダイヤル→[発信]

2 操作が完了したら[終話]

留守番電話サービスセンターの番号を登録する

留守番電話のメッセージを確認する際に発信する、留守番電話サービスセンターの番号を登録します。

1 ホームスクリーンで[発信]

2 [メニュー]→「オプション」→「留守番電話」

3 電話番号にカーソルを合わせて「1417」と入力

4 [メニュー]→「保存」

おしらせ

・パスワードは設定しないでください。パスワードを設定した場合、正しく動作しなくなる恐れがあります。

留守番電話のメッセージを確認する

● 電話で確認する

1 ホームスクリーンで[発信]

2 [メニュー]→「留守番電話を確認」

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。メッセージの再生／保存／消去などを行うには、音声ガイダンスの指示に従ってください。

3 操作が完了したら[終話]

● SMSから確認する

1 ホームスクリーンで[メニュー]→「SMS」

2 メッセージリスト画面で留守番電話のSMSを選択

3 メッセージ本文の日時（「西暦／月／日　時間AM/PM」）を反転→[メニュー]→「留守番電話を確認」

留守番電話サービスセンターに電話がかかります。メッセージの再生／保存／消去などを行うには、音声ガイダンスの指示に従ってください。

4 操作が完了したら[終話]

留守番電話サービスを利用／設定する

1 ホームスクリーンで[発信]

2 以下の手順に従って操作

サービス内容	操作手順
保存したメッセージを再生※1／保存／消去する	「1416」→[発信]→「1」→音声ガイダンスに従って操作
不在案内※2／留守番電話を切り替える	「1416」→[発信]→「9」→「1」→音声ガイダンスに従って操作
応答メッセージを作成／変更する	「1416」→[発信]→「9」→「2」→音声ガイダンスに従って操作
発信者番号案内を開始／停止する	「1416」→[発信]→「9」→「3」→音声ガイダンスに従って操作
呼出時間を設定する	「1419」→[発信]→音声ガイダンスに従って操作

※1 新しい伝言メッセージがある場合、保存したメッセージより先に新しい伝言メッセージが再生されます。新しいメッセージの再生の後に、保存したメッセージを再生することができます。

※2 電話に出られないことを伝えるガイダンスで応答し、伝言メッセージをお預かりしない機能です。設定変更後に応答メッセージの登録を行います。

3 操作が完了したら[終話]

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

キャッチホンを開始する

1 ホームスクリーンで[発信]

2 [メニュー]→「オプション」→「割込通話」

3 「割込通話起動中」を「はい」に設定

■ キャッチホンを停止する場合

→「割込通話起動中」を「いいえ」に設定

4 [メニュー]→「保存」

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」と聞こえたら[発信]

通話中の電話を保留にして、新しい電話に出ることができます。

■ 通話中の電話を終了して、新しい電話に出る場合

→[メニュー]→「応答 - 現在の通話を終了」

■ 新しい電話に出ない場合

→[終話]

留守番電話サービスをご利用の場合は、新しい電話は留守番電話サービスセンターに接続されます。

2 最初の相手との通話に切り替える

■ あとからかかってきた相手との通話を終了する場合

→[終話]→[メニュー]→「再開」

あとからかかってきた相手との通話を終了し、最初の相手との通話に切り替えます。

■ あとからかかってきた相手との通話を保留する場合
→

あとからかかってきた相手との通話を保留にし、最初の相手との通話に切り替えます。を押すたびに、通話の相手を切り替えることができます。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

1 →通話中に相手先の電話番号をダイヤル

通話中の電話を保留にして、新しい電話をかけることができます。相手先の番号は、アドレス帳や通話記録を利用してダイヤルすることもできます。

2 最初の相手との通話に切り替える

■ 新しくかけた相手との通話を終了する場合
→→→「再開」

新しくかけた相手との通話を終了し、最初の相手との通話に切り替えます。

■ 新しくかけた相手との通話を保留する場合
→

新しくかけた相手との通話を保留にし、最初の相手との通話に切り替えます。を押すたびに、通話の相手を切り替えることができます。

転送でんわサービス

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないときなどに、電話を転送するサービスです。

● 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、通話記録には不在着信として記憶され、「不在着信あり」のアイコンがホームスクリーンに表示されます。

転送でんわサービスを利用／設定する

1 ホームスクリーンで

2 以下の手順に従って操作

サービス内容	操作手順
転送でんわサービスを開始する	「1421」→
転送でんわサービスを終了する	「1420」→
転送先の電話番号を登録／変更する	「1429」→→「3」→音声ガイダンスに従って操作
呼出時間を設定する	「1429」→→「1」→音声ガイダンスに従って操作

3 操作が完了したら

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないようにするサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

● 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また着信履歴にも残りません。

迷惑電話ストップサービスを利用／設定する

1 ホームスクリーンで

2 「144」とダイヤル→→音声ガイダンスに従って操作

3 操作が完了したら

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、通話記録に記憶されず、「不在着信あり」のアイコンも表示されません。

番号通知お願いサービスを開始する

1 ホームスクリーンで[発信]→「148」とダイヤル→[発信]

2 「1」をダイヤル

■ 番号通知お願いサービスを停止する場合
→「0」をダイヤル

3 操作が完了したら[終話]

他のサービスとの競合について

番号通知お願いサービスと他のサービスを同時に開始しているときに非通知設定の着信があった場合は、以下の動作となります。

競合サービス名	動作
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。メッセージはお預かりしません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。通話中着信音は鳴りません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。転送先には転送されません。
迷惑電話ストップサービス	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。着信拒否登録をしている番号からの着信は、迷惑電話ストップサービスのガイダンスで応答し、電話を切ります。
公共モード(電源OFF)	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。公共モード(電源OFF)のガイダンスでは応答しません。
国際ローミング(WORLD WING)	番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。海外には転送されません。

公共モード(電源OFF)

電話を控えたい公共の場所などで電話がかかってきた場合、「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください。」というガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

公共モード(電源OFF)を利用/設定する

1 ホームスクリーンで[発信]

2 以下の手順に従って操作

サービス内容	操作手順
公共モード(電源OFF)を開始する	「＊25251」→[発信]
公共モード(電源OFF)を停止する	「＊25250」→[発信]
公共モード(電源OFF)の設定を確認する	「＊25259」→[発信]

3 操作が完了したら[終話]

他のサービスとの競合について

公共モード（電源OFF）と他のサービスを同時に開始しているときに着信があった場合は、以下の動作となります。

競合サービス名	動作
留守番電話サービス	公共モード(電源OFF)のガイダンスで応答し、メッセージをお預かりします。
キャッチホン	公共モード(電源OFF)には対応していません。
転送でんわサービス	公共モード(電源OFF)のガイダンスで応答し、転送先に転送します。
迷惑電話ストップサービス	公共モード(電源OFF)のガイダンスで応答し、電話を切ります。着信拒否登録をしている番号からの着信は、迷惑電話ストップサービスのガイダンスで応答し、電話を切ります。
番号通知お願いサービス	公共モード(電源OFF)のガイダンスで応答し、電話を切ります。非通知設定の着信の場合は、番号通知お願いガイダンスで応答し、電話を切ります。

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に変更することができます。

おしらせ

・発信者側と着信者側の両方で本サービスを利用している場合、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

英語ガイダンスを利用／設定する

1 ホームスクリーンで[発信]

2 「1458」とダイヤル→[発信]→音声ガイダンスに従って操作

3 操作が完了したら[終話]

遠隔操作

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送電話サービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を行ってください。
- 公衆電話などからネットワークサービスを操作する方法について詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

遠隔操作を開始する

1 ホームスクリーンで[⌣]

2 「159」とダイヤル→[⌣]→「1」

■ 遠隔操作を停止する場合
→「0」

3 操作が完了したら[終話]

通話中着信設定

通話中に着信があった場合に、着信があったことをお知らせするサービスです。

通話中着信設定を開始する

1 ホームスクリーンで[⌣]

2 「＊146#」とダイヤル→[⌣]

■ 通話中着信設定を停止する場合
→「#146#」とダイヤル→[⌣]

3 設定が完了すると「146＊7#」と表示→「OK」

■ 停止している場合
→設定が完了すると「146＊6#」と表示→「OK」

おしらせ

・留守番電話サービス、転送でんわサービスご契約時には、「通話中着信設定」は「開始」に設定されています。

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）は、海外の通信事業者のネットワークを利用して、海外でも通話やメールなどをご利用いただくものです。

重要

FOMAカード03（白色）以外の一部FOMAカードとの組み合わせにてご利用の際、一部の海外事業者ネットワークにおいて、音声通話およびパケット通信ができない状態となることがございます。海外でご利用いただく際、「FOMAカード（青色）」および「FOMAカード（緑色）」をご利用のお客様は、無料で「FOMAカード（白色）」と交換させていただきますので、最寄りのドコモショップ等へご来店ください。

● 本端末は海外のドコモのローミングエリアで利用できます。エリアやご利用料金についての詳細は、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

● 海外のネットワークには、以下の3種類の通信方式があります。
・3Gネットワーク
世界標準規格である3GPP（3rd Generation Partnership Project）※に準拠した第3世代移動通信方式です。
・GSM（Global System for Mobile Communications）ネットワーク
世界的に最も普及しているデジタル方式の第２世代移動通信方式です。
・GPRS（General Packet Radio Service）ネットワーク
GSM通信方式を利用してGPRSによるパケット通信を利用できるようにした第2.5世代移動通信方式です。

※ 第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

● 海外で本端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
・『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
・『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』

次ページにつづく

■ 主要国の国番号について

国際電話を利用するときや、「スマートダイヤル」の設定を行うときなどに入力する「国番号」は、以下の番号を使用してください。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	トルコ	90
イギリス	44	日本	81
イタリア	39	ニューカレドニア	687
インド	91	ニュージーランド	64
インドネシア	62	ノルウェー	47
エジプト	20	ハンガリー	36
オーストラリア	61	フィジー	679
オーストリア	43	フィリピン	63
オランダ	31	フィンランド	358
カナダ	1	仏領ポリネシア	689
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
チェコ	420	モルディブ	960
中国	86	ロシア	7
ドイツ	49		

※ このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

海外で利用できるサービス

- 通信事業者や地域によっては利用できないサービスがあります。
- 国際ローミング中にご利用できる通信サービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドをご覧ください。
- 海外でのご利用は日本の料金体系とは異なります。

■ 海外で利用できる通信サービス

サービス	3G	GPRS	GSM
電話の着信／発信	○	○	○
ブラウザ／電子メールの利用	○	○	×
コンピュータなどと接続して行うパケット通信	○	○	×
SMS送受信	○	○	○

■ 表示されるアイコンと利用可能なサービスについて

利用中のネットワークと状態が画面上部のインジケータ表示エリア（P.15）に表示されます。

インジケータ表示と利用可能なサービスは、次のとおりです。

サービス	3G	3g	GPRS	gprs	GSM
緊急発信	○	○	○	○	○
SMS送受信	○	○	○	○	○
電話の着信／発信	○	○	○	○	○
電子メール、PINメッセージ、ブラウザの利用	○	×	○	×	×
音声通話、電子メール、ブラウザの同時利用	○	×	×	×	×

○：ご利用になれます。　×：ご利用になれません。

海外でご利用になる前の確認

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 国際ローミングサービスを利用するためには、WORLD WING対応のFOMAカード(青色以外)をFOMA端末に取り付けておく必要があります。
- 一部本サービスをご利用になれない料金プランがあります。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、海外の通信事業者の都合で請求が1ヶ月程度、遅れる場合がございます。
- お買い上げ時は、海外で本端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索され滞在先の利用できる通信事業者に設定されます。設定された通信事業者のサービスエリア外に移動した場合は、自動的にほかの利用可能な通信事業者を検索して設定し直されます。
接続する通信事業者を手動で設定することもできます。→P.217

■ 充電について

- ACアダプターの取り扱い上のご注意については、同梱の『安全および製品に関する情報』をご覧ください。
- ACアダプターによる充電方法について
「ACアダプターを利用して充電する」→P.13

■ ネットワークサービスについて

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外でも留守番電話サービスや転送でんわサービスなどをご利用できます。

- 海外でネットワークサービスを利用する前に、あらかじめ「遠隔操作」(P.211)を開始しておく必要があります。
- 開始/停止などの操作が可能でも、サービス内容に制限があったり、サービス自体を利用できない場合があります。
詳しくは、『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』などの国際サービスガイドをご覧ください。

■ SMSについて

ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。

- 海外の通信事業者を利用している相手の宛先は相手の電話番号の先頭に「+」、国番号を入力し、相手の電話番号を入力します(電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します)。また、「010」「国番号」「相手の電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 海外の通信事業者を利用している相手にSMSを送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれている場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』などの国際サービスガイドをご覧ください。

■ 海外でのお問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、操作ガイド裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用の国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

次ページにつづく

■ 主要国の国際電話アクセス番号(表1)

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021／0014
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

■ ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

※ ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

※ ユニバーサルナンバーは、上記表に記載のある国のみご利用可能です。

※ ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります(お客様の負担となります)。ホテル側に確認されてからご利用ください。

滞在先での利用

本端末は3G、GPRS、GSMローミングエリアでご利用いただけます。海外に到着後、本端末の電源を入れると利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

● ディスプレイの表示、日付・時刻について

海外利用中は、接続している通信事業者名が画面上段中央に表示されます。

● 「日付／時刻」(P.202)の「タイムゾーンの自動更新」を「オン」に設定していると、タイムゾーンが自動的に滞在先に切り替わります。滞在先のタイムゾーンがホームタイムゾーンと異なる場合は、時計画面に両方の時刻が表示されます。「2つめのタイムゾーンを表示する」→P.135

● 「日付／時刻」(P.202)の設定に関係なく、メッセージリストは受信時の日本国内の日付／時刻に基づいて表示されます。

- 圏外のままとなる場合には、「日付／時刻」(P.202)の「時刻設定」を「自動」に設定してください。また、電源を入れた直後は対応しているネットワークの検索に時間がかかることがあり、その間は圏外となる場合があります。
- 発信者番号を通知して電話をかけても、利用している通信事業者の事情により「通知不可能」や「非通知」など、相手の方に正しい番号が表示されない場合があります。また、「番号通知お願いサービス」を利用していても着信する場合があります。

● 帰国後の設定について

日本に帰国後は、本端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索されてFOMAネットワーク(DoCoMo)に設定されます。

「利用するネットワークの選択方法を設定する」→P.217

海外でのご利用方法

海外から電話をかける

● 滞在国内へかける場合

1 ホームスクリーンで相手先の電話番号を市外局番からそのままダイヤル→[発信]

● 滞在国外へかける場合

1 ホームスクリーンで［0］（アルファベット）キー

画面に「+」が表示されます。

2 続けて、国番号→地域番号（市外局番）→相手先の電話番号の順にダイヤル→[発信]

おしらせ

・スマートダイヤルに相手先の国番号および地域番号(市外局番)を登録している場合、「+」に続けて相手先の電話番号を入力するだけで電話をかけることができます。

・地域番号(市外局番)が0で始まる場合は、0を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにかける場合は0が必要です。

・「ホームスクリーンからダイヤル」を「いいえ」に設定しているときに電話をかける場合は、ホームスクリーンで[発信]を押してから相手先の電話番号をダイヤルしてください。

海外で電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して電話を受けることができます。→P.59

相手からの電話のかけかたについて

■ 日本から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

090(または080)－XXXX－XXXX

■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先が日本国内または海外にかかわらず、国際アクセス番号＋「81」(日本の国番号)をダイヤルしてもらう必要があります。

国際アクセス番号－81－90(または80)－XXXX－XXXX

おしらせ

・国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

次ページにつづく

海外で留守番電話サービスを利用する

留守番電話サービスについては、「留守番電話サービス」（P.206）をご覧ください。

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 以下の手順に従って操作

サービス内容	操作手順
留守番電話サービスを開始する	「+81-90310-1411-0」→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作
留守番電話サービスを停止する	「+81-90310-1410-0」→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作
新しい伝言メッセージを再生する	「+81-90310-1417-0」→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作
保存した伝言メッセージを再生する※	「+81-90310-1416-0」→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作
呼出時間を設定する	「+81-90310-1419-0」→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作

※ 新しい伝言メッセージがある場合、保存したメッセージより先に新しい伝言メッセージが再生されます。新しいメッセージの再生の後に、保存したメッセージを再生することができます。

3 操作が完了したら[終話キー]

海外で転送でんわサービスを利用する

転送でんわサービスについては、「転送でんわサービス」（P.208）をご覧ください。

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 以下の手順に従って操作

サービス内容	操作手順
転送でんわサービスを開始する	「+81-90310-1421-0」→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作
転送でんわサービスを停止する	「+81-90310-1420-0」→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作
転送先電話番号を変更する	「+81-90310-1429-0」→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作
呼出時間を設定する	「+81-90310-1429-0」→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作

3 操作が完了したら[終話キー]

海外で番号通知お願いサービスを利用する

番号通知お願いサービスについては、「番号通知お願いサービス」（P.209）をご覧ください。

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 「+81-90310-1480-0」とダイヤル→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作

3 操作が完了したら[終話キー]

海外で遠隔操作を利用する

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 「+81-90310-1590-0」とダイヤル→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作

3 操作が完了したら[終話キー]

海外への発信方法　WORLD CALL

日本国内から海外へ電話をかける場合のご利用方法については、「国際電話をかける WORLD CALL」（P.59）をご覧ください。

国際ローミング設定

利用するネットワークの選択方法を設定する

利用するネットワークを自動的に選択するか、手動で選択するかを設定します。

1 ホームスクリーンで →「接続管理」→「モバイルネットワークオプション」

モバイルネットワークオプション画面が表示されます。

2「ネットワーク選択モード」→以下の項目から選択

自動……ネットワークを自動で選択します。
優先的に接続するネットワークを設定することができます。→P.217

手動……利用可能なネットワークから手動で選択します。「手動」を選択すると、利用可能なネットワークが自動的に検出され、画面下部に一覧表示されます。表示の中から、利用するネットワークを選択します。

おしらせ

・ネットワーク選択モードを「自動」に選択しておくと、国際ローミング時に特別な設定変更をせずにスムーズにお使いいただけます。「自動」に設定しておくことをおすすめします。

自動的に選択するネットワークの優先順位を確認／設定する

利用するネットワークを自動で選択する際に、優先順位を設定することができます。

優先的に接続するネットワークを確認する

1 モバイルネットワークオプション画面（P.217）で →「優先ネットワークのリスト」

優先ネットワークのリスト画面が表示され、登録されているネットワークが優先順位の高い順に一覧表示されます。

優先ネットワークのリスト
1. NTT DOCOMO 3G 440/10
2. XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXX
3. XXXXXXXXXXXX XXXXXXXX

ネットワークの優先順位を変更する

1 優先ネットワークのリスト画面（P.217）で、優先順位を変更したいネットワーク名を反転→

2「移動」→優先順位を選択

■ 登録を解除する場合
→「削除」

■ 詳細を確認する場合
→「表示」

3 →「保存」

次ページにつづく

接続したいネットワークを登録（追加）する

1 優先ネットワークのリスト画面（P.217）で[メニュー]→「ネットワークを追加」→以下の項目から選択

既知のネットワークから選択……本端末に登録されているネットワークが一覧表示されます。優先的に接続したいネットワークを、ネットワーク名、ネットワーク種別（2Gまたは3G）の順に選択します。

利用可能なネットワークから選択……利用可能なネットワークを検索し一覧表示されます。優先的に接続したいネットワークを、ネットワーク名、ネットワーク種別（2Gまたは3G）の順に選択します。

手動入力……追加するネットワークを手動で設定します。

2 [メニュー]→「保存」

「ネットワーク選択モード」を自動的に「自動」に戻す

手動で設定したネットワークが利用できない場合に、ネットワークの選択方法を自動的に「自動」に戻すかどうかを設定します。

1 モバイルネットワークオプション画面（P.217）で「手動で選択したネットワークが利用できない場合に自動モードを選択する」を選択

2 以下の項目から選択

確認……ネットワークの選択方法を「自動」に戻すときに、確認のメッセージを表示します。

はい……確認のメッセージを表示せずに「自動」に戻します。

いいえ……「自動」に変更しません。

利用するネットワークの種類を設定する

接続するネットワークの種類を、3G・2Gのみとするか、どちらかを自動で選択するか設定します。

1 モバイルネットワークオプション画面（P.217）で「ネットワークモード」を選択

2 以下の項目から選択

3G……3Gネットワークのみに設定します。

2G……2Gネットワークのみに設定します。

3Gと2G……3Gネットワークと2Gネットワークを、自動的に切り替えます。

おしらせ

・ネットワークモードを「3Gと2G」に選択しておくと、国際ローミング時に特別な設定変更をせずにスムーズにお使いいただけます。「3Gと2G」に設定しておくことをおすすめします。

国際ローミング中のガイダンス設定

国際ローミング中に電話の着信があったときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すかどうかを設定します。

ローミングガイダンスを設定する

1 ホームスクリーンで[発信]

2 「+81-90310-1816-1」とダイヤル→[発信]

■ ローミングガイダンスを停止する場合

→「+81-90310-1816-0」とダイヤル→[発信]

3 操作が完了したら[終話]

おしらせ

・日本国内でローミングガイダンスの設定を行う場合は、「1816」とダイヤルし、音声ガイダンスに従って操作します。

国際ローミング中の着信規制機能

国際ローミング中に電話の着信があったときに、着信を規制するかどうかを設定します。

国際ローミング中の着信を規制する

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 「＊351＊」に続けてネットワーク暗証番号、「#」の順にダイヤル→[発信キー]

■ 着信規制を停止する場合
→「#351＊」に続けてネットワーク暗証番号、「#」の順にダイヤル→[発信キー]

■ 現在の設定を確認する場合
→「＊#351#」とダイヤル→[発信キー]

3 操作が完了したら[終話キー]

ご利用料金について

国際ローミング時のご利用料金は、ご利用になる国、地域、海外通信事業者により異なります。

ご利用料金などについて詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

「海外でつかうときの通話・通信料・サービスエリア検索」

http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/area/index.html

国際SMSについて

海外でも、日本国内と同様にSMSの送信／受信ができます。SMSの作成・送信手順については、「SMSを作成して送信する」(P.45)をご覧ください。

また、海外通信事業者を利用している携帯電話へSMS（国際SMS）を発信することもできます。

おしらせ
- ドコモ以外の国内事業者の携帯電話とは、SMSの送受信はできません。
- 国際ローミング時に送信されるドコモネットワークからのSMSは、拒否設定を行っても受信を拒否できません。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

国際SMSを発信する

相手先が海外通信事業者の利用者の場合は、宛先の指定方法が異なります。

海外通信事業者の利用者へSMSを送信する場合

「+」→「国番号」→「最初の0を除いた相手先の番号」の順で指定します。

おしらせ
- 「+」の代わりに「010」とダイヤルしても国際SMSを送信できます。
- SMSを送受信できる海外通信事業者は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

SMSの受信拒否について

SMSや、非通知SMS、国際SMSの受信を拒否することができます。

- 日本国内でのみ設定可能です。

1 ホームスクリーンで[発信キー]

2 「＊20184」とダイヤル→[発信キー]→音声ガイダンスに従って操作

3 操作が完了したら[終話キー]

コンピュータとの接続

BlackBerry Desktop Managerについて

BlackBerry® Desktop Managerを使用して、お使いのコンピュータから端末のデータを管理することができます。連絡先やタスク、予定などの個人情報の同期や、端末のデータのバックアップと復元、アプリケーションの追加、削除などのあらゆるデータの管理をすることができます。

BlackBerry Desktop Manager

BlackBerry Desktop Managerは次の機能をサポートし、お使いの端末をコンピュータから効率的に管理する管理ツールです。

メディア

メディアファイルの管理を行います。

デバイスの切り替えウィザード

現在お使いのBlackBerry端末から、新しいBlackBerry端末への切り替え作業を行います。

Application Loader

アプリケーションの管理を行います。

同期

端末とお使いのコンピュータとの間でデータの同期を行います。

バックアップと復元

端末のデータのバックアップと復元を行います。

IPモデム

端末をIPモデムとして利用してコンピュータをインターネットに接続することができます。

おしらせ

- 「BlackBerry Desktop Manager」は、同梱のBlackBerry User Tools CD-ROMから、お使いのコンピュータにインストールします。インストール方法→P.223
- 「BlackBerry Desktop Manager」は、お客様に快適にご使用いただけるように、常に改良を加えております。最新のバージョンに更新してご利用ください。
  「BlackBerry Desktop Managerの自動更新」→P.226

デバイスソフトウェア

「デバイスソフトウェア」は端末内にデフォルトでインストールされているアプリケーションを含む端末用のソフトウェアです。
「デバイスソフトウェア」は次の操作を実行する場合に必要です。

■ デバイスソフトウェアのアップデート
端末に最新のデバイスソフトウェアをインストールすることができます。→P.229

■ デバイスソフトウェアの再インストール
デバイスのソフトウェアを再インストールすることができます。→P.229

■ アプリケーションの追加と削除
Research In Motion社が提供するアプリケーションを端末に追加または削除することができます。→P.230

■ サードパーティのアプリケーションのインストール
サードパーティ製のアプリケーションをインストールすることができます。→P.230

デバイスソフトウェアの入手方法

「デバイスソフトウェア」は、下記のサイトからサポート対象の最新版をダウンロードするか、BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、システム管理者より入手してください。
http://smartphone.nttdocomo.co.jp/
また、ダウンロードした「デバイスソフトウェア」は圧縮形式のファイルで供給されています。インストールに備え、あらかじめ解凍しておきます。インストール方法→P.227

Windows®の「コントロールパネル」からWindows Vista®、Windows® 7の場合は「プログラムのアンインストール」、Windows® XPの場合は「プログラムの追加と削除」を使用してアンインストールします。

インストール

お使いのコンピュータに「BlackBerry Desktop Manager」および「デバイスソフトウェア」をインストールします。

インストール前の確認と準備

USB接続が可能なコンピュータか確認

端末とコンピュータの接続には付属のmicro USBケーブルを使用します。お使いのコンピュータで、USB接続が可能なことを確認してください。

OSの確認

お使いのコンピュータが次のOSであるか確認します。
Windows® XP
Windows Vista®
Windows® 7

最新版のデバイスソフトウェアの用意

あらかじめ、最新版の「デバイスソフトウェア」を入手し、解凍しておきます。「デバイスソフトウェアの入手方法」→P.223

古いバージョンのアンインストール

最新版の「デバイスソフトウェア」をインストールする際、お使いのコンピュータに古いバージョンの「デバイスソフトウェア」がインストールされている場合、必ずアンインストールする必要があります。Windows®の「コントロールパネル」から、Windows 7またはWindows Vistaの場合は「プログラムのアンインストール」を、Windows XPの場合は「プログラムの追加と削除」を使用してアンインストールします。
「デバイスソフトウェア」をはじめてインストールする場合、アンインストールの必要はありません。

次ページにつづく

BlackBerry Desktop Managerのインストール

ほかに実行中のプログラムをすべて終了してから「BlackBerry Desktop Manager」のインストールを開始してください。

1 コンピュータのCD-ROMドライブに、付属のBlackBerryユーザーツールCD-ROMを挿入

Windows® XPをご利用の場合は、BlackBerry User Toolsが自動で起動し、全画面表示されます。Windows Vista®またはWindows® 7をご利用の場合には、「自動再生」画面で「start.exeの実行」をクリックします。

■ BlackBerryユーザーツールCD-ROMから自動起動しない場合

「エクスプローラ」からセットアッププログラムを実行します。

→CD-ROMドライブ:¥files¥exec¥bbinstaller¥_setup.exeをダブルクリック→「セットアップ言語の選択」画面で「日本語」を選択→「OK」をクリック

インストーラーが起動するまで数分間待機します。

インストーラーが起動したら「BlackBerry Desktop Software 5.0.1用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面で「次へ」をクリックし、操作5に進みます。

2 BlackBerry User Toolsやインストーラーで使用する言語を選択→「開始」をクリック

BlackBerry User Toolsのトップ画面が表示されます。表示言語を変更する場合は、「言語設定選択」をクリックします。

3 トップ画面で「BlackBerry Desktop Software」をクリック

4 以下の画面で「BlackBerry Desktop Softwareをインストールする」をクリック

5 「国または地域の選択」画面で「日本」（日本語をインストールする場合）を選択→「次へ」をクリック

6 使用許諾契約の内容を確認し、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択→「次へ」をクリック

7 インストール先フォルダ画面でインストール先フォルダを確認→インストールするユーザーを設定→「次へ」をクリック

8 セットアップタイプ画面で「標準」を選択→「次へ」をクリック

9 メディアオプション画面でインストールするメディアプログラムを選択→「次へ」をクリック

10 総合オプション画面で設定項目を選択→「次へ」をクリック

「個人用メールアカウントに統合する」を選択した場合は、操作12へ進みます。

11 BlackBerry Enterprise Serverの選択画面で利用しているグループウェアを選択→「次へ」をクリック

利用しているグループウェアについてはシステム管理者にお問い合わせください。

12 インストールオプション画面で設定項目を選択→「インストール」をクリック

インストールが始まります。

13 「InstallShieldウィザードを完了しました」画面で「完了」をクリック

14 再起動画面で「はい」をクリック

再起動すると、BlackBerry Desktop Managerのインストールが完了します。

BlackBerry Desktop Managerのバージョンを確認する

1 BlackBerry Desktop Managerを起動

2 「ヘルプ」メニュー→「バージョン情報」をクリック

BlackBerry Desktop Managerの自動更新

BlackBerry Desktop Managerを常に最新のバージョンでご使用いただけるように、更新ファイルの有無を自動で確認することができます。

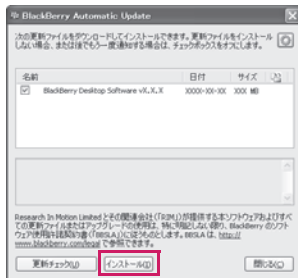
※ 自動更新を利用するにはインターネットに接続する必要があります。

1 BlackBerry Desktop Managerを起動

2 「ヘルプ」メニュー→「更新チェック」をクリック

BlackBerry Automatic Update画面が表示されます。

3 更新したいファイルのチェックボックスをオン→「インストール」をクリック

選択したファイルの更新が開始されます。画面の指示に従ってインストールを行ってください。

■ 手動で更新ファイルの有無を確認する場合

「更新チェック」をクリック

■ 自動更新の設定を変更する場合

画面右上の「 」をクリック

オプション画面が表示されます。更新ファイルの自動確認のオン／オフ、 確認周期を設定します。設定が完了したら「OK」をクリックします。

おしらせ

・デフォルトでは「更新ファイルの自動確認」のチェックボックスがオンになっています。自動確認を行わない場合はチェックボックスをオフにしてください。

・「更新ファイルの自動確認」がオンの場合、更新ファイルがあるとWindows®のタスクトレイに「 」が表示されます。「 」をクリックしてBlackBerry Automatic Update画面を表示することができます。

デバイスソフトウェアのインストール

BlackBerry Desktop Managerのインストール後に「デバイスソフトウェア」をインストールします。「BlackBerry Desktop Manager」が実行されている場合は、必ず終了してください。

1 最新版の「デバイスソフトウェア」のインストーラーを実行する

2 「セットアップ言語の選択」画面で「日本語」を選択→「OK」をクリック

インストーラーが起動するまで数分間待機します。

3 「BlackBerry Device Software v5.0.1用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面で「次へ」をクリック

4 「国または地域の選択」画面で「日本」を選択→「次へ」をクリック

5 使用許諾契約の内容を確認し、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択→「次へ」をクリック

インストールが始まります。

6 「InstallShieldウィザードを完了しました」画面で「完了」をクリック

デバイスソフトウェアのインストールが完了します。

デバイスソフトウェアのバージョンを確認する

1 Windows®の「コントロールパネル」を起動

2 「プログラムの追加と削除」で「BlackBerry 9700スマートフォン用 BlackBerry Device Software v5.0.0」が表示されていることを確認

3 「サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。」をクリックしてバージョンを確認

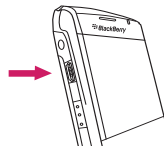
おしらせ

・デバイスソフトウェアのバージョンは、BlackBerry Desktop Managerからも確認することができます。「BlackBerry Desktop Managerのバージョンを確認する」(P.226)の操作2で「デバイスソフトウェア」タブを参照してください。

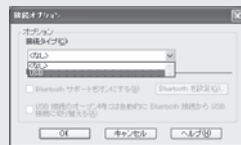
端末とコンピュータを接続する

BlackBerry Desktop Managerで端末を管理するには、端末とお使いのコンピュータを付属のmicro USBケーブルを使用して接続します。

1 BlackBerry Desktop Managerを起動

2 付属のUSBケーブルを端末左側面のmicro USBポートへ接続

3 端末と接続したmicro USBケーブルをコンピュータのUSBポートへ接続

おしらせ

・本端末とコンピュータをUSBケーブルで接続しても認識されない場合は、BlackBerry Desktop Managerの接続オプションで、接続タイプを「USB」に設定してください。

4 パスワードの入力画面で端末のパスワードを入力→「OK」をクリック

端末にパスワードが設定されていない場合、パスワードの入力画面は表示されません。

端末とコンピュータを接続すると、自動的にデバイスソフトウェアの更新チェックが行われます。

■ 更新チェックを中止する場合
→「キャンセル」

5 更新チェック結果を確認

更新ファイルがあった場合は、更新するかどうかを確認する画面が表示されます。

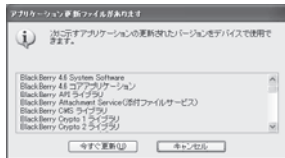
アプリケーション更新ファイルがあります

次に示すアプリケーションの更新されたバージョンをデバイスで使用できます。

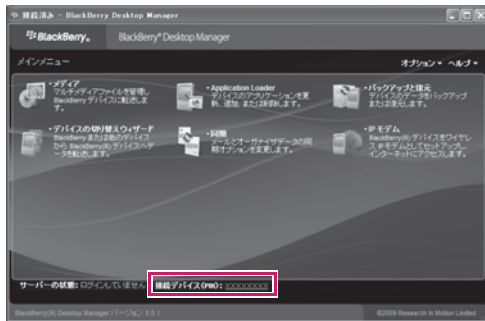
Black Berry 4.6 System Software
Black Berry 4.6 コアアプリケーション
Black Berry API ライブラリ
Black Berry Attachment Service(添付ファイルサービス)
Black Berry CMS ライブラリ
Black Berry Crypto 1 ライブラリ
Black Berry Crypto 2 ライブラリ

今すぐ更新(U)　キャンセル

■ デバイスソフトウェアを更新する場合
→「今すぐ更新」

端末にパスワードが設定されている場合はパスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力した後は、「デバイスソフトウェアのアップデート／再インストール」の操作3に進みます。

■ デバイスソフトウェアを更新しない場合
→「キャンセル」

6 コンピュータとの接続を確認

BlackBerry Desktop Manager下部にPIN番号と接続状態が表示されます。

おしらせ

・BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、ソフトウェア更新後エンタープライズアクティベーションを実施します。「エンタープライズアクティベーション」→P.34

アプリケーションの管理（Application Loader）

BlackBerry Desktop ManagerのApplication Loaderを使用して、デバイスソフトウェアの更新やアプリケーションの管理を行います。デバイスソフトウェアの更新やアプリケーションの追加／削除などを行う前に、端末とお使いのコンピュータが付属のmicro USBケーブルを使用して接続されていることを確認します。

「端末とコンピュータを接続する」→P.227

デバイスソフトウェアのアップデート／再インストール

Application Loaderを使用して、デバイスソフトウェアのアップデート／再インストールを行います。

おしらせ

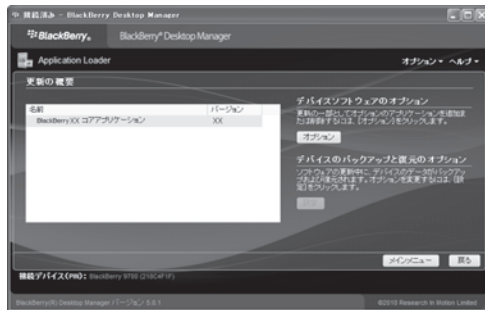
・作業の途中でコンピュータが停止してしまうなどのトラブルにより、お客様の大切なデータが消えてしまう場合があります。Application Loaderをご利用の際には、必ずデータのバックアップを行ってください。

● 事前に最新版のデバイスソフトウェアをインストールしてから、操作を行ってください。

1 BlackBerry Desktop Managerで「Application Loader」をクリック

Application Loaderが起動します。

2 「ソフトウェアを更新」の下にある「開始」（右側のボタン）をクリック

インストールされているデバイスソフトウェアのバージョンが検出され、結果が表示されます。

3 アップデート／再インストール対象を確認し、「次へ」をクリック

更新、追加、削除するアプリケーションが画面に表示されます。

■ アップデート／再インストールするアプリケーションを個別に指定する場合

→「詳細」をクリック

以降の操作手順については、「アプリケーションの追加と削除」(P.230)の操作3および「アプリケーションの選択画面」(P.231)をご覧ください。

■ データのバックアップや削除などのオプション設定を行う場合

→「設定」をクリック→任意のオプションのチェックボックスをオン→「OK」

※ 「バックアップのオプション」にチェックがない場合、ユーザーデータは削除されます。バックアップを取るには、「バックアップのオプション」にチェックを入れます。

4 「完了」をクリック

指定したアプリケーションのアップデート／再インストールが開始されます。アップデート／再インストールが完了すると、画面に「ロードを正常に完了しました」と表示され、端末は自動的に再起動されます。

重要

・デバイスソフトウェアのアップデート／再インストール中は、コンピュータの電源を切らないでください。

・更新作業の途中でmicro USBケーブルを絶対に抜かないでください。

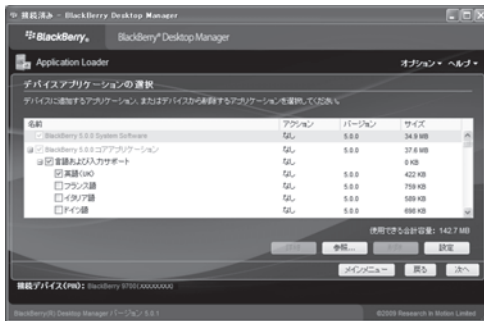
アプリケーションの追加と削除

Application Loaderを使用して、アプリケーションごとに追加や削除を行うことができます。

1 BlackBerry Desktop Managerで「Application Loader」をクリック

Application Loader画面が表示されます。

2 「アプリケーションの追加と削除」の下にある「開始」(左側のボタン)をクリック

インストールされているアプリケーションが検出され、画面に表示されます。

3 追加、削除したいアプリケーションを選択し、「次へ」をクリック

追加、削除するアプリケーションが画面に表示されます。

アプリケーションを選択する画面の見かたについては、「アプリケーションの選択画面」(P.231)をご覧ください。

■ アプリケーションを追加する場合
アプリケーション名の左側にあるチェックボックスをクリックして☑にする

■ アプリケーションを削除する場合
アプリケーション名の左側にあるチェックボックスをクリックして□にする

おしらせ

・言語に関係するアプリケーションは「言語および入力サポート」および「極東言語および入力サポート」になります。アプリケーションの追加や削除を行う際には、ご利用の言語を削除してしまうなど、誤った設定をしないようにご注意ください。
・サードパーティのアプリケーションのインストールを行う場合は、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料金にご注意ください。
・サードパーティのアプリケーションの削除を行う場合、削除するアプリケーションを選択→[メニューキー]→「削除」で削除することができます。

4 「完了」をクリック

指定したアプリケーションのアップデート／再インストールが開始されます。アップデート／再インストールが完了すると、画面に「ロードを正常に完了しました」と表示され、端末は自動的に再起動されます。

アプリケーションの選択画面

デバイスソフトウェアに含まれているアプリケーションが一覧で表示されます。追加、削除ができないアプリケーションはグレーで表示され、変更はできません。

おしらせ

・デバイスソフトウェアをインストールしていない場合、サードパーティアプリケーション名以外は表示されません。以下の画面は、デバイスソフトウェアのバージョンが5.0.0の場合です。その他のバージョンでは表示が異なる場合があります。

● アプリケーションの選択画面の表示内容

項目	表示内容
名前	アプリケーションの名前を表示します。
アクション	変更内容を表示します。 アップグレード:更新対象として選択されています。 追加:追加対象として選択されています。 削除:削除対象として選択されています。 なし:アップデート、追加、削除などの変更を行いません。
バージョン	アプリケーションのバージョンを表示します。
サイズ	アプリケーションのファイルサイズを表示します。

名前	アクション	バージョン	サイズ
BlackBerry 5.0.0 System Software	なし	5.0.0	35.8 MB
BlackBerry 5.0.0 コアアプリケーション	なし	5.0.0	37.8 MB
言語および入力サポート	なし		0 KB
英語(UK)	なし	5.0.0	459 KB
フランス語	なし	5.0.0	809 KB
イタリア語	なし	5.0.0	654 KB
ドイツ語	なし	5.0.0	755 KB
スペイン語	なし	5.0.0	653 KB
Indonesian	なし	5.0.0	131 KB
SureType(TM) 追加単語リスト	なし		0 KB
英語	なし		0 KB
財務用語	なし	5.0.0	33 KB
法律用語	なし	5.0.0	34 KB
医学用語	なし	5.0.0	264 KB
フランス語	なし		0 KB
財務用語	なし	5.0.0	31 KB
法律用語	なし	5.0.0	36 KB
医学用語	なし	5.0.0	104 KB
ドイツ語	なし		0 KB
Financial Terms	なし	5.0.0	44 KB
Legal Terms	なし	5.0.0	52 KB
Medical Terms	なし	5.0.0	50 KB
スペイン語	なし		0 KB
Financial Terms	なし	5.0.0	59 KB
Legal Terms	なし	5.0.0	61 KB
Medical Terms	なし	5.0.0	84 KB
イタリア語	なし		0 KB
Financial Terms	なし	5.0.0	58 KB
Legal Terms	なし	5.0.0	48 KB
Medical Terms	なし	5.0.0	117 KB
BlackBerry App World	なし	1.1.0.33	874 KB
BlackBerry Application Center	なし	5.0.0	92 KB
BlackBerry Maps	なし	5.0.0	1.1 MB
BlackBerry Messenger	なし	5.0.0	3.2 MB
BlackBerry S/MIME サポートパッケージ	なし	5.0.0	2 KB
BrickBreaker	なし	5.0.0	536 KB
DOD ルート証明書	なし	5.0.0	90 KB
Word Mole	なし	5.0.0	1.3 MB
タスク	なし	5.0.0	57 KB
パスワードキーパー	なし	5.0.0	48 KB
ブラウザ	なし	5.0.0	5.4 MB
ヘルプ	なし	5.0.0	1.1 MB
メールセットアップアプリケーション	なし	5.0.0	455 KB
メモ帳	なし	5.0.0	31 KB
極東言語および入力サポート	なし		0 KB
中国語 Pinyin 入力方式	なし	5.0	24 KB
中国語 BoPoMoFo 入力方式	なし	5.0	529 KB
繁体字中国語 Pinyin 入力方式	なし	5.0	558 KB
中国語 WubiHua 入力方式	なし	5.0	115 KB
中国語 Stroke 入力方式	なし	5.0	277 KB
簡体字中国語 CangJie 入力方式	なし	5.0	228 KB
中国語 Jyutping 入力方式	なし	5.0	379 KB
繁体字中国語 CangJie 入力方式	なし	5.0	96 KB
日本語ローマ字入力方式	なし	5.0	241 KB
韓国語入力方式	なし	5.0	200 KB
タイ語入力方式	なし	5.0	279 KB
極東言語および入力サポート	なし		0 KB
BlackBerry 用文字およびフォントサポート(繁体字中国語)	なし	5.0	3.9 MB
BlackBerry 用文字およびフォントサポート(簡体字中国語)	なし	5.0	3.9 MB
BlackBerry 用文字およびフォントサポート(日本語)	なし	5.0	8.9 MB
BlackBerry 用文字およびフォントサポート(韓国語)	なし	5.0	3.9 MB
Thai Characters and Font Support	なし	5.0	151 KB
電話	なし	5.0.0	639 KB
TTY サポート	なし	5.0.0	5 KB
Documents To Go	なし	1.008.019	3.4 MB
Klondike	なし	1.4.0	469 KB
Sudoku	なし	1.0.11	692 KB
Texas Hold'Em King 2	なし	2.3.1	1.4 MB
他の必要なアプリケーションとライブラリ			4.8 MB

アプリケーションの選択画面(例)

メディア(Media Manager)

BlackBerry Desktop Managerから「Media Manager」を使用して端末とコンピュータ間で画像や音楽などメディアファイルの転送をすることができます。

本書ではメディアファイルの転送に関する代表的な機能の説明をします。詳細な設定や使用方法は「Media Manager」の「ヘルプ」メニュー→「Media Manager ヘルプセンター」を参照してください。

Media Managerの主な機能

「Media Manager」は画像や着信音などのメディアファイルを端末で最適に使用できるように変換して送信することができます。

また、端末内のフォルダ構成を簡単に確認、変更することで、メディアファイルを効率的に管理することができます。

フォルダやファイルを管理する

端末に保存されているメディアファイルの削除や名前の変更、フォルダの構成の管理をすることができます。

端末のメディアファイルを参照・再生する

端末に保存されているメディアファイルを「Media Manager」を使用してコンピュータで参照/再生することができます。

コンピュータから端末へファイルを転送する

画像、着信音、映像を最適化して端末へ転送します。

端末からコンピュータへファイルを転送する

端末でダウンロードや編集したファイルをコンピュータへ転送してファイルを管理することができます。

ファイルをコピーして印刷する

端末に保存されているメディアファイルをコンピュータに転送して、「Media Manager」から印刷することができます。

Media Managerを起動する

1 BlackBerry Desktop Managerでデバイスのパスワードを入力

オプション設定で「パスワード」を有効にしている場合のみパスワードの入力が必要です。→P.191

2 「メディア」をクリック→Media Managerの「起動」をクリック

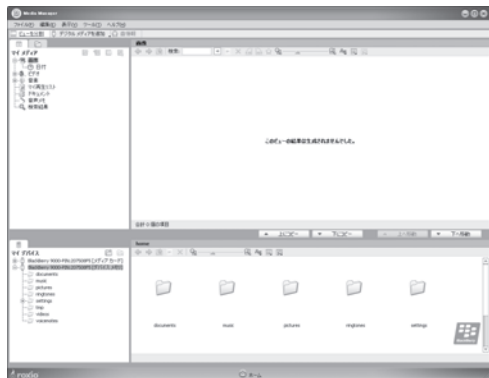
Media Managerがインストールされていない場合、「起動」ボタンはクリックできません。

3 エンドユーザー使用許諾契約を確認→「使用許諾契約の条項に同意する」を選択→「OK」をクリック

Media Managerの基本操作

「Media Manager」はほとんどの操作をクリックやドラッグアンドドロップで行うことができます。

画面の表示について

画面の上側がコンピュータのエリア、下側が端末のエリアです。

コンピュータおよび端末のエリアにはタブが表示されます。タブをクリックすると表示を切り替えることができます。

- **:マイメディア/コンピュータ側のメディア管理用インターフェース**
- **:フォルダ/コンピュータのフォルダを表示**
- **:マイMediaSpace(UPnP)/UPnPを使用した共有ファイルを表示**
- **:マイデバイス/端末内のフォルダを表示**

おしらせ

・コンピュータにUSB対応メモリなどを接続している場合は、端末(マイデバイス)にドライブ名が表示されます。

マイメディアについて

「マイメディア」はコンピュータ側のメディア管理用の表示です。フォルダ構成には関係なく、メディアファイルの管理を行います。

「マイメディア」でメディアファイルを管理するには、Windows®のエクスプローラからファイルをドラッグします。「Media Manager」がファイルの種類を判断し適切な管理フォルダへコピーします。

ファイルの種類	マイメディアのコピー先
画像ファイル	すべてのフォト
音声ファイル	すべての音楽
動画ファイル	すべてのビデオ

基本操作

■ ドラッグアンドドロップ

端末に保存されているメディアファイルをドラッグアンドドロップで転送したりフォルダ間の移動をします。

■ ダブルクリック

端末に保存されているメディアファイルをダブルクリックで参照、再生します。フォルダに下位階層がある場合はダブルクリックで下位階層へ移動します。

■ 右クリック

対象のフォルダやファイル上で右クリックするとメニューが表示され、簡単にフォルダやファイルの操作や管理を行うことができます。

ボタン表示

フォルダ操作／新規フォルダを作成

フォルダ操作／選択したフォルダの名前を変更(コンピュータ側のみ)

フォルダ操作／選択したフォルダを削除

フォルダ操作／前のフォルダへ戻る

フォルダ操作／次のフォルダへ進む

フォルダ操作／上の階層へ戻る

選択したファイルを再生／表示

選択したファイルを削除

画像ファイルを反時計回りに90度回転(コンピュータ側のみ)

画像ファイルを時計回りに90度回転(コンピュータ側のみ)

ファイル表示のソートの指定

ファイルの表示形式を指定

表示するメディアの種類をフィルタリング

サムネイルの拡大／縮小表示

その他のボタンについては「Media Manager」の「ヘルプ」メニュー→「Media Manager ヘルプセンター」を参照してください。

端末内のフォルダやファイルを管理する（マイデバイス）

「Media Manager」から端末内のフォルダやファイルを管理します。

フォルダの作成

1 「マイメディア」に表示されるフォルダ構成でフォルダを作成する場所を選択→「新規フォルダを作成」ボタンをクリック

2 新規フォルダ名を入力

フォルダ名やファイル名の変更

1 名前を変更するフォルダまたはファイルを右クリック→「名前を変更」をクリック

2 新しいフォルダ名またはファイル名を入力

フォルダやファイルの削除

■ フォルダの削除

1 「マイメディア」に表示されるフォルダ構成で削除するフォルダを選択→「選択したフォルダを削除」ボタンをクリック

2 確認画面で「はい」をクリック

フォルダ内のファイルも削除されます。

■ ファイルの削除

1 「マイデバイス」で削除するファイルを選択→「ライブラリから選択した項目を削除」ボタンをクリック

2 確認画面で「はい」をクリック

フォルダやファイルのコピー

■ フォルダのコピー

1 ファイル表示のエリアに表示されているフォルダをコピーするフォルダにドラッグ

フォルダ内にファイルがある場合は一緒にコピーされます。
コピーしたフォルダ内の下位フォルダはコピーされません。

■ ファイルのコピー

1 コピーするファイルを右クリック→「コピー」をクリック

2 コピー先のフォルダで右クリック→「貼り付け」をクリック

ファイルの移動

1 移動するファイルをドラッグ→移動先のフォルダにドロップ

おしらせ

<フォルダやファイルのコピー>

・端末内でファイルを含むフォルダをコピーする場合、数分かかることがあります。また、端末のデバイスメモリ容量の制限でコピーできないことがあります。

<ファイルの移動>

・ファイルを端末からコンピュータへ移動することはできません。
・フォルダを移動することはできません。

端末とコンピュータの間でファイルをコピーする

コンピュータのファイルを端末にコピーする

1 「マイメディア」や「フォルダ」から送信する画像ファイルをドラッグ→端末の送信先フォルダにドロップ

2 ファイルのコピー画面で「最適な再生を行うため変換」を選択→「OK」をクリック

おしらせ

・ファイルのコピー画面で「変換しないでコピー」をチェックしてコピーすると、端末内のメモリを大きく消費する恐れがあります。
「高度変換オプション」を選択すると、変換時のオプション設定画面が表示されます。
詳しくは「Media Manager」の「ヘルプ」メニュー→「Media Managerヘルプセンター」を参照してください。

・端末側のフォルダ構成の詳細は「エクスプローラでファイルを管理する」(P.105)を参照してください。

・「反時計回りに90度回転」ボタンや「時計回りに90度回転」ボタン(P.234)で画像を回転させると、そのままの状態で端末にコピーされます。

端末のファイルをコンピュータにコピーする

1 「マイデバイス」から送信する画像ファイルをドラッグ→「マイメディア」や「フォルダ」にドロップ

画像ファイルを印刷する

1 「マイデバイス」から印刷する画像ファイルをドラッグ→「マイメディア」や「フォルダ」にドロップ

2 ファイルを右クリック→「印刷」をクリック

3 印刷プレビュー画面を確認→「印刷」をクリック

Media Managerの制約事項

「マイメディア」や「フォルダ」から端末にファイルをコピーしても、端末がサポートしていない形式のファイルは端末側では参照できません。

端末がサポートしているファイル形式については、「主な仕様」(P.261)をご覧ください。

BlackBerry Media Sync

BlackBerry Media Syncを使って、iTunesライブラリまたはWindows Media® Playerライブラリから端末へ同期したり、画像を端末とコンピュータ間で簡単な操作でコピーしたりできます。

BlackBerry Media Syncをご利用の際は、以下の点にご注意ください。

● プレイリストやオーディオ／ビデオファイルなどのデータは、端末内のデバイスメモリまたは外部メモリ(microSDカード)にコピーできます。多くのデータをコピーしたい場合はmicroSDカードの利用をおすすめします。

おしらせ

・著作権で保護されているファイルはコピーできません。

BlackBerry Media Syncを起動する

1 BlackBerry Desktop Managerで「メディア」をクリック→BlackBerry Media Syncの「起動」をクリック

BlackBerry Media Syncが起動されます。BlackBerry Media Syncの詳しい操作については、BlackBerry Media Syncのヘルプをご覧ください。

デバイスの切り替えウィザード

お使いの端末を新しい端末に変更する場合に、デバイスの切り替えウィザードを使用して、端末に保存されているデータや設定などを新しい端末に移し、使用する端末を切り替えることができます。デバイスの切り替えウィザードで移行できるデータや設定は、メッセージ、オーガナイザデータ（アドレス帳、カレンダー、メモ帳、タスク）、サードパーティアプリケーション、およびBlackBerry Enterprise Server接続オプションです。ご使用の端末がBlackBerry端末でない場合は、アドレス帳、カレンダー、メモ帳、タスクのデータのみが移行対象となります。

端末の切り替えを行う前に、お使いの端末とコンピュータが付属のmicro USBケーブルを使用して接続されていることを確認します。

「端末とコンピュータを接続する」→P.227

BlackBerry端末からの切り替え

デバイスの切り替えウィザードを使用して、お使いのBlackBerry端末のデータを新しい端末に移行します。

ここでは、お使いの端末と新しい端末を交互に接続して端末を切り替える手順を説明します。

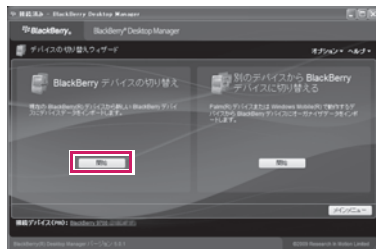
おしらせ

- 作業の途中でコンピュータが停止してしまうなどのトラブルにより、お客様の大切なデータが消えてしまう場合があります。必ずデータのバックアップを行ってから作業を開始してください。
- Windows Mobile®で動作する端末など、BlackBerry端末以外の端末からBlackBerry端末にデータを移行する場合は、デバイスの切り替えウィザードで「別のデバイスからBlackBerryでデバイスに切り替える」を選択してください。

1 BlackBerry Desktop Managerで「デバイスの切り替えウィザード」をクリック

デバイスの切り替えウィザードが起動します。

2 「BlackBerryデバイスの切り替え」の下にある「開始」（左側のボタン）をクリック

デバイスの切り替えを行うための設定画面が表示されます。

3 画面の設定内容を確認

現在のデバイス……お使いの端末が指定されているかを確認します。PINおよびパスワードは、端末がコンピュータに接続されていると、自動的に設定されます。

新しいデバイス……新しい端末のPINおよびパスワードを設定します。

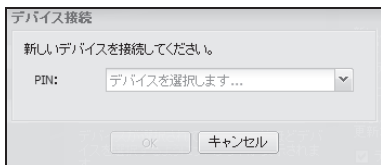
オプション……切り替え時のオプションを確認します。チェックボックスのオン／オフを切り替えて、任意に設定することができます。

おしらせ

・お使いの端末と新しい端末の両方を同時にコンピュータに接続して、端末の切り替えを行うこともできます。その場合、操作2右側の画面の「新しいデバイス」に、新しい端末のPINおよびパスワードを正しく設定してから、「次へ」をクリックします。

4 「次へ」をクリック

お使いの端末のバックアップが開始されます。

5 次の画面が表示されたら、お使いの端末をmicro USBケーブルから外す

6 新しい端末とmicro USBケーブルを接続し、PINおよびパスワードを正しく設定して「OK」をクリック

端末の切り替えが開始されます。
切り替えが完了すると、画面に「更新が正常に完了しました」と表示され、端末は自動的に再起動されます。

BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、自動的にエンタープライズアクティベーション(P.34)が開始されます。エンタープライズアクティベーションの詳しい手順はシステム管理者に確認し、その指示に従ってください。

おしらせ

・同じFOMAカードをそのままご使用になられる場合は、新しい端末の再起動が完了してから、両方の端末の電源をオフにして、FOMAカードの差し換えを行ってください。

バックアップと復元

お使いの端末データのバックアップと復元を行うことができます。オプション機能で、自動的にバックアップを行うなどの設定もできます。

バックアップ／復元の前に、端末とお使いのコンピュータが付属のmicro USBケーブルを使用して接続されていることを確認します。

「端末とコンピュータを接続する」→P.227

バックアップする

端末をコンピュータへ接続してバックアップを行います。

1 BlackBerry Desktop Managerで「バックアップと復元」をクリック

2 「バックアップ」をクリック

3 バックアップファイルの名前を確認→「保存」をクリック

必要に応じてバックアップの保存先(フォルダ)を指定することができます。以降、指定したバックアップの保存先(フォルダ)が自動的に指定されます。

「保存」をクリックすると自動的にバックアップが始まります。

4 バックアップが完了したら「OK」をクリック

復元する

バックアップファイルを復元します。

1 BlackBerry Desktop Managerで「バックアップと復元」をクリック

2 「復元」をクリック

3 復元するバックアップファイルを選択→「開く」をクリック

4 データベース置き換え確認画面が表示されます→「はい」をクリック

端末にパスワードが設定されていない場合、パスワードの入力画面は表示されません。

「はい」をクリックすると自動的に復元が始まり、終了します。

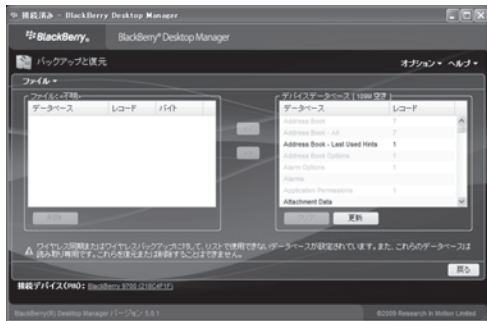
特定のデータのバックアップと復元を行う

端末内の特定のデータを選択してバックアップしたり、バックアップデータから特定のデータを選択して復元します。

特定のデータのみをバックアップ／復元する

1 BlackBerry Desktop Managerで「バックアップと復元」をクリック

2 「詳細」をクリック

「バックアップと復元」画面が表示されます。左側の「コンピュータのデータベース」がバックアップファイル側データ一覧、右側の「デバイスデータベース」が現在の端末側データ一覧です。

3 バックアップ／復元を行う

■ バックアップする場合

→デバイスデータベースからバックアップしたいデータを選択→左矢印のアイコンをクリック→バックアップが終了したら「ファイル」メニュー→「名前を付けて保存」

■ 復元する場合

→「ファイル」メニュー→「開く」→復元したいバックアップデータを選択→コンピュータのデータベースから復元したいデータを選択→右矢印のアイコンをクリック→上書きの警告画面が表示されたら「はい」をクリック

作成したバックアップファイルにデータを追加する

作成済みのバックアップファイルに端末側のデータを追加します。

1 「特定のデータのみをバックアップ／復元する」操作2（P.239）の「バックアップと復元」画面で「ファイル」メニュー→「開く」→データを追加したいバックアップデータを選択→デバイスデータベースから追加するデータを選択→左矢印のアイコンをクリック

次ページにつづく

2 追加が終了したら「ファイル」メニュー→「名前を付けて保存」

バックアップファイルからデータを削除する

1 「特定のデータのみをバックアップ／復元する」操作2（P.239）の「バックアップと復元」画面で削除するデータを選択

2 「削除」（バックアップファイルからデータを削除する場合）をクリック

3 削除が終了したら「ファイル」メニュー→「名前を付けて保存」

端末側のデータ一覧を更新する

1 「特定のデータのみをバックアップ／復元する」操作2（P.239）の「バックアップと復元」画面で「更新」をクリック

オプション機能

「バックアップと復元のオプション」を設定すると自動バックアップをすることができます。

1 BlackBerry Desktop Managerで「バックアップと復元」をクリック

2 「バックアップ」の下にある「オプション」をクリック→設定項目を選択

■ バックアップ頻度を設定する場合
→「自動バックアップ設定」→頻度を設定

■ すべてのユーザーデータをバックアップする場合
→「すべてのデバイスアプリケーションデータをバックアップする」

■ 除外するバックアップデータを指定する場合
→「次を除くすべてのデバイスアプリケーションデータをバックアップする」→除外するデータを選択

同期

BlackBerry Desktop Managerを使用して、お使いの端末とコンピュータ間でメッセージやオーガナイザデータ（アドレス帳、カレンダー、メモ帳、タスク）を同期させることができます。

同期を行う前に、端末とお使いのコンピュータが付属のmicro USBケーブルを使用して接続されていることを確認します。

「端末とコンピュータを接続する」→P.227

おしらせ

・作業の途中でコンピュータが停止してしまうなどのトラブルにより、お客様の大切なデータが消えてしまう場合があります。必ずデータのバックアップを行ってから作業を開始してください。

端末とコンピュータのデータを同期させる

1 BlackBerry Desktop Managerで「同期」をクリック

同期画面が表示されます。

2 同期させたいデータのチェックボックスをオン→「同期」をクリック

選択したデータの同期が行われます。

おしらせ

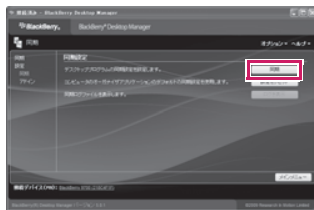
・端末側でオーガナイザデータの「ワイヤレス同期」を「はい」に設定していると、BlackBerry Desktop Managerでは同期できません。端末側の「ワイヤレス同期」の設定を、「いいえ」に変更してから、もう一度同期を行ってください。
アドレス帳の同期設定→P.73
カレンダーの同期設定→P.132
メモ帳の同期設定→P.141
タスクの同期設定→P.146

オーガナイザデータの同期について設定する

1 同期画面（P.240）の左側に表示されている「設定」の下にある「同期」をクリック

同期設定画面が表示されます。

2 同期設定画面の右側に表示されている「同期」をクリック

オーガナイザデータの同期を設定する画面が表示されます。

3 同期させたいデータのチェックボックスをオン

同期元のアプリケーションが設定されていない場合は、この操作を行ったときに同期元のアプリケーションを設定する画面が自動的に表示されます。画面の指示に従って、同期元のアプリケーションやオプション設定を行ってください。

■ 同期元のアプリケーションなどを変更したい場合

→変更したいデータを反転→「セットアップ」をクリック

画面の指示に従って、同期元のアプリケーション、同期の方向、各データの同期時のオプション設定を行います。設定はウィザード形式で行います。「次へ」をクリックして次の設定に進み、すべての設定が完了したら、「完了」をクリックします。

■ 同期の競合が発生したときの動作など、詳細設定を行う場合

→「詳細」をクリック

同期時にデータの変更や削除があったことを通知する確認画面の表示設定や、同期の競合が発生した場合の動作などを設定することができます。画面上部の各タブをクリックして、設定したいデータを切り替えます。各項目を設定し、設定が完了したら「OK」をクリックします。

4 すべての設定が完了したら「OK」をクリック

設定が保存され、画面が閉じます。

モデムとしての使用

本端末のモデム機能を利用して、コンピュータをインターネットに接続することができます。

モデムとして使用する際には、本端末とお使いのコンピュータを付属のmicro USBケーブルを使用して接続してから、BlackBerry Desktop Managerを起動させてください。

「端末とコンピュータを接続する」→P.227

ご使用にあたっての留意点

端末のモデム機能を利用してインターネットに接続する場合は、インターネットサービスプロバイダとのご契約が必要です。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

IPモデムを使用するには、はじめに付属のmicro USBケーブルを使用して接続をしておく必要があります。

接続先の設定

お使いのコンピュータで接続先を設定します。ここでは、mopera Uに設定する場合を例に説明します。

おしらせ

・本書では、Windows® XPでの設定手順を例に説明しています。お使いの環境によっては、画面が異なる場合があります。

1 BlackBerry Desktop Managerで「IPモデム」をクリック

IPモデム画面が表示されます。

2「接続設定」の「設定...」をクリック

接続のセットアップ画面が表示されます。

3「接続プロファイル：」のドロップダウンリストから「NTT DOCOMO - mopera U」をクリック

4 「OK」をクリック

おしらせ

・ご利用になりたいサービスプロバイダの接続プロファイルがリストにない場合には、[カスタムプロファイルを追加]をクリックし、プロファイルの名前を入力します。[プロファイル設定]セクションに入力する情報はサービスプロバイダに確認してください。

モデムとして使用してインターネットに接続する

1 BlackBerry Desktop Managerで「IPモデム」をクリック

2 接続設定の「現在の接続プロファイル」に接続先が設定されていることを確認

3 「インターネットに接続」の「接続」をクリック

IPモデム接続の確認が表示されます。接続する場合は、「続行」をクリックします。

接続を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。以下の操作で確実に切断してください。

1 BlackBerry Desktop Managerで「IPモデム」をクリック

2 「インターネットに接続」の「切断」をクリック

端末をUSBメモリとして使用する

本端末をコンピュータに接続し、USBメモリとして使用できます。

USBメモリとして使用するには、あらかじめ「マスストレージのサポート」を「オン」に設定してください。

「マスストレージモードのオン／オフを切り替える」→P.103

1 付属のmicro USBケーブルを端末左側面のmicro USBポートに接続

2 端末と接続したmicro USBケーブルをコンピュータのUSBポートへ接続

3 「マスストレージモードをオンにしますか？」と画面に表示されたら「はい」

「メモリ」(P.192)の「接続したときにマスストレージモードを自動的に有効にする」を「はい」に設定している場合は表示されません。

4 パスワードの入力画面で端末のパスワードを入力

端末にパスワードが設定されていない場合、パスワードの入力画面は表示されません。

5 コンピュータのエクスプローラで「マイ コンピュータ」→「リムーバブル記憶域があるデバイス」セクションの「BLACKBERRY」または「リムーバブルディスク」

6 必要なデータをコピー、または移動

付録

ショートカット一覧

本書で説明しているさまざまな操作を行うためのショートカットを案内します。ショートカットを使用すると簡単な操作で手順を実行することができます。

● キーの位置と名称については、「各部の名称と機能」(P.10)を参照してください。

基本的なショートカット

端末の操作基本に使用するショートカットキーです。

実行する操作	ショートカット
ホームスクリーン／アプリケーションリストに戻る	(終話キー)
アプリケーションを切り替える	Altキーを押しながら(戻るキー)→Altキーを押しながらアプリケーションを反転→Altキーを離す
アクティブなプロファイルとマナーモード(バイブ)のプロファイルを切り替える	[Q]キー(1秒以上)
反転しているアイテムを削除する	Deleteキー
オプションなどの設定値フィールドで設定値を参照する	Altキー

文字入力で使用するショートカット

文字入力で使用するショートカットキーは文字入力時に使用できます。

おしらせ

・入力言語の切り替えをショートカットで行うには「オプション」の「言語」で「入力言語のショートカットを使用」の設定値が「なし」以外になっている必要があります。設定方法は「言語」(P.195)を参照してください。

基本の文字入力

実行する操作	ショートカット
英字入力中にピリオド(.)を挿入する(次の文字は大文字になります。)	スペースキーを2回押す
英字を大文字にする	大文字が表示されるまでキーを押す
代替文字(キーの上側)の入力	Altキーを押しながらキーを押す
アクセント記号や特殊文字の入力(直接入力時のみ)	文字キーを押しながら(トラックパッド)を上下左右にスライドする
文字のフィールドへ数字を入力する	Altキーを押しながら数字キー
ナンバーロックモードにする	Altキーを押しながらShiftキー(オフにするにはAltキーまたはShiftキーを押す)
入力中に入力言語を切り替える※1※2	・Altキーを押しながらEnterキー ・Shiftキーを押しながらスペースキー

※1 「オプション」−「言語」−「入力言語のショートカットを使用」(P.195)でAlt-Enter、またはShift-Spaceが設定されている必要があります。

※2 このショートカットによる入力言語切り替えは、元のエンコードを保持しながら一時的に言語を切り替える機能です。言語によっては文字化けする場合があります。

記号の挿入

実行する操作	ショートカット
メールアドレスの入力で“@”や“ピリオド(.)”を入力する	スペースキー
記号キーから記号を入力する	記号キー
通貨キーに割り当てられた通貨記号を入力する	[¥]キー

範囲の選択、カットアンドペースト

実行する操作	ショートカット
行を選択する	Shiftキーを押しながら▢を上下にスライドする
文字を選択する	Shiftキーを押しながら▢を左右にスライドする
選択範囲をキャンセルする	↩
選択済みテキストを切り取る	Shiftキーを押しながらDeleteキー
選択済みテキストをコピーする	Altキーを押しながら▢を押す
選択済みテキストを貼り付ける	Shiftキーを押しながら▢を押す

メール機能で使用するショートカット

メール機能で使用するショートカットキーはメッセージリストで使用できます。

メッセージの操作

実行する操作	ショートカット
開封済みのメッセージを返信する	[R]キー
開封済みの電子メールまたはPINメッセージを全員に返信する	[L]キー
開封済みのメッセージを転送する	[F]キー
開封済みのメッセージをフォルダに移動する※	[I]キー
送信者名とメールアドレスの表示を切り替える	送信者名を反転して[Q]キー
電子メールまたはPINメッセージを再表示した際に、前回表示したときのカーソル位置へ移動する	[G]キー

※ BlackBerry® Internet Serviceをご利用の場合はこのショートカットはご利用いただけません。

メッセージリストの操作

実行する操作	ショートカット
メッセージを開封する	Enterキー
新規メッセージを作成する	[C]キー
開封済みのメッセージを未開封にする／未開封のメッセージを開封済みにする	Altキーを押しながら[U]キー
開封済みのメッセージにフラグを追加する	[W]キー
フラグが付いているメッセージをすべて表示する	Altキーを押しながら[F]キー
受信メッセージを表示する	Altキーを押しながら[I]キー
送信済みメッセージを表示する	Altキーを押しながら[O]キー
留守番電話(ボイスメール)メッセージを表示する	Altキーを押しながら[V]キー
SMSを表示する	Altキーを押しながら[S]キー
メッセージリストから通話記録を参照する	Altキーを押しながら[P]キー
通話記録からメッセージリストに戻る	↩

メッセージ内の移動

実行する操作	ショートカット
メッセージリストを上にスクロールする	Shiftキーを押しながらスペースキー
メッセージリストを下にスクロールする	スペースキー
メッセージリストの一番上に移動する	[T]キー
メッセージリストの一番下に移動する	[B]キー
メッセージリストの次の日付に移動する	[N]キー
メッセージリストの前の日付に移動する	[P]キー
次の未開封メッセージに移動する	[U]キー

次ページにつづく

実行する操作	ショートカット
次の関連メッセージに移動する	[J]キー
前の関連メッセージに移動する	[K]キー

添付ファイルで使用するショートカット

添付ファイルで使用するショートカットキーは添付ファイルで使用できます。

基本操作

実行する操作	ショートカット
添付ファイル内の文字を検索する	[F]キー
添付ファイルを再表示した際に、前回表示したときのカーソル位置へ移動する	[G]キー

エクセルシートの操作

実行する操作	ショートカット
特定のセルへ移動する	[G]キー
選択したセルの内容を表示する	スペースキー
ワークシートを切り替える	[V]キー
ワークシートを反転する	Enterキー
列や行の表示･非表示を切り替える	[H]キー

プレゼンテーションの操作

実行する操作	ショートカット
プレゼンテーションビューを切り替える	[M]キー
スライド形式時に次のスライドへ移動する	[N]キー
スライド形式時に前のスライドへ移動する	[P]キー
テキスト形式またはテキストおよびスライド形式でファイルを表示した際に、前回表示したときのカーソル位置へ移動する	[G]キー

電話機能で使用するショートカット

電話機能で使用するショートカットキーは発信画面などで使用できます。

実行する操作	ショートカット
着信に応答する／発信する	
通話を終了する	
留守番電話を確認する	[W]キー（1秒以上）
連絡先を表示する	（1秒以上）
短縮ダイヤル番号をキーに割り当てる	ホームスクリーンまたは電話画面でアルファベットキー（1秒以上）
発信時、電話番号に内線番号を追加する	Altキーを押しながら[X]キー→内線番号
電話番号入力フィールドに文字を入力する	Altキーを押しながらアルファベットキー
国際電話の番号入力で（+）を入力する	[O]キー
スピーカーフォンのオン･オフを切り替える	[¥]キー
通話中にヘッドホンを利用する	[¥]キー

ブラウザで使用するショートカット

ブラウザ機能で使用するショートカットキーはブラウザ上のみで使用できます。

基本操作

実行する操作	ショートカット
URL入力時にピリオド(.)を入力する	スペースキー
URL入力時にスラッシュ(/)を入力する	Shiftキーを押しながらスペースキー
ロード中のWebページのロードを中止する、1つ前のページに戻る	⮌
ブラウザを終了する	⮌を押したままにする

Webページの操作

実行する操作	ショートカット
特定のWebページに移動する	[G]キー
ホーム画面に戻る	[H]キー
JavaScriptのサポートをオンにする	[J]キー
ブックマークリストを開く	[K]キー
ブックマークを追加する	[A]キー
最近アクセスしたWebページのリストを開く	[Y]キー
閲覧中のWebページを更新する	[R]キー
閲覧中のWebページで単語を検索する	[F]キー
リンク先のアドレスを表示する	[L]キー
Webページのアドレスを表示する	[P]キー
リンク先へ移動する	ポインタで指してEnterキー
バナーの表示/非表示を切り替える	[U]キー
Webページをズームインする	[I]キー
Webページをズームアウトする	[O]キー
列ビューとページビューを切り替える	[Z]キー
ブラウザオプションを開く	[S]キー

Webページのナビゲーション

実行する操作	ショートカット
画面を上に移動する	Shiftキーを押しながらスペースキー
画面を下に移動する	スペースキー
Webページの一番上に移動する	[T]キー
Webページの一番下に移動する	[B]キー

メディア機能で使用するショートカット

メディア機能で使用するショートカットキーはメディア機能の画像編集や音声再生時に使用できます。

実行する操作	ショートカット
曲またはビデオを一時停止/再生を再開する	ミュートボタンまたはスペースキー
カテゴリ内の次の曲を再生する	[N]キー
カテゴリ内の前の曲を再生する	[P]キー
プレイリストの次の曲を再生する	音量アップキー(1秒以上)
プレイリストの前の曲を再生する	音量ダウンキー(1秒以上)
曲、着信音、ビデオの音量を上げる	音量アップキー
画像を回転する	[L]キー
画像をズームインする	[R]キー
画像をズームアウトする	[C]キー
画像を元のサイズに戻す	[Z]キー
画像を画面のサイズに合わせる	[W]キー
画像の表示範囲を上に移動する	[E]キー
画像の表示範囲を下に移動する	[X]キー

次ページにつづく

実行する操作	ショートカット
画像の表示範囲を右に移動する	[F]キー
画像の表示範囲を左に移動する	[S]キー
画像の中央に戻る	[D]キー

カメラ／ビデオカメラで使用するショートカット

カメラ／ビデオカメラ機能で使用するショートカットキーは、カメラおよびビデオカメラで使用できます。

実行する操作	ショートカット
撮影前に被写体にズームインする	音量アップキー
撮影前に被写体からズームアウトする	音量ダウンキー
写真を撮影する、ビデオを撮影開始／終了する	▣を押す
写真のフラッシュモードを変更する、ビデオカメラのローライトモードを変更する	スペースキー

カレンダー機能で使用するショートカット

カレンダー機能で使用するショートカットキーはカレンダーで使用できます。

おしらせ

・カレンダー機能でショートカットを使用するには「カレンダーのオプション」－「全般オプション」－「クイック入力を有効にする」オプションの設定値が「いいえ」になっている必要があります。「カレンダーの全般オプション設定」→P.131

実行する操作	ショートカット
新しい予定を追加する	[C]キー
予定表ビューを表示する	[A]キー
日ビューを表示する	[D]キー
週ビューを表示する	[W]キー
月ビューを表示する	[M]キー

実行する操作	ショートカット
各ビューの中で翌日、翌週、翌月に移動する	スペースキー
各ビューの中で前日、前週、前月に移動する	Shiftキーを押しながらスペースキー
現在の日付に移動する	[T]キー
特定の日付に移動する	[G]キー

検索機能で使用するショートカット

検索機能で使用するショートカットキーは検索時に使用できます。

おしらせ

・プレゼンテーション添付ファイルにあるテキストを検索する場合、プレゼンテーションをテキスト形式またはテキストおよびスライド形式で表示していることを確認します。

実行する操作	ショートカット
アドレス帳で連絡先を検索する	連絡先名またはスペースで区切ったイニシャルを入力
メッセージ内の文字を検索する	[S]キー
添付ファイルまたは Webページ内の文字を検索する	[F]キー
プレゼンテーション添付ファイルにある文字を検索する	テキスト形式またはテキストおよびスライド形式で表示→[F] キー

地図機能で使用するショートカット

地図機能で使用するショートカットキーは地図表示時に使用できます。

実行する操作	ショートカット
地図をズームインする	[I]キー
地図をズームアウトする	[O]キー
次の方向に移動する（道順を地図上で表示時）	[N]キー
前回の方向に移動する（道順を地図上で表示時）	[P]キー
地図の一番上のステータス情報の表示／非表示を切り替える	[U]キー
ダッシュボードの表示／非表示を切り替える	スペースキー

困ったときは

故障かな？と思ったら、まず確認してみましょう。
「困ったときは」には各項目別に代表的な事例を紹介しています。本書の事例などで解決できない場合は、操作ガイド裏面の「ドコモ・スマートフォン・ケア」へお問い合わせください。

「困ったときは」の記載内容は予告なく削除、変更されることがあります。

全般

症状	チェックする箇所	参照先
電源が入らない	•バッテリーが正しく取り付けられているか確認します。	P.12
	•バッテリーを充電します。	P.13
電源が切れてしまう	•電源の自動オン／オフの設定を確認します。	P.196
	•バッテリーを充電します。	P.13
実行したいメニューが表示されない	メニューには操作状況や設定内容などさまざまな条件に応じて、実行可能なメニューのみ表示します。また、BlackBerry Enterprise Solutionをご利用の場合、システム管理者によって操作が制限されている場合もあります。 再度、関連する操作の内容をご確認いただくか、システム管理者へお問い合わせください。	－
端末の画面がいつのまにかオフになってしまう	端末を一定時間使用しないと、バッテリーを節約するために画面がオフになります。画面をオンにするには□または任意のキーを押します。	－
ホームスクリーンの表示が変わってしまった	テーマを変更した場合、フォントや背景などの表示設定が変わる場合があります。テーマの設定をデフォルトに戻してください。	P.190

次ページにつづく

症状	チェックする箇所	参照先
端末の時刻が正しく表示されない	•正しいタイムゾーンに設定していますか？	P.135
	•日付/時刻の「時刻設定」フィールドを「自動」に設定してありますか？	P.135
サイドキーを押してもアプリケーションが開かない	•キーに割り当てを正しく設定していますか？	P.195
	•キーに割り当てたアプリケーションを削除していませんか？	P.230
使用できない機能がある	サービスブックを確認します。 サービスブックがない場合は、次を実行してください。 •BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、システム管理者にご依頼の上、該当する機能に制限がないか確認してください。 •BlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様は、サービスサイトから自分で送信してください。	P.198
設定できないオプションがある	BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、システム管理者が一部のオプションの変更を禁止している場合があります。 システム管理者によって変更が禁止されている場合、オプションフィールド横に赤い鍵のインジケータが表示されます。 利用可能な機能の詳細や制限については、システム管理者にお問い合わせください。	−
スペルチェックができない	スペルチェックは、入力言語が、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、およびブラジル系ポルトガル語にのみ対応しています。スペルチェック対象の言語を確認してください。	P.29
一部の文字が正しく表示されない	BlackBerry Enterprise ServerまたはBlackBerry Internet Serviceが対象の文字をサポートしていない場合があります。BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、システム管理者にお問い合わせください。	−
キーロック状態からパスワードを入力すると端末から緊急通話の実行を要求される	端末に緊急アクセス番号を示す文字の組み合わせが入っている場合は、パスワードを入力すると緊急通話を実行するように要求される場合があります。 [戻る]を押して緊急通話をキャンセルしてパスワードを入力します。	P.23
アプリケーションを追加できない	アプリケーションを追加するのに十分なメモリ領域が残っていますか？	P.192
エラーが表示されて起動できない	•バッテリーを一度外してから取り付けます。	P.12
	•デバイスソフトウェアを再インストールします。	P.227

メール関連

症状	チェックする箇所	参照先
メッセージリストでメールを1種類だけ表示する検索条件を使用できない	メッセージリストでメールを1種類だけ表示する検索条件を表示するには、保存された検索条件のリストを表示します。 端末の切り替えをした場合、以前ご使用の端末から現在の端末にデータを復元したとき、以前の端末のメッセージリストの検索条件は、現在の端末のメッセージリスト検索条件に置き換わります。	P.157

症状	チェックする箇所	参照先
一部のメールがメッセージリストに表示されない	•メールが自動的に削除された可能性があります。メール、電話帳などの保存件数は、本体ソフトウェアの本体のメモリ(デバイスメモリ)の空き容量によって異なります。またBlackBerry本体ソフトウェアの構造上、空き容量やメモリが少なくなると新規メールや電話帳などを本体に保存する容量を確保するため、メールなどのお客様データが古い順で消去される場合があります。ただし保存済みのメッセージは削除されません。	P.42
	•フォルダのリダイレクトが正しく設定されているか確認します。	P.52
メールの送信や受信ができない	送受信共通確認事項: •圏外や電波状況の悪い場所ではありませんか？端末がワイヤレスネットワークに接続されていることを確認します。圏外や電波状況の悪い場所にいる場合、電波状況が回復するとメッセージの送受信を再開します。	P.15
	•BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、エンタープライズアクティベーションが完了しているか確認します。エンタープライズアクティベーションを完了していないと、メール機能はご利用になれません。	P.17 P.34
	•BlackBerry Internet Serviceをご利用のお客様は、メールのセットアップが完了しているか確認します。メールのセットアップが完了していないと、メール機能はご利用になれません。	P.32
	•データサービスが「オフ」になっていないか確認します。データサービスが「オン」に設定されている必要があります。	P.192
	送信ができない場合の確認事項: •宛先が正しく入力されているか確認します。直接入力した場合など、もう一度アドレスを確認してください。	P.42

症状	チェックする箇所	参照先
メールの送信や受信ができない	•ネットワークの状況により、送信できない場合があります。もう一度送信してみてください。	P.46
	受信ができない場合の確認事項: •電子メールフィルタの設定を確認します。電子メールフィルタを使用している場合は、メールフィルタのオプションが正しく設定されていることを確認します。	P.53
	•「メールの更新」が正しく設定されているか確認します。	P.55
	•フォルダのリダイレクトが正しく設定されているか確認します。	P.52
	•ファイアウォールでメールをブロックする設定になっていないか確認します。	P.183
	•お使いいただくメールサービスにより、メールの受信に15分程度かかる場合があります。	－
メールが HTML形式で正しく表示されない	•しばらく待機します(長いメッセージと添付ファイルを分割して受信します)。	－
	•テキスト形式でメールを表示します。 →「テキスト形式を取得」を選択します。	P.41
SMSの送受信ができない	•圏外や電波状況の悪い場所ではありませんか？端末がワイヤレスネットワークに接続されていることを確認します。圏外や電波状況の悪い場所にいる場合、電波状況が回復するとメッセージの送受信を再開します。	P.15
	•ファイアウォールの設定で、SMSをブロックしていないか確認してください。	P.183

次ページにつづく

症状	チェックする箇所	参照先
新規メッセージまたは未開封メッセージの数が、予想と異なる	新規メッセージまたは未開封メッセージの数には、保存済みメッセージやファイルに保存されたメッセージが含まれます。フォルダに移動したメッセージを非表示にするように端末を設定している場合に、コンピュータのメールアプリケーションの受信ボックス以外のメールフォルダから新しいメッセージを受信すると、メッセージはファイルに保存されます。	－
メッセージや添付ファイルを完全に受信できない	・本端末は、長いメッセージと添付ファイルを分割して受信します。しばらく待機して受信を待ちます。	－
	・メッセージや添付ファイルの最後に「-残り:XXXバイト-」と表示された場合は、次の操作をします。 →「続きを取得」または「全文取得」	P.41
メールをフォルダに移動できない	「メールの更新」が正しく設定されているか確認します。 ワイヤレス更新が「オフ」の場合や端末で利用できない場合は、BlackBerry Desktop Managerのメール設定ツールを使用して更新します。 詳細はBlackBerry Desktop Managerのヘルプを参照してください。 BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、システム管理者へお問い合わせください。	P.55
一部のメールフォルダを選択できない	・しばらく待ってから操作してみてください。メールフォルダは、しばらくすると利用できるようになる場合があります。	－
	・ワイヤレス更新をオフにしてから、もう一度オンにします。	P.55
電子メールのフィルタが正しく機能しない	・電子メールのフィルタが「オン」になっていますか？	P.54
	・電子メールフィルタの適用順序を確認します。フィルタの競合により、うまく適用されない可能性があります。	P.53

添付ファイル関連

症状	チェックする箇所	参照先
メッセージや添付ファイルを完全に受信できない	・本端末は、長いメッセージと添付ファイルを分割して受信します。しばらく待機して受信を待ちます。	－
	・メッセージや添付ファイルの最後に「-残り:XXXバイト-」と表示された場合は、次の操作をします。 →「続きを取得」または「全文取得」	P.41
	・添付ファイルをダウンロードしている場合は、ダウンロードをキャンセルし、しばらく待機した後、再度ダウンロードを行います。	－
「スキップされたコンテンツ」バーがドキュメントに表示される	端末にダウンロードできるその他の添付ファイルコンテンツがあります。コンテンツをダウンロードするには、「スキップされたコンテンツ」を選択→「その他」を選択します。	－
PPT（スライド）ファイルが正しく表示されずに疑問符が表示される	お使いの端末でPPT（スライド）をダウンロードしていない場合、PPT（スライド）上に疑問符が表示されます。スライドを表示するには、PPT（スライド）を反転→→「取得」を選択します。	P.47
添付ファイルを開くと「不明なエラー」画面が表示される	パスワードが設定されている可能性があります。パスワード付き添付ファイルを表示できるのはPDFのみとなります。 送信者へパスワードを解除の上、再送信していただくようご依頼ください。	P.47
パスワード付きのファイルが表示できない	パスワード付きファイルを表示できるのはPDFのみとなります。 その他のパスワード付きファイルは表示できません。別途、パスワードを解除したファイルをご用意ください。	P.47

メディア関連

症状	チェックする箇所	参照先
ファイルの名前が変更できない	エクスプローラから変更します。	P.105
Webページで曲やビデオを再生できない	端末で曲やビデオのサイズまたはファイル形式がサポートされていない可能性があります。	P.105
メディアファイルを開けない	•コンピュータに接続されている端末のメディアファイルを開く場合は、端末をコンピュータから切断するか、マスストレージモードをオフにします。	P.103
	•マスストレージモードを使用してコンピュータでメディアファイルを開く場合は、BlackBerry Desktop ManagerのMedia Managerを閉じていることを確認します。	P.232
	•端末が生成した暗号化キーを使用して暗号化したmicroSDカードのメディアファイルを、コンピュータまたはファイルの暗号化に使用したBlackBerry端末以外の端末を使用して開く場合は、ファイルの暗号化に使用した端末にmicroSDカードを挿入します。「オプション」の「セキュリティのオプション」の「暗号化」で、「メディアカード」フィールドを「無効」または「モード」を「セキュリティパスワード」に変更します。	P.114
端末がmicroSDカードを認識しない	端末をコンピュータから切断します。 マスストレージモードをオフにします。 microSDカードをフォーマットします。	P.103 P.113
正しい着信音やホームスクリーンの背景が使用されない	端末のパスワードを使用して端末のメモリ内またはmicroSDカードで暗号化した着信音やホームスクリーンの背景画像を使用しているときに、デバイスをリセットした場合は、デバイスのロックを解除してください。	−

症状	チェックする箇所	参照先
一部の機能が利用できない	通信事業者や端末に設定されているメールアカウントの種類によっては、一部の機能が利用できない場合があります。 BlackBerry Enterprise Solutionをご利用のお客様は、組織が一部の機能を設定していなかったり、一部の機能またはオプションの使用を禁止している場合があります。管理者によってオプションが設定されている場合、オプションフィールド横に、赤いロックのインジケータが表示されます。	−

電話関連機能

症状	チェックする箇所	参照先
電話の発着信ができない	•ワイヤレスネットワークに正しく接続されているか確認します。	P.15 P.169
	•外国に滞在中で、スマートダイヤルオプションを変更していない場合は、国番号と地域コードなど、設定した番号をダイヤルしてしまいます。	P.64
	•着信できない場合は、迷惑電話ストップサービスと転送でんわサービスが設定されていないか確認します。	P.208

次ページにつづく

カレンダー関連機能

症状	チェックする箇所	参照先
予定の設定時に一部のフィールドを設定できない	お使いのグループウェアがIBM® Lotus Notes®の場合は、定期的な予定または会議を変更する場合、「件名」、「場所」、「アラーム」、「メモ」の各フィールド、および「プライベートとしてマークを付ける」チェックボックスのみ変更できます。	P.127
端末で登録した予定の一部の文字が、コンピュータのカレンダーで正しく表示されない	・予定の内容に、特殊文字やアクセント記号を使用している場合、コンピュータでこれらの文字がサポートされていない場合があります。	P.127
	・コンピュータで、デフォルトのコードページを使用していること、また、適切なフォントサポートがインストールされていることを確認してください。詳細については、お使いのコンピュータのオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。	–
複数の日にまたがる予定を設定できない	お使いのグループウェアがIBM® Lotus Notes®の場合は、複数の日にまたがる予定を設定できません。	–
過去の予定が消えてしまう	予定の保持の保存期間を確認してください。	P.132

ブラウザ機能関連

症状	チェックする箇所	参照先
ブラウザを使用できない	お使いの端末がワイヤレスネットワークに接続されていることを確認します。	P.15 P.169
ブックマークの自動同期を設定できない	ブックマークを追加する場合、コンテンツの保護が無効になっているときのみ「自動同期」の「開始時間」フィールドを設定できます。	P.91
Webページで曲やビデオを再生できない	端末で曲やビデオのサイズまたはファイル形式がサポートされていない可能性があります。	P.105
Webサイトが文字化けする	Webサイトは特定の条件下で文字化けする場合があります。エンコーディングの設定で自動モードをオンにするか、文字セットを変更することで文字化けが直る場合があります。	P.91

カメラ、ビデオ機能関連

症状	チェックする箇所	参照先
写真やビデオを保存できない	端末本体またはmicroSDカードに、写真やビデオを保存するための十分なメモリがない可能性があります。次の操作を実行してください。 ・写真やビデオをデバイスメモリに保存する場合は、古いデータやメッセージを端末から削除します。 ・写真やビデオをmicroSDカードに保存する場合は、古いメディアファイルを削除します。	P.192
	・カメラのオプションで、「写真品質」が「超高画質」に設定されていないことを確認します。超高画質の画像は、高画質や標準の画像よりも多くのメモリを使用します。	P.120
フラッシュが暗くなった、またはオフになる	バッテリー残量が20パーセントを下回ると、バッテリーを節約するためにフラッシュは暗くなります。 低温状態でバッテリー残量が20パーセントを下回ると、フラッシュはオフになる場合があります。	–

症状	チェックする箇所	参照先
撮影した画像がぼやける	照明が弱い状態では、カメラがシャッタースピードを遅くして露出不足を補う場合があります。シャッターを押す前にカメラを動かすと、画像がぼやけることがあります。カメラがシャッタースピードを遅くしている場合は、画面最下部にが表示されます。	－

プロファイル機能関連

症状	チェックする箇所	参照先
バイブレーターの振動回数が予想以上に多い	「バイブレーション」の「回数」で振動回数を設定してください。	P.171
電話やメールの着信音が鳴らない	•プロファイルリストで、「オフ」が設定されていないことを確認します。	P.171
	•連絡先の個別通知で、着信音の音量が「サイレント」に設定されていないことを確認します。	P.174

アドレス帳機能関連

症状	チェックする箇所	参照先
アドレス帳フィールドのデータがコンピュータに表示されない	アドレス帳フィールドのデータは、コンピュータのメールソフトのテキストフィールドとだけ同期させることができます。誕生日など、データフィールドの内容は同期することはできません。	P.68
発信者の写真が端末に表示されない	端末がMicrosoft® Outlook®2000メールアカウントに関連付けられている場合に、コンピュータのメールアプリケーションで連絡先の写真を追加するときは、写真のファイル名がContactPicture.jpgであることを確認してください。	P.68

Bluetooth® 関連

症状	チェックする箇所	参照先
Bluetooth®対応機器でパスキーを入力できない	Bluetooth®対応機器でパスキーを入力できない場合は、パスキーがすでに設定されている可能性があります。お使いの端末の「デバイス名の数値パスキーを入力」フィールドに、「0000」と入力してください。	P.164
Bluetooth®対応機器とペアリングできない	•お使いの端末がBluetooth®対応機器と互換性があることを確認します。詳細については、Bluetooth®対応機器に付属のマニュアルを参照してください。	－
	•オプション設定でお使いの端末とBluetooth®対応機器間のBluetooth®接続の暗号化を「無効」にします。	P.178
ペアリングされたBluetooth®対応機器とアドレスを共有できない	•Bluetooth®がオンになっていることを確認します。	P.164
	•Bluetooth®対応機器と正しくペアリングされているか確認します。	P.164
	•Bluetooth®のオプションで、「連絡先の転送」フィールドが「無効」に設定されていないか確認します。	P.178
	•受信側のBluetooth®対応機器が、ハンズフリープロファイルまたはオブジェクトプッシュプロファイルをサポートしていることを確認します。サポートしているプロファイルについては受信側のBluetooth®対応機器に付属のマニュアルを参照してください。	－
ペアリングされたBluetooth®対応機器のリストが表示されない	•Bluetooth®がオンになっていることを確認します。	P.164
	•Bluetooth®対応機器が、ペアリングされたデバイスのリストに正しく追加されているか確認します。	P.164

次ページにつづく

GPS・地図関連

症状	チェックする箇所	参照先
GPS機能を使用できない	•屋外にいる場合は、建物から離れて端末を掲げます。	P.160
	•屋内にいる場合は、窓の近くに移動します。	P.160
	•本端末とBluetooth®対応GPS受信機とをペアリングしている場合は、Bluetooth®対応GPS受信機の電源がオンになっていることを確認します。	ー
	•GPS機能をはじめて使用する場合は、端末がGPSロケーション情報を取得するまでの間、しばらく待機します。	ー
地図上に斜線が表示される	•端末が新しいロケーション情報をロードしたときや、端末がワイヤレスネットワークに接続されていないときは、地図上に斜線が表示されます。長時間にわたって斜線が表示される場合は、端末がワイヤレスネットワークに接続されていることを確認してください。	ー

ワイヤレス通信関連

症状	チェックする箇所	参照先
ワイヤレスネットワークに接続できない	•FOMAカードが端末に正しく挿入されていますか？	P.11
	•ワイヤレスネットワークへの接続が「オフ」になっていませんか？	P.169
	•NTTドコモのネットワークに接続されているか確認します。ワイヤレスネットワークを手動で切り替えると、通信事業者のネットワークをもう一度選択するまで、端末はワイヤレスネットワークに接続された状態となります。	P.15
	•ワイヤレスネットワーク接続に特定の速度を指定した場合は、その接続速度がサポートされているワイヤレスネットワークの通信可能範囲内にいることを確認します。	ー
Wi-Fi ネットワークに接続できない	•Wi-Fiネットワークへの接続をオンにしていることを確認します。	P.169
	•Wi-Fiの通信可能範囲内にいることを確認します。	P.15
	•Wi-Fiネットワークが表示されない場合でネットワーク名がわかっている場合は、「Wi-Fiネットワーク設定」でWi-Fiネットワークに手動で接続します。	P.168
	•「Wi-Fiネットワーク設定」の接続オプションが正しいことを確認します。オプションが正しく設定されている場合は、「オプション」の「Wi-Fi」の設定が正しいことを確認します。	P.166
	•Wi-Fiネットワークを手動で切り替えた場合、別のWi-Fiネットワークに切り替えるか、使用できるWi-Fiネットワークをスキャンします。	P.166
	•無線対応規格をご確認ください。	P.262

同期関連

症状	チェックする箇所	参照先
メールやオーガナイザデータ(アドレス帳、カレンダー、メモ帳、タスク)がワイヤレスネットワーク経由で更新されない	•お使いの端末がワイヤレスネットワークに正しく接続されていますか?	P.169
	•ワイヤレス更新がオフになっていませんか?	P.55
	•メールやオーガナイザデータ(アドレス帳、カレンダー、メモ帳、タスク)を手動で更新します。	P.40 P.73 P.132 P.141 P.146
メールがワイヤレスネットワーク経由で削除されない	•本端末で複数のメールを削除する場合は、メールを反転し、Deleteキーを押します。「この日の分まで削除」メニュー項目を使用して複数のメールを削除する場合、ワイヤレスメール更新時には削除されません。	P.40
	•「メールの更新」で、「削除対象」フィールドが「メールボックスとデバイス」に設定されていることを確認します。	P.55
コンピュータの個人フォルダからメールを受信していない	端末にMicrosoft® Outlook®のメールアカウントが設定されている場合は、BlackBerry Desktop Managerの同期ツールを使用して、個人フォルダのメールを更新する必要があります。詳細については、BlackBerry Desktop Managerヘルプを参照してください。	P.222
証明書を同期できない	BlackBerry Desktop Managerの証明書同期ツールがお使いのコンピュータにインストールされていますか? インストールされていない場合は、BlackBerry Desktop Managerを再インストールします。	P.222

海外利用関連

症状	チェックする箇所	参照先
圏外となったままで国際ローミングサービスが利用できない	•国際ローミングサービスのエリア外か、電波の弱い場所にいませんか?	—
	•利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』などの国際サービスガイドで確認してください。	—
	•日本国内から海外へ移動した後にはじめて利用するときは、本端末の電源を入れ直してください。	—
	•「モバイルネットワークオプション」で利用可能なネットワークを設定してください。	P.217
電話がかかってこない	•国際ローミング中の着信を規制していませんか?	P.219
相手の電話番号が通知されてこない 相手の電話番号とは違う番号が通知されてくる アドレス帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。 また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	—

用語集

用語	解説
APN	:Access Point Name(アクセスポイント名)
Atom	:ウェブ上のコンテンツを配信するためのXML文書フォーマットや、コンテンツの編集を行うための通信プロトコルなどの仕様群の総称です。
BCC	:BCC(ブラインドカーボンコピー)
BlackBerry対応端末	:BlackBerry対応端末とは、BlackBerry Connectソフトウェア、BlackBerry Built-Inソフトウェア、またはBlackBerry Application Suiteを実行している端末を指します。BlackBerry対応端末を使用することで、ユーザーはBlackBerryデバイスアプリケーションおよびBlackBerryサービスにアクセスできます。
Blackberry MDS	:BlackBerry Mobile Data System
CC	:Carbon Copy(カーボンコピー)
CMIME	:Compressed Multipurpose Internet Mail Extensions(インターネットなどのTCP/IPネットワーク上で行われるメールで、音声、画像などを扱うための規格)
CRL	:Certificate Revocation List(証明書失効リスト)
CRLサーバー	:本端末はCRLサーバーを使用して、最後に発行された証明書の失効ステータスを確認します。認証局はCRLサーバー上で証明書失効リストを発行します。
DNS	:Domain Name System(ドメインネームシステム)
EAP-FAST	:Extensible Authentication Protocol Flexible Authentication via Secure Tunneling(拡張認証プロトコル-セキュアトンネル経由の柔軟な認証)
FIPS	:Federal Information Processing Standards(連邦情報処理規格)
GPS	:Global Positioning System(全地球測位システム)
HTTP	:Hypertext Transfer Protocol(ハイパーテキスト転送プロトコル)
IMEI	:端末に割り当てられた個体識別番号
IP	:Internet Protocol

用語	解説
ISP	:Internet Service Provider(インターネットサービスプロバイダ)
LED	:Light-Emitting Diode(発光ダイオード)
PIN番号	:端末に割り当てられた個人識別番号
SIM	:SIM(加入者識別モジュール)
SMS	:Short Message Service(ショートメッセージサービス)
SMSC	:Short Message Service Center(ショートメッセージサービスセンター)
SSL	:Secure Sockets Layer(セキュアソケットレイヤ)
SSID	:Service Set Identifier(サービス設定識別子)
TCP	:Transmission Control Protocol(伝送制御プロトコル)
TLS	:Transport Layer Security(トランスポート層セキュリティ)
Triple DES	:Triple Data Encryption Standard(トリプルデータ暗号化規格)
VPN	:Virtual Private Network(仮想プライベートネットワーク)
WAP	:Wireless Application Protocol(ワイヤレスアプリケーションプロトコル)
WEP	:Wired Equivalent Privacy
WML	:Wireless Markup Language(携帯端末向けのコンテンツ記述言語の一種)
WPA	:Wi-Fi Protected Access
WTLS	:Wireless Transport Layer Security(ワイヤレス通信用セキュリティプロトコル)
公開鍵	:公開鍵は、証明書サブジェクト以外の人が使用できるキーです。本端末では、公開鍵を使用してユーザーが証明書サブジェクトに送信する電子メールメッセージまたはPINメッセージを暗号化し、ユーザーが証明書サブジェクトから受信する電子メールメッセージまたはPINメッセージの署名を確認します。
個人証明書	:個人証明書は認証局がユーザーに割り当てる証明書です。

用語	解説
証明書	：証明書は証明書サブジェクトのIDと公開鍵をバインドするデジタル文書です。各証明書には、証明書とは別に保存された、対応する秘密鍵があります。証明書には、それが本物で信頼できるものであることを示すために、認証局が署名します。
秘密鍵	：秘密鍵は証明書サブジェクトのみが使うことのできるキーです。秘密鍵の情報は一般には配布されません。本端末は、秘密鍵を使用してユーザーが送信するメールメッセージまたはPINメッセージに署名し、ユーザーが受信するメールメッセージを復号化します。
マスストレージモード	：マスストレージモードでは、端末をコンピュータに接続している場合、microSDカードとコンピュータ間のファイル転送が可能です。
モバイルネットワーク	：移動体通信網です。日本国内ではFOMAネットワーク、国際ローミング中は海外通信事業者のネットワークになります。
ルート証明書	：ルート証明書は自己署名証明書であり、通常は認証局が管理します。

主な仕様

項目		仕様・概要
サイズ		約109mm×約60mm×約14.1mm
質量		約122g（電池パック装着時）
メモリ		Flash256MB
外部メモリ対応（最大対応容量）		microSDHC（32GB）
バッテリー		1500mAh充電式リチウムバッテリー
連続待受時間（静止時）	3G	約300時間
	GSM	約370時間
連続通話時間	3G	約280分
	GSM	約360分
充電時間		約180分
ディスプレイ	種類	TFT液晶ディスプレイ
	サイズ	2.4インチ
	表示色	約65,536色
	ドット数（横×縦）	480×360
	その他	バックライト、輝度調節機能
カメラ		約320万画素、オートフォーカス、LEDライト、デジタルズーム（2倍）、手振れ補正
動画保存形式		.3GP
静止画保存形式		.jpg
キーボード		QWERTYフルキーボード（バックライト機能付き）
日本語入力システム		予測機能付きローマ字かな漢字変換
ナビゲーション		トラックパッド
音声入力／出力		内蔵スピーカーおよびマイク、内蔵ハンズフリースピーカー、モノラル／ステレオハンズフリーセットおよびBluetooth®ヘッドセット対応
着信通知		32和音着信音、バイブレーション、LEDインジケータ

次ページにつづく

項目		仕様・概要
対応メディアフォーマット	オーディオ	.mp3、.m4a、.wma、.wav
	ビデオ	.mp4、.mov、.3gp、.3gp2、.avi、.asf、.wmv
	画像	.jpg、.jpeg、.png、.gif、.bmp、.tif、.tiff
外部接続端子		3.5mmステレオミニジャック端子、microUSBポート
Bluetooth®	規格	v2.1
	プロファイル	HSP(Headset profile)、HFP(Handsfree profile)、SPP(Serial Port Profile)、DUN(Dial-Up Networking Profile)、A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP(Audio/Video Remote Control)、Desktop Connectivity 、Wireless Bypass、Data Transfer、OPP(Object Push Profile) 、PBAP(Phone book access profile)、SAP(SIM Access Profile)※
通信方法		UMTS/HSDPA(最大3.6Mbps):2100/1900/850/800MHz GSM:1900/1800/900/850MHz
無線LAN		IEEE802.11b/g準拠
セキュリティ		デバイスロックおよびキーボードロック機能 AES/Triple DES対応(BlackBerry Enterprise Solution利用時) S/MIMEおよびPGP対応(オプション)
その他		GPS、Wi-Fi、音声認識、モデム機能、マルチタスク、ドキュメントビューア

※　2010年1月現在、日本国内ではご利用になれません。

本仕様の記載事項は、予告なく削除、変更される場合があります。

商標などに関する情報

- 「FOMA/フォーマ」「iモード」「WORLD WING/ワールドウィング」「パケ・ホーダイ」は、NTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- BlackBerry®、RIM®、Research In Motion®、SureType®、SurePress™、および関連する商標、名称、およびロゴは、Research In Motion Limitedの所有物であり、米国、およびその他の国における商標または登録商標です。
- Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Incの登録商標です。
- DataViz、Documents to Go、Sheet to Go、Slideshow to Go、Word to Goは、DataVizの商標です。
- UMTSは、欧州通信規格協会の商標です。
- Google、Googleマップ、Google Talk、Gmail、Gears、YouTubeは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Protected Access、Wi-Fi Protected Setup、およびWPAは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- GSMおよびGlobal System for Mobile communications 、GSM MOU Associationの商標です。
- IBM、Domino、Lotus、Lotus Notesは、International Business Machines Corporationの商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- microSDおよびmicroSDHCは、SDアソシエーションの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows XP、Windows Media、Excel、PowerPoint、Hotmail、Outlook、Windows Liveは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- PGP、PGP Desktop Professional、PGP Universal Serverは、PGP Corporationの商標です。
- Roxioは、Sonic Solutionsの商標です。RSAは、RSA Securityの商標です。
- vCardは、Internet Mail Consortiumの商標です。
- BlackBerry® Device Softwareの一部は、©2007-2008 The FreeType Project(www.freetype.org)の著作権を取得しています。
- iTunesは米国Apple Inc.における米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

索引

あ

い

え

お

か

次ページにつづく

き

く

け

こ

さ

次ページにつづく

た

ち

つ

て

次ページにつづく

へ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

よ

る

れ

ろ

わ

次ページにつづく

BlackBerry®に関するお問い合わせ ＜ドコモ・スマートフォン・ケア＞

0120-045-360

※携帯電話、PHS（他社）からもご利用になれます。
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午前 9:30 ～ 午後 9:00

ドコモスマートフォンサイト
http://smartphone.nttdocomo.co.jp/

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。
受付時間　24時間（年中無休）

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHS（他社）からもご利用になれます。
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて ＜ドコモ インフォメーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6832-6600***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、操作ガイドP.212をご覧ください。

海外での故障に関して ＜ネットワークテクニカルオペレーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、操作ガイドP.212をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客さまが購入された BlackBerry 端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口にご持参ください。

PRINTED WITH SOY INK™
Trademark of American Soybean Association
この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

マナーも一緒に携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
MAT-31206-020 '10.07（2版）